

モンゴル国
開発政策・公共投資にかかる
基礎情報収集・確認調査
ファイナルレポート

2017年2月

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

株式会社アルメックVPI
アイ・シー・ネット株式会社
有限会社エクシディア

| |
|--------|
| 東中 |
| JR |
| 17-008 |

モンゴル国
開発政策・公共投資にかかる
基礎情報収集・確認調査
ファイナルレポート

2017年2月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

株式会社アルメックVPI
アイ・シー・ネット株式会社
有限会社エクシディア

EXCHANGE RATE USED IN THE REPORT

USD 1 = MNT 2,484

USD 1 = JPY 113.50

(RATE IN JANUARY 2017)

目次

| | | |
|----------|--|------------|
| 1 | 本調査の概要 | 1-1 |
| 1.1 | 調査の背景..... | 1-1 |
| 1.2 | 調査の目的と成果..... | 1-2 |
| 1.3 | 調査の実施体制と関係機関..... | 1-2 |
| 2 | モンゴル開発政策の体系 | 2-1 |
| 2.1 | 新政権における省庁再編..... | 2-1 |
| 2.2 | 開発計画法に基づく開発行政の体系..... | 2-2 |
| 2.3 | 持続的長期開発ビジョン 2030..... | 2-4 |
| 2.4 | 公共投資に係る政策基盤（改定予算法）..... | 2-8 |
| 2.5 | 政府アクションプラン..... | 2-9 |
| 2.6 | 経済回復プログラム(ERP)..... | 2-15 |
| 3 | 公共投資の現状と課題 | 3-1 |
| 3.1 | 公共投資の財源と現状課題..... | 3-1 |
| 3.2 | メガプロジェクト実施の進捗..... | 3-24 |
| 3.3 | 開発政策・財務分野における主要ドナーの協力プロジェクト..... | 3-26 |
| 3.4 | 公共投資実施に係る課題..... | 3-29 |
| 3.5 | 研修・教育カリキュラム、実施体制..... | 3-34 |
| 4 | 国家開発庁（NDA）の政策調整及び行政機能の概要 | 4-1 |
| 4.1 | 開発政策に係る国家体制及び財政制度における過去の教訓..... | 4-1 |
| 4.2 | 組織体制と行政機能..... | 4-3 |
| 4.3 | 公共投資計画（PIP：Public Investment Program）を規定する法的枠組み..... | 4-5 |
| 4.4 | NDAが抱える現状の課題..... | 4-6 |
| 5 | PIPサイクルにおける課題整理と対応の方向性 | 5-1 |
| 5.1 | PIPサイクルの整理..... | 5-1 |
| 5.2 | PIPプロセス各段階での課題と取組み..... | 5-6 |
| 5.3 | NDAとMOFの連携・調整システムのあり方..... | 5-20 |
| 5.4 | 公共財政管理における公共投資財源の枠組み..... | 5-23 |
| 6 | 開発政策・公共投資計画能力強化のための協力の方向性（支援オプションの検討） ...6-1 | |
| 6.1 | 支援協力プロジェクトの主目的と主要成果..... | 6-1 |
| 6.2 | カウンターパート機関の選択..... | 6-2 |
| 6.3 | 実施体制の在り方..... | 6-3 |

| | | |
|----------|---|------------|
| 6.4 | PIP 策定及び実施体制整備に向けた技術協力分野（支援コンポーネント） | 6-3 |
| 6.5 | 関係ドナーとの協調スキームの可能性 | 6-7 |
| 6.6 | 実施上考慮すべき留意点 | 6-9 |
| 7 | 最後に..... | 7-1 |
| 7.1 | 「モ」国における新開発行政システム構築支援の意味..... | 7-1 |
| 7.2 | 本格技術プロジェクト実施にかかる考慮すべき点 | 7-3 |

添付資料

| | |
|----------|--|
| 添付資料 | 大蔵省の組織体制 |
| 添付資料 | 予算法 |
| 2章添付資料-1 | 経済回復プログラム実施詳細計画 |
| 2章添付資料-2 | 経済回復プログラム |
| 3章添付資料 | 他ドナー案件の概要 |
| 7章添付資料 | RESOLUTION OF THE GOVERNMENT OF MONGOLIA |

表目次

| | | |
|----------|---|------|
| 表 2.1.1 | モンゴル政府機構図 | 2-1 |
| 表 2.2.1 | 開発政策計画法に規定された政策文書 | 2-2 |
| 表 2.3.1 | 2030 年達成指標 | 2-5 |
| 表 2.5.1 | モンゴル政府アクションプラン（2016～2020 年）：抜粋 | 2-9 |
| 表 3.1.1 | MTFF2017-2019 に記載されている主たる経済指標 | 3-1 |
| 表 3.1.2 | MTFF2017-2019 に記載されている主たる財務数値 | 3-2 |
| 表 3.1.3 | MTFF2017-2019 における経常支出と資本支出の配分 | 3-3 |
| 表 3.1.4 | 2017 年予算における財源別資本支出の内訳 | 3-6 |
| 表 3.1.5 | 2016 年 12 月末における政府債務の内訳 | 3-8 |
| 表 3.1.6 | SGX より発行した債券の内訳 | 3-9 |
| 表 3.1.7 | 2017 年予算における外国資金協力（目安額） | 3-10 |
| 表 3.1.8 | DBM による公共投資 | 3-12 |
| 表 3.1.9 | 2015 年度の DBM の財政状態計算書（貸貸対照表） | 3-13 |
| 表 3.1.10 | 2015 年度の DBM の貸出金内訳 | 3-14 |
| 表 3.1.11 | 2015 年度の DBM の債券及び借入金の内訳 | 3-15 |
| 表 3.1.12 | 2016 年政府決議第 37 号の内容 | 3-17 |
| 表 3.1.13 | コンセッションによる公共投資 | 3-18 |
| 表 3.1.14 | 2017 年の各アイマグの予算案 | 3-19 |
| 表 3.1.15 | 予算法に基づく地方予算にて実行すべき活動の一覧 | 3-20 |
| 表 3.1.16 | 2017 年予算案における LDF の予算額 | 3-23 |
| 表 3.2.1 | NDA が所掌する代表的公共事業案件（2016 年 10 月時点） | 3-25 |
| 表 3.4.1 | NDA と MOF の開発政策または公共投資に関する開発政策計画法、予算法、債務 管理法上の権限 | 3-30 |
| 表 4.2.1 | NDA の行政機能 | 4-4 |
| 表 5.1.1 | 実施・モニタリング・評価プロセスに関連する法規 | 5-3 |
| 表 5.1.2 | 世界銀行提唱「公共投資運営管理の必須 8 項目」 | 5-4 |
| 表 5.1.3 | 世銀「公共投資運営管理の必須 8 項目とモンゴルへの適用」 | 5-5 |
| 表 5.2.1 | 投資手段検討のための基本的な検討事項例 | 5-14 |
| 表 5.3.1 | PIP サイクルにおける NDA と MOF の連携の取り組み案 | 5-21 |
| 表 5.4.1 | 政府特別基金法に基づく基金の一覧 | 5-26 |

目次

| | | |
|----------|---|------|
| 図 2.2.1 | 開発政策の関連図..... | 2-3 |
| 図 2.3.1 | 長期開発ビジョン 2030 の 4 つの政策 | 2-6 |
| 図 2.3.2 | 戦略 1 「持続的経済開発」の戦略 | 2-6 |
| 図 2.3.3 | マクロ経済政策の戦略..... | 2-7 |
| 図 3.1.1 | MTFF2017-2019 歳入歳出比較 | 3-2 |
| 図 3.1.2 | 歳出と開発予算推移・率..... | 3-3 |
| 図 3.1.3 | 歳入推移 | 3-4 |
| 図 3.1.4 | 歳出推移 | 3-5 |
| 図 3.1.5 | 経常・財政収支の推移..... | 3-7 |
| 図 3.1.6 | 予算法に規定する LDF の予算交付概要..... | 3-21 |
| 図 3.1.7 | 予算法に規定する LDF の支出決定プロセス..... | 3-22 |
| 図 4.2.1 | NDA の組織体制 | 4-3 |
| 図 4.3.1 | 2017 年度 PIP 策定スケジュール | 4-5 |
| 図 5.2.1 | PIP 運営管理体制確立へ向けての課題・取組み整理 | 5-6 |
| 図 5.2.2 | Guidance and Screening の場面での課題・取組み案..... | 5-7 |
| 図 5.2.3 | Formal Project Appraisal の場面での課題・取組み案 | 5-9 |
| 図 5.2.4 | Independent Review of Appraisal の場面での課題・取組み案 | 5-11 |
| 図 5.2.5 | Project Selection and Budgeting の場面での課題・取組み案 | 5-13 |
| 図 5.2.6 | 投資ロードマップの位置づけ..... | 5-14 |
| 図 5.2.7 | Implementation の場面での課題・取組み案..... | 5-15 |
| 図 5.2.8 | Project Adjustment の場面での課題・取組み案 | 5-17 |
| 図 5.2.9 | Facility Operation の場面での課題・取組み案 | 5-18 |
| 図 5.2.10 | Completion Review and Evaluation の場面での課題・取組み案 | 5-19 |
| 図 5.4.1 | 資本支出推移と歳入に占める割合 | 5-23 |

略語集

| | |
|-------|---|
| ADB | アジア開発銀行 (Asian Development Bank) |
| BOT | 建設・運営・譲渡 (Build-Operate-Transfer) |
| BT | 建設・譲渡 (Build-Transfer) |
| CD | 能力向上 (Capacity Development) |
| CBM | 炭層メタン (Coalbed Methane) |
| CNY | 中国人民幣元 (Chinese Yuan) |
| CS | 中央システム (Central System) |
| DBM | モンゴル開発銀行 (Development Bank of Mongolia) |
| EBRD | 欧州復興開発銀行 (European Bank for Reconstruction and Development) |
| EFF | 拡大信用供与 (Extended Fund Facility) |
| ERP | 経済再生プログラム (Economic Recovery Program) |
| EU | 欧州共同体 (European Union) |
| FDI | 海外直接投資 (Foreign Direct Investment) |
| FHF | 将来遺産基金 (Future Heritage Fund) |
| FIFTA | 外国投資貿易庁 (Foreign Investment and Foreign Trade Agency) |
| FRC | 金融規制委員会 (Financial Regulatory Commission) |
| FS | 実現可能性調査 (Feasibility Study) |
| GDP | 国内総生産 (Gross Domestic Products) |
| GIZ | ドイツ国際協力公社 (Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit) |
| GGGI | グローバル・グリーン成長研究所 (Global Green Growth Institute) |
| GNI | 国民総所得 (Gross National Income) |
| HDF | 人間開発基金 (Human Development Fund) |
| IAAC | 反腐敗捜査局 (Independent Authority Against Corruption) |
| ICT | 情報通信技術 (Information and Communication Technology) |
| IFC | 国際金融公社 (International Finance Corporation) |
| IMA | 投資庁 (Invest Mongolia Agency) |

| | |
|--------|---|
| IMF | 国際通貨基金 (International Monetary Fund) |
| JCC | 合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee) |
| JICA | 国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency) |
| JPY | 日本円 (Japanese Yen) |
| JST | JICA 調査団 (JICA Study Team) |
| KOICA | 韓国国際協力団 (Korea International Cooperation Agency) |
| LDF | 地方開発基金 (Local Development Fund) |
| LDPP | 開発政策計画法 (Law on Development Policy Planning) |
| MCUD | 建設・都市開発省 (Ministry of Construction and Urban Development) |
| MDPI | モンゴル国開発政策・公共投資にかかる基礎情報収集・確認調査 (Data Collection Survey on the Development Policy and Public Investment in Mongolia) |
| MED | 経済開発省 (Ministry for Economic Development) |
| MNT | トゥグルグ (モンゴル国通貨単位) (Mongol Tugrik) |
| MOF | 大蔵省 (Ministry of Finance) |
| MONDEP | モンゴル国地域総合開発にかかる情報収集・確認調査 (Data Collection Survey on the Regional Comprehensive Development in Mongolia) |
| MOU | 了解覚書書 (Memorandum of Understanding) |
| MP | マスタープラン (Master Plan) |
| MTFF | 中期財務フレームワーク (Medium-term Financial Framework) |
| NDA | 国家開発庁 (National Development Agency) |
| NDIC | 国家開発改革委員会 (National Development and Innovation Committee) |
| NGO | 非政府組織 (Non-Governmental Organization) |
| ODA | 政府開発援助 (Official Development Assistance) |
| OIE | 国際獣疫事務所 (Office International des Epizooties, World Organization for Animal Health) |
| OT | オユトルゴイ鉱山 (Oyu Tolgoi) |
| PFM | 公共財政管理 (Public Financial Management) |
| PIP | 公共投資プログラム (Public Investment Program) |
| PPP | 官民連携 (Public-Private Partnership) |

| | |
|-------|--|
| SDC | スイス開発局 (Swiss Agency for Development and Cooperation) |
| SDGs | 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) |
| SDV | 持続的長期開発ビジョン 2030 (Sustainable Development Vision 2030) |
| SGX | シンガポール取引所 (Singapore Exchange) |
| SME | 中小企業 (Small Medium-size Enterprise) |
| TA | 技術支援 (Technical Assistance) |
| TDB | モンゴル貿易開発銀行 (Trade and Development Bank of Mongolia) |
| TT | タワントルゴイ鉱山 (Tavan Tolgoi) |
| UB | ウランバートル (Ulaanbaatar) |
| UNDP | 国連開発計画 (United Nations Development Programme) |
| USAID | 米国国際開発庁 (United States Agency for International Development) |
| USD | 米ドル (United State Dollar) |
| WB | 世界銀行 (World Bank) |
| WS | ワークショップ (Workshop) |

1 本調査の概要

1.1 調査の背景

モンゴル経済は資源開発に対する海外直接投資（FDI）の大幅流入も影響し、実質国内総生産（GDP）成長率は2011年には17.3%と経済は急成長したものの、2013年以降、銅・石炭などの鉱物資源価格の下落、資源ナショナリズム台頭によるFDIの急落、最大輸出先である中国の成長鈍化なども影響し、実質GDP成長率は右肩下がりに低下して2015年には2.3%を記録した。2011年にはGDP比4.0%であった財政赤字は2015年には8.3%、同じく2011年には32.7%であったGDP比公的債務は2015年には90.7%に拡大した。

2012年にFDIや貿易・投資促進などを目的として経済開発省が設立されたが、大元となる国家開発政策がないままの拡張主義が見直された結果、2014年11月に解体、その機能は大蔵省（MOF）に移管された。その後、2015年11月に「開発政策計画法」が策定され、開発政策策定に当たり必要となる手順や実施管理方法などに関する基本的な考え方が示された。さらに、超党派のワーキンググループにより2030年までの長期的視点に立った「持続的長期開発ビジョン2030」（以降「長期開発ビジョン2030（SDV）」と称する）が2016年2月に承認された。

同ビジョンに基づいて2016年6月29日に行われた総選挙後に発足された新政権は、政府行動計画をはじめとする中期開発政策を策定する予定となっている。また、公共事業を戦略的に実施するための公共投資計画（PIP）を策定し、国家予算で取り組む事業、官民連携（PPP）を活用して取り組む事業、モンゴル開発銀行（DBM）など政府系金融機関を利用して取り組む事業等の分類が検討されている。他方、増加する開発プロジェクトニーズをどのように中期開発政策・PIPに位置付けていくか、プロジェクトの形成から実施まで、どのように運営管理・モニタリングを行っていくかなど、不透明あるいは未確定の要素が多く、公共事業の評価を含むPIP策定に係る透明性のある合理的手続きの検討と制度化が期待されている。

モンゴル政府は並行して、既に、200件以上あるセクター毎の開発政策の整理、及び、国連開発計画（UNDP）支援によって一部アイマグ（県）において地方政府の開発政策の見直し作業を進めているが、長期開発政策・PIPとの関連性や具体的な政策の枠組みに沿った既往政策の見直し作業が喫緊の重要課題となっている。こうした中、モンゴル政府・県政府の人員・能力不足は顕著であり、旧経済開発省で課題となった事柄を教訓とした新たな対応が必要となっている。

以上のような開発政策・PIPをめぐるモンゴル政府の動向と課題を受け、モンゴル政府と国際協力機構（JICA）は同分野に対する技術協力の必要性について協議を行ってきた。それを受け、JICAでは、モンゴル政府の開発政策・公共投資並びに関連する分野における情報課題、法令・制度・各組織の役割分担、人材能力の課題、支援ニーズ及び他ドナーの支援状況などに係る情報収集・分析を行い、今後の我が国の協力の方向性、新規案件の検討に資することを目的として本調査を実施した。

1.2 調査の目的と成果

(1) 本調査の目的

本調査は、モンゴルにおける開発政策・PIPなどの現状について情報収集・関係機関での確認調査を行う。その上で、JICAの対モンゴル支援プログラムである「ガバナンス強化支援プログラム」内の公共財政管理分野に係る開発政策・PIPなど上流部分の協力の方向性について、より体系的かつ戦略的な支援方策の検討に資するため、基礎的分析・検討の結果を取り纏める事を目的としている。

(2) 調査の対象地域

モンゴル全土（主な調査拠点はウランバートル市）

(3) 期待される成果

本調査を通じて以下の4つの成果（アウトプット）が期待されている。

- ① 「長期開発ビジョン2030」に沿った中期開発政策・PIP、地域開発政策・セクター毎の産業政策・県（アイマグ）開発政策に関する関連法令・規定・組織・人員体制・予算・政府方針やその取り組み、それらと「中期財政フレームワーク（Medium Term Fiscal Framework: MTFF）」との関わり、並びに、開発政策・公共財政に係る他ドナーの支援の方向性と現状課題が把握される。
- ② 公共投資事業・PPPプロジェクト・開発プロジェクト実施サイクルの各段階（形成、承認、予算配分・支出、事業モニタリング、調達、運営・維持管理など）における国会や政府関係機関の役割、責任分担、能力等の分析、並びに効果的かつ効率的な開発プロジェクト運営監理体制確立の障害となっている課題が把握される。
- ③ 大蔵省、国家開発庁（NDA）¹、関係省庁・地方政府部局、「長期開発ビジョン2030」の策定に携わった国会事務局など関係者に向けたセミナー・ワークショップの実施して、今後取り組むべき課題について認識共有が図られる。
- ④ 開発政策・公共投資計画能力強化の為のJICA協力の基本的方向性や在り方についての提案がなされる。

1.3 調査の実施体制と関係機関

(1) 業務進捗と全体的な業務の流れ

業務計画書に示された調査内容に沿いつつ、以下の様に業務実施を行った。

国内作業-1（2016年10月）： 既往資料の整理及び本件の調査課題に関する基本認識の確認作業（一部現地政府へのヒアリングを含む）を実施し、インセプションレポートの作成を作成した。

¹ 本件、モンゴル側からの要請が提起された段階では、公共事業のとりまとめ・PIP策定は、大蔵省が所掌することが想定されていた。新政権成立に伴い、「国家開発庁」が設置された。これに伴い「開発政策計画法」が改正されて、国家レベルの開発・投資事業を所掌することとなり、また、「予算法」においても、300億MNT（約13.7億円）規模以上の案件に係るPIPの策定については、同庁がその責任を果たすこととされている。

第1次現地調査 (2016年11月初～12月初)： 現地関係者とのインセプションレポートの協議および調査団主催による第1回セミナーを開催した。このセミナーにおいて、本調査の主目的と技術的なアプローチに関して関係機関・関係者への説明と将来に向けての課題について基本的な認識を共有した。また、開発行政に係る調整機能を持ち、PIP策定の一義的責任官庁であるNDAの長官を初め主要スタッフとの協議を重ね、NDAの抱える行政面、法制度面及び人材能力面等について検討をした。

更に、PIP実施における体制的・実務的な課題について、大蔵省とNDAをはじめとする各役所の機能、役割分担・調整問題等の問題に関して、国務常任委員会委員長との意見交換を行い、モンゴルに最も適したPIP導入の可能性について、制度面、人事面における課題を確認した。

同時に、持続可能な開発目標(SDGs)を含む開発行政の執行能力及び財政計画策定能力強化に関心を持って支援を進めている諸ドナーへのヒアリングを実施し、それぞれの援助方針と課題について情報収集・確認調査を実施した。

国内作業-2 (2016年12月)： 上記、現地調査において収集した情報を整理すると同時に、現地政府・関係者の要望をベースに、我が国として、如何なる援助が求められるか、その方法性に関して「仮説案」を検討した。

第2次現地調査 (2017年1月中旬～2月初)： 仮説案の妥当性を確認するための現地調査であるが、大きくは3つの業務を実施した。

先ず、NDAは、2017年5月15日の政府提出が法的に義務付けられたPIP策定業務に向けて、各省庁に対して10件までに限定した優先案件の提示を求めたが、その評価検討会を2017年1月26日、27日の2日間に亘って実施した。当検討会は、NDAの主務機能の一つとして認識される「省庁間の調整機能」を果たすための重要タスクと認識されるが、調査団としては、その実際の業務プロセスを観察すると同時に、必要なアドバイスを行う必要があると判断し、セミナーの一環としてこの2日間検討会の実施を支援した。

第二に、法で定めるPIP策定業務の実務的な各プロセスで、今のモンゴルの現状においてどのような課題が存在しているか、その解決に向けてどのような方策が求められるかについて、調査団が現地で把握認識した事項について、NDA及び大蔵省関係者に向けたワークショップを実施した。このワークショップにおいて、特に、大蔵省とNDAとの制度・行政面、実務的な業務面での調整課題についての認識を深めた。そのワークショップの最後に、そうした課題認識をベースにして、JICAとして進めるべき支援の重点項目案を提示し、出席者からの意見を求めた。

第三に、主要ドナーへ第2回目の聞き込み調査である。ドナーの実施プログラムの詳細情報の入手と、JICAが検討している技術協力プロジェクトとの間でどのような調整が必要になるか、その確認が主目的であった。

尚、この現地調査を通じて、JICAモンゴル事務所からは各行事への参加のみならず、その都度、貴重なアドバイスや示唆を受けた。

(2) 本調査で協議をした関係機関

現地調査期間中に、面談・ヒアリング等を通じて協議した機関は以下の通り。

「モ」国政府機関：

- ・ 国会国務常任委員会委員長
- ・ 首相府官邸（首相経済上級顧問、開発行政担当官）
- ・ 大蔵省（経済政策局、財政政策計画局、投資予算局、開発財政局）
- ・ NDA（長官、副長官、開発政策計画課、部門開発政策調整課、投資政策統合課）
- ・ 建設都市開発省、道路運輸開発省、エネルギー省、鉱業・重工業省、食糧・農牧・軽産業省、自然環境・観光省、法務・内務省、外務省、教育・文化・スポーツ省、国防省、ICT 関連等、ほぼ全省の政策計画局担当者
- ・ モンゴル開発銀行（DBM）

大蔵省への支援を実施するドナー：

- ・ アジア開発銀行（ADB）、欧州共同体（EU）/ドイツ国際協力公社（GIZ）、世界銀行（WB）、韓国国際協力団（KOICA）

国家開発庁（NDA）への支援実施の意向を持つドナー：

- ・ UNDP、GIZ、国際金融公社（IFC）

有識者：

- ・ 「長期開発ビジョン 2030」策定のワーキンググループの主要メンバー

2 モンゴル開発政策の体系

2.1 新政権における省庁再編

2016年6月の総選挙によって成立した新政権の下で、省庁再編成が実施された。再編成された省庁及び閣僚ポストを表2.1.1に示した。新政権下においては、旧産業省が所掌していた3部門が解体され、産業政策関連部門が新設の「国家開発庁（NDA）」に、軽工業部門が「食糧・農牧業・軽工業省」に、また、重工業部門が「鉱業・重工業省」に統合されることになった。新政権が発足して、開発行政及び運営体制は大きく変わりつつある。この省庁編成に伴い、国家開発の調整機関として首相直轄のNDAが創設されるなど、長期開発ビジョン2030（SDV）の実現に向けた行政体制が整備されつつある。

表 2.1.1 モンゴル政府機構図

| 省及び閣僚ポスト | | 調整エージェンシー | 実施エージェンシー |
|----------------|-----------------|--|---|
| | 首相 | 諜報庁 国有財産委員会 情報技術・郵政・通信庁 国家開発庁 | |
| | 副首相 | 非常事態庁 公正競争・消費者庁 規格・度量衡庁 専門監察庁 | |
| 内閣官房庁 | 内閣官房長官 | | |
| 自然環境・観光省 | 自然環境・観光大臣 | | 気象・環境調査庁 |
| 外務省 | 外務大臣 | | |
| 大蔵省 | 大蔵大臣 | | 関税庁 国税庁 |
| 法務・内務省 | 法務・内務大臣 | 警察庁 国境警備庁 | 国家登記・知的財産庁 裁判執行庁 公文書所管理庁 外国人・国籍管理丁 |
| 建設・都市開発省 | 建設・都市開発大臣 | | 土地・測地・地図庁 |
| 国防省 | 国防大臣 | 国軍参謀本部 | |
| 教育・文化・科学・スポーツ省 | 教育・文化・科学・スポーツ大臣 | | 体育・スポーツ庁 文化・芸術庁 |
| 道路・運輸開発省 | 道路・運輸開発大臣 | | 民間航空庁 |
| 鉱業・重工業省 | 鉱業・重工業大臣 | | 鉱物資源庁 原油庁 |
| 食糧・農牧・軽工業省 | 食糧・農牧・軽工業大臣 | | 家畜衛生・繁殖庁 |
| 労働・社会保障省 | 労働・社会保障大臣 | | 健康・社会保険庁 社会福祉サービス庁 家族・児童・青少年開発庁 |
| エネルギー省 | エネルギー大臣 | | |
| 保健省 | 保健大臣 | | |
| 内閣官房庁+13省 | 16閣僚 | 29エージェンシー | |

出典：JICA 調査団

2.2 開発計画法に基づく開発行政の体系

開発行政では、国家開発政策に係る見直しが行われ、「開発政策計画法（LDPP）」が2015年11月26日に承認された。これまで、国家開発政策については、中央、地方、セクター別の各レベルでそれぞれのタイムフレームごとの戦略や政策、計画が多く存在していた。しかし、法整備が不十分であり、政策間の調整や計画策定の制度、方法論が確立しておらず、開発政策の資金源も明確に定められていなかった。このような背景から、開発政策の計画、実施、モニタリング評価に関する基本原則や手続きを定義し、開発政策担当機関の権限と責務を定めて、一体的な開発政策計画システムを構築することを目的とした法律を策定した。

同法では、開発政策を期間別、レベル別（中央、地方、セクター）に分けて整理し、策定機関、モニタリング制度、承認機関を定めている（表2.2.1）

表 2.2.1 開発政策計画法に規定された政策文書

| | 政策文章 | 期間（年） | 策定機関 | 承認機関 | モニタリング、評価 |
|----|--------------------|-------|--------|-------|----------------------|
| 長期 | 国家開発ビジョン | 15-20 | 内閣 | 国会 | 大蔵省 4年毎 |
| | 国家政策 | 8-10 | 中央行政機関 | 内閣 | 各省-2年毎、 第三者評価-4年毎 |
| | 地域開発政策 | | 国家開発庁 | 内閣 | 各省-2年毎、 第三者評価-4年毎 |
| | 県、市開発方針 | | 知事 | 県、市議会 | 県、市-2年毎 第三者評価-4年毎 |
| 中期 | 政府アクションプラン | 3-5 | 内閣官房庁 | 国会 | 各省-2年毎、 内閣官房庁-評価 |
| | 県知事アクションプラン | | 知事 | 県、市議会 | 県、市-2年毎 |
| | 国家プログラム サブプログラム | | 中央行政機関 | 内閣 | 各省-毎年 |
| | 公共投資プログラム | | 国家開発庁 | 内閣 | 2年毎 |
| | 経済、社会開発基本方針 | 1 | 大蔵省 | 国会 | 毎年 |
| 短期 | 県、市、ソム、区経済社会開発基本方針 | | 地方行政機関 | 県、市議会 | 毎年 |
| | 国家、地方予算 | | 大蔵省 | 国会 | 毎年 |

出典：モンゴル開発政策計画法より調査団が作成



出典：NDA

図 2.2.1 開発政策の関連図

2.3 持続的長期開発ビジョン 2030

2016年2月に国会承認された「モンゴル国持続的長期開発ビジョン 2030（以下、長期開発ビジョン 2030）（SDV）」は、新政権においても基本的開発指針となる国家の大方針である。その中で、2030年までの目指すべき10の目標（Goals）と達成のための具体的な20の指標（Key Result Indicators）を示している。

2030年目標

1. 1人当たり GNI が USD 17,500 を達成し、一人当たり所得ベースで高中所得国入りする。
2. 2016-2030年の間における平均経済成長率が 6.6%以上となる。
3. あらゆる形態の貧困をなくす。
4. 所得格差が縮小し、人口の 80%が中流・上位中流階級層に入る。
5. 基礎教育・職業教育機関への入学率が 100%を達成し、生涯学習システムを設立する。
6. 健康と長寿のために生活環境を改善し、平均寿命を 78 歳まで延ばす。
7. 人間開発指数で 70 位以内に入る。
8. 生態系バランスを保全し、グリーン経済指標で 30 位以内に入る。
9. Doing Business Index で 40 位以内となり、国際競争力指数（Global Competitiveness Index）で 70 位以内に入る。
10. 専門性の高い、安定した、また汚職のない参加型ガバナンスを作り、あらゆるレベルでの開発政策の実施能力を高める。

表 2.3.1 2030 年達成指標

| | 指標 | ベースレベル(2014) | 目標値(2030) |
|----|-------------------------------|--------------|---------------------|
| 1 | 年平均成長率 | 7.8% | 6.6% (2016-2030 平均) |
| 2 | 一人当たり GNI | USD 4,166 | USD 17,500 |
| 3 | 人間開発指数 | 90 位 | 70 位 |
| 4 | 平均寿命 | 69.57 年 | 78 年 |
| 5 | 貧困度 | 21.6% | 0% |
| 6 | 国際競争力指数 | 104 位 | 70 位 |
| 7 | Doing business index | 56 位 | 40 位 |
| 8 | 環境パフォーマンス指標 | 111 位 | 90 位 |
| 9 | 経済活動人口における社会保険カバー率 (カバー人口割合) | 84.4% | 99% |
| 10 | ジニ係数 | 36.5 | 30 |
| 11 | 乳幼児死亡率 (1,000 人当たり) | 15.1 | 8 |
| 12 | 妊産婦死亡率 (100,000 人 当たり) | 30.6 | 15 |
| 13 | 高校一クラス当たり平均生徒数 (国平均) | 27.3 人 | 20 人 |
| 14 | 国際獣疫事務局認定 (OIE) の伝染病フリー国際貿易地域 | 0% | 60% |
| 15 | 砂漠化地域 | 78.2% | 60% |
| 16 | 特別保護区の面積 | 17.4% | 30% |
| 17 | モンゴルへの海外旅行者数 | 39.2 万人 | 200 万人 |
| 18 | 電気アクセス率 | 89% | 100% |
| 19 | 輸出額に占める加工製品割合 | 17% | 50% |
| 20 | 石油製品の自給率 | 0% | 100% |

出典 : Mongolia Sustainable Development Vision 2030

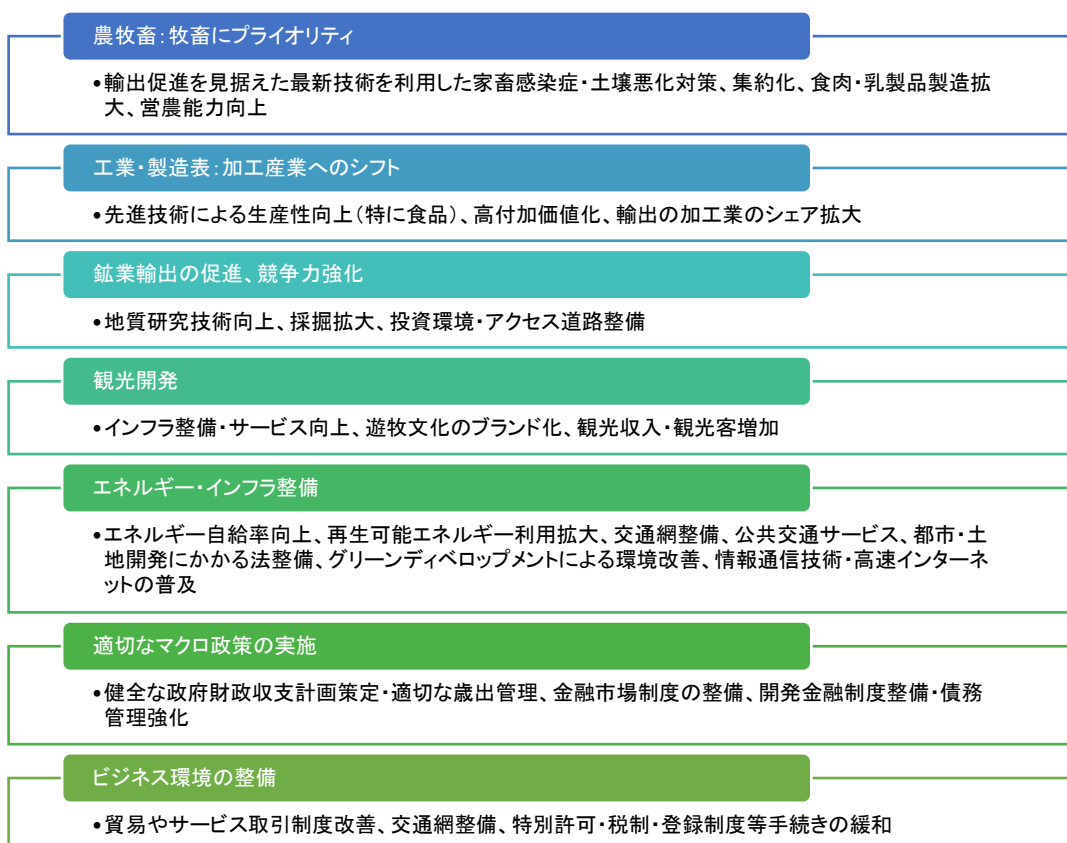
また、下図で示すような 4 つの政策に分けて、政策ごとに具体的な目標を定め、さらに 5 年ごとの 3 フェーズに分けてベンチマークを設定している。それらの具体目標は、中期開発政策や政府アクションプラン、年次社会経済開発ガイドライン、国家予算に組み込まれ、実施される。

| 1. 持続的な経済開発 | 2. 持続的な社会開発 | 3. 環境持続性 | 4. ガバナンス |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 農業 観光 産業 鉱業 エネルギー・インフラ マクロ経済政策 ビジネス環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> 包括的成長による社会的平等 医療制度の質、アクセス、機能の向上 知識基盤社会の開発とモンゴル国民の技術向上 | <ul style="list-style-type: none"> 総合水資源管理 気候変動への対処 生態系バランス | <ul style="list-style-type: none"> 行政の政策策定・実施・モニタリング力の強化 行政機関のリーダーシップの向上・ガバナンスの透明性と説明責任の確保 政治家・行政官の倫理向上・汚職撤廃 |

出典: Mongolia Sustainable Development Vision 2030 を基に JICA 調査団作成

図 2.3.1 長期開発ビジョン 2030 の4つの政策

なお、先に説明したように、開発政策計画法は、長期開発政策（長期開発ビジョン 2030）及び中期・短期政策について規定している。同法において、長期開発ビジョンがモンゴルの開発コンセプトとなり、国政・地方選挙の際には、候補者は選挙公約を開発コンセプトに沿った形で作成する義務があることが定められている。



出典: Mongolia Sustainable Development Vision 2030 を基に JICA 調査団作成

図 2.3.2 戦略 1「持続的経済開発」の戦略

これら提案された政策は、いずれも合理的で適切なものと評価されるが、特に、政策 1 の「持続的な経済開発」においては、農業、観光、産業、鉱業、エネルギー・インフラの主要セクターに加え、マクロ経済政策及びビジネス環境整備における戦略を策定している。各セクターおよびマクロ政策の基本原則と戦略については、図 2.3.3 にまとめたとおりである。具体的には、家畜の感染症対策や集約化、営農能力向上などの農牧畜の強化、加工業へのシフトと加工品輸出促進、貿易取引や投資制度改善など、産業多様化、輸出国際競争力強化、投資促進による経済成長を目指すとともに、国際競争力向上のためのエネルギー自給率向上や交通網整備、通信サービス改善、観光開発のためのインフラ整備やブランド化などを目標としている。

マクロ経済政策の戦略は、中期的な債務管理戦略や管理コストの削減、債務シーリングの厳守など適切な債務管理を実施することと、適切な国家財政管理（収支計画策定・支出管理）である。

マクロ経済 基本原則

- 平均成長率6.6%以上の持続的な経済成長達成。
- 財政赤字削減。
- 適切な財政収支の維持。
- 債務シーリングの遵守。
- 国際市場や物価変動へのリスクヘッジ。
- 外貨準備高の確保。
- 貿易収支黒字と為替の安定。
- 銀行・金融セクターの持続性・信頼性・説明責任の保証及び適切な与信・金利政策。
- 国際経済協力機関との連携。
- 官民連携の促進、国際協力資金や長期譲許的融資の活用、国際金融機関との協力

セクター開発 基本原則

- 高い生産性を確保する最新技術の導入、イノベーションを用いた新たな製品・サービスの生産奨励。
- 資源効率的な生産方法の奨励。
- 全ての経済・社会セクターにおいて効率性・有効性の原則の遵守。

出典: Mongolia Sustainable Development Vision 2030 を基に JICA 調査団作成

図 2.3.3 マクロ経済政策の戦略

2.4 公共投資に係る政策基盤（改定予算法）

マクロ経済見通し作業と連動して、モンゴル国政府部門の財政再建が新たな政治課題となっている。大蔵省は、財政再建に向けた「経済再生プログラム(ERP)」を策定しており、2017年に求められる債券償還の原資をどの様に工面するかが当面の課題となるが、この財政プランは、同時に、政府部門における公共投資の財政能力を示唆する事になる。

これに関連して、国際通貨基金(IMF)を中心とする国際援助機関による支援をどの様に受け止めるか、その後の財務政策に大きな影響を及ぼす重要判断を控えており、これらを考慮した中期展望の公共投資プログラム(PIP)の策定が必要となる。新政権下で採択された「アクションプラン」はあくまでも政治的な「ウィッシュリスト」であるが、現実的な財政的制約を踏まえた「アクションプラン」を想定した「公共投資プログラム(PIP)」を見定める必要がある。そのため、アクションの内容精査と優先順位を巡る政治調整及び省庁間調整が求められる。

法的な枠組では、公共投資プログラム(PIP)策定の主管庁が今までの大蔵省からNDAに変更されている。改定法では、PIP策定プロセスでリストアップされた事業の事業審査は、NDAの責任のもとに実施する(予算法28.6)、事業審査に相当する効果測定は大蔵省が実施する(予算法28.11)と規定されている。一方、開発政策計画法では、PIPのプログラム評価を2年毎に実施することが規定された。このように、公共投資に係る政策基盤の枠組みが整備されているが、PIP策定時の事業の優先度基準、財源の確保、手続きの具体化、案件評価の基準等の詳細規定が策定されていない。

開発計画と財政のバランスが重要であり、各関係機関の連携、財源とのすり合わせが求められる中NDAの調整機能、大蔵省との役割分担、協議・共同が期待される。

2.5 政府アクションプラン

2016年10月、新政権下において、長期開発ビジョン及びマニフェストに基づき、各省庁（ウランバートル特別市を含む）は、政権期間内に実施する重要政策及びプロジェクトの選定作業を実施し、それらを「アクションプラン(2016-2020)」として取りまとめている。モンゴル政府としては、基本的な政策方針として以下の5政策を掲げ、それぞれ優先すべき施策方針が謳われた。

1. 経済危機を乗り越える特別政策
2. 経済の安定的成長を支援する政策
3. 社会政策
4. 自然環境、グリーン開発政策
5. ガバナンス政策

この内、「1. 経済危機を乗り越える特別政策」及び「2. 経済の安定的成長を支援する政策」に係るアクションプランを表2.5.1に取りまとめた。この表から解る様に、主要な政策目標に対して、多種多様な施策方針及びアクションが掲げられており、それぞれが目的とするところは、「長期開発ビジョン 2030」が求めるところと本質において逸脱していない様に見受けられる。しかし、施策やアクションを実施する上での相互連携の在り方、財政需要の見通し及び優先順位等に関する詳細な検討結果は出されておらず、今後、新政権が取り組む重要な課題として認識される。

表 2.5.1 モンゴル政府アクションプラン(2016~2020年):抜粋

| 政策の柱 | 施策・アクション |
|--|---|
| <p>経済危機を乗り越える特別政策:</p> <p>経済危機を短期間で乗り越え、マクロ経済のバランスを確保、経済の多角化を図り、資源の価格に左右されることをなくし、中期的に直面する国債返済による圧力を緩和することで、経済の免疫を高め、中期的に持続的に拡大する政策を実施する。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 経済危機を短期間で乗り越え、安定化プログラムを策定する。 2 マクロ経済の持続性を確保、海外、国内の投資を増加させる。 3 財政の一貫性の確保、予算外支出の中止、公共投資に係る政策、企画を改善することで効果を上げる。 4 財政管理の強化、非効率な支出の削減、経費削減をすることで予算損出を減少させる。 5 地方開発ファンドの支出について効率性・透明性を確保する。 6 市民、企業、国の借金問題を解決し、市民の生活を支援し、所得を増加する。 7 公共事業の受注者で代金が未払いの個人、企業への支払いを行う。 8 国債の条件を軽量化、返済期限に関する交渉、協議を行い、財政赤字を段階的に緩和する。 9 “価額の安定化”プログラム枠で交付されたローンの評価し、効率を上げる。 10 開発銀行の債権、借款の実績、実施した案件、プログラムの評価を行い、不適切な利用や支払期限が超過したローンの返済を進める。 11 新種類の税金を増やさない、国内の産業振興政策の枠内で特定の分野で事業を行っている、年収15億MNT以下の企業に対する所得税を1%まで減税する。 12 企業や個人の所得税を収入によって格付けする。 13 個人所得税の免減税措置は最低賃金との組み合わせを考慮した法整備を行う。 14 国内の投資家を全面的に支援し、最初の投資がリカバリーするまで、税金の減額、免除等の法的措置を取る。 15 税金滞納の国内企業に対する延滞税、罰金、利息、納税期限の延長、差し押さえ |

| | |
|------------------------------|---|
| | <p>れた口座の再開等の支援を行う。</p> <p>16 経済危機の影響で就職や収入が圧迫され、債務返済が遅延し“債務者ブラックリスト”に登録された企業や個人に債務の返済、債務履歴を改善する機会を与える。</p> <p>17 5年以上継続して経営し、雇用創出しているSMEに対する長期のソフトローンを交付する。</p> <p>18 公共サービスに対するサービス料、手数料を減額する。</p> <p>19 国家から経営者に許認可数を1/3まで減らし、有効期限を延長、重複している管理、監査をなくす。</p> <p>20 経済危機を乗り越え、脆弱した状況から脱出、リスク削減するために国際機関や地域の金融機関と協力する。</p> <p>21 パートナー国、国際金融機関との協議会を開催する。</p> <p>22 経済の基本的指標やモンゴル国の国債格付けを向上せ、外国投資家の信頼を回復させる。</p> <p>23 “Made in Mongolia”プログラムを実施し、産業セクターの競争能力を向上させる。</p> <p>24 “Erdenes Mongolia”社、OTプロジェクトを推進し、TT等の戦略的鉱床を動かす。</p> |
| <p>経済の安定成長を支援する政策</p> | <p>1 モンゴル国のGNIを増加し、高中所得国に復興させる。</p> <p>2 モンゴル国の産業マップを作成し、重工業開発プログラムを策定する。</p> <p>3 モンゴル国で生産した製品の5割以上を輸出している鉱業分野以外の企業を徴税策で支援する。</p> <p>4 全国民が所有している株の価値を上げる。</p> <p>5 OT, TT, Erdenet等のメガプロジェクトによる利益を国民に分配する機会を創出する。</p> <p>6 メガプロジェクトを実施している企業に国から交付する融資の期限を延長、利子を減額する環境を整備する。</p> <p>7 国民にやさしい、経済に利益を与える金融市場を構築する。</p> <p>8 標準、測量に関する法律条例を国際基準に合わせて改定し、“国家品質プログラム”を実施する。</p> <p>9 商品の競争力を向上、取引上の技術的障害をなくすために、標準・測量の評価を受け入れ、導入するメカニズムを適応する。</p> <p>10 産業用の蒸気、水、暖房、電気等の料金の安定化を図り、徐々に減額策を取る。</p> <p>11 畜産材料の出荷、輸送、加工、一貫性のあるシステムを構築する。</p> <p>12 フリーゾーンの活動を強化し、外国や国内投資を支援する。</p> <p>13 市場の公正競争を支援し、消費者の権限を守る法整備を強化する</p> <p>14 国内産業を通関、徴税政策で支援する。</p> <p>15 輸出のワンストップ政策を実施し、通関、徴税、監査等の公共サービスを一箇所に集中させ電子化する。</p> <p>16 融資条件が優遇された“(低金利の)信託ローン”を交付し、SME、ファミリービジネス、零細ビジネス経営者を支援する。</p> <p>17 地方、遠隔地域でビジネスを支援する“地域の補助”政策を実施する。</p> <p>18 燃料価額を世界水準に合わせる。</p> <p>19 食糧、農牧畜、軽工業部門の持続的開発を支援する目的で“健康な食糧—健康なモンゴル人”プログラム、“産業化21:100”プログラム、“国内産業”プログラム、“食肉、ミルク”プログラムフェーズIをスタートさせ、農地開拓キャンペーンフェーズIII¹を継続させる。</p> |
| <p>食品産業分野:</p> | <p>1 国民の食糧供給を安定化させ、戦略的食糧供給の季節的影響を減少させる目的で“食肉、ミルク”プログラムのフェーズIを実施、国民に健康かつ安全な商品を供給す</p> |

¹ 農地開拓キャンペーンIIでは、農業開発の機械・機材の更新、技術導入を推進し、結果的には年間850トンの小麦栽培に成功、国内の自給率を上げた。従って、農地開拓キャンペーンIIIにおいては、使用されないで放置された農地を開拓し、引き続き機械更新を行うことで、生産量を増加させている。

| | |
|------------------|---|
| | <p>る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 食料品の競争力を向上させ、付加価値のある商品を輸出できる環境作りを行う。 3 オーガニックやマクロビオティック食品の法的環境を整備し、この分野の産業振興に係る資金、投資、徴税政策を実施する。 4 県、市、ソム、定住地の需要にあった最新技術の小中型の食品加工工場のモデル工場の建設を支援する。 5 食品の安全に関する登録、情報総合データベースを構築する。 6 市民に健康かつ安全な食品を提供する環境を整備し、食品の生産、加工、保存、輸送、販売システムを構築、食品安全を改善する。 7 国内の食糧商品の種類を増加、鶏、豚、蜂、魚等のサブプログラムを実施し、商品の供給を拡大する。 |
| 畜産業: | <ol style="list-style-type: none"> 1 畜産業の生産性の向上、経済の循環を改善、最新の機械、技術改革、イノベーション導入する目的で“モンゴル家畜“国家プログラムの実施を強化する。 2 “国家による遊牧民政策”、“モンゴル遊牧民”、“家畜化”プログラムを実施する。 3 放牧や集約的牧畜、農場を複合することで食肉、肉製品の輸出を支援、年間の輸出量を5万トンまで上げ、遊牧民の家庭収入を増加させる。 4 牧畜業の専門家の育成、再訓練、牧畜業の開発について他国の経験から学び、導入、“遊牧民対象の知識、情報提供”プログラムを実施する。 5 畜産業対象のソフトローン、投資、保険、徴税の柔軟な政策を実施、畜産原料の価格下落の防止、遊牧民の負担減少に向けた直産業の開発支援特別ファンドの拡大、遊牧民世帯の収入、生活保障を確保する。 6 家畜の登録、畜産原料の収集、集荷の質、標準の向上、原産地を明確する制度を構築する。 7 遊牧民を住宅化プログラムに参加させ、福利厚生対策を取る。 8 獣医制度を国際基準に合わせ、業務の円滑かつ一貫性を確保、家畜感染症の予防、管理、対策戦略を国境ケートウェイに基づいて、ゾーニングで実施、牧畜産業の原料、商品輸出の可能性を高める。 9 家畜の頭数を品質に変換し、効率性を高める、遺伝資源の保護、育種を科学的に実施、バイオテクノロジーの新技術の導入、新種の開発、地域の育種ユニットのキャパシティービルディングを行う。 10 地域の家畜の飼料工場の建設事業へのローン支援、飼料の安全な備蓄を増加する。 11 地方の住民、家畜の上水供給を増加する目的で草地での井戸、人工池の建設、管理メンテナンスを改善する。 12 草地の効率性を高める、再生、腐敗や砂漠化の防止対策、草地に被害を及ぼす昆虫類と環境にやさしい最新の技術で戦う。 13 家畜の安定的な成長を支援する家畜の遺伝子資源に関する、家畜の健康に関する、牧畜の開発に関する法律をそれぞれ整備・実施する。 14 牧畜業の伝統的なスタイル、知恵を保護、家畜の頭数、種類、構成の適切な 守る、集約的牧畜の開発プログラムを実施する。 |
| 荒廃農地を優良地に | <ol style="list-style-type: none"> 1 農地の稼働率を改善、農業や集約的牧畜を開発する地域を特定し穀物、ジャガイモ、主要野菜需要100%、飼料の50%を国産で賄う。 2 果物の種類、生産性を増加し、シーバクソン生産の統一ネットワークの構築、市民に栄養豊富な果物の供給、輸出収入を増加させる。 3 土地の栄養、生産性を上げ、ハウス栽培を集積、種の種類、品質を増加する。 4 耕作の総合的な事業を 農地の腐敗、立枯れ対策し、有機質を高め、輪作等の新技術を段階的に導入する。 5 水の探査、調査に基づいた灌漑システムの新設、改修、新技術、機械の導入を支援することで灌漑農地の面積を毎年増加する。 |

| | |
|--------------------------|---|
| | <ol style="list-style-type: none"> 6 冬、夏のハウス栽培のモデル、集積農家を開発し、市民に新鮮な野菜を提供する。 7 農業の最新技術、機械、肥料等を徴税政策、リース等によって支援する。 8 倉庫、貯蔵、エレベーター、脱穀の機械、機器のキャパシティー向上、保存・販売の総合的システムを構築する。 9 農業の保険に関する法制度を整備する。 |
| <p>”国産”プログラム:</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 輸入代替の製造業の SME と輸出志向の法整備、商業、サービス産業における法整備、ビジネス環境の改善、付加価値の商品製造の国内生産量を増加させる。 2 農牧産物、商品の価額調整に関する法整備を行う。 3 軽工業、SME を対象に長期の投資やソフトローン政策を実施する。 4 ウール、カシミア、皮革の原材料の出荷、輸送、安定的な供給制度、原材料の備蓄を構築する。 5 国際の商業や隣国の国境ゲートウェイ地域での商業ビジネスを支援する。 6 軽工業、SME の人材育成、再訓練、研修制度を開発、” 専門士 ” プログラムを実施する。 7 軽工業部門の開発目的で情報提供、研修等開催する情報センター、インキュベーターセンターを専門協会の協力の下で設立する。 8 海外の高度かつ先進技術を有するフランチャイズ工場を取り入れ、軽工業、SME 分野の”開発モデル”工場の建設を支援する。 9 軽工業分野で世界で優れた先進技術、機械の展示会をモンゴルで定期的に開催し、海外で開催する展示会に国内の製造者を参加させる。 10 軽工業パークを開発し、軽産業分野の工場・企業の連携強化、クラスター開発を政策的に支援する。 11 農業取引場を通して販売される商品、原料の種類、種目を増加し運営を改善する。 |
| <p>鉱業、重工業</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 地質、工業分野における投資環境の改善、鉱業分野の持続的開発の確保、国際市場におけるモンゴルの競争力を高める。 2 モンゴル国の地質マップ、基本探査、地球物理学、地球化学、水質、エコロジー調査を増加することで鉱業分野の持続的な開発を支援する。 3 国際基準に従い、国家地質機関、国家地質情報データベースを構築、情報提供を軽量化する。 4 地質、鉱業分野における投資を誘致する環境を整備、互恵的に利益のあるプロジェクト、プログラムを共同で実施する。 5 鉱業分野における国の参加を適切に行い、地籍登録システムの改善、許認可の発行手続きを緩和する。 6 原油の探査、発掘、採掘事業を拡大する。 7 国家鉱物資源政策の 3.1.2 に基づき、個人が微小鉱業分野での労働を法律に準じた組織的及び組合形態で協働する環境を整備し、関連する法整備環境を改善する。 8 鉱業に係るインフラ開発の長期計画を立案、セクター間の連携を強化する。 9 鉱業に関する研究機関を設立し、鉱物資源の投資環境を改善する。 10 第 2 鉱物資源の利用に関する法整備を構築、鉱業の自然再生、閉鎖を国際水準にする。 11 ” 金 II ” プログラム実施における資金調達をモンゴル銀行と共同で解決する。 12 金の採掘を増加、微小鉱業家によって採掘された金の売買に関する法整備を構築する。 13 原油の採掘を増加させ、原油加工工場を建設する。 14 銅精錬所の建設事業を支援する。 15 ダルハン、セレンゲ地域での製鉄パーク建設事業を支援する。 16 選炭、石炭の加工、ガス化事業を政策で支援する。 17 液化燃料、燃料炭工場の建設事業を政策で支援する。 18 メタル構造、架設工場を開発する。 |

| | |
|--|---|
| <p>インフラ、建設、都市開発分野:</p> <p>市民の健康かつ安全な生活環境を整備した都市、市街地の計画、自然環境、人間の健康の条件に合った建設事業を支援、安全、リーズナブルな渋滞供給を政策で支援する。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 住宅ローンの条件を緩和、ローンプログラムを多様なパターンで実施する方針で、ローンの規模、対象を拡大する。 2 市民の住宅需要を充足する目的の総合的な政策を策定し、“安価の住宅”プログラムを実施する。 3 規定、基準の手続き制度を国際基準に近づけ、国際的な規定、基準手続きを使用できる環境整備を行う。 4 人口の定住、移住に関する基本計画を地域、集積定住地の制度を合理的に設定する方向で段階的に実施する。 5 土地に関する総合政策、制度を構築、土地利用、占有、所有に関する法整備を改善する。 6 モンゴル国全土を完全にマッピングし、改定、地形総合データベースを構築することで空間的情報を一般的にする。 7 UB 開発に関する法整備を構築する。 8 UB 市マスタープランと整合して“ストリート”、“自転車路” サブプログラムを実施する。 9 UB 市、アイマグセンターのグリーン施設を 3 倍に増加する方針を守る。 10 UB 市やその他都市の再開発の枠内で施設の再建、ゲル地区の再開発のプロジェクト、プログラムを実施し、大気汚染を削減する条件を整備する。 11 都市、市街地で新たに建設される住宅地のインフラ整備において、地下システムを計画し、段階的に実施する。 12 建設費用を削減、建設期間の延長、建設の重量を軽量化、熱ロスの削減、耐火性の向上に向けた建築機材製造の開発政策を実施する。 13 都市、市街地における地震発生の頻度、リスクの再設定、耐震設計に反映、既存の建築物の安全性の向上に向けた対策を段階的に計画し、実施する。 14 国家公共サービスに関する政策を都市、市街地における都市開発マスタープランに反映させて実施する。 15 UB 市での新たに計画されている住宅地区において飲料水とその他の一般水を別々に計画、利用済み水をグレイ水の標準まで再利用し、下水槽システムやグリーン施設用に再利用するなど技術を導入する。 16 都市、市街地の開発マスターに連携させた外国、国内の投資によって UB 市やその他都市の下水処理場を段階的に改修する。 17 処理したリサイクル水や土壌水を工場で使用できる可能性を探る。 18 ワイヤレスインターネットの範囲を拡大、レジャー地域、図書館等での利用を可能にする。 19 UB 市の上水供給を改善するためにトゥーラ、セルベ、ドゥンド川の流量を拡大し、川岸でレジャー用の環境を整備する。 20 UB 市の住宅地区、公共スペースの駐車場を 2 倍まで増加する。 21 UB 市のセルベ、バヤンホシューサブダウンタウンのインフラ整備事業を完成させる。 |
| <p>エネルギー分野:</p> <p>国の経済の安全保障となるエネルギーの安定的かつ信頼できる供給を確保し、輸出を目指す。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 既存の火力発電所のキャパ拡大、改修事業を進行する。（チョイバルサン発電所、UB 第 3 火力発電所） 2 エネルギーの安定的供給を確保するために新たな発電所の建設、南ゴビの鉱業地域を供給する TT 石炭を使った火力発電所の建設事業を進行する。 3 Shivee-Ovoo, Tevshiin gobi 等の石炭鉱床を活用した輸出志向の大規模火力発電所、直流送電線建設事業を実施する。 4 再生エネルギーを適切な比率で開発する。 5 地域のエネルギーシステム、重工業、主な消費者、エネルギー源を結ぶ送電線、サブステーションを建設し、エネルギー総合システムを構築する。 6 アイマグセンターや都市、市街地のヒーティングプラント、パイプラインの新設、 |

| | |
|---|--|
| | <p>増築等のエネルギー供給を段階的に実施する。</p> <p>7 ソムセンターを CS に完全に繋ぎ、再生エネルギーや CBM に基づいた集中インフラ施設及び暖房、上下水道システムに繋ぐ事業を段階的に実施する。</p> <p>8 省エネ、効率性の向上、エネルギーロスの削減、イノベーションレベルの新技術の導入で具体的な対策、プロジェクト、プログラムを実施する。</p> <p>9 暖房、電気コストを安定化し、今後段階的に下げる政策を実施する。</p> <p>10 TT や中央地域の石炭鉱床対象に断層ガスの詳細調査を行い、利用可能な資源を確定、地域のガス供給に利用するモデルプロジェクトを実施することで、新機械、技術に基づいた石炭のガス化、無煙燃料製造の工場を建設し、大気汚染を削減する。</p> |
| <p>道路運輸分野:</p> <p>経済成長を支援する、社会のニーズに合った安全かつ快適な道路、輸送、ロジスティックネットワークを開発する。</p> | <p>1 国際、長距離や地方レベルの舗装道路ネットワークの拡大、各県センターを干そう道路で結び、ミレニアム道路を進行する。</p> <p>2 TT-Gashuun Suhait, Huut-Bichigt 方面の鉄道建設事業を実施する。</p> <p>3 TT-Gashuun Suhait 鉄道から OT 鉄道、Shiveehuren-Sehe 方面のゲートウェイ鉄道を建設する。</p> <p>4 Zuunbayan-Hangi 方面の鉄道建設事業を開始する。</p> <p>5 UBTZ の技術改良を図り Bogd Han 鉄道建設事業を開始する。</p> <p>6 Erdenet-Ovoot 方面の鉄道建設事業を開始する。</p> <p>7 国内や国際輸送、ロジスティックネットワークを開発、“Hushug 谷”(新国際空港周辺)にロジスティックセンターを建設する。</p> <p>8 国家航空輸送分野政策に基づいた国内や国際便のフライト数を増加させ、競争を支援することでフライト費の削減に努める。</p> <p>9 小型飛行機、ヘリコプター市場を拡大し、災害対策、食糧、農牧業、救急治療、民間航空、観光分野で利用する。</p> <p>10 交通セクターの国際交流を拡大、地域のインフラ、輸送ネットワークに介入することでトランジット輸送を開発する。</p> <p>11 モンゴル、ロシア、中国の 3 カ国協力メカニズムにおいて地域協力計画センターを設立、インフラ分野で合意された FS 調査を実施する。</p> <p>12 国内の河川、湖で環境にやさしい観光用の水路交通を開発する。</p> <p>13 中国の天津市の Dunzhan FTZ においてロジスティックセンターを設立する。</p> <p>14 ニーズに合った、公開的な交通スマートシステムを導入する。</p> <p>15 UB 市の開発 MP に基づいた道路ネットワーク改善目的で Bayanzurh、Yarmag, Sonsgolon 橋、UB-Nalaikh 方面の道路を新設する。</p> <p>16 UB 市の渋滞緩和するために高架橋の新設、BRT 導入を実施する。</p> |

出典：モンゴル政府資料を JICA 調査団が編集。

2.6 経済回復プログラム(ERP)

モンゴル政府は4年間のアクションプラン策定後、経済回復プログラム(ERP)を策定し、2016年11月16日に国会で承認された。経済安定化、財政困難を克服するための対策として、以下の2戦略を掲げ、詳細な実施計画を策定した。

戦略1. マクロ経済安定化政策の実施

- 1.1 財政赤字の削減、財政安定化に向けた予算政策の実施
- 1.2 収支の負担軽減、インフレ率の安定化に向けた金融政策の実施
- 1.3 外貨獲得の増加、近々返済する債務ファイナンスのための財源の確保

戦略2. 中期的経済構造の改革、安定的な経済成長の確保、債務負担の軽減

- 2.1 鉱業以外のセクターの輸出収入の増加、経済の多角化のための基盤づくり
- 2.2 実体分野の成長に資する大規模プロジェクトの開始、インフラ整備事業の強化
- 2.3 経済成長に資する責任のあるガバナンスの強化、安定した法的環境の構築

このプログラムの実施計画の中で、財政規律の改善、地方開発基金(LDF)の効率性の分析などを行い、2017年度に予算の赤字の割合をGDPの9.9%以下に抑えると具体的な目標を掲げている。その他、コンセッションで実施した、現在実施中のプロジェクト、プログラムを監査・分析するとともに、今後、コンセッションで実施予定のプロジェクトのリストを承認し、実施メカニズムを明確にする、PPPに関する法律案を策定することが含まれている。

また、国債や開発銀行(DBM)の債券の返済及び借り換えのためのスケジュールを策定、実施とともに政府、モンゴル銀行、DBMの債務状況を調査し、リスク予防対策も挙げられた。パートナー諸国、国際金融機関・銀行などと協議会を開催することで、低金利・長期資金を調達、海外直接投資(FDI)の誘致のための法的環境の改善も含まれている。ガバナンス強化の側面では、DBMの国家予算との関係(整合性)の充実、リスクの削減、DBMのガバナンス、透明性、報告活動の改善、活動範囲の拡大、自立性の強化などを目指し、開発銀行法の改正を行ない、組織再編成等が謳われている(添付資料参照)。

一方で、経済成長に資する大規模プロジェクトの実施開始、インフラ整備事業の具体的な事業も含まれており、PIPとの関連性、整合性については不明である。

政府アクションプランや経済回復プログラムに掲載されている事業については、表面的には、各省庁からの要請案を取りまとめて、閣議で決定している。しかし、これらは、長年に渡り、議論されてきた案件のリストでもあり、各省庁からの要請案件は、閣議や国会で議論されると、案件数が増えると共に予算が計上されてくるケースが多い。その大きな要因として、選挙のマニフェスト、政治家の利害関係が絡んでいる。公共事業や

民間事業への政治的圧力・関与を抑制しない限りこの状況は改善されない。今後、公共事業の透明性を確保することが必須であり、そのために情報提供・情報公開、多様なステークホルダーの参加、意見聴取を促進することで、行政の説明責任を向上するためのメカニズムが重要である。

3 公共投資の現状と課題

本章では、公共投資の現状と課題について、公共投資の財源面の現状課題を抽出し（3.1章）、メガプロジェクト政策の進捗と課題を検討する（3.2章）。また、開発政策・財務分野における主要ドナーの協力プロジェクトについて支援のあり方（3.3章）及び公共投資実施に係る課題を検討する（3.4章）。さらに研修・教育カリキュラム、実施体制について検討する（3.5章）

3.1 公共投資の財源と現状課題

ここでは、モンゴルの公共投資の財源と現状課題を抽出するにあたり、モンゴルの財政状況の概括、対外債務状況、ODAによる経済支援と債務、DBMの財務状況、コンセッションに基づくBTスキームによる投資と公的債務、アイマグ等地方における公共投資について述べる。

(1) 財政状況の概括

本項では、国会で決議された2017-2019年のMTFFと2016年予算法（補正予算を含む）及び2017年予算法からモンゴルの財政状況の概括を行う。

1) 中期財政フレームワーク（MTFF）

MTFF2017-2019は従来よりも6ヵ月遅れて2016年11月15日に2017年度予算とともに国会承認された。MTFF2017-2019に記載されている主たる数値は下表のとおりである。

表 3.1.1 MTFF2017-2019に記載されている主たる経済指標

| 主たる経済指標 | MTFF | 見込み | |
|---------|------|------|------|
| | 2017 | 2018 | 2019 |
| GDP 成長率 | 3.0% | 5.1% | 7.1% |
| 消費者物価指数 | 6.5% | 7.6% | 8.0% |

出典：モンゴル政府 MTFF2017-2019

GDP 成長率は、2017年に3.0%と設定し、以降2018年5.3%、2019年7.1%と段階的に成長を続けることを前提としている。消費者物価指数は段階的なインフレを予測しているものの、抑え気味である。経済成長の根拠は同文書に明記しておらず、大蔵省（MOF）や国会常任委員会との面談を通じても明確な根拠を確認することができなかった。

財務関連の数値は下表のとおりである。

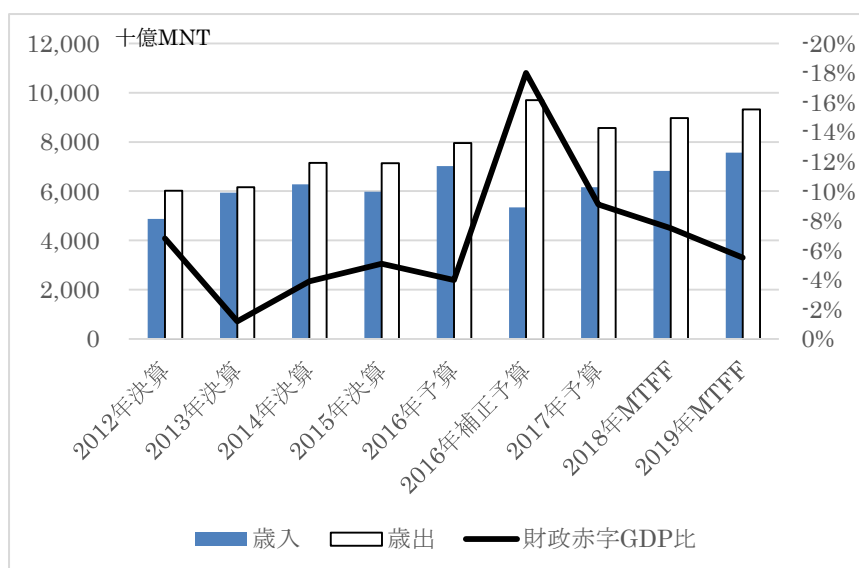
表 3.1.2 MTFF2017-2019 に記載されている主たる財務数値

| 主たる財務数値 | MTFF | 見込み | |
|---------------|----------|----------|----------|
| | 2017 | 2018 | 2019 |
| 歳入 (十億 MNT) | 6,160.2 | 6,822.6 | 7,561.3 |
| | GDP 比率 | 23.3% | 23.8% |
| 歳出 (十億 MNT) | 8,568.9 | 8,971.2 | 9,316.5 |
| | GDP 比率 | 32.3% | 31.3% |
| 財政収支 (十億 MNT) | ▲2,408.7 | ▲2,148.6 | ▲1,755.2 |
| | GDP 比率 | ▲9.1% | ▲7.5% |

出典：モンゴル政府 MTFF2017-2019

MOF の財政政策局の担当者によると、今般 MTFF の大きな指針は段階的に財政赤字を少なくすることであり、具体的には財政収支の GDP 比率を 2017 年に-9.1%、2018 年に-7.5%、2019 年に-5.5%までに軽減することを目指している。この目標は ERP との整合性も保たれている。しかしながら、歳入額、歳出額はそれぞれ財政収支を意識して設定されており、2018 年度・2019 年度見込みの明確な根拠がない。歳出は一律で GDP 比率で 23%台を確保することを目指しているため、GDP の伸び率並み、あるいはそれ以上の伸びを期待している。歳出は若干ながら GDP 比率で 32.3%、31.3%、29.2%と年々減少させているが、目標 GDP 成長率の伸びが高いため、実額では 2017 年に 85.7 兆 MNT、2018 年 89.7 兆 MNT、2019 年 93.2 兆 MNT と増加させている。

2012 年以降の予算と財政赤字の推移を見ると (図 3.1.1)、2016 年修正予算時に膨らんだ財政赤字を今後 3 年間で段階的に抑える方針が伺える。



出典：MTFF2016-2018、2016 年度修正予算書、MTFF2017-2019 をもとに調査団作成

図 3.1.1 MTFF2017-2019 歳入歳出比較

経常支出と資本支出の配分は下表のとおりである。

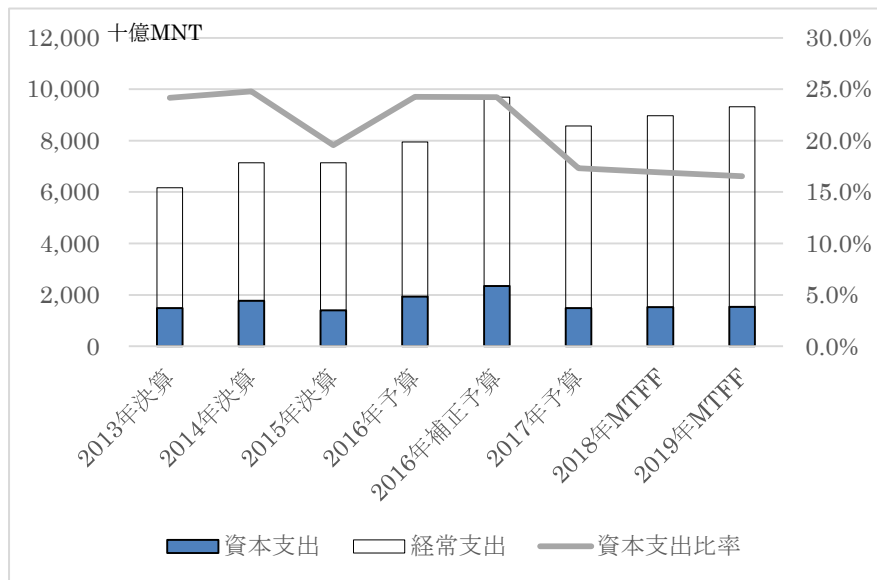
表 3.1.3 MTFF2017-2019 における経常支出と資本支出の配分

金額単位：十億 MNT

| 歳出内訳 | 2017 年予算 | | 2018 年見込み | | 2019 年見込み | |
|------|----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 |
| 経常支出 | 7,085.0 | 82.7% | 7,453.6 | 83.1% | 7,775.9 | 83.5% |
| 資本支出 | 1,483.9 | 17.3% | 1,517.6 | 16.9% | 1,540.6 | 16.5% |

出典：モンゴル政府 MTFF2017-2019

歳出のうち、国内公共投資事業の財源となる資本支出は、GDP 比で 2017 年には 17.3%、2018 年見込みで 16.9%、2019 年 16.5%とそれぞれ計上している。これは、同様 2012 年以降 GDP 比 20%台の水準を抑制し、財政安定化を図る方針が垣間見える。

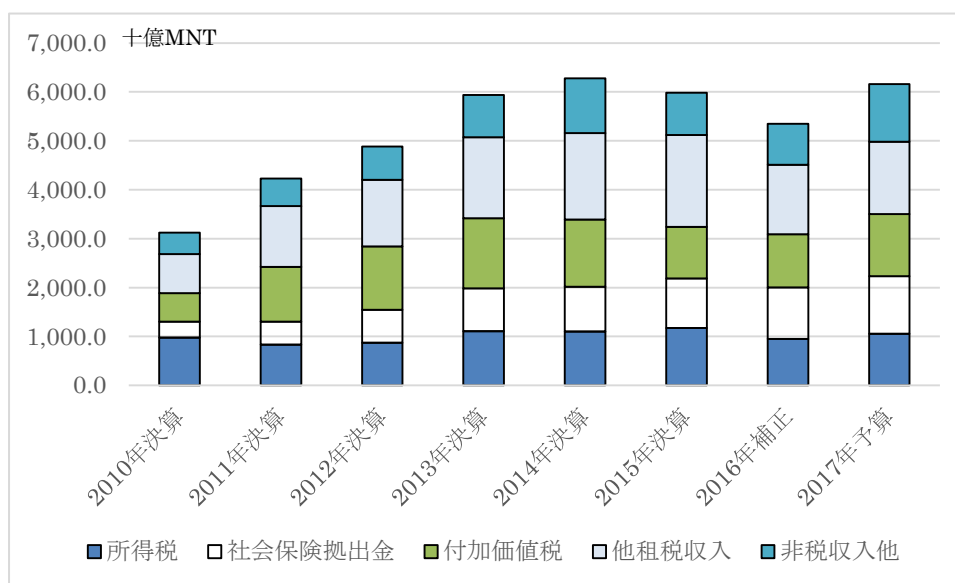


出典：モンゴル政府 MTFF2017-2019 より調査団作成

図 3.1.2 歳出と開発予算推移・率

2) 歳入と歳出の推移

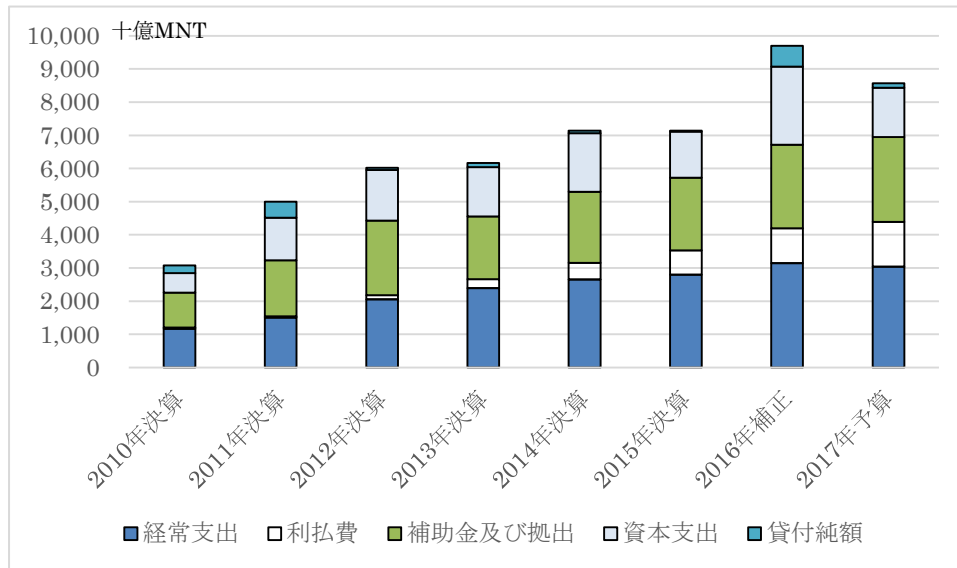
2010 年からの歳入の推移を見ていくと、租税収入は 2010 年決算の 2.7 兆 MNT から 2017 年予算では 5.0 兆 MNT と 185%の伸長になり着実に増えている。特に付加価値税が 2010 年決算の 0.6 兆 MNT から 1.3 兆 MNT と 200%以上の伸長と著しく増加している。また、社会保険拠出収入も 2010 年の 0.3 兆 MNT から 2017 年予算では 1.1 兆 MNT と 340%と大幅に増加している。



出典：MOF 資料より調査団作成

図 3.1.3 歳入推移

次に2010年からの歳出の推移を見ていくと、経常支出2010年決算の1.2兆MNTから2017年予算では3.0兆MNTと250%の増加と租税収入の伸びを超えている。補助金および拠出金についても2010年決算の1.0兆MNTから2017年予算では2.6兆MNT、資本支出も2010年決算の0.6兆MNTから2017年予算では1.5兆MNTの251%増といずれも経常支出とほぼ同じ割合の増加となっている。インフレや為替レートの影響もあると思われるが、毎年の歳出の増加率は歳入以上に高くなっている。なお、特筆すべきは利払費である。2010年決算では423億MNTしかなかったが、2017年予算では1兆3,457億MNTと3,181%もの増加となっており、資本支出の金額に近い水準に達している。その理由は2012年以降発行した債券で、金利は直近発行分は10%以上の高金利となり財政上、重い負担となっている事が明らかである。



出典：MOF 資料より調査団作成

図 3.1.4 歳出推移

3) 資本支出

2017 年予算における資本支出は下表のとおりである。2016 年に実施された国会選挙の影響もあると思われるが、2016 年補正予算において 2.4 兆 MNT あった資本支出は、2017 年予算法では、1.5 兆 MNT と緊縮財政により大幅に削減された。なお、各年の予算では中央予算と地方予算の一部についてプロジェクト別の明細が一般に公表されている。なお、プロジェクト別の国家予算を財源とする公共事業リストには 300 億 MNT 以上の PIP に含まれると思われるプロジェクトが存在している。

表 3.1.4 2017 年予算における財源別資本支出の内訳

単位：十億 MNT

| 項目 | 国家予算 | DBM | 外国援助 | 合計 |
|---------------------|--------|------|------|-------|
| (1)中央予算 | | | | |
| (1.1)国内投資 | *196 | - | 332 | 528 |
| (1.2)大規模修理 | *31 | - | 26 | 57 |
| (1.3)その他 | *23 | - | 65 | 88 |
| (1.4)道路基金等その他基金 | **93 | - | 38 | 131 |
| (1.5)戦略準備基金拠出 | 30 | - | 1 | 32 |
| (1.6)資本支出 | - | *173 | - | 173 |
| (1)中央政府予算合計 | 375 | 173 | 462 | 1,009 |
| (2)地方予算 | | | | |
| (2.1)国内投資 | 35 | - | 72 | 107 |
| (2.2)大規模修理 | 1 | - | - | 1 |
| (2.3)その他 | - | - | 2 | 2 |
| (2.4)道路基金等その他基金 | | - | - | - |
| (2.4.1)UB 市公共投資等 | ***263 | - | - | - |
| (2.4.2)UB 市 LDF 拠出 | 12 | - | - | - |
| (2.4.3)各アイマグ公共投資等 | 62 | - | - | - |
| (2.4.4)各アイマグ LDF 拠出 | 28 | - | - | - |
| (2)地方政府予算合計 | 401 | - | 73 | 475 |
| 総計 (1) + (2) | 776 | 173 | 535 | 1,484 |

出典: MOF 資料、MOF ヒアリングより調査団作成

*2017 年予算法でプロジェクト別の明細のある項目

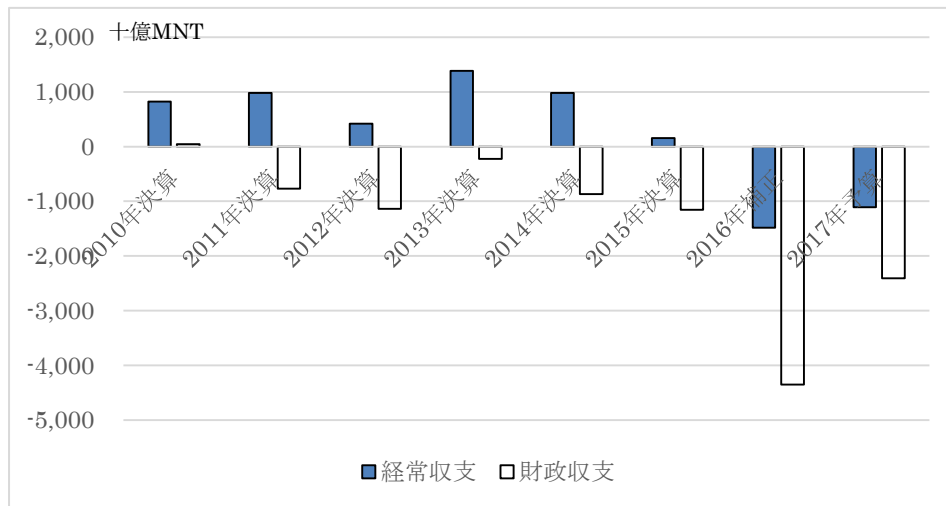
**2017 年予算法でプロジェクト別の明細のあるコンセッション事業が一部含まれる

***市民代表会議決議に基づく 2017 年 UB 市予算でプロジェクト別の明細のある公共投資事業が一部含まれる

4) 収支の推移

2) で述べたように歳入の伸び以上に歳出が伸びているため、収支状況は年々悪化している。

経常収支は、2010 年決算では 0.8 兆 MNT の黒字であったのが、2016 年補正予算から 1.5 兆 MNT の赤字に転落し、2017 年予算では 1.1 兆 MNT の赤字となっている。また、財政収支は資本支出の伸びが影響し、2010 年決算では 0.04 兆 MNT と僅かに黒字であったのが、2011 年決算から赤字に転落し、2016 年補正予算では 4.3 兆 MNT の大幅赤字、2017 年予算では緊縮財政下でもなお 2.4 兆 MNT の赤字と経常収入の 39%もの金額の赤字を生み出して財政悪化が顕著となっている。



出典：MOF 資料より調査団作成

図 3.1.5 経常・財政収支の推移

(2) 対外債務状況（チンギス債等財源の実施面・償還等）

1) 対外債務の概要

政府の対外債務としては、①ドナーや外国銀行からの借入金、②海外投資家へ発行した外国債券、③国営企業等に対する債務保証に分類される。

調査団が入手した複数の情報源より 2016 年 12 月末における政府債務の内訳の作成を試みた所、債務保証を含めた政府債務の残高は 17 兆 865 億 MNT (68 億 7,862 万 USD) であった。この金額は、2017 年予算上の GDP26.5 兆 MNT (106 億 7,000 万 USD) の 64.5%、歳入合計額の 2.8 倍に相当する。

また、今後 5 年以内、2021 年末までに期限が到来する多額の返済資金手当が必要な債務としては下記が挙げられる。

- ①2017 年 3 月償還予定政府保証付 DBM 発行債券 580 百万 USD
- ②2018 年 1 月償還予定政府発行債券 500 百万 USD
- ③2018 年 6 月償還予定政府発行債券 10 億 CNY
- ④2019 年 9 月返済予定政府保証付クレディ・スイスからの DBM 借入金 300 百万 USD
- ⑤2020 年 5 月返済予定政府保証付 TDB 発行債券 500 百万 USD¹
- ⑥2021 年 4 月償還予定政府発行債券 500 百万 USD
- ⑦2021 年返済予定クレディ・スイスからの借入金 240 百万 USD

¹ ただし、モンゴル国債の担保有り

表 3.1.5 2016 年 12 月末における政府債務の内訳

単位：十億 MNT

| 項目 | USD (百万) | CNY (百万) | JPY (百万) | MNT 換算額 |
|--|-------------|-------------|-------------|---------|
| (1) ドナーや外国金融機関からの借入金 | | | | |
| (1.1) ADB | 725 | | | 1,800 |
| (1.2) JICA | 630 | | | 1,565 |
| (1.3) 中国輸出入銀行 | 438 | | | 1,089 |
| (1.4) 世界銀行 | 422 | | | 1,048 |
| (1.5) クレディ・スイス銀行 | 240 | | | 596 |
| (1.6) その他 | 350 | | | 870 |
| 小計 | 2,805 | - | - | 6,968 |
| (2) 海外投資家へ発行した外国債券 | | | | |
| (2.1) 2012 年 12 月発行 (償還期限 2018 年 1 月) | 500 | - | | 1,242 |
| (2.2) 2012 年 12 月発行 (償還期限 2022 年 12 月) | 1,000 | - | | 2,484 |
| (2.3) 2015 年 6 月発行 (償還期限 2018 年 6 月予定) | - | 1,000 | | 358 |
| (2.4) 2016 年 4 月発行 (償還期限 2021 年 4 月) | 500 | - | | 1,242 |
| 小計 | 2,000 | 1,000 | - | 5,326 |
| (3) 国営企業等への債務保証 | | | | |
| (3.1) DBM* | 1,042 | | 30 | 3,322 |
| (3.2) MIAT モンゴル航空 | 87 | | | 215 |
| (3.3) エルデネスモンゴル社 | 5 | | | 13 |
| (3.4) 貿易開発銀行(TDB) | 500 | | | 1,242 |
| 小計 | 1,634 | - | 30 | 4,793 |
| 総計 (1) + (2) + (3) | 6,439 | 1,000 | 30 | 17,087 |

出典: MOF 資料及び SGX 資料より調査団作成

*2017 年 3 月償還予定の 580 百万 USD の債券、サムライ債 300 億円を含む

2) 債券発行による調達

モンゴル政府はシンガポール取引所において債券発行の登録を行っている。2012 年 11 月に GLOBAL MEDIUM TERM NOTE PROGRAM として、50 億 USD、また 2015 年 6 月に同じく GLOBAL MEDIUM TERM NOTE PROGRAM として、50 億 USD の発行枠をそれぞれ確保している。

前者の発行枠に基づき、2012 年 12 月に 5 年償還の 5 億 USD の債券と 10 年償還の 10 億 USD の債券をそれぞれ発行し、後者の発行枠に基づき、2015 年 6 月に 3 年償還の 10 億

CNYの債券、2016年4月に5年償還の5億USDの債券を発行した。いずれも金利は年4.125%～10.875%と高く財政上、重い利払負担の原因となっている。

さらに、政府保証が付いた債券をDBMとTDBからそれぞれ5.8億USDと5億USD発行している。前者は、2017年3月が償還期限となっている。なお、エルデネバット首相は2017年1月に国民向け演説でこの債券の返済資金の財源は確保していると発表したものの報告書執筆時点で具体的な財源は明らかにしていない。

表 3.1.6 SGXより発行した債券の内訳

| 区分 | 発行月 | 償還期限 | 年利 | 通貨 | 額面 |
|-------------------|----------|-----------|---------|-----|---------------|
| 政府発行債券 | 2012年12月 | 2018年1月 | 4.125% | USD | 500,000,000 |
| | 2012年12月 | 2022年12月 | 5.125% | USD | 1,000,000,000 |
| | 2015年6月 | 2018年6月予定 | 7.50% | CNY | 1,000,000,000 |
| | 2016年4月 | 2021年4月 | 10.875% | USD | 500,000,000 |
| 政府保証付 DBM 発行債券 | 2012年3月 | 2017年3月 | 5.75% | USD | 580,000,000 |
| 政府保証付 TDB 発行債券 | 2015年5月 | 2020年5月 | 9.375% | USD | 500,000,000 |

出典: SGX 資料より調査団作成

(3) ODAによる経済支援と債務

MOFから入手した資料によると、2017年予算におけるODAによる有償及び無償の資金協力は下記となっている。中国が有償無償資金協力共に一番であり、金額はそれぞれ2,650億MNT(1億700万USD)と420億MNT(1,700万USD)となっている。セクター別だと、有償資金協力は①道路輸送、②エネルギー・鉱業、③教育であり、無償資金協力は①教育、②社会福祉、③自然環境の順である。一方、プロジェクト別に最も大きい支援は、日本の有償資金協力によるウラーンバートル新国際空港建設プロジェクトで2017年予算では、1,600億MNT(6,400万USD)が計上されている。次は、中国の有償資金協力で、2017年予算で400億MNT(1,600万USD)が計上されているアイマグの農産物供給及び貧困撲滅プロジェクトである。

表 3.1.7 2017 年予算における外国資金協力(目安額)

単位：十億 MNT

| 項目 | MNT | USD 換算額 (百万) |
|-----------------|-----|-----------------|
| (1)有償資金協力 (借入金) | | |
| (1.1)中国 | 265 | 107 |
| (1.2) JICA | 194 | 78 |
| (1.3) ADB | 143 | 58 |
| (1.4)世界銀行 | 69 | 28 |
| (1.5) その他 | 99 | 40 |
| 小計 | 770 | 310 |
| (2)無償資金協力 | | |
| (2.1)中国 | 42 | 17 |
| (2.2)ADB | 22 | 9 |
| (2.3)韓国 | 16 | 7 |
| (2.4)クウェート | 16 | 6 |
| (2.5)世界銀行 | 15 | 6 |
| (2.6)国連 | 10 | 4 |
| (2.7)その他 | 24 | 10 |
| 小計 | 145 | 59 |
| 総計 (1) + (2) | 916 | 369 |

出典: MOF 資料より調査団作成

注：目安額は、出金ベース額を示す。

(4) DBM によるプロジェクト形成・実施プロセス及び運営管理体制等の現状と課題

DBM は DBM 法に基づき設立された国有銀行である。DBM 法第 21.1 条により、国会は DBM に対する資本拠出の割合及び金額を決定し、また政府保証の上限額を決定する権限も有している。政府は国会決議に基づき政府保証を DBM に対して発行する（同法第 22.1.4 条）。ただし、DBM はモンゴル銀行及び金融規制委員会 (FRC) の監督には服していない²。また、大規模開発プロジェクトについては同法第 8 条により国会の決議のあるプロジェクトリストに基づき DBM の審査委員会が融資を決定し、投資プロジェクト毎に発行される政府の保証に基づき実行する（同法第 9.1 条）。また、国家予算により財政支援を受ける場合もある（同法第 9.2 条）が、政府保証や DBM への預金以外を原資とするプロジェクトへの融資は DBM 取締役会の承認に基づき実行が可能である（同法第 9.3 条）。

² 株式会社大和総研(2014) 「平成 25 年度金融庁委託調査：モンゴルの金融インフラに関する基礎的調査」報告書

しかしながら、内閣のワーキンググループの調査によれば、モンゴル証券取引所向けの融資やアパート建設資金の融資等一部のプロジェクト融資が国会の決議を経ないで行われたり外貨建債務に対する為替リスク管理を十分に行っていない等、ずさんな経営が問題³となり、前頭取が逮捕される事になった。

また、DBM の課題としては、政府保証債務による国会の決議を経ない予算外歳出が指摘されており⁴、ERP においても今後、「DBM の国家予算との関係(整合性)の充実、リスクの削減、開発銀行のガバナンス、透明性、報告活動の改善、活動範囲の拡大、自立性の強化などを目指し、DBM 法の改正を行ない、組織再編成を行なう」事が定められている。

ここで記載されている DBM 法の改正について、2017 年 2 月 10 日に国会で決議されたばかりで改正法は入手できていないため具体的な内容は確認できないが、調査団が入手したドラフト版においては政府が定めた方法によりモンゴル銀行が監督を行う等の改革を行う改正がされている。

なお、上述の国会の決議に基づく DBM を財源とする公共投資事業の概要は下表の通りである。これらのプロジェクトは国家予算から DBM を通じて融資されるが、2017 年予算では、119 プロジェクトが計上されている。また、119 プロジェクトの内、新国際空港へのアクセス道路建設プロジェクトを含めた 6 プロジェクトは、投資総額がそれぞれ 300 億 MNT を超え、PIP の対象となると思われる。

しかしながら、DBM で面談時に確認した所では、2017 年予算に計上されているプロジェクトは、国家予算を財源とする公共投資事業に移管する予定であるという事である。MOF でもこの話の裏付けが取れた事から最終的に DBM を通さず国家予算から直接支出される可能性もある。

³Chintushig Boldsokh (2016)“Probe into Development Bank of Mongolia finds major violations” 2016 年 10 月 13 日付 UB Post ウェブニュース(リンク <http://theubpost.mn/2016/10/13/probe-into-development-bank-of-mongolia-finds-major-violations/>) (閲覧日 2017 年 2 月 15 日)

⁴菊池洋(2013)「財政からみるモンゴルのマクロ経済―「チンギス・ボンド」発行で重要になる債務管理―」国際協力銀行(リンク https://www.jbic.go.jp/wp-content/uploads/reference_ja/2013/07/14799/20130712_seriesMongolKikuchi.pdf) (閲覧日 2017 年 2 月 15 日)

表 3.1.8 DBM による公共投資

単位：十億 MNT

| 項目 | プロジェクト数 | 単年度合計額 | プロジェクト総額 |
|---------------|---------|-----------|-------------|
| 2015 年第二次補正予算 | 214 | 452,351.0 | 2,112,885.9 |
| 2016 年補正予算 | 167 | 367,059.1 | 1,593,149.0 |
| 2017 年予算 | 119 | 172,794.9 | 1,012,951.7 |

出典: MOF 資料より調査団作成

(5) DBM の財務状況

表 3.1.9 は 2015 年 12 月 31 日現在の財政状態計算書である。この DBM の財務諸表は、監査人 PricewaterhouseCoopers Audit LLC (PwC) により無限定適正意見が表明されている、また、これによると、総資産 6.1 兆 MNT (24 億 USD) の 80% 以上、資本の部の 17 倍に相当する 4.9 兆 MNT (20 億 USD) が貸出に回されている⁵。一方、資本合計は 2,874 億 MNT (1 億 1,600 万 USD) で総資産の 4.7% に留まり、民間商業銀行上位の TDB、ハーン銀行、ゴロムト銀行と比較して自己資本比率が他行の半分以下と自己資本が薄い状況となっている。

⁵ DBM 法第 24 条では資本の部の 50 倍まで融資、債務保証がそれぞれ可能。

表 3.1.9 2015 年度の DBM の財政状態計算書(貸貸対照表)

単位：十億 MNT

| 項目 | MNT | USD 換算額 (百万) |
|-----------|-------|-----------------|
| 資産 | | |
| 現金及び現金等価物 | 700 | 281 |
| 銀行預金 | 154 | 62 |
| 短期投資 | 131 | 53 |
| 貸出金 | 4,909 | 1,976 |
| その他 | 176 | 71 |
| 資産合計 | 6,070 | 2,444 |
| 負債 | | |
| 他銀行からの債務 | 436 | 175 |
| 債券 | 1,727 | 695 |
| 借入金 | 3,567 | 1,436 |
| その他 | 54 | 22 |
| 負債合計 | 5,783 | 2,328 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 245 | 99 |
| その他 | 42 | 17 |
| 資本合計 | 287 | 116 |
| 負債及び資本合計 | 6,070 | 2,444 |

出典: PwC 監査済財務諸表より調査団作成

次に下表からセクター別の貸出明細を見ると、道路が 1.4 兆 MNT (5 億 5,000 万 USD) と総貸出債権の 27%を占めている。国家予算による公共投資事業は道路以外も鉄道や公益、発電所といったインフラ関係で公共投資事業向け貸出の 94%、総貸出債権に対しても半数以上を占めている。一方、民間企業への貸出債権は製造業、鉱業で民間向け貸出しの 80%を占めている。

また、貸出債権の 56%が 2018 年までに政府から回収可能な政府公共投資事業により生じた貸出金であり、残りは民間企業に対して貸し出された貸出金である。貸出総額の内、12%に相当する 5,860 億 MNT は回収可能性について疑念があり不良債権に区分されているが、公共投資事業部分については原則的に政府から回収可能なため 7%のみが不良債権に区分されている一方、民間企業向けは 18%が不良債権に区分されている。モンゴルの民間商業銀行上位の TDB やハーン銀行において不良債権に区分されている貸出債権は貸出総額の 10%以下であるため、当時の DBM の経営について疑念を抱かせる。

さらに回収が困難として減損引当金（貸倒引当金）に計上されている額が 773 億 MNT あるが、その部分は政府から回収可能なため引当はほとんど計上されておらず、内、756 億 MNT の減損引当金は民間企業への貸出に伴う引当金である。

表 3.1.10 2015 年度の DBM の貸出金内訳

単位：十億 MNT

| 項目 | 国家予算により返済される債権 | 民間企業により返済される債権 | 合計 | 割合 |
|---------------------|----------------|----------------|-------|------|
| (1)返済期限内の貸出金 | | | | |
| (1.1)道路 | 1,186 | - | 1,186 | |
| (1.2)鉄道 | 443 | - | 443 | |
| (1.3)公益 | 406 | - | 406 | |
| (1.4)発電所 | 365 | 23 | 388 | |
| (1.5)製造業 | 9 | 815 | 823 | |
| (1.6)鉱業 | 6 | 601 | 607 | |
| (1.7)その他 | 149 | 96 | 246 | |
| 小計 | 2,564 | 1,535 | 4,099 | 82% |
| (2)返済期限経過したが未減損の貸出金 | - | | | |
| (2.1)建設業 | | 302 | 302 | |
| 小計 | - | 302 | 302 | 6% |
| (3)不良債権 | | | | |
| (3.1)道路 | 180 | - | 180 | |
| (3.2)製造業 | - | 370 | 370 | |
| (3.3)その他 | - | 36 | 36 | |
| 小計 | 180 | 406 | 586 | 12% |
| 減損引当前貸出金総額 | 2,744 | 2,243 | 4,987 | 100% |
| 減損引当金 | -2 | -76 | -77 | -2% |
| 合計 | 2,742 | 2,167 | 4,909 | 98% |

出典: PwC 監査済財務諸表より調査団作成

一方、DBM の財源は、表 3.1.11 のように主に債券発行と政府及び外国金融機関からの借入により構成される。前者には SGX で発行した 2017 年 3 月に償還予定の 5 億 8,000 万 USD のモンゴル政府保証付債券や日本で発行した 300 億円のサムライ債も含まれている。後者には政府からの借入金 2.5 兆 MNT が含まれるが、上表の国家予算により返済される債権 2.7 兆 MNT に若干満たない。なお、債券及び借入金の両方について半分以上が 5 年以内に償還または返済

すべきものであり、かつ金利も 5%以上と比較的高いため、今後、長期かつ低利の資金を調達する事が安定した経営を継続するために必要と思われる。

表 3.1.11 2015 年度の DBM の債券及び借入金の内訳

単位：十億 MNT

| 区分 | 項目 | 償還・返済 期限 | 年利(%) | 外貨建元本 | 合計 | その他条件等 |
|--------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------|-------|--|
| (1) 債券 | (1.1)SGX 発行債 | 2017 年 | 5.75 | 580 百万 USD | 1,175 | 元本利息は政府保証付 |
| | (1.2)サムライ債 | 2024 年 | 1.52 | 300 億円 | 404 | 元本は政府保証付、元本及び 5 年半の利息は JBIC より保証 |
| | (1.3)モンゴル銀行 向け私募債 | 2018 年 及び 2021 年 | 4.0 | (MNT 建) | 148 | ASEM 会議用ホテル建設目的。商業銀行 2 行への私募発行後モンゴル銀行が引受 |
| | 債券計 | | | | 1,727 | |
| (2) 借 入 金 | (2.1)政府借入金 | 1/3:2018 年 2/3:2022 年 | 4.7917 | (MNT 建) | 2,564 | チンギス債から流用。 |
| | (2.2)シンジケート ローン | 2017 年 及び 2019 年 | LIBOR +4.250~ 4.375 | 300 百万 USD | 598 | クレディ・スイス、三井住友銀行、中国及び台湾計 4 行によるシンジケートローン。モンゴル政府保証付。 |
| | (2.3)国家開発銀行 (CDB) | 2022 年 | 6.0 | 149.5 百万 USD | 302 | 中国の国策銀行。モンゴル政府保証付。 |
| | (2.4)国際投資銀行 (IIB) | 2022 年 | EURIBOR +6.0 | 20 百万 EUR | 43 | IIB はモンゴルも加盟国の旧ソ連時代に東側諸国が設立した銀行。モンゴル政府保証付。 |
| | (2.5)ロシア開発対 外経済銀行(VEB) | 2023 年 | 3.2 | 20 百万 USD | 35 | VEB はロシアの国策銀行。 |
| | (2.6)コメルツ銀行 | | 1.9-2.3 | 11 百万 EUR | 24 | |
| | 借入金計 | | | | 3,567 | |
| 合計 | | | | 5,294 | | |

出典: PwC 監査済財務諸表より調査団作成

(6) PPP プロジェクト形成・実施プロセスや運営管理体制等の現状と課題

2010年に施行されたコンセッション法では、国有財産及び地方政府所有財産に対する権益を投資家に与える際の事項を規定している。同法第4.1条では、BOT(Build-Operate-Transfer方式やBT(Build-Transfer)方式等7方式が例示されており、2013年に改訂された最新のコンセッションリストに掲載されている125プロジェクトも複数の方式が掲載されている。

また、同法では民間の請負業者決定方法に競争入札方式(第11条)と直接契約(随意契約)方式(第17条)を規定しており、上記のコンセッションリストでも6プロジェクト以外は全て競争入札方式と定められている。

また、2015年2月に改正された予算法第28.10条においてPIPにコンセッション契約が含まれる事になった。

一方、BT方式によるコンセッション契約は、「簿外の繰り延べ債務」を生む影響が大きい事が中国の地方政府の事例でも指摘⁶されている。モンゴルにおいても財政規律の点から債務リスクが認識されたために債務管理法及び財政安定化法の規定に基づき2016年8月17日の政府決議第37号「コンセッションプロジェクトの方針」により下記のようにBT方式のコンセッションプロジェクトの原則凍結、また2016年9月9日の国会決議第47号で「国家予算及び国家開発銀行から返済する条件付きの投資プロジェクトで支払が未実行の残額、BT方式のコンセッション契約の返済、裁判判決により支出される支払を2017年から支払手形により保証しない事」が定められた。これらの決議により事前及び事後的にコンセッション契約による歳出または債務の増加に一定の歯止めがかけられた。

⁶ 五味佑子(2014)「次に注目すべき中国の地方政府債務はBT?」公益財団法人国際通貨研究所国際金融トピックスNo.250 2014年2月19日 https://www.iima.or.jp/Docs/topics/2014/250_j.pdf (閲覧日2017年2月16日)

表 3.1.12 2016 年政府決議第 37 号の内容

| 内容 | |
|----|---|
| 1 | <p>次の事項の対策を実施することを国家開発庁長官、各県・首都の知事の義務とする。</p> <p>1) コンセッションリストにおいて BT 方式で実施して国家及び地方予算より返済する条件付の国家との契約を 2018 年まで締結しない。</p> <p>2) 国家及び地方予算より返済する条件付でコンセッション契約が有効となっていないプロジェクト、実行指針を実施しない。</p> <p>3) コンセッション契約の締結による国家及び地方政府の債務を新しく発生させない。</p> <p>4) コンセッション契約締結だが事業が開始されていない契約の有効性を適用な規則に従い停止させる。</p> <p>5) 新しくコンセッション契約により実施するプロジェクト、実行指針により国家及び地方政府が債務を負わないように国家及び地方予算に対し支払の負担を発生させないようにコンセッションの他のカテゴリにて実施する。</p> |
| 2 | <p>地方予算より返済する条件付きでいわゆるプロジェクト、実行指針をコンセッションリストに追加しないことを県議会、首都議会に提言する。</p> |
| 3 | <p>政府が国の経済、社会発展にとって重要と見なし、優先的に取り上げている 2020 年まで財政に困難な影響を与えないコンセッションプロジェクトを BT 方式により実施する場合は本決議の上記第 1 項の適用対象外とする。</p> |
| 4 | <p>本政令の施行に対し管理監督を実施することをチョイジルスレン財務大臣、ムンフバト官房長官等の義務とする。</p> |

出典: 政令第 37 号

(7) コンセッションに基づく BT スキームによる公共投資

2016 年補正予算から BT 方式によるコンセッション契約による公共投資事業リストが掲載されるようになってきている。下表 3.1.12 はそれをまとめたものであるが、PIP に該当すべきと思われるプロジェクトも含まれている。なお、2016 年補正予算に計上されている (1.1) の国際道路舗装プロジェクトについて、2017 年予算では国家予算及 DBM を財源とする公共投資事業リストにも全く計上されていない。MOF によると民間業者により工事は継続されているが、2017 年政府予算編成時に削除されたため政府予算から資金は拠出されないという事である。

表 3.1.13 コンセッションによる公共投資

単位：百万 MNT

| 項目 | 完工予定 | 単年度合計額 | プロジェクト総額 |
|----------------------------------|--------|----------|-----------|
| (1) 2016 年補正予算 | | | |
| (1.1) セレンゲ県フデル・スフバートル間 国際道路舗装 | 2019 年 | 57,163.3 | 95,272.2 |
| (1.2) マンダル郡 15.8km 道路舗装 | 2016 年 | 13,141.7 | 13,141.7 |
| (1.3) アルタンブラグ郡上水道大規模修理 | 2016 年 | 400.0 | 400.0 |
| 2016 年補正予算合計 | | 70,705.0 | 108,813.9 |
| (2) 2017 年予算 | | | |
| (2.1) アルタイ・ダルビ間 165km 道路舗装 | 2019 年 | 16,118.0 | 176,405.4 |
| (2.2) アルタイ・ダルビ間 98km 道路舗装 | 2019 年 | 10,517.1 | 117,042.0 |
| (2.3) UB 市バヤンズルフ区学校拡張 | 2017 年 | 10,787.0 | 10,787.0 |
| (2.4) その他 9 プロジェクト | - | 34,096.5 | 47,879.5 |
| 2017 年予算合計 | | 71,518.6 | 352,113.9 |

出典: MOF 資料より調査団作成

(8) 地域（アイマグ等）における公共投資

1) 2017 年度予算案における地方予算の概要

2017 年度予算案において地方における予算の概要は下記のとおりである。

表 3.1.14 2017 年の各アイマグの予算案

(単位：百万 MNT)

| アイマグ | 収入 | 支出 | 支出>収入時の国 家予算から補填 | LDF への繰入 |
|--------------|------------------|------------------|---------------------|-----------------|
| Arkhangai | 6,027.8 | 18,038.1 | 12,010.3 | 634.1 |
| Bayan-Olgii | 6,658.0 | 17,037.3 | 10,379.3 | 447.5 |
| Bayankhongor | 5,612.2 | 16,842.3 | 11,230.1 | 742.3 |
| Bulgan | 17,969.0 | 16,408.6 | 0.0 | 609.6 |
| Gobi-Altai | 5,426.8 | 13,731.6 | 8,304.8 | 609.2 |
| Dornogobi | 16,049.3 | 11,872.1 | 0.0 | 345.4 |
| Dornod | 13,415.3 | 16,079.0 | 2,663.7 | 290.0 |
| Dundgov | 4,620.4 | 10,441.8 | 5,821.5 | 357.1 |
| Zavkhan | 6,613.1 | 16,119.4 | 9,506.3 | 436.9 |
| Uvurkhongai | 8,507.4 | 18,162.7 | 9,655.3 | 678.9 |
| Umnu Gobi | 58,373.5 | 17,943.9 | 0.0 | 448.0 |
| Sukhbaatar | 7,054.4 | 12,259.2 | 5,204.8 | 541.4 |
| Selenge | 14,316.6 | 17,566.4 | 3,249.8 | 732.5 |
| Tuv | 11,576.4 | 19,344.6 | 7,768.2 | 637.7 |
| UVS | 6,148.2 | 17,365.4 | 11,217.2 | 548.2 |
| Khovd | 7,945.9 | 15,825.1 | 7,879.2 | 697.3 |
| Huvsgul | 8,378.2 | 25,150.9 | 16,772.7 | 1,159.4 |
| Khentii | 7,218.6 | 15,797.7 | 8,579.1 | 607.1 |
| Darkhan-Uul | 15,053.6 | 14,228.7 | 0.0 | 1,285.9 |
| Ulaanbaatar | 549,151.3 | 273,676.7 | 0.0 | 322.2 |
| Orhon | 37,661.0 | 15,054.8 | 0.0 | 1,016.3 |
| Gobisumber | 4,287.4 | 3,786.9 | 0.0 | 171.6 |
| 合計 | 818,064.4 | 602,733.2 | 130,242.3 | 13,318.6 |

出典：MOF 作成 2017 年度予算案

予算法によると首都、区、アイマグ、ソムの活動は下記の財源により行う。

- ・ アイマグ、首都、ソム、区の税及び非税収入
- ・ 国家予算から交付された歳入
- ・ 国家予算からの財政支援

また、予算法では、地方予算は、支出超過が無いように計画、承認、実行されなければならないと定められている。一方、地方予算は債務を負う、または保証を実行する事が禁止されているが、債務管理法及び予算法に規定される同一会計年度内の上位機関よりの短期借入は認められる。

なお、収入超過のアイマグについては、予算法に基づき、30%は中央予算へ上納し、残りの70%は各アイマグに残す。

2) 地方自治体が予算で行う活動及び財源

予算法によると地方予算にて実行すべき活動は下記の通りである。

表 3.1.15 予算法に基づく地方予算にて実行すべき活動の一覧

| 活動名 | 首都 | 区 | アイマグ | ソム |
|--|---------------|---------------|---------------------|---------------|
| 自治体運営 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 都市計画、建設、新しいインフラ建設 | ○ | — | ○ | ◎ |
| 自治体により所有される建設物及び建物の維持管理のための資本的支出、新しい資産の建設、投資 | ○ | — | ○ | - |
| 社会福祉サービス | ○ | ○ 首長の決定に従う | ○ | ○ 首長の決定に従う |
| 雇用促進、貧困削減のプログラム・政策実行 | ○ | — | ○ | — |
| 中小企業発展 | ○ | — | ○ | — |
| 牧草地運営 | ○ | — | — | — |
| 家畜飼料保管施設の建設 | — | — | ○ | — |
| 上水道供給、下水処理施設建設（2017年度から） | ○ | — | ○ | ◎ |
| 住宅、公共施設サービス | ○ | — | ○ | — |
| 洪水防止対策 | ○ | — | ○ | — |
| 公共交通サービス | ○ | — | ○ | — |
| 家畜・動物の感染症・害虫駆除対策、獣医療サービス（2017年度～） | ○ | ◎ | ○ | ◎ |
| 集中的な牧畜（2017年度～） | — | ◎ | — | — |
| 自然災害防除対策（首都以外は2017年度～） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 環境保護、再生 | ○ | — | ○ | — |
| 道路、橋梁、及びそれらの照明、交通信号、その他関連構築物 | ○ 道路は大規模道路 | — | ○ 道路はアイマグ・ソム間の道路 | — |
| 公共地帯、造園、公衆衛生、街灯、清掃、ゴミ処理サービス | ○ | ○ | ○ | ◎ |
| 造園、遊歩道、余暇地帯、児童遊戯場の建設及び維持管理 | — | ○ | — | ○ |
| 管轄地域内の通常の機能を保持するための高電圧、電線、変電所の維持管理サービス | ○ | — | ○ | — |
| 法令に規定するその他の機能 | ○ | ○ | ○ | ○ 2017年度～ |

出典：予算法から調査団が作成

注：◎は、LDF から支出される項目

なお、上記以外にも予算法第 61 条でアイマグ及び首都に移管した活動として下記がある。

- ・ 就学前教育サービス
- ・ 一般教育サービス
- ・ 文化サービス

- ・ 基礎的健康医療（プライマリヘルスケア）サービス
- ・ 土地に関する事項及び登記サービス
- ・ 児童発展保護サービス
- ・ 公的フィットネスサービス

3) 地方での公共投資と地方開発基金

(i) 地方での公共投資

地方での公共投資は、①地方予算で実行されるプロジェクトと②地方開発基金(LDF)により実行されるプロジェクトに区別される。

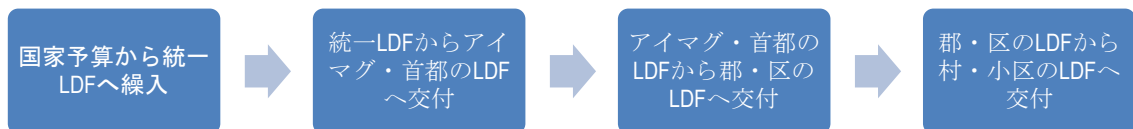
(ii) LDF の現状

LDF は、政府特別基金法で定められる基金ではなく、予算法で定められる基金である。特定のレベルの予算責任者は地方開発を支援する目的の LDF を保有しなければならない。

LDF は、統一 LDF (United Local Development Fund) と自治体毎に設けられる LDF がある。統一 LDF は、予算法第 4.1.28 条において地方発展と地域の均衡を確実にするための地方開発を支援するための基金と定義されている。統一 LDF の財源は、下記のとおりである(同法第 59.1 条)。

- ・ 輸入物品・サービスを除く VAT 徴収収入の 5% (2016 年までは 10%)
- ・ 鉱物法第 47 条に規定する鉱物資源ロイヤリティ料の 5%
- ・ 国内の NGO による寄付または ODA による LDF への援助
- ・ 石油ロイヤリティ料の 30%

国家予算からの繰入は一旦、統一 LDF へ交付され、統一 LDF からさらに①地方政府の開発インデックス、②人口、③人口密度、距離、面積、④地方政府の徴税能力を基準に各地方自治体の LDF へ繰入られる。



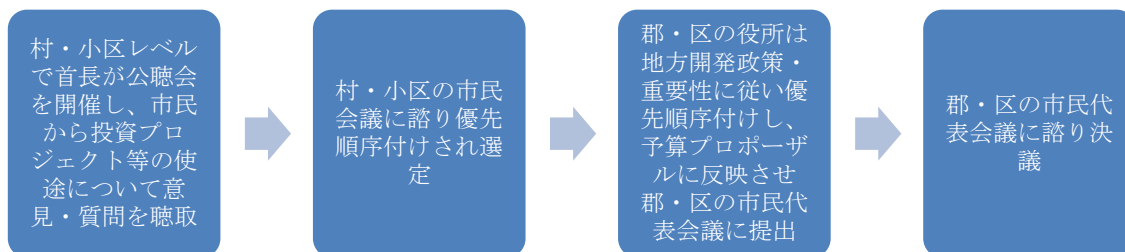
出典：予算法から調査団が作成

図 3.1.6 予算法に規定する LDF の予算交付概要

アイマク・首都・ソム・区の LDF の財源は、統一 LDF からの振替以外には、①アイマク・首都からソム・区の LDF への振替要領に加え、②税率上昇及び支出削減により捻出された追加財源、③地方開発を支援する国内外の援助・寄付、④鉱物資源利用料による収入よりナショナルレベルの大きなプロジェクト実施の法人の支払っ

た鉱物資源利用料による収入を差し引いた差額の10%（ただし、2016年までの30%から減額）、⑤探鉱及び採鉱ライセンス料による収入の50%がある。

一方、LDF からの支出は、予算法第63条によると下記のプロセスで決定される。



出典：予算法から調査団が作成

図 3.1.7 予算法に規定する LDF の支出決定プロセス

なお、予算法第60.3条によると LDF は下記の目的に使用してはならない。

- ・ 地方予算から調達される法律により規定された以外のプログラム及び活動
- ・ 政党及び NGO の活動経費
- ・ 国家祭事以外の祝日、祭事、記念日、宗教行事
- ・ 公共の共通利益でない活動
- ・ 損失や損害を補填する貸付、財政負担を伴う保証行為、約束
- ・ 地方コミュニティの意見を反映せず、地方予算に反映・承認されない支出や政策

(iii) 2017年予算における LDF と LDF の課題

2017年度予算案における LDF への繰入予算額は下記の通りである。

表 3.1.16 2017 年予算案における LDF の予算額

単位：十億 MNT

| 交付先 | 項目 | 金額 |
|--------|----------------------------------|------|
| 国家予算 | 輸入物品・サービスを除く VAT 徴収収入の 5% | 20.6 |
| ↓ | 鉱物法第 47 条に規定する鉱物資源ロイヤリティ料の 5% | 15.5 |
| 統一 LDF | 石油ロイヤリティ料の 30% | 8.1 |
| 国家予算 | メガプロジェクトの鉱物資源ロイヤリティ料 (10%) | 9.5 |
| ↓ | 鉱物法第 32 条に規定する探査権・採掘権のライセンス料 50% | 18.5 |
| 地方 LDF | | |
| | LDF への繰入予算額合計 | 72.1 |

出典：MOF 作成 2017 年度予算案

なお、従来より LDF は、市民協働によるボトムアップ型の地方分権を実現するためのツールとして有効である反面、その支出のガバナンス等について会計検査院やマスコミから問題が指摘されてきた。2015 年 7 月 19 日付の地元ポータルサイト oloo.mn に「地方開発基金の資金は目的通り使われているか？」⁷ という LDF の問題を伝える記事報道が掲載された。この記事によると反腐敗捜査局 (IAAC) が政令で規定した基準を大幅に超えた額をナーダム祭りのために支出した事案や住民の意見を聴取せずに宿舍建設の融資に 2 億 MNT を支出した事案を発見してドルノゴビ県の担当者に注意したりした事案が記載されている。

こういう事情から、ERP では LDF に対する効率性の分析の実施、基金の運用状況（使い方）の公開性・透明性の確保という項目が含まれている。

⁷ 原題：ОРОН НУТГИЙН ХӨГЖЛИЙН САНГИЙН ХӨРӨНГИЙГ ЗОРИУЛАЛТААР НЬ АШИГЛАЖ БАЙНА УУ) (リンク：<http://www.oloo.mn/n/18455.html>)

3.2 メガプロジェクト実施の進捗

予算法第 28.1 条に基づき、300 億 MNT 以上の公共投資は PIP に含まれる。一方、政府や国会の文書においてもメガプロジェクトという名前が散見されるが、メガプロジェクトについて政府内部で統一された見解は無いと思われる。

ただし、予算法第 60.8 条において国家の大規模プロジェクトは政府がそのリスト及び実行者を承認するとあり、それに基づく 2015 年 8 月 31 日の政府決議第 347 号（2016 年 3 月 28 日改正版）によると、TT、OT、エルデネットの 3 法人を実行主体とする 3 プロジェクトのみ⁸がリストに掲げられている。

一方、NDA 内部では 500 億 MNT 以上のプロジェクトをメガプロジェクトと定義している。また、300 億 MNT～500 億 MNT は大規模プロジェクトと呼び、メガプロジェクトとは区別している。2015 年 10 月時点で、提起されていたメガプロジェクトには、NDA 発足前から組成されたプロジェクトが中心となっている。NDA 発足以降、メガプロジェクトに係る投資の取り組み及び省庁間の調整は NDA が管轄し、実施は担当各省庁もしくは横断的に関係省庁・機関から組成されるプロジェクトユニットが担当するという形態をとっている。NDA は新設の行政機関ということもあり、旧産業省が管轄していたアグロ工業技術パークを引継いで NDA 管轄のメガプロジェクトとして提起していた。

なお、現在は、PIP 策定・実施プロセスの一環としてこれまでメガプロジェクトとして提起してきた案件を PIP に含め、その実施プロセスに取り込む動きがみられる。全体が PIP の取り込まれるか、従前の形でメガプロジェクトとして別途の取扱いとなるかについては、現時点では必ずしも方向性は明確ではない。

⁸ 2015 年 8 月 31 日の初版では 13 プロジェクト（内、TT は 3 法人 3 プロジェクト、またシベーオボー、バガヌールを含む）がリストに掲載されていた。

表 3.2.1 NDA が所掌する代表的公共事業案件(2016 年 10 月時点)

| 分野 | 案件名 | 投資額 |
|-------|--|------------------|
| 建設資材 | エルデスト石綿工場 | 1,800 万 USD |
| 鉄道建設 | オールツァグトルゴイ石灰石加工工場 | 630 万 USD |
| | タワントルゴイ～ガシユンスハイト間鉄道 | 13 億 USD |
| | オユトルゴイ支線 | 1 億 1,510 万 USD |
| | フート～ピチクト間鉄道 | 11 億 USD |
| | エルデネット～オボート間鉄道 | 13 億 USD |
| 製油 | 製油所 | 10 億 USD |
| 石油化学 | 石炭ガス化 | 20 億 USD |
| | 石炭ガス化 | 8,890 万 USD |
| 鉄鋼・金属 | ダルハン～セレンゲ地域鉄鋼・金属工業地帯開発及び インフラ建設 | 8 億 USD |
| | エルデネット金属工業地帯開発 | 1,500 万 USD |
| | 「モンゴル鑄鉄」プロジェクト | 2,630 万 USD |
| 工業パーク | バヤンゴビ工業パーク建設 | 15 億 5,000 万 USD |
| 銅産業 | ツァガーンスヴァルガ銅・モリブデン鉱山開発 | 7 億 USD |
| | 銅精錬工場 | 798.8 万 USD |
| | エルデネット銅精錬工場 | 3,580 万 USD |
| 金鉱山 | ガツォールト金鉱山 | 2 億 2,800 万 USD |
| エネルギー | 冶金コークス及びクリーンエネルギー複合地帯 | 2 億 3,200 万 USD |
| | エグ川水力発電所 | 8 億 2,500 万 USD |
| | UB 第 3 火力発電所設備能力増強 (250MW) | 3 億 5,000 万 USD |
| | タワントルゴイ発電所 | 10 億 USD |
| | USD ノド火力発電所拡張 | 9,000 万 USD |
| | 各県庁所在地の進化力発電所と送電網 | 1 億 3,000 万 USD |
| | アマンガル炭鉱発電所 (2,020MW 輸出用) | 12 億 5,000 万 USD |
| | エルデネットオグト炭鉱火力発電所 (2,640MW 輸出用)、 500KV 送電線 | 24 億 5,880 万 USD |
| | ハシャートツァブ炭鉱発電所 (3,000MW 輸出用) | 25 億 7,500 万 USD |
| | シバーオボー炭鉱エネルギー生産複合施設 | 110 億 USD |
| 農業 | アグロ工業技術パーク | 1 億 3,000 万 USD |

出典：NDA プレゼン資料より JICA 調査団作成

3.3 開発政策・財務分野における主要ドナーの協力プロジェクト

開発政策・財務分野においては、各主要ドナーが現在協力プロジェクトを実施中、あるいは計画を行っている。本項では主要ドナーとの面談や情報収集による調査結果を記載する。なお、添付資料に、現在、主要ドナーが **NDA** 及び **MOF** に対して実施しているプロジェクトの概要を掲げる。

(1) UNDP

NDA に対し、**SDGs** のモニタリング及び評価、また各アイマグレベルでの開発政策支援に関心を持っている。前者は、**Threshold21 (T21)** モデルの拡大版の導入を他国で実験しており、それをモンゴルの環境セクターに適用できるかどうか検討し導入の方向性を決める予定である。一方、後者は **SDGs** 目標達成のために各アイマグレベルで **Development Finance Assessment** を切り口に重点的に支援していくとの事で、現在、**Aimag Development Policy** を実施に移すための **Financial assessment** をアルハンガイ県とドルノゴビ県でパイロット的に実施する予定である。また、公共事業監理を中心に据えたキャパシティビルディングのプロジェクトを現時点では考えていないが、現状の投資予定案件に対する融資オプションの検討と財源確保の可能性を検証していきたいとの事である。なお、**UNDP** はアイマグレベルからの支援を軸にするため、中央からのアプローチを取る **JICA** 支援との連携を望んでいる。

(2) 世界銀行 (WB)

MOF を対象に 2 つのプロジェクトを実施中である。一つは、**Multi-Sectoral Technical Assistance Project (MSTAP I)** であり、もう一つは、**Third Sustainable Livelihoods Project** である。前者は今年 6 月に終了し、7 月から次フェーズの **MSTAP II** が立ち上がる予定である。①資本支出のポートフォリオの統合、②投資の優先順位の合理化、③PPP、④PPP のへの **MOF** の関与について支援を行っている。また、約 20 名の専門家が現在 **MOF** に派遣されており、キープレイヤーとして **MOF** の日常業務も実施しているとの事である。もし、次フェーズが中止された場合、**MOF** の日常業務が停滞する事になるので注視が必要である。

一方、後者のプロジェクトは 2001 年から開始された **Sustainable Livelihoods Project** の第 3 フェーズであり、2014 年から 2018 年まで実行されている。本プロジェクトでは 3 つのコンポーネントに分かれ、①地方開発を支援する政府の政策の下でのガバナンス及び生活のキャパシティビルディング、②良いパフォーマンスを上げたソムに対して **LDF** を通じてボーナスを渡して市民の参加を促す活動、③プロジェクトマネジメント、モニタリング、評価のための支援活動から成り立つ。

(3) IFC

NDA と 2016 年 11 月から 2017 年 7 月まで 9 ヶ月の **MOU** を締結している。内容は、**PIP** の選考・評価及び **PPP** の支援である。2016 年 11 月の各省協議開催時のスポンサーになった他、2017 年 1 月に **NDA** にて 3 日間のワークショップを開催し、プロジェクト評価方法についてケーススタディを用いて **NDA** 職員へ指導を行った。また現在、5 月の **PIP** 提出

の前後に選考・評価の支援を行うため NDA に派遣するコンサルタント選考中との事である。ただし、IFC としてはこういう上流部分の支援は最低限にして、金融機関としてビジネススペースで取り組める具体的な PPP 案件発掘等下流部分の金融支援を行いたいとの意向がある。IFC の支援期間や分野と重複が少ないため、JICA との協力にも前向きである。

(4) ADB

調査 TA プロジェクト「Transparency and Efficiency in Financial Management」を 2016 年 11 月で終えたばかりである。このプロジェクトは、MOF 予算投資局をカウンターパートに公共投資運営管理にかかる ICT 構築のための準備調査を実施中で①開発予算の計画策定と支出プロセス、②Glass Account Law に基づく公共投資案件のウェブ公開の状況やそのインターフェースを調査しながら、研修実施、公共投資支出実績を確認する等の活動を行う他、徴税制度の電子化の現状調査を行ったとの事である。今年一杯、さらに活動を継続し、来年に 1,500 万 USD の有償案件プロジェクトを立ち上げる予定である。その他、所得ボトムライン層への Social Protection を目的とした 1 億 5,000 万 USD の Policy-Based Loan や中央銀行や市中銀行を対象に別途 1 億 5,000 万 USD で銀行セクター強化に取り組む予定との事である。

(5) EU

実施機関を GIZ にして、Economic Governance for Equitable Growth (EG4EG) プロジェクトで①鉱業に関する PFM 改善サポート（モニタリング、評価）、②鉱業に従事する労働者保護・社会保護、③①及び②以外の地域の開発計画策定サポート（政策）の 3 コンポーネントを実施中である。また、①及び③については現在 MOF をカウンターパートとしている。2016 年は LDPP 公布後に開発政策文書のドラフトから公表まで、さらに公表後のモニタリング及び評価を行うためのガイドラインとして、大蔵大臣令第 249 号の作成の支援を行った。本プロジェクトは 2018 年 1 月までの 3 年間のプロジェクトであり、2017 年 2 月初旬に最終年度の年間活動計画を確定して支援分野を確定するとの事である。現状、財政規律の面から公共投資に関心を持っている。

(6) GIZ

2020 年までの期間で NDA をカウンターパートに現在実施中の Integrated Mineral Resource Initiative (IMRI) プロジェクトでは、北西部 4 県（バヤンホンゴル、セレンゲ、ウブス、ウブルハンガイ）においてボトムアップ・アプローチによる鉱山会社、地方政府、市民団体、地場企業の 4 者間の総合コミュニティ開発プログラムを支援している。2016 年 11 月に開催した第 6 回 National Sustainability Forum 2016 を NDA と共催した。鉱業分野の経済政策、地域開発に焦点を絞っているが、経済政策は観光、商業、農業も対象にしていく予定である。現在、スイス開発局 (SDC) と中小企業分野で資金を出し合って共同で事業を行っている他、カナダ政府との間でも同様のアプローチでの地域開発を他県で展開できるか検討しているとの事である。JICA とも地方開発分野についてお互いの関心が重なる所について実施する事も可能との提案がある。

(7) KOICA

MOF をカウンターパートに The Project for the Medium Term Fiscal Planning Capacity Building and Improvement of Fiscal Management E-system in Mongolia プロジェクトを 2015 年から 2018 年まで実施中であり、コンピュータ・ハードウェア等の機材供与、コンサルテーション、システム開発、キャパシティビルディングの複合案件である。

①MTEF の法的制度的フレームワーク作成、②MTEF の手続改善、③マクロ予測及び総合財政管理のキャパシティビルディング、④公共事業の優先度付け及び財政プロジェクトの管理、⑤財政管理のための組織構造の再編、⑥MTEF の信頼性改善のための情報システムの構築の 6 トピックで活動を行っている。

(8) その他

(6) で述べたスイス開発局 (SDC) やカナダ政府の他、2016 年 12 月に NDA が主催したドナー会議では、トルコ TIKA、国連 REDD (森林減少・劣化からの温室効果ガス排出削減) プログラム、オーストラリア政府、米国国際開発庁 (USAID)、欧州復興開発銀行 (EBRD)、グローバル・グリーン成長研究所 (GGGI) の名前が掲載されていたが、詳細な活動は確認していない。

ただし、IMF の支援が決定すると IMF の方針に沿って、各ドナーもプロジェクトの活動内容や実施予定を大幅に修正する可能性があるため注意が必要である。

3.4 公共投資実施に係る課題

これまで本章で見てきたように公共投資について、次章以降での議論のために政治的影響による課題及び財源に係る課題並びに計画策定に当たっての制度的課題をまとめる。

(1) 政治的影響による課題

2016年6月の国会選挙で圧勝した人民党は8割以上の議席を占めており、人民党政権の決定が迅速に政策に反映されるようになった。現在のエルデネバット政権の閣僚の多くは人民党党首でもあるエンフボルド国会議長の影響を受けていると言われている。こうした状況において人民党の利益につながる公共投資の実施が優先的に行われるリスクを内包している。ただし、2016年の国会での第71号決議によるERPに基づきマクロ経済安定化のため政府が節約レジームに入っている事は財政的には経済効果の低い公共投資を抑制する効果があると思われる。

一方、2017年3月に期限が到来する5億8,000万USDの政府保証のDBM債券償還にあたり、IMFからの支援を受けるオプション以外に中国から支援を受けるオプションも検討されていると言われている。前者の場合は厳しい財政規律が求められるため、税制面の条件が比較的緩いと思われる後者を選択した場合、中国への経済的依存度が益々増え、隣国の影響を減らすために第三国との外交に力を入れている対外政策に修正が入る可能性もある。

(2) 財源に係る課題

(1)で記載のような経済効果の低い公共投資が行われるリスクが有る一方、2016年12月のドナー会議で公表され国際公約とも言えるERPによる縛りや過去の政権のバラマキ政策の結果による財政難からそれを可能にする財政支出を行う余力が無い事は、逆に投資効果の低い公共投資の実行への歯止めとなっていると言える。一方で、資源価格の回復が下支えとなりモンゴル経済が底を打ち再び成長を始めると、租税収入や鉱物資源使用料(ロイヤリティ)収入等が増えるため、獲得した歳入を債務返済に回さず経済効果の低い公共投資の支出に使うリスクが発生する。

一方、IMFの支援が入る事で歳入歳出共にIMFの管理下に置かれる場合、経済効果の有無に関わらず公共投資支出が凍結され、波及効果も含めた将来の経済成長の足かせとなる可能性もある。

また、PIPにおいては外国直接投資(FDI)も財源オプションの一つとして当てにしなければならないが、まずは過去の急な政策変更等で失われた外国人投資家からの信頼回復を行う必要がある。ERPにおいてもFDI誘致のための法的環境の改善や外国投資家利益保護評議会の設置、また投資家の利益保護のための法的環境の改善を図る事が記載されておりNDAがその主管官庁となっている。

さらにERPにおいて過去、コンセッション事業として実施された、または実施中のプロジェクトの再審査、今後実施されるプロジェクトの承認または実施方式(メカニズム)

明確化、関連法令の改正が求められている事は、支払の繰延効果しかない BT ではなく、BOT 等を用いた官民連携スキームを有効に機能させていく契機となるかもしれない。

加えて最近、国会で承認された DBM 法改正による DBM のガバナンス強化も公共投資の財源に関わってくる。DBM の経営独立性が強化されると経済効果の低い公共投資を実行する事ができなくなる点はメリットとなる一方、資金調達が困難になると財源としての意味が無くなるため、今後、ゴーイングコンサーンとして持続的な経営を行っていくためには財政面や金融技術面でドナーや外国金融機関から資金的かつ技術的なバックアップが必要とされる。

(3) 計画策定に係る課題（制度的課題）

第 2 章でも見てきたように開発政策計画法、予算法において PIP を含む開発政策の策定、モニタリング、評価といった開発政策、公共投資に係る政策基盤の枠組みが規定されているが、NDA が始動したてという事もあり NDA と MOF との間での役割分担等詳細が法律上、明確に区分、または行政実務上、認識されていない点があるように見受けられる。まず、今後の議論のため、下表において NDA と MOF の開発政策または公共投資に関する開発政策計画法、予算法、債務管理法上の権限を整理した。

表 3.4.1 NDA と MOF の開発政策または公共投資に関する開発政策計画法、予算法、債務管理法上の権限

| 法律名 | NDA | MOF |
|---------|--|--|
| 開発政策計画法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算法第 28,29 条に従う権限を国家投資計画及び承認時に実行(第 11.3 条) ・ 2 年毎に PIP のモニタリング及び評価を実施(第 11.4 条) ・ 関連中央行政機関と協力し地域開発政策策定の組織化(第 13.2 条) ・ 国家中央・地方行政機関からのプロポーザルを元に地域開発政策策定(第 13.5 条) ・ 開発政策を調整するための開発政策計画の統合データベースを作成及び運営維持及びそれを運営維持する規則を承認(第 22.3、22.4 条) ・ 一般市民への広報文書の制作及び発行に関する規則を承認(第 22.4 条) ・ 関連機関に対する開発政策計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 年毎に関連中央行政機関が実施する国家開発ビジョンのモニタリング及び評価の提出を受理し、編集して政府へ提出(第 7.5、7.6 条) ・ 4 年毎に国家開発ビジョンの実施状況の外部監査を組織(第 7.7 条) ・ 関連中央行政機関と共同でセクター横断レベルで実施する国家政策の策定(第 8.2 条) ・ 中央行政機関が策定した国家プログラムを政府提出前に承認(第 10.2 条) ・ セクター横断の国家プログラムを関連中央行政機関と共同で策定(第 10.3 条) ・ 毎年 2/15 までに地方行政機関から予算シーリングを超えないプロジェクトプロポーザルの提出を受け国家社会、経済開発基本方針に含める(第 12.3 条) |

| | | |
|------------|---|---|
| | <p>の方向性の決定、開発政策文書制定の全体管理、方法論的な助言及び能力開発の支援(第 22.5 条)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年 3/1 までに各関連中央行政機関がまとめた国家社会、経済開発基本方針ドラフトの提出を受理(第 12.4 条) ・ 毎年 4/1 までに各関連中央・地方行政機関からのプロポーザルを国家社会、経済開発基本方針に編集し PIP 及び MTFF と整合性を保つドラフトを作成し政府へ提出(第 12.6 条) ・ 毎年の予算案を国家社会、経済開発基本方針を基礎に策定(第 12.9 条) ・ 長期と中期の開発政策ドラフト間の整合性を検証し、予算及び財務計算、財源をレビュー(第 17.1.2 条) ・ 政策調査機関を運営(第 22.6 条) |
| <p>予算法</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家経済、社会開発基本方針のプロポーザルを策定し MOF への提出(第 12.1.1.1 条) ・ PIP を策定する権限(第 12.1.1.2 条) ・ PIP に掲載するプロジェクトプロポーザルを一般予算管理者からの提出受理(第 28.2 条) ・ PIP において優先順位を付け、実行順序を定める権限(第 28.3 条) ・ PIP に含める 300 億 MNT 以上のプロジェクトのプレ FS 実施(第 28.4 条) ・ PIP に含まれるプロジェクトの MTFF 及び債務管理法に基づく債務戦略文書との整合性が保たれているかレビュー(第 28.5 条) ・ プロジェクトの設計、予算、FS を実行して、経済的便益と社会的重要性の点からプレ FS の内容を証明(第 28.6 条) ・ 毎年 5/15 までに当該年に実行する投資プロジェクトのアップデートを政府へ提出(第 28.9 条) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大臣による MTFF ステートメント、予算案、補正予算案、年次予算シーリングの作成(第 11.1.1 条) ・ 国家経済、社会開発基本方針の策定及び政府への提出(第 12.2.1 条) ・ 予算計画において PIP を策定する権限(第 12.2.2 条) ・ 国家経済、社会開発基本方針及び政府アクションプランの政策のガイドラインを予算編成通知に含める(第 27.4.3 条) ・ PIP 事業結果の社会経済的な便益を評価する方法論を大臣が承認する(第 28.11 条) ・ 各レベルの予算責任者とともに公共投資事業を予算案で所定の方法で提示(第 29.3 条) ・ 各省庁が FS 調査を実施した 300 億以下の公共投資事業について経済的便益と社会的重要性の点から証明できる場合、予算に反映(第 29.6 条) |

| | | |
|-------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> PIP の枠内で実行中または新しいプロジェクトのプロポーザルを作成(第 29.1 条) 予算編成通知に従い 300 億未満の投資プロジェクトのプロポーザルを統括予算管理者からの提出受理(第 29.1 条) | |
| 債務管理法 | 無し | <ul style="list-style-type: none"> 債務管理に関して政府借入及び政府保証で行うプロジェクトプロポーザルを策定(第 9.1.19 条) 統括予算管理者から提出された政府借入及び政府保証で行うプロジェクトプロポーザルをレビューし、PIP に反映させるため予算法に基づき優先順位付けを実施(第 9.3 条) PIP に含まれるプロジェクトに関して貸し手に申込み、国際条約に関する法令に従い契約を締結(第 25.1 条) 借入より調達するプロジェクトを PIP に含め政府保証を要求(第 33.6 条) |

出典: 開発政策計画法、予算法、債務管理法より調査団作成

一方、2015 年 11 月に公布された LDPP 及びガイドラインである首相令第 249 号において政策文書のレビューが必要とされているが、現在、政策文書は 270 もあると言われているが管理がされておらず有効かどうか分からない状況である。

また、2016 年 7 月の LDPP 改正により、各省庁及び地方政府との調整の下に実施する「地域開発政策」の取り纏めは、MOF から NDA に移管され（同法第 13.2 条）、NDA は、それぞれの提案をベースに地域開発政策案を作成し政府に提出して承認の受ける（同法 13.5 条）ことになっているが、同時に、MOF は複数省庁にまたがる国の開発政策を関係省庁と共同でドラフトして政府へ提出する責任が既定されている事から（同法 8.2 条）、MOF も開発政策立案に関与する役割がある。一方、開発政策及び事業実施のモニタリング権限に関しては、根拠法によって主体が違っている。NDA は、PIP に基づく開発政策実施の観点から（首相令 2016-64 号）、MOF は予算執行の観点から（首相令第 249 号）、また、各省及び地方政府は実施主体の立場から（開発政策法第 20 条）、政策の実施・管理監督・評価に係るモニタリングを行う事が規定されている。PIP を含む政策立案と実施管理及び評価等一連の開発行政に実際面において、既往法制度の調整問題等改善すべき箇所は多々有り、支援を通じてしっかりと議論していく必要がある。

また、5 月の提出に向けて NDA が準備を進めている PIP についても、NDA と MOF、あるいは NDA と各省の間で制度上、下記のような事項が明確になっていないと思われる。

- ・ PIP の金額基準以外の定義が不明確（複数の施設からなる案件はどうするのか？、財源は問わず金額で一律的に決めるのか？等）
- ・ 現在 PIP 策定に向け行われている NDA と各省との協議が制度化されていない
- ・ 2016 年 12 月に大蔵大臣令第 415 号で公布した資本支出の計画、融資規則との整合性（公共投資は金額を問わず本大臣令に従う必要がある）
- ・ 建設開発センターやエネルギー開発センターの規則との整合性
- ・ NDA と MOF や各省との間の情報交換に関する機密保持

また、5 月の提出に向けて NDA が準備を進めている PIP についても、NDA と MOF、あるいは NDA と各省の間で制度上、下記のような事項が明確になっていないと思われる。

3.5 研修・教育カリキュラム、実施体制

(1) モンゴル教育機関

ウランバートル市内の教育機関（大学・研修機関）、MOF と行政アカデミーで研修・教育カリキュラムのヒアリングを実施した。ヒアリングの対象とした大学は下記の5大学である。

- ・ モンゴル国立大学
- ・ モンゴル国立科学技術大学
- ・ モンゴル国立農業大学
- ・ ファイナンス経済大学
- ・ モンゴルビジネス大学

当初予定していた商業産業大学は、モンゴル国立大学の経済学部と合併したために現在は存在しない。また、モンゴルビジネス大学は会計士を育成するための比較的小規模の私立大学であることから、ヒアリングは実施しなかった。

現役行政官に対する研修プログラムを実施していたのは、モンゴル科学技術大学とモンゴル農業大学のみであった。モンゴル科学技術大学では、MOF の幹部職員及び調達局職員を対象に研修を実施していた。モンゴル国立農業大学は農牧業及び環境分野の短期研修を実施していた。

ヒアリングを実施した全ての大学で、行政機関からの要請があれば学部・学科の範囲内であれば研修プログラムを作成して、研修を実施することは可能であるとの回答であった。実際にモンゴル科学技術大学は、MOF の要請で研修プログラムを新たに組んだ。また、過去にはMOF の幹部職員を対象にしたリスク評価、不動産資産評価、融資保険等の短期研修プログラムを実施した。

ファイナンス経済大学も同じような状況で、要請にあわせた研修プログラムを作成し、研修を実施している。研修は主に担当教授が省庁に出向いて行っている。同大学には、過去にMOF、税関庁、社会保険庁やモンゴル銀行からの研修要請があった。

開発計画に関するカリキュラムがある大学はなく、唯一、モンゴル科学技術大学が複数の授業の中で地域開発及び土地利用計画について教えていると回答した。モンゴル国立大学は開発政策計画法が承認されたことにより、計画法に基づいたカリキュラムを作成中とのことであった。

公共財政管理に関するカリキュラムは、モンゴル国立大学だけにある。ビジネス学部ファイナンス学科に公共財政管理に関する授業がある。主に財政、税制、ファイナンスについて教えている。経済学部ではマクロ・ミクロ経済とともに行政法を教えており、会計学部ではモニタリングについて教えている。

専門分野の講師陣は、開発計画、公共財政分野は専門分野の教授・講師がいるため問題ないとしている。MOF 等が過去に大学に研修を要請してきたことから、少なくとも本調査で対象としている分野の専門家はいると考えられる。

研修ニーズは、どの大学関係者もニーズが高いと回答した。理由は、省庁は4年毎の人事異動があるため、職員の政策や担当分野の包括的な知識が浅く、しかも省庁が独自で実施する職能・技能研修がほぼないことから知識や能力を向上する機会に恵まれていない、ためであると複数の関係者から聞かされた。特に、公共投資計画の策定経験がほぼないから、各省庁の政策・計画策定に携わる行政官の育成は必須である。

現役行政官のための政策・開発計画及び公共投資計画策定に関する研修をデザインする場合には、大学が研修プログラムとカリキュラムを作成し、実施は大学教授と行政官のOBを講師として招いて、理論と実践を組み合わせることで過去にどのような課題や行政的ボトルネックがあったかを十分に理解してもらえ、という意見も聞かれた。

(2) 行政機関

MOF の人事・人材開発担当者のお話では、省の人材育成・研修予算が少ないため、基本的にドナーの支援に頼っている、とのことである。特に、教育プログラム（大学院、海外留学等）は、職員個人が大学院に直接申請、奨学金を得るケースと、ドナーが募集するプログラムに個人で申し込む、というもので省として誰をどの教育プログラムに参加させるか、という計画はないとのことである。従って、全てが個人の興味がベースのため、必ずしも省の人事配置計画や欠員補充等のニーズに沿ったものではない。

MOF では毎年人材育成・研修計画を策定し、大臣の承認を得ているが、予算の関係で計画とおりに実施できないことが多い、とのことであった。一方、国際会議や短期研修、視察等を含め、年間で100人以上が海外に出ている。そのほとんどは、援助機関の支援、もしくは主催者側の招待によるものである。職員の約3割が年1回程度、海外会議や視察等に参加し、3割が年1回以上同様の理由で海外に行き、残り3割強が語学力の問題やドナー機関とかかわりのない部署にいるために海外に行く機会がない。

MOF には階層研修、職能研修がない。新卒職員には新任研修を行っているが、省外から中途採用もしくは任命されて MOF に入った職員は必ずしもそのような機会がないため、公務員倫理規定や行政手続き等を知らない職員がいることが問題として顕在化している、とのことである。

行政アカデミーは内閣官房庁に属する機関で、運営予算は原則政府予算からであるが、緊縮財政の中、独立採算性が求められている。行政アカデミーの収入は、受講生が支払う受講料とドナー支援が主なものである。各省庁は研修予算がないため、省庁負担で職員に研修を受けさせることが極端に少なくなってきた、とのことである。

行政アカデミーは、現役行政官、公務員志望者に対して正規教育（修士・博士課程）と短期研修を実施している。2016年12月時点では、組織改編の最中であった。行政アカデミーは大きくわけて、正規教育と研修部門に分かれている。行政アカデミーでは、UNDP の資本支援で地方自治体向けの開発計画、歳出入、投資計画に係る研修を行っていた。

研修は、要請によるテーラーメイドの研修、出張研修（省庁等に出向く）とオンライン研修の3つがある。行政アカデミーでは、省庁の階層研修の実施を検討しており、カリキュラムを作成し始めた。行政アカデミーの担当者からは、省庁の開発計画・投資計画を担当する職員を対象とした「開発政策・公共投資プログラム作成方法論」の内容で1週間程度のモジュール研修を行政アカデミーで作成し、JICA 日本人専門家とともに共同開催することが提案された。行政アカデミーで実施するメリットは、行政アカデミーは組織のマニフェストとして現役行政官の教育・研修の実施が課されており、中央・地方の行政機関の公務員に今まで研修を継続して行ってきたという実績があること、そして大学関係者や現役公務員やOBを講師として招いて研修を行ってきた実績等があげられる。

4 国家開発庁（NDA）の政策調整及び行政機能の概要

4.1 開発政策に係る国家体制及び財政制度における過去の教訓

(1) 投資政策の不在下における PIP の導入

これまでモンゴルでは、包括的な投資政策が策定されていない。PIP については、1995 年、当時の旧国家開発庁に対する ADB の支援により、最初の PIP が策定されている。包括的な投資政策が存在せず、経験の不足から、当時の PIP は期待されるプロジェクトを列挙する“ウィッシュリスト”の色彩が強いものであった。その後、2001 年から PIP の管轄は財務経済省に移され、公共財務管理の一部として扱われるようになったが、2009 年、国家開発改革委員会（NDIC：National Development and Innovation Committee）の設置に伴い、NDIC が国家優先プロジェクトを所掌するに至り、新たな PIP 策定プロセスが実施された。NDIC では、5 分野（鉱業、農業、インフラ、人的資源開発・環境、ガバナンス）において 26 の優先投資プロジェクトリスト（メガプロジェクト）を作成している。

(2) NDIC・外交貿易省の分掌体制から公共投資プロセスと特定財源権限の集中の経済開発省体制

当時、公共投資を中心とする国内投資は NDIC、外国直接投資については、政策を立案する外交貿易省とその管轄下で政策実施機関である外国投資貿易庁（FIFTA：Foreign Investment and Foreign Trade Agency）によって、それぞれ分掌されていた。このため、策定された PIP は包括的なものとならなかった。

2012 年の政権交代以降、NDIC 及び外務省の投資政策部門は、当時の政府組織改編で新設された経済開発省に統合され、FIFTA も一部局の外国投資調整・登録局（DFIRR：Department of Foreign Investment Regulation and Registration）として経済開発省に統合される形となった。当時、経済開発省は、DBM を通じての債券発行、及び、メガプロジェクト及びコンセッション事業に係る財源を決定する権限も持つに至ったため、国家予算管理外の財源を持つこととなった。

2013 年、国内・海外の内外投資法が統合され「投資法」が成立すると、経済開発省は DFIRR を改組し、省内に投資・ビジネス開発庁を設置した。内外の投資政策に係る調整が一つの省で所掌され、国家予算以外の財源権限を有する環境で、4 年の期限を迎えた NDIC 策定の PIP の更新が実施された。当時策定された PIP は、コンセッションリストに計上されたインフラ開発プロジェクト、アイマグ、ソムレベルの地方議会承認プロジェクト等も評価なく全てのプロジェクトが計上されたため、約 11,000 件、45 兆 MNT の規模に達する、非現実的なものとなり、実質的には PIP は破綻した状態となった。

2014 年 12 月、人民党を加えた大連立によりサイハンビレグ内閣が発足すると、経済開発省は一部機能を分掌し産業省に改組された。これに伴い、経済開発省管轄となっていた投資・ビジネス開発庁は、投資庁（IMA：Invest Mongolia Agency）として首相直轄の機関となり、投資プロセスと特定財源権限の過度な集中が是正された。

(3) 開発政策計画法、「長期開発ビジョン」による公共投資計画プロセスの始動

2017年政権交代後に設置されたNDAは、これまでの、包括的な投資政策不在の環境における公共投資プロセス分掌の非効率、過度な権限集中による制御困難の経験を経て、特定省庁の管轄を越え、首相直轄の機関として設置された。また、PIP策定にあたって重要となる包括的投資政策は不在のままであるものの、2016年成立した開発政策計画法、及び、2016年改正予算法は、NDAに対して「長期開発ビジョン」と整合的なPIPの策定・実施を要請している。

現在、PIP策定・実施プロセスの再始動にあたっては、当面、投資政策に代わる開発政策・長期開発ビジョンを公共投資計画展開の評価軸として、新たなPIP策定・実施プロセスを展開しつつ、今後、そのレビュー等を通して、投資政策の策定を含め、制度的環境整備を進めていく段階にあるといえよう。

4.2 組織体制と行政機能

(1) 組織体制

国家開発庁（NDA）は、2016年7月7日新政権組閣に伴い首相直轄の機関として設置された。同9月28日、首相令2016-64に基づきその機能の詳細が規定されている。首相令により、NDAは、政府規制機関（Government Regulatory Agency）として首相の下、長官以下陣容55名体制が規定された。組織体制は下図の通りで5課からなり、その内3課の下に専門化したユニットが組織されている。2017年2月4日現在、52名の職員が配属されている。



注：チャート内の数字は現配属人数。開発政策計画課の()内は規定定員数。他は規定定員通り。また、チャート内の「セクター」の語は、ここでは省庁の所掌する「分野・部門」を表し、趣旨としては「省庁毎の開発政策」を指す。

出典：首相令第2016-64号より JICA 調査団作成

図 4.2.1 NDA の組織体制

(2) 行政機能

2016年7月 NDA の設置に伴い開発政策計画法が改正され、公共(国家)投資計画(National Investment Program) (第11条4項)、地域開発政策(第13条2項及び5項)、開発政策に係るデータベース管理その他関係指導(第22条3～5項)に係る権限が、「財政・予算」を所掌する中央行政機関(MOF)から、「国家開発」を所掌する行政機関(NDA)となる事が明記された。

また、PIP(300億MNT以上の公共投資事業に係る計画)に関係する、予算法第28条2項、3項、4項、6項、9項、29条1項(2016年7月21日改正)、投資促進に関してこれまで旧投資庁に置かれていた権限に関する、投資法第8条、第9条1項、第17条、

第18条、第19条、第22条、において、それぞれの“responsible for national development matters”、“for investment”は、NDAを指すという了解となった。

首相令第2016-64号では更に詳細に、様々な分野にわたる政策立案・実施、また、首相管轄下の政策実施管理監督・評価・振興を所掌することが、NDAの権限として、以下の通り規定されている。

表 4.2.1 NDAの行政機能

| 機能権限 | 所掌政策分野 |
|---|----------|
| - 経済的優先セクターの特定及び振興策の策定 | 産業振興分野 |
| - 地域開発政策の策定 | 地域開発分野 |
| - インフラと当該インフラ所管省庁の関係の適正化 | |
| - 包括的投資政策、外国投資政策及び関係規定・手続き、コンセッション及びPPP政策の策定 - 地域投資促進政策及び「長期開発ビジョン (SDV-2030)」・居住計画/地域/地方開発政策・セクター開発政策それぞれのコンセプト統合的なあり得べき国家投資計画の策定 - 対内外国直接投資誘致のための包括的活動の遂行 - 投資及びコンセッション法及び関係法令の整備及び規制の実施 | 投資促進分野 |
| - 開発政策、開発計画、及び、投資促進に関する調査・分析の推進 - 開発政策、開発計画、及び、投資促進に関する情報データベースの構築・維持管理 | 政策情報管理分野 |
| - 首相管轄下の政策実施管理監督・評価・振興 | ガバナンス分野 |

出典：首相令第2016-64号より JICA 調査団作成

4.3 公共投資計画（PIP：Public Investment Program）を規定する法的枠組み

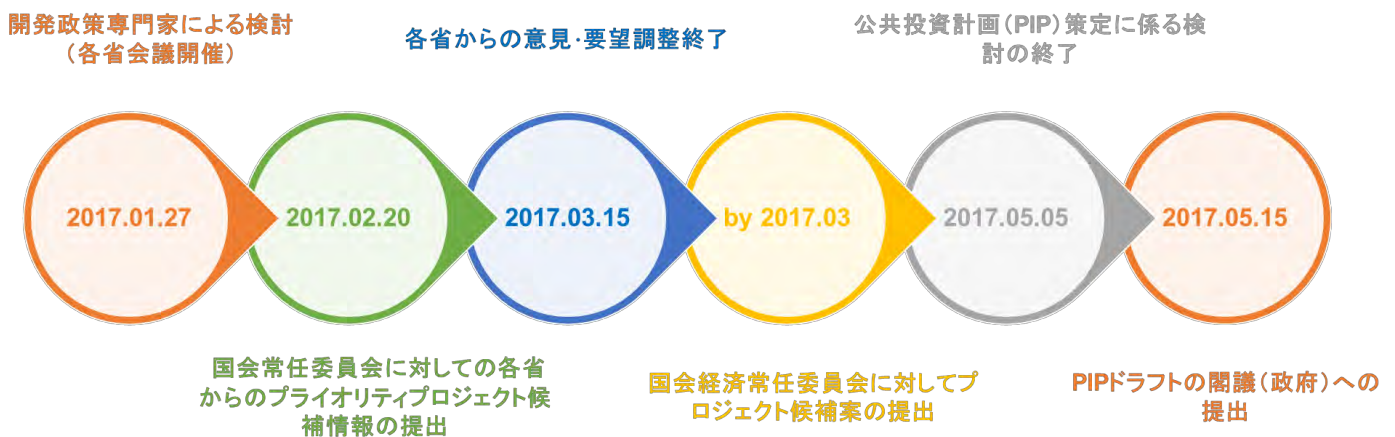
NDA の公共投資計画（PIP）策定・実施プロセスに係る基本的権限について規定しているのは、予算法第 12¹ 条である。同条では「国家開発事案を所掌する国家行政機関が以下に規定する権限を有する」と規定し、同条 1 項 2 号において「公共投資計画」を明記していることから、NDA が「公共投資計画（PIP）」に権限を有していることが分かる。

PIP を規定する予算法第 28 条では、同条 1 項で、「実施期間 1 年、案件額 300 億 MNT を越えるプロジェクトを PIP に含める」と規定しており、これにより PIP において NDA が所掌するプロジェクトが特定される。

同法第 28 条 4 項及び 6 項では、PIP の対象となるプロジェクトについて、プレフィージビリティスタディー（F/S）、案件設計及び予算措置を含む F/S を実施する NDA の権限を規定している。また、NDA は、毎年 PIP を更新し、5 月 15 日までに内閣に提出しなければならないことも規定されている（同法第 28.9 項）。

開発政策計画法第 11 条では、同条 4 項で「国家開発事案を所掌する国家行政機関は、国家投資計画を 2 年に 1 回モニターし、評価する」と規定しており、開発政策計画法のモニター及び評価も実施する必要がある。

現在、NDA では、2009 年旧 NDIC によって策定された PIP 以降初となる、新しい PIP 策定プロセスにあり、本年については以下のスケジュールで調整が行われている。



出典：NDA プレゼンテーション資料より JICA 調査団作成

図 4.3.1 2017 年度 PIP 策定スケジュール

4.4 NDA が抱える現状の課題

(1) 大蔵省との行政機能分担・協力体制に係る課題

公共投資分野の事業評価・計画に関しては、NDA 側の開発政策実施を主眼とした 300 億 MNT（約 14 億 USD）規模以上の公共投資プロジェクトを扱う PIP 策定・実施プロセスと、大蔵省（MOF）側の、今次の財政事情を踏まえた財政健全化を念頭にした公共財政管理の観点からの年度予算及び予算計画策定プロセスとでは、公共投資プロジェクトの位置づけが異なり¹、評価の在り方も異なる。現段階では、双方に共通する評価基準といったものは設定されていないが、今後、両者で検討し、標準的な基準を設定しその基準を軸にしてそれぞれの観点から評価・計画を可能とする等の検討が必要であろう。

財源面では、PIP に配分されるべき予算シーリングが NDA 側では不明確で、今後 PIP 策定にあたって、予算財源を超えた部分の財源手当及びその計画策定において課題が生じる懸念がある。2017 年度予算では、公共投資分として、国家予算として 2,506 億 MNT、DBM に対して 1,727 億 MNT、また、コンセッションの BT 案件への対応分として 715 億 MNT が計上されているが、PIP を想定したものが含まれているか否かは明確でない。また、既に計上されている BT 案件への手当については予算計上が可能であるが、今後 PIP 案件で PPP スキームを想定する場合の将来に向けての予算計画またそのシーリングなど、両者で明確化しなければならない点が散見される。

他方、開発政策と既存の各省政策との整合レビューについては、両者とも関心を有している。この分野も、開発政策実施を目的とした NDA と、財政管理における公共投資の位置づけの明確化を目的とする MOF とでは、最終的な政策評価の在り方は異なることが想定されるものの、基本的なレビュー部分は相互で協働することが検討できる分野である。

(2) 関係省庁との開発政策・公共投資計画の総合的調整機能と権限

前述のとおり、法的には、PIP 策定・実施に関して、NDA が権限を有していることは明らかである。他方、各省政策及びそれに基づく公共投資案件の評価については、各省固有の部門（セクター）における専門的知識と固有の情報が必要となる。しかし、NDA は、全ての部門において専門的知識と固有情報を有することは極めて困難である。特定の政策・案件評価に限らず、財源の確保についての方法論、各省間の調整等についても、より高度な専門性が求められる。今後、これらに 대응するための手当が必要である。

技術的な課題だけでなく、現在の NDA の行政上の位置づけも検討の余地がある。各省の政策・公共投資プロジェクトの調整機関である NDA の行政上の位置づけは総局レベルで、制度的には調整の対象となる省の下部組織となっている。首相直轄の機関とはいえ、各省調整を所掌する機関としては、少なくとも同等の省レベルとすることを検討する必要がある。

¹ 公共投資プロジェクトの位置づけの違いは、開発政策計画法、予算法で規定されているように、NDA が開発政策・計画を所掌する機関 “The State Administrative Body Responsible for National Development Matters”、MOF が財政・予算を所掌する機関 “The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters”、それぞれの機関の権能の違いに基づくもの。

(3) 各部局（課）の行政能力強化の必要性

現在、国家開発政策に係る投資関係及び地域開発関係の政策立案及び実施管理は、法的に、NDA の権限・行政機能となっている。しかし、多岐にわたる政策分野における政策策定・実施プロセス全てに対応するためには、体制と経験が必ずしも十分ではない。

PIP の策定プロセスについては「セクター開発政策調整課」が所掌している。その課の下に配置された調査ユニットが、一義的に事業案件評価・調整に関しての情報収集分析を行っている。同課の課長及び主要職員には、旧政権下で国家投資計画をはじめとする PIP 策定を行ってきた（旧 NDIC から旧経済開発省、旧産業省を経て関係業務を継続してきた）経験豊富な中核的職員が配置されているものの、国レベルの PIP 策定・管理のためにはより多くの経験ある（能力のある）職員による陣容拡充の必要性があるのが実態である。今後、各省の政策・投資案件の評価、特に、各省間調整についての能力向上が当面の課題といえる。なお、現状は、5月15日までに策定する PIP 草案策定に向けたプロセスが優先され、NDA を中心に、その能力向上に対してのニーズが高いことは理解できるが、中長期的な立場から、実施面における事業評価、実績評価、PIP レビューといったプロセスにおける能力開発についても早期に対応していくことが重要である。

PIP の対象となる公共投資事業 の実施に向けて重要となる、PPP 等の民間投資に係る政策調整は、「総合投資政策課」が担当するが、従来（前政権まで）こうした活動を所掌していた投資庁からは、実務レベルの職員が3名配属されるに留まっており、旧投資庁から移行された機能を含め、同課の職員能力向上（キャパシティデベロップメント）についても期待は高い。

本年になって、政策評価経験豊富な新たな課長を迎えた「開発政策・計画課」は未だ定数8名に対して5名の職員で、3名の空席がある。実務レベルでは、若手中心で実質的に3名で業務にあたっているのが実態で、ここでも体制拡充と能力向上が期待されている。

(4) 民間投資等の導入等を踏まえた包括的投資政策の必要性

上記のとおり、首相令第2016-64号では、NDA には「包括的投資政策、外国投資政策及び関係規定・手続き、コンセプション及び PPP 政策の策定」の職権が規定されている。本来、PIP は、開発政策と統合的な包括的投資政策を実施するための計画である。PIP の対象とする案件評価だけでなく、実施計画の立案においても、根本的な評価軸として包括的な投資政策の策定を急ぐ必要がある。

現在、NDA 内に設置された PIP 検討のためのワーキンググループにおいて、投資ロードマップ策定の検討も合わせ行われているとのことであるが、専門家や関係者の参画を得て、より専門的な検討が早期に進められることが必要といえる。

(5) 法に基づく詳細規定等の必要性

開発政策計画法改正、予算法改正、首相令等、NDA の行政機能を担保する法的な枠組みは整備された段階にある。今後、PIP の策定・実施プロセスを通して必要とされる法制度整備も考えられるが、現状においては、既存法的枠組みによって NDA が適正に機能でき

るようにする必要がある。予算法第 28.4 項では、NDA は PIP 案件のプレ F/S をする権限がある。しかし、NDA が専門性を有していない分野で、専門性を有する各省セクターの F/S を経て提起された案件について、どの様なプレ F/S を実施するべきか、第三者に委託する場合にどのような評価と手続きが必要か。

更に、同法第 28.6 項ではプレ F/S による実現可能性を踏まえて、NDA は改めて案件の設計、F/S 等を実施できることになっているが、“各省セクターで設計された案件を再設計するといったことが現実的か”、“案件調整において、例えば、複数の省庁セクターの案件からコンポーネントを取り出し、PIP 案件として再構築する場合の設計が 6 項の「設計」に該当するか”、“そうした複数省庁セクター案件の形成がそもそも現実的か”等々、多くの疑問とそれらの回答を制度的に担保するためのルール・規定の整備が必要である。

5 PIP サイクルにおける課題整理と対応の方向性

本章では、モンゴル政府が PIP を推進するにあたり、現在進行中の策定プロセスのみならず、実施、モニタリング、評価を含めた全体サイクルを客観的な枠組みで整理し（5.1 章）、そのサイクルの各場面で想定される基本課題を抽出しながら、それを対処、あるいは予防できるような取組みを検討する（5.2 章）。さらに、PIP サイクルのあらゆる場面で協働が必要であると考えられる NDA と大蔵省（MOF）との間で調整が必要な点を整理し、双方組織の今後の連携・調整システムのあり方を考える（5.3 章）。

5.1 PIP サイクルの整理

ここでは、モンゴルで規定されている標準的な PIP サイクルを、客観的な公共投資運営管理プロセスの枠組みから整理する。客観的な視点として、世銀が提唱している「公共投資運営管理のための必須 8 項目¹」を用いる。

(1) 標準的な PIP プロセス

まずは、モンゴル法規にて述べられている、PIP の運営管理における標準的なプロセスと、それに関わる関係機関の権限・業務分掌を整理する。

1) PIP 策定

モンゴル政府は 2010 年に当時開発計画の策定を担当していた国家開発改革委員会（NDIC）のイニシアチブで PIP 策定の通達を発出し、2011 年には通達を法案化した。しかしながら 2012 年に民主党政権となったこともあり、完成した PIP 案は閣議決定されたものの国会承認されず、法案も 2013 年までに成立しなかった。

今回の PIP は予算法第 28.9 条に基づき、2017 年 5 月 15 日までに NDA が策定し、閣議決定を受ける。具体的な策定プロセスは、2010-2011 年の策定プロセスを担当した行政官の一部が NDA に配置されたこともあり、経験則をベースに基本的に前回の策定方法を踏襲しているが、前回と比較して以下の条件が揃っている。

- **開発計画法（LDPP）**：開発計画法（2016 年 7 月改正）第 11 条に PIP の策定とモニタリングに関する規定が明記されている。
- **予算法**：予算法（2015 年 12 月改正）第 28 条に PIP 策定に関する詳細規定が記されている。その策定を NDA が担うことも明記されている。
- **長期開発ビジョン 2030（SDV）**：長期目標が策定されたこともあり、国家としての指針が明確になり、それに沿う形でアクションプランや PIP の策定が可能となる。PIP 策定プロセスにおいて、各 PIP 事業の妥当性や優先度を確認する際の指針となる。

¹ “Must-Have” Features of a Public Investment Management, A Unified Framework for Public Investment Management, Chapter 2, Power of Public Investment Management, Anand Rajaram et al, World Bank Group 2014

- **アクションプラン 2016-2020** : 2016年6月の選挙を踏まえて発足した新政権のマニフェストを中期計画として策定されたアクションプランの有効期間は、予算法第28.8条に規定されている PIP の4年の有効期間（2017年6月～2021年5月）一致する。これは、今般政権が担当する次期選挙までの期間に合わせている。

PIP 策定プロセスのドラフティング作業の流れは、2017年1月末の時点で以下の通りとなっている。

- 2016年11月にアイマグ（18日）とセクター省庁（25日）から、それぞれ NDA に対する第1回ヒアリングを実施
- 2017年1月中旬までにセクター省庁から案件数を10件程度に絞って NDA に提出
- 2017年1月27～28日に、セクター省庁と NDA との第2回ヒアリング実施

今般の PIP 策定プロセスでは、上述の通り基本的に 2010-2011 年の策定プロセスを踏襲しているものの、その時の失敗を鑑みて改善しているところも見受けられる。2010-2011 年に策定した PIP は、最終的に案件数が1万1千件を超え、優先度も曖昧だったため、財源根拠もなく実現性に乏しいものだった。このような経験則から、今般の PIP 策定プロセスでは、NDA は各セクター省庁にある程度優先度をつけさせた形で、各々10件程度に絞り込んだ形で提出するよう求めている。さらに、11月・1月と NDA 主催による各セクター省庁からのヒアリングセッションを実施することによって、各セクター省庁は自組織の取り組みのみならず、他のセクターの取り組みを聞く機会を得ることができ、セクター複合的な取り組みや連携の議論ができた。今後の案件絞り込みに対する NDA からの明確な指針はないが、各セクター省庁が PIP に掲載する事業を絞り込むにあたり、これまでのワークショップの議論を参考とすることになる。NDA が 2017年2月以降に予定している PIP 策定プロセスは以下の通り。

- 2017年2月中に NDA による案件の絞り込み（セクター省庁毎5件が目安）、必要に応じて各セクター省庁と調整
- 2017年3月にドラフト PIP を完成させ、政府側に提出。以降、政府と最終調整
- 2017年5月15日正式提出

現段階では、5月15日の提出期限に間に合わせる形で策定プロセスが進行している。

2) PIP 実施、モニタリング、評価

PIP が政府承認された後の実施、モニタリング、評価プロセスに関して、開発計画法や予算法には以下の記述がある。

表 5.1.1 実施・モニタリング・評価プロセスに関連する法規

| 要 約 | 法的根拠 |
|---------------------------------------|---------------|
| 政府は 4 年毎に PIP を承認し、毎年見直す。 | 予算法第 28.8 条 |
| NDA は PIP 実施のモニタリング評価を 2 年毎に実施する。 | 開発政策法第 11.4 条 |
| PIP 事業結果の社会経済的な便益を評価する方法論は、大蔵大臣が承認する。 | 予算法第 28.11 条 |

出典：モンゴル政府予算法、開発政策法

PIP は 4 年のスパンの中で毎年「見直し」ことになっており、さらに「モニタリング」「評価」を 2 年毎に実施することになっている。ここで言う「見直し」「モニタリング」「評価」の具体的な定義や取組み内容に関する記述はない。また、予算法第 28.11 条によると MOF が「事業結果の社会経済的な便益を評価する方法論を承認する」とされているが、同細目第 11 項が第 28 条「PIP」に配置されていることから、この文面は「PIP に掲載されている個別事業完了時の社会経済的な便益は MOF が評価する」と解釈できる。ただし、ここで言う「評価」の実施タイミングが事前評価なのか、終了時評価なのか明示されていない。

このように、PIP サイクル全体の進め方に関して、まだ法的根拠が十分に整備されているわけではない。策定段階は前回策定してプロセスをもとに、5 月 15 日の提出期限に向かって進めているが、その後の具体的なプロセスは段階を追って策定することになると思われる。同時に、毎年の見直し（予算法第 28.8 条）、PIP 実施のモニタリング評価（開発計画法第 11.4 条）、事業評価（予算法第 28.11 条）の定義や具体的な方法論も検討しなければならないだろう。

(2) 世界銀行「公共投資運営管理の必須 8 項目」のモンゴル PIP での適用

世界銀行は先進国を含めた各国の取り組みの経験則から、効果的効率的な公共投資運営管理を実施する上で充実するべき、「公共投資運営管理の必須 8 項目」を提唱している²。8 項目とそれらの具体的な機能を列記している図は以下の通り。

² A Unified Framework for Public Investment Management, Chapter 2, The Power of Public Investment Management, Rajaram Anand et al, (World Bank 2014)

表 5.1.2 世界銀行提唱「公共投資運営管理の必須 8 項目」

| | |
|-------------------------------------|---|
| 1. Guidance and Screening | <ul style="list-style-type: none"> • 開発計画やセクター戦略とのリンク • 計画や戦略とのリンクを確認するための仕組み |
| 2. Formal Project Appraisal | <ul style="list-style-type: none"> • 経済財務分析を含むF/S • 国際基準・国家基準に則った仕様 |
| 3. Independent Review of Appraisal | <ul style="list-style-type: none"> • 第三者による事業審査・選定作業 • 財務省・計画担当相もしくは専門機関による実施 |
| 4. Project selection and Budgeting | <ul style="list-style-type: none"> • 予算サイクル • 完成後の維持管理費確保 • 完成後の費用見込み算出 |
| 5. Implementation | <ul style="list-style-type: none"> • 効果的な調達計画 • 実施時の運営管理・モニタリング制度の確立 • コスト管理システム • 複数年度予算 |
| 6. Project Adjustment | <ul style="list-style-type: none"> • コスト・支出の見直し融通性 • 実施モニタリング後のフォローアップ |
| 7. Facility Operation | <ul style="list-style-type: none"> • 完成時にオペレーション可能な状態となる • 維持管理予算確保 • 資産登録・管理 • オペレーション後のモニタリング |
| 8. Completion Review and Evaluation | <ul style="list-style-type: none"> • 全案件を対象として完成時レビュー実施 • 監査実施 • 効果測定のための事後評価実施 |

出典：The Power of Public Investment Management, Anand Rajaram et al, WB 2014

本調査では、上述 8 項目をモンゴルの PIP サイクルへの適用した上で、それぞれの項目で直面している課題、あるいは今後想定される課題を整理した。その前提として、世銀が提唱している 8 項目が、モンゴルでの現段階でのナショナルシステムに適合できるかどうか検証する必要がある。本調査では、具体的な課題整理を実施する前に、モンゴルのナショナルシステムが組織・制度的に 8 項目に適合するか、あるいは適合する可能性があるかについて確認した。下表は、8 項目の視点と、モンゴル PIP への適用を説明したものである。

表 5.1.3 世銀「公共投資運営管理の必須 8 項目とモンゴルへの適用」

| 項 目 | モンゴル PIP への適用 |
|---|--|
| 1. Guidance & Screening 当該サイクルの根拠となる法規と、礎となる上位目標及び開発計画の存在 | 4 年毎に PIP 計画を策定（予算法第 28 条）。長期開発ビジョン 2030 及びアクションプラン（2016- 2020）と PIP との整合性がチェックポイント。 |
| 2. Formal Project Appraisal 各 PIP 事業の、セクター省庁レベルでの事業審査及び F/S・デザイン。Cost-Benefit Analysis も含まれる。 | 新規 PIP 事業（300 億 MNT 以上）が各セクター省庁で形成され、NDA に提出される（予算法第 28 条）。 |
| 3. Independent Review of Appraisal 申請された PIP 事業を、独立機関が事前評価する。Optimism bias（過大なコスト試算や便益計上）を、第三者が監査することによって防止する。 | PIP 策定プロセスでリストアップされた個別 PIP 事業の事業審査は、NDA の責任のもとに実施する（予算法第 28.6 条）。事業審査に相当する効果測定は MOF が実施する（予算法第 28.11 条）。 |
| 4. Project Selection and Budgeting 限られた財源の中での事業優先度付け・中長期的な財源配分・個別事業毎の財源確保 | PIP は国内予算・ODA（無償・借款）及びコンセッション、開発銀行財源案件をさす（予算法第 28.10 条）。予算法では、PIP 策定時の優先度基準や財源の確保に関する具体的な記述はない。 |
| 5. Implementation 事業実施のための詳細計画の策定とモニタリング。 | NDA が PIP のモニタリングを 2 年毎に実施する（開発計画法第 11.4 条）。 |
| 6. Project Adjustment 事業のコスト面での管理・調整。事業のコストが変更になった場合の対応方法を、事業効果の再測定の観点と財源確保の側面から見ていく。 | PIP は毎年見直しする。個別事業の管理方法は、予算投資計画融資規則（2016 年 12 月の第 415 号令の添付文書）で述べられている。 |
| 7. Facility Operation 事業完了後の維持管理。事業完了後に、①事業が維持管理責任組織に正しく引き継がれること、②維持管理予算が確保される、③資産管理が明確であることが必要。 | 完了後の維持管理に関して、PIP 事業レベルでの規定はないが、一般的な公共投資事業の計画段階で維持管理費用の財源確保や人材確保の必要性が述べられている（予算法第 29.2 条）。 |
| 8. Completion, Review and Evaluation 終了時・事後評価の実施。プログラムや事業の完成度・持続性や効果測定が狙い。 | PIP のプログラム評価を 2 年毎に実施する（開発計画法第 11.4 条）。 |

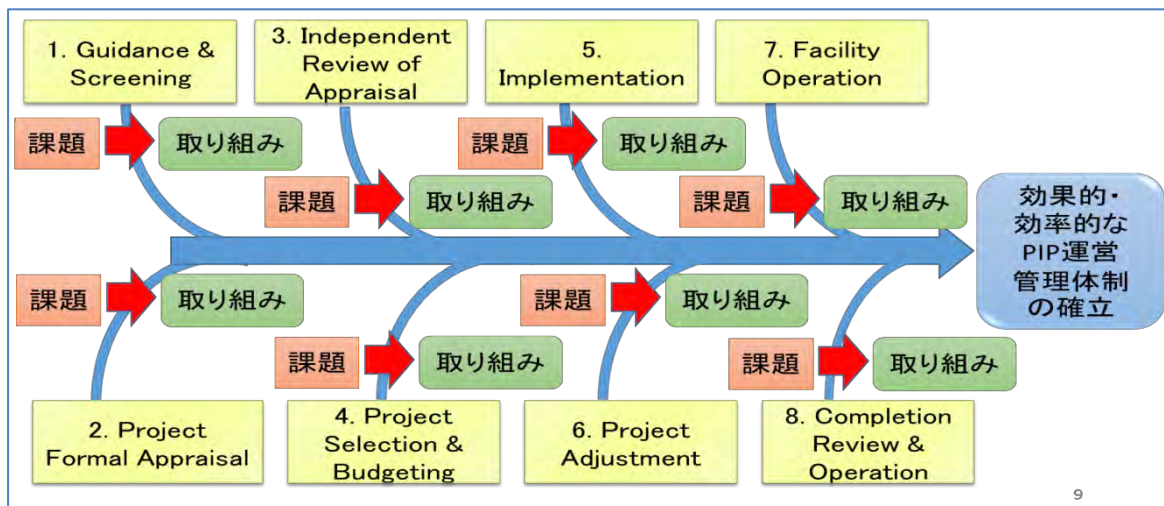
出典：The Power of Public Investment Management をもとに調査団作成

5.2 PIP プロセス各段階での課題と取組み

ここでは、上述にてモンゴル PIP サイクルで適用した世界銀行「公共投資運営管理の必須 8 項目」の各項目別に現状あるいは今後想定される基本課題を抽出した。それぞれの課題は、調査団による文献、面談、各種セミナーへの出席から得た情報と、2017 年 1 月 31 日に調査団主催で実施した「PIP サイクル課題整理ワークショップ」から得た情報を合わせたものである。

さらに、その課題を克服、あるいは予防するための取組み内容（案）も合わせて検討する。取組み内容も抽出課題同様、調査団からの提案に加え、「PIP サイクル課題整理ワークショップ」の場で参加者の間で共有された意見、及び同ワークショップの結果から得られた調査団による考察結果も含める。

同ワークショップでは、概念的には特性要因図の形式で課題と取り組むを整理し、Problem-Driven Iterative Adaption (PDIA) アプローチに基づいて実施した。ワークショップ実施時には下記概念図を共有した。



出典：JICA 調査団作成

図 5.2.1 PIP 運営管理体制確立へ向けての課題・取組み整理

(1) Guidance and Screening

Guidance and Screening では、公共投資運営管理サイクルの根拠となる法規や、礎となる上位目標や開発計画の存在、あるいはそれらの法的枠組みや上位概念が公共投資運営管理を実施する全ての場面で指針となるか否かを検証する。モンゴル PIP サイクル全体を運営管理するためのナショナルシステムでは、5.1 (1) で述べたとおり、大枠での法的根拠が出来上がっている。また、長期開発ビジョン 2030 や、アクションプラン 2016-2020 が PIP 策定の上位概念となっている。特にアクションプラン 2016-2020 と、今般策定している PIP が 2017 年 5 月 15 日以降 4 年間有効であることを勘案すると、タイムライン上でも整合性があるといえる。この場面での課題と取組み案の要約は以下の通り。

| 課 題 | 課題解決のための取り組み |
|---|--|
| 「PIP」の定義が曖昧である。 | 「PIP」の定義を明確にして、国会・政府内に周知する。 |
| PIPに含まれる事業が長期ビジョン・アクションプラン達成のための最も効果的・効率的な手段かどうかの確認が困難である。 | 各省庁／アイマグの政策ペーパーを整理して、PIPにリストアップされる事業との整合性を確認できるようにする。 |
| 過去にリストアップされた「メガ・プロジェクト」との関連性が不明瞭。「メガ・プロジェクト」がPIP事業として採用される場合、現状に合わせた取り組みとなっているか確認が必要。 | 長期ビジョン・アクションプラン・セクター省庁／アイマグ政策ペーパーと整合性のあるPIP策定のための具体的なガイダンス(NDAと大蔵省からセクター省庁／アイマグに対する指導)を発出する。 |

出典：JICA 調査団作成

図 5.2.2 Guidance and Screening の場面での課題・取組み案

【課題】抽出された課題の詳細内容は以下の通り。

- **「PIP」の定義が曖昧である**：これは課題整理ワークショップの場で、NDA 職員から出た意見である。PIP には予算法第 28.1 条で「長期的な経済成長が確保できる 300 億 MNT 以上のインフラ及び開発事業で、1 年を超える実施期間のもの」がリストアップされており、予算法第 28.10 条では「国家予算、借款、無償資金協力、コンセッション合意、開発銀行融資を通じて資金調達される事業」が含まれると定義されているが、その定義が具体例として政府内部に共有されていないため、セクター省庁から提出される PIP 事業候補リストには上述の条件が外れている事業が散見される。

PIP の定義が曖昧であるため、PIP に掲載するに足るかどうか判断しにくい候補事業もある。例えば、300 億 MNT 未満のインフラ事業を複数地域に展開して実施し、それらを合わせて 300 億 MNT 以上の事業として掲載した場合、それを PIP 事業として認めるのか、あるいは各地域に分けて個別の公共投資事業として事業申請するべきなのか、今後議論の余地がある。

- **PIP に掲載される事業が長期開発ビジョン・アクションプラン達成のための最も効果的・効率的な手段かどうかの確認が困難である**：長期開発ビジョンは 2030 までに達成すべき目標を明示しており、アクションプラン 2016-2020 は長期開発ビジョンのマイルストーンとして 2020 年までに達成すべき目標と、それを実施に移すための 2016 年から 2020 年までの活動計画という位置づけである。PIP はアクションプランを実行するための重要な手段の一つとして位置づけられるが、アクションプランの観点から、PIP リストに掲載されている各事業の貢献度を測定することが難しい。他方、PIP の事業単体の観点から、類似した他の PIP 掲載候補事業との優先度を比較するのが困難である。

これは、アクションプランと個別 PIP 事業との間のロジックギャップが大きいために発生すると考えられる。このギャップを埋めるのは各セクター省庁やアイマグが各々発出している政策文書となるが、現段階で 200 以上ある政策文書の多くは長期開発ビジョンやアクションプラン 2016-2020 を発出する前に策定されたものであるため、現段階で PIP 事業の優先度付けを見極めるものとしては活用しにくい。

- **PIP に掲載される事業と、過去にリストアップされた「メガプロジェクト」との関連性が不明瞭。「メガ・プロジェクト」が PIP 事業として採用される場合、現状に合わせた取り組みとなっているか確認が必要である**：これまで政府は、国家経済への大きな効果を規定できるような事業を「メガプロジェクト」と称してリストアップして、各事業の実現性を模索してきた。リストアップされたメガプロジェクトの多くは明らかに国家運営を左右するものであるのは間違いないが、それらの多くが長期開発ビジョン、あるいはアクションプランと照らし合わせて、具体的にどのような効果が生まれるのか測定されていない。さらに、メガプロジェクトの多くは民間投資や外国投資の貢献も含んだ事業プログラムであり、現状法規に照らし合わせるとそのまま PIP 事業として扱えないものもある。2016 年 11 月と 2017 年 1 月に実施された NDA 主催の各セクター省庁からのヒアリングセッションで、幾つかのセクター省庁ではメガプロジェクトを PIP 候補事業として検討していると発表していたが、改めてメガプロジェクトの位置づけや PIP に掲載できるかどうかの検証が必要である。

【課題解決への取り組み】 3 つの課題解決のための取り組みが抽出された。課題と取り組みが必ずしも対となっていない。上述課題を解決するための取り組み案は以下の通り。

- **「PIP」の定義を明確にして、国会・政府内に周知する**：PIP の定義づけと掲載事業の適用範囲を明確にする必要がある。その際、現在明示されている 300 億 MNT 以上という規模規定について、そもそも 300 億 MNT 以上というシーリングが適切なのか（その規模枠を引き上げるか、引き下げるか、あるいはより融通性のある「目安」とするのか）か、その他に事業の社会性、経済性、緊急性等の項目を検討項目とすること等を検討する必要がある。
- **各セクター省庁／アイマグの政策文書を整理して、PIP にリストアップされる事業との整合性を確認できるようにする**：現段階で 200 以上ある各セクター省庁／アイマグの政策文書をレビューして、長期開発ビジョン・アクションプラン 2016-2020 との整合性を確認していく。この取り組みは PIP の整合性を確認するプロセスであるため、本来であれば PIP 策定前に完了していなければならないが、今般 PIP の完成デッドラインが 2017 年 5 月 15 日であるため、NDA や MOF は以下のステップを検討している。
 - 長期開発ビジョン 2030 に関連する指標を、Sustainable Development Goal (SDG) 目標と照合しながら整理し、さらに各指標に 5 年毎のマイルストーンを設定する。

- 上述長期開発ビジョンのマイルストーンと、アクションプラン 2016-2020 の 2020 年の目標との整合性を確認する。
- 200 もの政策文書をレビューし、アクションプラン 2016-2020 との整合性を確認しながら、必要な文書の修正・改善を各セクター省庁／アイマグに要請していく。

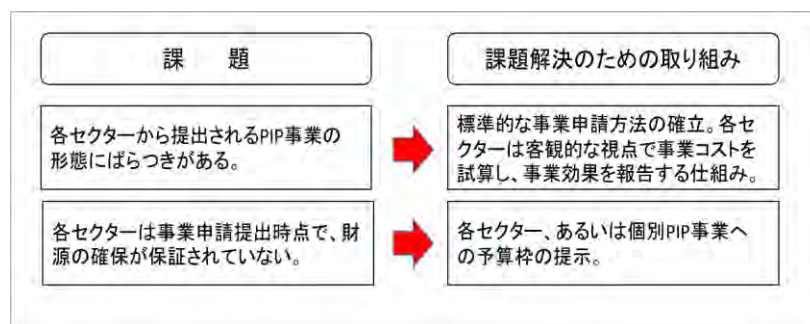
この取り組みは PIP の整合性を確認するプロセスであるため、本来であれば PIP 策定前に完了していなければならないが、今般 PIP の完成デッドラインが 2017 年 5 月 15 日であるため、このプロセスは 2018 年の PIP 見直し時期までに完了する。長期開発ビジョンやアクションプランと整合性があると確認した政策文書を用いて PIP と照合し、必要に応じて修正を加える。

- **長期開発ビジョン・アクションプラン・セクター省庁／アイマグ政策文書と整合性のある PIP 策定のための具体的なガイダンス（NDA と MOF からセクター省庁／アイマグに対する指導）を発出する**：PIP 策定段階で上述 PIP の定義、あるいは上位目標との目標整合性をセクター省庁レベルと共有することを目的として、PIP 候補事業提出前に NDA と MOF からガイダンスを発出する。これにより、提出後の優先度付けや協議が NDA・MOF にイニシアチブのもと円滑に進むものとする。

(2) Formal Project Appraisal

Formal Project Appraisal では、セクターレベルでの事業形成や内部審査・フィージビリティ調査 (F/S) やデザイン等、案件形成ステップのプロセス、あるいはそれぞれのステップの質を検証する。モンゴル PIP サイクルでは、PIP 策定時にセクター省庁から提出される掲載要望事業が正しいプロセスを経て、必要な F/S・デザイン案を添えていることが求められている。

この場面での課題と取り組み案の要約は以下の通り。



出典：JICA 調査団作成

図 5.2.3 Formal Project Appraisal の場面での課題・取り組み案

【課題】抽出された課題の詳細内容は以下の通り。

- **各セクター省庁から提出される PIP 候補事業の形態にばらつきがある**：これは(1)で提示した PIP の定義とも関連する。各セクター省庁から提出される PIP 候補事業の形態が様々であり、PIP に掲載すべき案件かどうか判断が困難なケースが散見

される。300 億 MNT に満たない事業を「重要な事業」として掲載するケースが多く見られる。また、上述した少額インフラ事業を複数地域に展開する事業や、同一地域に直接関連しない複数施設をまとめて 300 億 MNT 以上の事業として申請するケースが多い。

- **各セクター省庁は、事業申請提出時点で、財源の確保が保証されていない：**各セクター省庁が事業を形成して、PIP 候補事業として提出する時点で、財源を確保している、あるいはどの財源を使った事業とするのか検討されていないものが多い。一部財源が検討されている事業についても、現在の財政状況では想定事業実施時期に予算確保やコンセッションを担保できない可能性のものや、ODA でドナーの確証が得られていないものが散見される。

【課題解決への取り組み】 上述 2 つの課題に対して、それぞれ課題解決のための取り組み案は以下の通り。

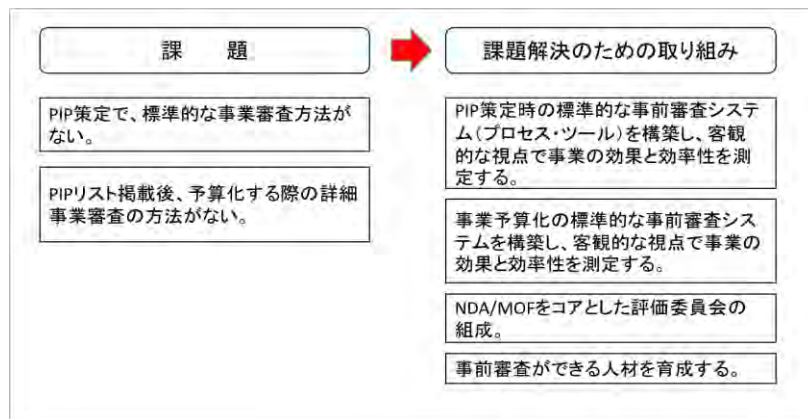
- **標準的な事業申請方法の確立：**ここでは、各セクター省庁が申請する PIP 候補事業の、F/S・デザインを含めた案件形成方法を標準化する取り組みが必要となる。F/S の実施方法は、2009 年にガイドラインが発出されているが、その F/S ガイドラインに記されている方法論がこのステップで求められている必要項目とは一致しないため、改訂する必要がある。この時点では、まだ PIP に掲載するかどうかを判断する材料としての準備のため、各段階とも事業の効果測定が概観できる程度の案件形成が求められる。ここでは、事業コストの概算をもとに経済財務分析を実施し、経済的・財務的側面で事業効果を示す必要がある。この標準的な案件形成の方法論は、(3)で述べる事業審査とも関連していなければならないため、一貫性のある方法論策定の取り組みが必要である。
- **各セクター省庁あるいは個別 PIP 候補事業への予算枠の提示：**各セクター省庁は長期開発ビジョン・アクションプラン・政策文書とリンクする形で案件形成していくが、特に各セクター政策文書に記される目標を達成する事業を形成する折には、各財源の目安が必要となってくる。NDA と MOF は、可能な限り各財源の総枠と、各セクター（あるいは各アイマグ）への配分枠を協議検討し、(1)で述べたガイダンス発出とともに各セクター省庁に対して財源別の「見込み枠」を提示することが理想である。様々な経済的な要因や制約があり、精度の高い「見込み枠」を出すのは困難である場合は、PIP 候補事業の中でも最も優先度の高いと思われる事業に対して、利用可能かつ妥当性のある財源から NDA・MOF・セクターとともに協議した上で確保する取り組みが必要となる。

(3) Independent Review of Appraisal

Independent Review of Appraisal では、省庁から申請された事業を、独立機関が事前審査するプロセスである。ここでは、(1)で述べた上位目標との整合性の確認に加えて、コスト試算や経済的便益を確認する必要がある。このプロセスを経て、政治的な意図で形成された不要な PIP 候補事業を精査し、排除するようなフィルターとなる。また、多くの事業は省庁から提出された時点で意識的・無意識的に関わらず楽観的なバイアス

(optimism bias) がかかり、過大コストを試算したり、経済的便益を過大評価する可能性がある。ここでは、それを第三者機関が審査することによって防ぐプロセスになる。モンゴル PIP 策定プロセスでは、NDA が事業審査を実施し（予算法第 28.6 条）、経済的便益の審査は MOF が実施する（予算法第 28.11 条）ことになっている。モンゴルではこれまで多くの開発計画との整合性・あるいは経済的便益の少ない大型公共投資事業が政治家等の圧力によって採択され、実施されてきた。この段階で事業審査を実施することにより、行政システムとして政治的な事業が弾き出されるような仕組みとすることが望ましい。

この場面での課題と取組み案の要約は以下の通り。



出典：JICA 調査団作成

図 5.2.4 Independent Review of Appraisal の場面での課題・取組み案

【課題】 抽出された課題の詳細内容は以下の通り。

- **PIP 策定プロセスで標準的な事業審査の方法がない**：各セクター省庁が PIP 掲載候補事業を NDA に申請した後、NDA は優先事業を選定するが、個別事業の標準的な事業審査の方法がないため、申請事業を客観的な視点で評価できない。
- **PIP リスト掲載後、事業化・予算化する際の詳細事業審査の方法がない**：PIP 策定プロセスでリストに掲載された事業は、その後事業化するために詳細 F/S・デザインが実施され、個別案件として予算化申請される。その際にも NDA は事業審査を実施する必要があるが、ここでは optimism bias を防止するために、PIP 掲載候補事業を審査する基準以上に厳格な審査が必要となってくる。このための事業審査方法も現段階では存在せず、個別事業を客観的な視点で厳格に評価できない。

【課題解決への取組み】 上述 2 つの課題に対して、4 つの課題解決のための取組みが抽出された。課題と取組みが必ずしも対となっていない。取組み案は以下の通り。

- **PIP 策定時の標準的な事前審査システム（プロセス・ツール）を構築し、客観的な視点で事業の効果と効率性を測定する**：PIP 掲載候補事業を客観的に審査する標準的な事業審査方法を開発する。これは、(2) で述べた掲載候補事業申請の方法と関連した標準的な方法論となり、掲載候補事業の選定時点で必要な項目を網羅する。

従って、候補事業の上位目標との整合性を中心に確認し、コストや経済便益は試算ベース時点での申請内容を確認することになる。

- **事業予算化の標準的な事前審査システムを構築し、客観的な視点で事業の効果と効率性を測定する：** 事業化に伴う標準的な事業審査方法を開発する。ここでの審査目的は、既に PIP で実施することが確認されている事業が予算化される際に、詳細 F/S や詳細デザインが予算化に足る精度で完了しているか、セクター省庁による optimism bias が働いていないかどうかの確認も含めて実施するため、より厳格に行う必要がある。そのため、審査項目もコスト・経済社会的な便益に加え、環境社会配慮や完了後の維持管理計画等、広範囲にわたる。
- **NDA と MOF を核とした事業審査委員会の組成：** 上述二通りの事業審査方法の目的と内容を理解しながら、常に開発計画との関連性、経済社会的な観点、財政的な観点を全て勘案した上で事業審査を実施していくためには、NDA と MOF が協働して事業審査を実施していく必要がある。また、審査対象事業の内容に合わせて有識者やセクター省庁の関係者を含めて事業審査を実施することが望ましい。NDA と MOF は全ての PIP 事業の審査に関わることが予算法でも定められているため、両組織を核とした事業審査委員会の組成が必要となる。
- **事前審査ができる人材の育成：** NDA と MOF の職員を中心に、事業審査を実施するための技術的側面やプロセスマネジメントを理解している人材の育成が必要となる。

(4) Project Selection and Budgeting

Project Selection and Budgeting では、政府財源が関わる事業のために割り当てられる財源枠を確認し、その財源の中で優先度付けしていく。一般的に財源枠は中長期的な視点で、国家予算・ODA（無償・有償）・コンセッション・開発基金・政府関連銀行融資等の形態別に予測する。さらに、その中長期的な財源枠をベースに割り当てられた個別事業が、年度毎に予算要求する際の財源確保プロセスも含まれる。

PIP に掲載される事業は、その財源として国内開発予算・ODA（無償・有償）・コンセッション・開発銀行による資金を使うものと定められている（予算法第 28.10 条）。

この場面での課題と取組み案の要約は以下の通り。



出典：JICA 調査団作成

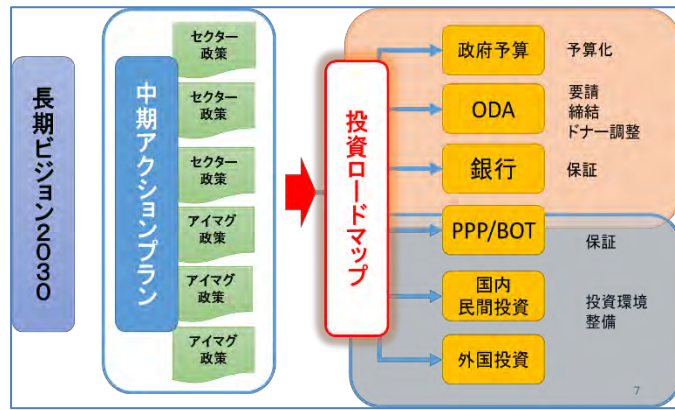
図 5.2.5 Project Selection and Budgeting の場面での課題・取組み案

【課題】抽出された課題の詳細内容は以下の通り。

- **PIP と関連する財務計画がない**： PIP は 4 年毎に更新する政策文書だが、財源計画や財源確保に関する具体的なガイドラインがない。MOF で編成している MTFF は 3 年の財務ローリングプランだが、PIP の財源の一部になり得る開発予算・ODA 等の具体的（事業別）用途は記載されていない。
- **財源枠をどのように各セクターで割り当てるのか、NDA と MOF はどのように調整するのか、基準が不明瞭**： 上述の中長期的な財源計画やガイドラインが存在しない中、NDA と MOF は PIP の最終化に伴い、財源に関する議論を進めると思われるが、その際に、どのような財源をどのような基準でセクターや各事業に割り振るのか、そもそも PIP のための財源確保の取り組みは NDA のイニシアチブなのか、MOF が確保していかなければいけないのか、その調整機能も含めて不明瞭である。

【課題解決への取り組み】 上述 2 つの課題に対して、3 つの課題解決のための取り組みが抽出された。課題と取組みが必ずしも対となっていない。取組み案は以下の通り。

- **投資ロードマップの明確化と PIP への活用**： 長期開発ビジョンやアクションプランの目標達成に貢献すると考えられる国家予算・ODA・コンセッション・開発銀行資金のみならず民間投資・外国投資への展開を含めた総合的な投資政策（ロードマップ）を策定していく必要がある。投資ロードマップは PIP も含められ、長期開発ビジョン・アクションプラン・セクター／アイマグ政策文書を実施するためのリソース戦略となり、政府財源計画のベースとなる。



出典：JICA 調査団作成

図 5.2.6 投資ロードマップの位置づけ

投資ロードマップを策定する上で、財源確保そのものは重要かつ困難だが、それとともに、確保する財源をあらゆるレベルでの開発目標達成のための手段として、適切な事業選択・あるいは事業選別ができるかが重要な取り組みとなる。想定される投資手段検討のための基本的な検討事項例は下表のとおり。

表 5.2.1 投資手段検討のための基本的な検討事項例

| 投資手段 | 事業の投資選択をする上で想定される基本的な検討事項 |
|--------|--|
| 国家予算 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 開発予算での用途なのか、一部経常予算に分類されないか？ ➤ 事業工期期間中、各年度の開発予算枠に割り当てられるか？ ➤ 中期開発計画の枠内で投資（事業）効果を得られるか？ |
| ODA | <ul style="list-style-type: none"> ➤ アクションプランやセクター／アイマグ政策と整合性があるか？ ➤ ドナー間での取り組み（投資）の重複がないか？ |
| 開発銀行 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 将来的に適切な開発銀行融資・PPP・BOT ができる環境が整うのか？ |
| PPP/BT | |
| 国内民間投資 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 現状の経済状況で民間投資が見込めるのか？ ➤ どのように国内外の民間投資を誘致するのか？ ➤ 基礎インフラ等の事前投資は必要なのか？ ➤ 民間・外国投資で、想定していた事業効果が期待できるのか？ |
| 外国投資 | |

出典：JICA 調査団作成

- **中長期的な公共投資計画の策定**：セクター省庁の観点からすれば、PIP に掲載される事業は、規模が 300 億 MNT 以上あるためアクションプランやセクター政策文書で掲げている目標を達成する重要な手段のひとつではあるが、それが唯一の手段ではなく、300 億 MNT 未満の公共投資事業はじめ他の取り組みと合わせて計画を策定し、それを実施していくことで初めて開発に向けての全体像が鳥瞰できる。従って、セクター省庁、あるいはアイマグが政策文書をレビューする折には、その中長期的な目標に合わせた中期公共投資計画を策定することが薦められる。中期公共投資計画

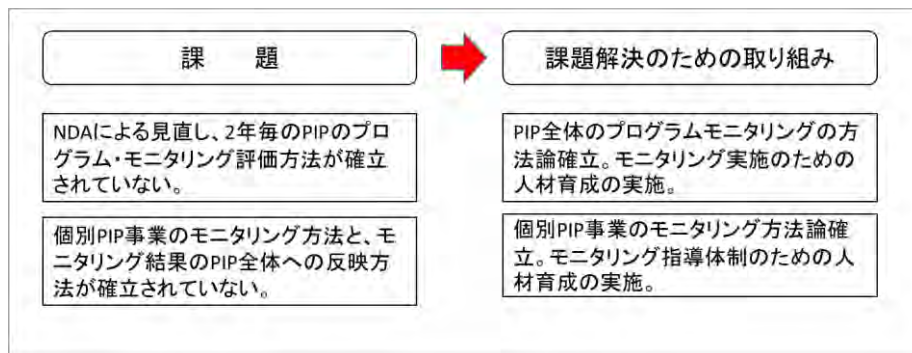
には PIP に掲載されている大型事業に加え、今後実施する予定の 300 億 MNT 未満の公共投資事業を載せ、上述投資ロードマップ・MOF からの予算シーリング等の財源やその配分を勘案しながら策定する。

- **NDA と MOF の間での財務協議の継続的实施**：上述投資ロードマップを策定し、それに基づいて中期的な視点で財源を配分するためには、NDA と MOF との間で継続的な情報交換と協議が必要となってくる。その際、それぞれの協議内容を予め明確にした上で協議に臨む必要がある。具体的な協議の内容案については、6.3 章で述べる。

(5) Implementation

Implementation では、事業実施のための詳細計画策定と実施モニタリングを行う。NDA は PIP を毎年見直し（予算法第 28.8 条）、2 年毎にモニタリング評価する。

PIP はこれまで正式政策文書として運用されてなかったことから、この場面以降は、今後想定される課題と取組み案となる。要約は以下の通り。



出典：JICA 調査団作成

図 5.2.7 Implementation の場面での課題・取組み案

【課題】抽出された課題の詳細内容は以下の通り。

- **NDA による見直し、2 年毎の PIP プログラム・モニタリング評価の方法が確立されていない**：見直し、モニタリング、評価はそれらの目的に応じて方法論も変わってくる。現段階でそれが整理できておらず、それぞれのチェックポイントの効果が出ない恐れがある。
- **個別 PIP 事業のモニタリング方法と、モニタリング結果の PIP 全体あるいはセクター政策文書への反映方法が確立されていない**：通常個別事業のモニタリングはプログラムとは別視点で、その事業の効果効率性を確認していく作業となる。事業のモニタリングそのものは一般的な公共投資事業のものを展開すればできるが、そのモニタリング結果の集約方法をどのように PIP 全体、あるいはセクター政策文書に反映するべきか、その仕組みがない。例えばある個別 PIP 事業の進捗が大幅に遅れた場合、他の事業への影響や効果の遅延等、当該事業以外の対応策を検討しなければならないが、そのための PIP 内の調整を NDA はどのように実施していくか、その仕組みが現段階ではない。

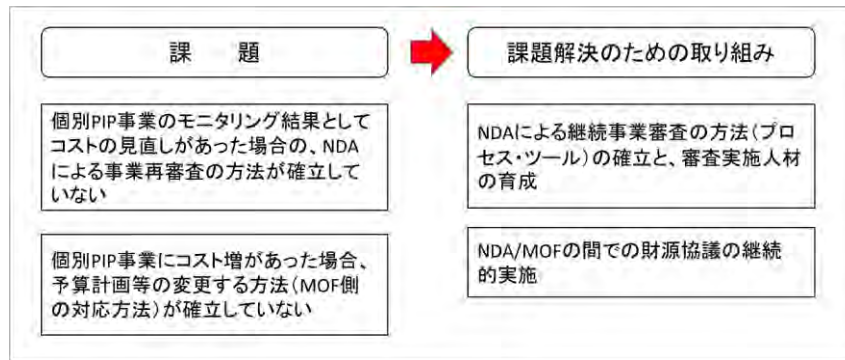
【課題解決への取り組み】 上述 2 つの課題に対して、2 つの課題解決のための取り組みが抽出された。課題と取組みが必ずしも対となっていない。取り組み案は以下の通り。

- **PIP 全体のプログラムモニタリングの方法論確立とモニタリング実施のための人材育成**：まずは上述 3 つの実施にかかるプロセスの目的を整理し、目的に合わせた方法論とプロセスを確立し、それに伴った人材育成を実施する。想定される目的と方法論は以下の通り。
 - **毎年の見直し**：原則的に毎年度の予算化を目的とした見直しを行う。即ち、前年度に予算化された事業の実施状況や予算実績を把握し、次年度の予算計画に変更がないか確認するとともに、次年度から開始する新規事業の詳細計画をもとに、当初予算計画との差異を確認し、反映させる。また、MTFF や MOF の情報をもとに、PIP 使途枠の変更有無を確認した上で、各事業の進捗や予算配分を変更を検討する。
 - **2 年毎のモニタリング**：PIP の全体計画に基づいて、各事業の実施進捗度合いを確認することを目的とする。各事業遅れが生じていないか、原因分析も含めてモニタリングする。遅れが生じた際の対応は当該事業への提言や他事業との（予算措置を含めた）調査が考えられる。
 - **2 年毎の評価**：プログラム評価であるため、目的は PIP そのものの妥当性、評価時点でのプログラムとしての効果を測定する。その際、必然的に長期開発ビジョン・アクションプラン・各政策文書とのその時点での整合性を確認することになるため、PIP のみならず開発シナリオ全体の評価と並行して実施するのが望ましい。
- **個別 PIP 事業のモニタリング方法論確立**：個別 PIP 事業のモニタリングは原則的にプロジェクトサイクルに則って実施することになるが、そのフィードバックに関しては、予算サイクルやプログラム・モニタリング評価のサイクルに合わせて実施しなければならない。その為、それらのプロセスを意識した形での方法論やプロセスを確立することが望ましい。

(6) Project Adjustment

Project Adjustment では、事業のコスト面での管理調整を扱う。事業コストが変更になった場合の対応方法を、財源確保の観点から、あるいは事業効果の再測定の観点から見ていく。これは、上述 (5) で述べた「PIP の毎年の見直し」と「個別 PIP 事業のモニタリング」との相関関係をさし、個別事業レベルでの調整事項である。

想定される課題と取組み案は以下の通り。



出典：JICA 調査団作成

図 5.2.8 Project Adjustment の場面での課題・取組み案

【課題】抽出された課題の詳細内容は以下の通り。

- **個別 PIP 事業のモニタリング結果としてコストの見直しがあった場合の、NDA による事業再審査の方法が確立していない：** 予算法では PIP に掲載される個別事業が実施プロセスにおいてコストオーバーランを起こした場合の対応は述べられていない。PIP 事業は規模が大きいため、コスト増大が事業効果や財源に大きな影響を与える恐れがある。
- **個別 PIP 事業にコスト増があった場合、予算計画等を変更する方法（MOF 側の対応方法）が確立していない：** 同じくコスト増による財源への影響を検討する折、MOF 側のイニシアチブが現段階で特定されていない。

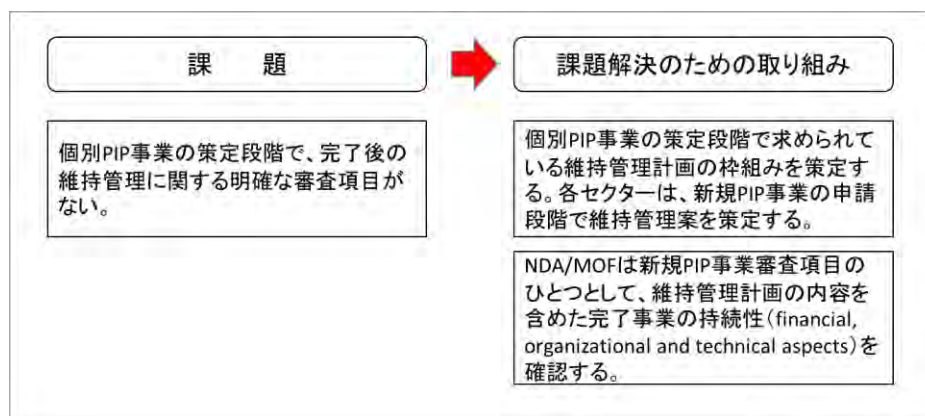
【課題解決への取り組み】 上述 2 つの課題に対して、2 つの課題解決のための取り組みが抽出された。課題と取組みが必ずしも対となっていない。取り組み案は以下の通り。

- **NDA による継続事業審査の方法の確立と審査人材の育成：** 個別事業で一定のコスト増許容範囲を超えたものは、NDA の再審査を受ける仕組みを構築し、その要因分析や事業への影響度・PIP 全体・財務計画等への影響を確認し、当該事業への対処方法を決める。そのための審査人材の育成も必要となる。
- **NDA と MOF の間の財源調整協議の継続的实施：** (4) で述べた投資ロードマップの策定やモニタリングと並行して、各事業の財源調整のための協議も継続的に実施する必要がある。

(7) Facility Operation

Facility Operation では、事業完了後の維持管理を扱う。当該事業が適正に維持管理責任者に引き継がれること、そして、維持管理予算が確保されること、資産が適切に管理されていることを確認する。予算法第 29.2 条によると、一般的な公共投資事業は計画策定時から維持管理費用の財源確保や人材確保の必要性が記されている。

想定される課題と取組み案は以下の通り。



出典：JICA 調査団作成

図 5.2.9 Facility Operation の場面での課題・取組み案

【課題】抽出された課題の詳細内容は以下の通り。

- **個別 PIP 事業の策定段階で、完了後の維持管理に関する明確な審査項目がない：** 上述の通り、一般的な公共投資事業の維持管理に関する規定はあるものの、より規模の大きい PIP 事業で同様の規定がない。一般的な公共投資事業の維持管理規定をそのまま適用するという解釈もできるが、特に維持管理コストが高い事業の場合、予算措置の面で課題を残すと、他の事業実施や効果発現に影響を及ぼす恐れがある。

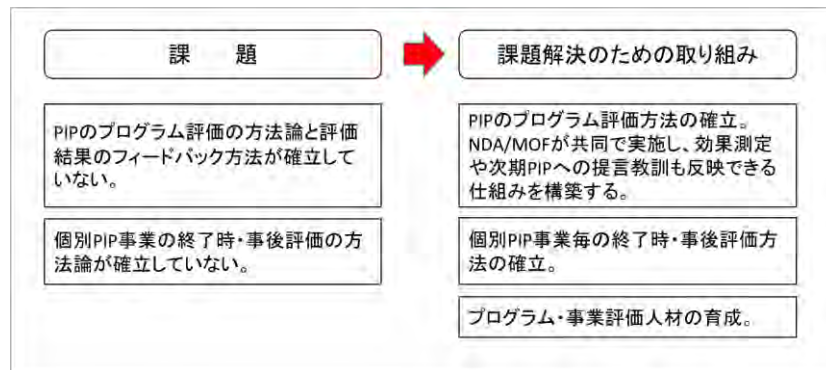
【課題解決への取り組み】 上述課題に対して、2 つの課題解決のための取り組みが抽出された。取り組み案は以下の通り。

- **個別 PIP 事業の策定段階で求められている維持管理計画の枠組みを策定する。各セクターは、新規 PIP 事業の申請段階で維持管理案を策定する：** 大規模となる PIP 事業では、緻密な維持管理計画が必須であるため、策定段階で確認すべき維持管理計画の枠組みを開発し、事業申請時の提出義務を課す必要がある。予算法第 28 条に維持管理の項目も追加することを検討する。
- **NDA と MOF は、新規 PIP 事業審査項目のひとつとして、維持管理計画の内容を含めた完了事業の持続性（財務・組織・技術面）を確認する：** (3) で述べた事業審査の項目として持続性を追加し、事業として勘案しなければならない維持管理計画の内容に加えて、財務的・組織体制・技術面での持続性を客観的に測定する観点を加える。

(8) Completion Review and Evaluation

Completion Review and Evaluation では事業終了時評価、あるいは事後評価の実施を通じた、プログラムや事業の完成度・持続性や効果測定を行う。(5) で述べた通り、PIP は 2 年毎にモニタリング評価することになっている。

想定される課題と取組み案は以下の通り。



出典：JICA 調査団作成

図 5.2.10 Completion Review and Evaluation の場面での課題・取り組み案

【課題】抽出された課題の詳細内容は以下の通り。

- **PIP のプログラム評価の方法論と評価結果のフィードバック方法が確立していない**：当該プロセスは2年毎に実施する2回目、即ちPIPのプログラム終了時に実施する評価と解釈する。同評価も(5)同様評価手法が確立していない。
- **個別PIP事業の終了時・事後評価の方法論が確立していない**：大規模投資で実施するPIP事業の終了時・事後評価は、その効果測定が非常に重要であるが、現段階では方法論が確立していない。

【課題解決への取り組み】上述課題に対して、3つの課題解決のための取り組みが抽出された。取り組み案は以下の通り。

- **PIPのプログラム評価方法の確立**：本プログラム評価の目的として想定できるのは、次期PIPのみならずアクションプランや政策文書のあり方にも影響を与える。従って、開発する評価方法をそれに合わせる上に、予算法が定めている2年毎というタイミング（PIP完了時）より、一連の次期開発計画の参考となるようにやや早い段階から評価を実施する。今般PIPの終了時プログラム評価と一連の次期開発計画策定をひとつの流れで策定していくプロセスが理想的である。プログラム評価はNDAとMOFが協働で実施することが望ましい。
- **個別PIP事業毎の終了時・事後評価方法の確立**：PIP事業の終了時評価・事後評価方法を開発する。終了時評価では(7)で述べた維持管理計画の確認と持続性の評価を重点におき、事後評価では効果測定を中心に評価する。
- **プログラム・事業評価の人材育成**：PIPサイクル、あるいは個別PIP事業のサイクルの各場面で実施される事業審査や事業評価ができる人材をNDA・MOFで育成していく。それぞれの職能に応じた専門性のみならず、評価結果を踏まえて、俯瞰的にプログラムや事業に反映できる人物を育成する必要がある。

5.3 NDA と MOF の連携・調整システムのあり方

本報告書 3.4(3)や 4.4(1)章で述べているとおり、開発政策の策定と実施を担当する NDA と財務安定化を主眼とした MOF の間では、あらゆる場面で協議し、連携・調整を図らなければならないことが分かる。双方組織は連携調整の必要性について、その認識は持っているものと思われるが、その連携・調整がいつ、どのレベルで、何を目的として実施し、双方の組織が享受できる成果品として何を求めるのか、現段階では明確な整理ができていない。

ここでは上述 5.2 章で述べた PIP サイクルに関する課題と解決のための取り組みの要所で、NDA と MOF が協議し、連携・調整を図るべき点を整理する。

PIP サイクルにおいて上記の各取組みを実現するための、NDA と MOF との間の具体的な連携方法を以下のとおり整理した。

表 5.3.1 PIP サイクルにおける NDA と MOF の連携の取り組み案

| 連携が必要な取り組み | 連携の具体的な内容 |
|---|---|
| 1.Guidance & Screening 長期開発ビジョン・アクションプラン・セクター省庁／アイマグ政策文書と整合性のある PIP 策定のための具体的なガイダンス（NDA と MOF からセクター省庁／アイマグに対する指導）を 発出する | 中期的な財源設定のための事前協議。PIP 各財源のシーリング設定（NDA）、MTFF の大枠設定（MOF）を実施 |
| 3. Independent Review of Appraisal PIP 策定時の各事業に対する事業審査 | PIP 策定時に実施する事業審査。この段階は PIP 事業の選定を目的とした Pre-F/S や簡易経済財務分析の内容を審査する。NDA は開発政策との整合性を勘案し、MOF は事業の経済効果を審査をする。 |
| 3. Independent Review of Appraisal 各 PIP 事業の予算化時の事業審査実施 | 中期的な財務計画や年度予算に反映する際に実施する詳細事業審査。F/S や詳細経済財務分析の内容を NDA・MOF がそれぞれ厳密に審査する。 |
| 4. Project Selection and Budgeting (1) PIP 投資ロードマップの策定と継続協議 | 投資ロードマップ策定・更新のための NDA・MOF 間の協議の実施と継続 |
| 4. Project Selection and Budgeting (2) 中期公共投資計画策定 | 各セクター省庁に対して、PIP 事業と一般公共投資事業の全てを網羅した中期公共投資計画の作成を、NDA・MOF の双方から促す。その折、各セクター開発政策との整合性（NDA）や予算シーリング（MOF）等の情報をセクター省庁に提供していく。 |
| 6.Project Adjustment 継続 PIP 事業の事業審査の実施と、コスト変更時の予算対応協議 | 継続 PIP 事業が大きく変更になった際の事業審査と、予算対応に関する協議を NDA と MOF で実施。 |
| 7. Facility Operation 維持管理計画の精査と財源確保 | PIP 事業の維持管理計画を精査し、予算財源の検討（開発予算・経常予算・自調達等）。予算化ならば、その検討も含めて NDA・MOF 間で実施。 |
| 8. Completion Review and Evaluation (1) PIP のプログラム評価 | PIP のプログラムそのものの評価。次期 PIP 策定の参考する。開発政策への効果測定（NDA）・財務計画との関連性（MOF）を検証する。 |
| 8. Completion Review and Evaluation (2) 個別 PIP 事業の終了時評価・事後評価 | 個別 PIP 事業の終了時・事後評価を、事業審査から一貫した取り組みで実施する |

出典：JICA 調査団作成

(1) PIP 策定前の投資ロードマップ策定とガイダンス策定発出

上述取組みの中で、PIP そのものの策定を開始する前の段階で、投資ロードマップ（5.2 章(4)）を策定することを薦めている。同投資ロードマップを策定するには、NDA と MOF の協働が必須である。投資ロードマップを策定するために NDA 側からは開発目標に向けた指標設定、そのマイルストーンと現状の達成度や、民間投資・外国投資の誘致や契約

の進捗状況を提供でき、MOF からはマクロ経済状況をはじめ、財務状況やそれらの予測数値が提供できる。これらの情報を合わせていくことが可能である。投資ロードマップはアクションプランや PIP の評価とともに NDA・MOF が協働しながら評価し、状況に合わせて更新していくことが望ましい。

また、PIP を策定・更新する折には NDA と MOF が協働してセクター省庁向けのガイダンス文書を発出する (5.2 章(1)) ことを薦める。同ガイダンス文書には、上述投資ロードマップの概要に加えて財源別の予算配分を示すことにより、PIP 策定ステップにおけるセクター省庁との協議の中で各事業の実現性や優先度議論が具体化できる。

(2) 事業審査・事業再審査・終了時評価・事後評価実施のための合同委員会設置

上述取組みのあらゆる場面で、個別 PIP 事業の審査や評価が求められる。その折、NDA は開発計画との整合性や事業そのものの効果測定を確認する役割を担う一方、MOF は各事業の経済性を分析する役割となっている (予算法第 28.5 条/第 28.11 条)。双方の結果を持って、事業審査・事業評価が成立することから、各ステップでの審査や評価が計画的に実施できるよう、合同評価委員会を設置することを薦める。同委員会にはコアとなる NDA・MOF の職員の他に有識者やセクター組織の関係者も都度参加する。

(3) 年度予算のシーリング設定や調整

MTFF や年度予算書を作成する MOF では、中期的な項目別開発予算枠を検討していない。上述(1)の投資ロードマップの策定を通じて、開発予算の中での戦略が明確になる。それを活用すると、年度予算の財源協議が可能となる。NDA が提供する各 PIP 事業のモニタリング結果を踏まえ、必要に応じて予算枠の調整が可能となる。

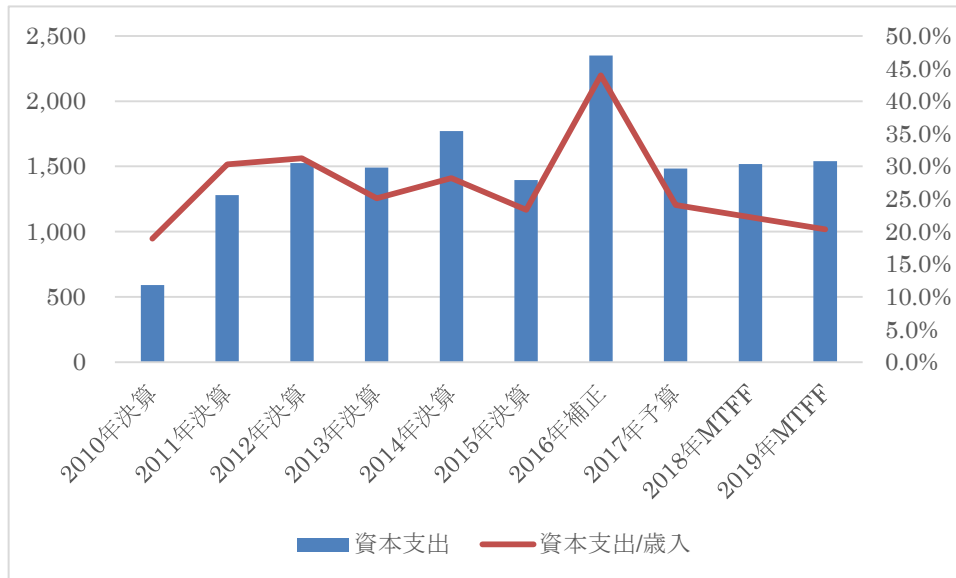
さらに、これまで MOF で懸案となっている完了事業の維持管理に関連する予算確保についても、上述(2)を通じて実施する事業審査や評価を経て詳細な情報が入手できるようになる。

(4) プログラム評価

上述(8)で述べた PIP のプログラム評価を実施することによって、PIP 掲載事業の経済効果や進捗状況を確認することができ、次期アクションプランや PIP 策定に向けた投資ロードマップの更新や財源計画の策定が容易となる。またそれらの情報を NDA・MOF の間で共有することによって、早い段階で次期 PIP プロセスの運営管理プランを策定することが可能となる。

5.4 公共財政管理における公共投資財源の枠組み

本章では、公共財政管理における公共投資財源の枠組みとして、財源別に現状と課題を検討する。第3.1章で既述のようにMTFF2017-2019によると、2017年から3年間の資本支出は、統合予算ベースでそれぞれ1兆4,839億MNT、1兆5,176億MNT、1兆5,406億MNTと計画されている。この水準は、2012～2013年の資本支出の水準に近い。



出典：MOF資料、MTFF2017-2019をもとに調査団作成

図 5.4.1 資本支出推移と歳入に占める割合

一方、2017年の国会承認予算における財源別プロジェクト別の公共投資では、国家予算、DBM、コンセッションの財源別にそれぞれ2,507億MNT、1,728億MNT、715億MNTの合計4,950億MNTとなっている。

なお、第6.2章及び第6.3章で既述のように今後のPPP、コンセッション等の展開方向性、外国投資誘致、民間投資の方向性などを示す上で重要な役割を果たす包括的投資政策及びロードマップといった枠組みが現状存在しないため、本章では財源別のオプションを記載するに留める。

(1) 国家予算を財源とする資本支出

2018年及び2019年の財源別予算予測では、それぞれ1,689億MNTと419億MNTの国家予算を財源とする資本支出が計画されている。

2016年9月の国会議長令第47号において2016年補正予算以降、国家予算によるスポーツ施設や文化施設の新規建設は禁止され、教育施設はセールアンドリースバックをして不効率的な投資を抑制するよう方針が出された。

MTFFでは、2017年を底として2018年以降、歳入が回復する計画となっているが、歳入の増加分の多くは債務弁済を含む経常支出に回される予定であり、国家予算を財源とする大規模な公共投資は当面、期待できない。

(2) DBM 等の開発融資・プロジェクトファイナンスを財源とする資本支出

財源別予算予測では、2018 年は 1,091 億 MNT の資本予算が予測されている一方、2019 年は予算が無い。その理由は、第 3.1 章で既述したように 2017 年の予算編成時、DBM は国会で DBM 法改正を含む DBM 再編が議論されていたためと思われる。

2017 年 2 月 10 日に国会で決議された改正 DBM 法では、国会や政府が DBM に対して有する権限を改正する他、第 27 条で貸出金残高と債務保証残高はそれぞれ資本の 50 倍以内という規定を新たに設け、国会や政府の介入に制限を設けて DBM の経営独立性を強化し過去の乱脈経営を繰り返さないようにしている。

一方、ERP では「経済成長を支える大規模プロジェクトの実施のための長期資金の確保を目指し投資基金（インベストメントファンド）を設立する」という項目があり、DBM がその受け皿になる準備をしている。

また、DBM 自身の意向として、今後は①農業、②有料道路、③鉄道、④エネルギー、⑤鉱業セクターへのプロジェクト・ファイナンス、または商業銀行経由の融資を計画している。DBM 法が改正され経営独立性が強化されると経済効果の低い公共投資を実行する事ができなくなる点はメリットとなる一方、資金調達が困難になると財源としての意味が無くなる。改正法に基づきガバナンスが強化され、政治面の圧力が極力排除され持続的安定的な経営ができるようになる事が前提であるが、今後、公共投資の財源の柱の一つになるためには財政面や金融技術面でドナーや外国金融機関から資金的かつ技術的なバックアップが必要と思われる。

(3) PPP スキームに基づく民間資金

財源別予算予測では、2018 年は 7,096 億 MNT、2019 年は 3,945 億 MNT の資本予算がコンセッション方式で予測されている。

一方、ERP においてコンセッション事業として実施された又は実施中のプロジェクト・プログラムの審査、今後実施されるプロジェクト・施策のリストの承認、実施方式（メカニズム）明確化が定められているため、多くの問題を抱えている BT スキームの見直し無しに短期的にこれだけの公共投資がコンセッション方式で行われるとは考えられない。ただし、中長期的には BOT 等を用いた官民連携スキームを有効に機能させ、公共投資の財源の柱の一つになる事が期待される。

また、現行のコンセッション法の改正は、昨年、国会で定められた 2020 年までに改正予定の 259 本の法律の一つにも含まれており、政府プロジェクト入札、コンセッション方式、法執行を円滑にするための委員会設置、国家予算との調整が改正される予定である。

(4) ドナー支援（ODA 資金）

第 3 章で見てきたように国際機関または各国政府は有償及び無償の資金協力をモンゴルに対して行っている。また、今後も協力は継続していくものと思われるが、既述のように IMF の支援が決定すると IMF の方針に沿って、各ドナーもプロジェクトの活動内容や実施予定を大幅に修正する可能性があるため注意が必要である。

(5) 基金等

モンゴルでは 2006 年に公布された政府特別基金法（最終改正 2016 年 11 月 10 日）によると、現在下記の基金が存在し、それらの基金の一部は予算外で活動している。なお、第 3 章で述べた LDF は公共投資に関係するが、政府特別基金法に含まれない。

その中で公共投資に関係する可能性がある基金として将来遺産基金 (FHF) が挙げられる。FHF は、2016 年 2 月 5 日に決議され 2017 年 1 月 1 日から施行される FHF に基づき運営される。FHF は、現在の歳入を将来の世代へ配分するために設立された基金である。主な財源は 2016 年末で解散となった人間開発基金 (HDF) と同じく鉱物資源使用料の 65% であるが、HDF の債務を引き継いでいることから 2017 年予算案によると 2022 年までは全ての収入は国家予算へ移管される予定である。したがって、FHF として公共投資を行う事は現時点では想定されていないと思われる。

表 5.4.1 政府特別基金法に基づく基金の一覧

| 基金名 | 財源 |
|--|--|
| 非常事態基金 | 国家予算のみ |
| 政府準備基金 | |
| 文化芸術振興基金 | 財源の多くは予算 具体的には下記 ・中央予算 ・国際機関、ドナー国、国内外の組織及び国民からの援助・寄付 ・外国及び国際機関から政府を通じた債務 |
| 教育ローン基金 | |
| 在外モンゴル人支援基金 | |
| 環境保護基金 | |
| 科学技術基金 | |
| 軍事発展基金 | |
| 犯罪被害者補償基金 | |
| モンゴル研究振興基金 | |
| 政府債務保証基金 | |
| スポーツ振興基金 | |
| 健康増進基金 | |
| 中小企業発展基金 | |
| 穀物生産振興基金 | |
| ユニバーサルサービス基金 | |
| 家畜保護基金 | |
| 国際協力基金 | 財源が特別法により別途規定される基金 |
| 社会保険基金 | |
| 社会福祉基金 | |
| 国道基金 | |
| 雇用促進基金 | |
| 職業教育訓練振興基金 | |
| 将来遺産基金（2016年までは人間開発基金） | |
| 予算安定化基金 | |
| 健康保険基金 | |
| 産業発展基金 | |
| 将来年金準備基金 | |
| モンゴルを自然災害被害からの復興支援のため、国際機関、ドナー国、外国機関、外国人、モンゴル人またはモンゴル法人による援助及び寄付 | 援助、寄付のみ |

出典：政府特別基金法から調査団が作成

(6) 外国直接投資 (FDI)

その他、外国直接投資 (FDI) も財源オプションの一つとして当てにしなければならないが、まずは過去の急な政策変更等で失われた外国人投資家からの信頼回復を行う必要がある。ERP においても FDI 誘致のための法的環境の改善や外国投資家利益保護評議会の設置、また投資家の利益保護のための法的環境の改善を図る事が記載されており NDA がその主管官庁となっている。

6 開発政策・公共投資計画能力強化のための協力の方向性（支援オプションの検討）

6.1 支援協力プロジェクトの主目的と主要成果

昨 2016 年 8 月の時点における、モンゴル政府からの要請書では、技術支援協力の目的として以下 3 点が要請されている。

＜当初要請書時点における技術支援協力の目的＞

- i) **開発政策部門の人材能力開発・向上のための研修等実施支援**：開発政策上の目標、目的、指標等を明確にする能力を向上させるために、政策策定・計画立案に係る中央・地方双方のレベルの当局関係職員に向けた研修、ワークショップ、セミナー等の実施。
- ii) **公共投資計画 (PIP) 策定支援**：開発政策計画法に規定される PIP の対象事業評価を含む策定に係る技術的支援、及び、これに関係する投資計画・実施人材育成。
- iii) **既存の各省政策の開発政策整合性の評価・連携支援**：適切な PIP の枠組み構築のため、開発政策 (SDV-2030 : 「長期開発ビジョン」) における“モンゴル開発コンセプト”と、既存の各省政策との整合性・連携確保のための評価。

今般の調査では、その後の体制変化、関係情報・関係者からの意向の確認を踏まえ、上記趣旨を反映しつつ以下のとおり整理する。

＜今回の調査を踏まえた技術支援協力の目的＞

- i) **各省政策及び (PIP の対象となる) 公共投資事業の開発政策 (「長期開発ビジョン」) との整合性評価・確保支援**：公共投資に関わる各省毎 (セクター毎) の政策、及び、関係する公共投資事業をレビュー・整理・調整し、「長期開発ビジョン」との整合性を評価・確保する支援を目的とする。
- ii) **公共投資計画 (PIP) 策定支援**：「長期開発ビジョン」、政府アクションプラン 2020、ERP を実施していくための包括的投資政策及び投資ロードマップの策定、及び、これに基づく PIP の包括的策定に係る支援を目的とする。(同策定支援には、事業評価、実施・モニタリング等の手法、PIP レビューを通じた PIP のリファイニング (精緻化) プロセス、及び、各省間事業調整・財源確保を含む実施にあたっての制度的体制整備に係る技術支援を含む。)
- iii) **開発政策部門の人材能力開発・向上支援**：政策評価から PIP 策定・モニタリングまでの一連のプロセスに必要とされる、関係担当者の能力向上 (Capacity Development : CD) 支援を目的とする。

6.2 カウンターパート機関の選択

(1) 大蔵省との協働体制

上記、第5章のNDAの機能概要、においても明らかにしたとおり、昨年の政権交代に伴う政府の組織改革までは、公共投資分野については、各省（セクター毎）の政策評価及びPIP策定は、従来の大蔵省（MOF）専権となっていた。しかし、現在、開発政策実施に係る公共投資の観点からの政策評価調整及び公共投資計画策定（起草）についてはNDA、国の予算に係る公共財政管理の観点からの政策評価調整及び予算計画策定についてはMOFという分掌体制となっている。

このため、上記目的からは、一義的にはPIPを所掌するNDAをカウンターパートとすることが合理的である。他方、PIP財源には国家予算との関係は不可分であり、また、起草されたPIPを精査する立場にあるMOFは、PIP策定・実施プロセスの中でNDAと車の両輪の関係にある。一義的にカウンターパートがNDAであっても、MOFとの協働は不可欠であり、実際の支援活動の対象は支援内容に応じてMOFを含む体制を前提とする必要がある。

具体的には、年度毎の各省事業としての公共投資事業とPIP対象となる公共投資事業の整合のとれた選択・評価基準（「長期開発ビジョン」と各省政策の整合性を含む）を明確にすること、PIP対象公共事業に対する予算配分に関する考え方を明確にすること、予算以外で調達すべき財源、例えば、民間投資、DBMの開発融資、ODA援助資金等について検討・調整すること等、NDA・MOF双方が共通の理解と、必要に応じて省令・大臣令等といったルール化が必要な分野があり、両者による委員会と検討分野毎のワーキンググループの設置等を通して検討・協議することが期待される。

(2) アイマグ及びソムとの連携体制

一義的にはPIPの全体像を描くことが重要であるが、PIP対象事業にはアイマグ及びソム等各地域との関係が強いものもあり、そうした視点からは、各アイマグの開発計画との調整・整合性確保も重要となる。既にNDAでは、アイマグ及び一部ソムとのMOUを締結する等、関係を構築しており、こうしたネットワークも活用し、アイマグ及びソムの計画関連部署が参加する体制（ワーキンググループ等を構成）を視野に入れることも重要である。

(3) 外部諮問機関等のステークホルダーとの連携体制

上記に加え、支援内容に応じて、国会常任委員会ワーキンググループ、政府研究機関、大学、ドナー等国際機関、また、NDAが設置を検討している技術諮問機関（呼称「シンクタンク」）など、上記目的で提起する制度的体制整備の対象となり得る客観的・技術的諮問ができる機関との連携体制を構築することが重要である。

6.3 実施体制の在り方

(1) 実施体制

JCC のモンゴル側の構成メンバーは、例えば、NDA 長官を議長として、国会国務常任委員会委員長、NDA 各課長、MOF 関連局長、関連省庁・副大臣クラスをメンバーとして設置することが考えられる。また、MOF に関して、関係方面とも協議の上、しかるべきレベルで共同議長として参画することも検討する必要がある。現在、NDA の位置づけは首相直轄であるために、省レベルの下に位置づけられているが、関係方面において省レベルへの改編への関心もあげられており、状況を確認した上で、モンゴル側と協議の上、最終的な JCC 構成メンバーなど決定することが望まれる。

PIP 対象事業に関しては、省庁横断的に関係省庁及び関係機関からなる「プロジェクトユニット」が設置されることとなる¹。必要に応じて、「プロジェクトユニット」等の設置がある案件あるいは分野毎に、JCC の下にワーキンググループ等を設置し、各分野の専門的議論を進めることができる体制などを検討する余地があろう。(なお、「プロジェクトユニット」については、NDA がイニシアティブをとる立場になるということであるが、権限範囲については更に特定し規定する必要がある。)

JICA 技術協力プロジェクトチームは、JCC の所掌する分野において、政策評価を含む PIP 策定プロセス及びその財源確保の体制及びスキームに係る部門（機能）に対して、それぞれ適切な技術支援・能力向上を実施できる複数の専門家からなる支援体制を組織する。また、支援過程で組織される可能性のある「諮問機関」「シンクタンク」等にも、必要に応じて、構成メンバーとして参画できる体制を構築する。

(2) 実施期間

技術協力実施期間は、2017年9月（目途）～2021年6月（全46か月間）とし、総選挙が予定される2020年7月～8月の2か月間を挟んで、前半2017年9月～2020年6月（34か月間）を、上記目的に照らした、「長期開発ビジョン」との整合性確保及び実施モニタリング支援を含む、PIP 策定支援に係る制度構築及びCD等支援活動を実施し、PIP 策定のために必要とされる基本的な機能整備を図る。後半の2020年9月～2021年6月（10か月間）については、選挙後の新体制において支援の成果の維持継続のための制度確認・調整及び新規関係者への引き継ぎとCDを中心とした支援活動を実施する。なお、選挙期間については、必要に応じ、新体制組織に係る情報収集を実施し、後半の活動が速やかに立ち上げられる環境整備を行い、支援実施体制についてもレビューし調整を図る。

6.4 PIP 策定及び実施体制整備に向けた技術協力分野（支援コンポーネント）

以下、技術協力分野については、今回の調査期間中、NDA 側からは5項目全てについて、また、MOF からは政策評価についてのCD支援への期待が寄せられている。

¹ 現在、既存の公共投資案件（例えば、バガヌールにおける石炭液化事業等）には、鉱業エネルギー省をはじめとする関係機関から構成される「プロジェクトユニット」が設置される等の動きがあるものがある。

(1) 「長期開発ビジョン」 整合性確保のための政策評価及び PIP を踏まえた政策間調整に係る支援及び関係部門の人材能力開発・向上支援

PIP の対象となる公共投資事業の基礎となる各省の政策について、「長期開発ビジョン」の開発コンセプトとの整合性を評価検証し、PIP の対象となる事業を踏まえた各政策間の調整をするための技術的助言 (Technical Guidance) 及び手法開発にかかる支援の提供、及び、関係部門の人材能力開発・向上支援。

本支援分野では、現在、NDA 及び MOF 共に、「長期開発ビジョン」と各省政策の整合性評価に取り組む体制を整備している (現在、NDA では 4 名、MOF では 8 名が配置されている)。関係部門担当者に対しては、具体的な政策評価・政策間調整に係る基準・手順・手続き等の技術支援を実施すると共に、一連の評価・調整プロセスに基づく 이슈毎 (例えば、公共投資事業優先度の基準の適用方法、各省との公共投資事業調整の際の確認手順等) の短期研修、マニュアル化の指導、各省政策部門への指導を念頭に短期 TOT 研修・各省を交えたセミナー/ワークショップ等を実施することが検討できる。尚、職員の知識習得に関しては、JICA プロジェクトにおいて、適宜、その機会を創設するが、必要に応じて、モンゴル国立大学 (ビジネス部ファイナンス学科で公共財政管理、経済学部で行政学、会計学部でモニタリングに係る正規カリキュラムあり) に短期研修の機会を設けたり、モンゴル科学技術大学やファイナンス経済大学の協力を得て、特別研修プログラムの創設を求める事ができる。カウンターパート自ら、そのための予算措置を講ずる必要がある事は言うまでもない。

一方、整合性評価自体は、いずれの機関も同様の取組となるが、整合性評価を踏まえた政策に基づく公共投資事業に対する対応は以下のとおり異なる点には留意する必要がある。

NDA を主な支援対象とする場合は、国家的な開発政策実現のための公共投資事業のプライオリティを明らかにすることが主眼となり、そのための財源確保の方法などの検討とも関係するプロセス支援となる。PIP 策定プロセスの一環をなす。(想定される主な担当部署：開発政策・計画課)

MOF を主な支援対象とする場合は、国家予算策定を踏まえた、効率的かつ効果的な各省の年度事業の実施のための公共投資事業を特定することが主眼となる。公共投資支出だけでなく、公共財政管理の観点から予算全体の中での公共投資の位置づけを明らかにするための支援につながる。公共財政管理のコンポーネントとしての公共投資予算策定の一環となる。(想定される主な担当部署：開発政策・計画課、公共投資局)

(2) 包括的投資政策・投資ロードマップ策定支援

「長期開発ビジョン」に基づき、早急に各省毎の第 1 期中期開発政策が策定されることが急務の状況であるが、現実的には、本年 5 月 15 日までに起草すべき PIP、及び、公共投資全般の計画の基盤となる、「長期開発ビジョン」と整合的な中期的投資政策の枠組み (政策/戦略) の策定が必要である。開発投資に係る政策 (計画) 策定という観点からは、NDA の専権分野となるが、本来その基礎となるべき中期開発政策策定については、

開発政策計画法では MOF の所掌分野となっている²。この中期開発政策作業（長期開発ビジョン 2030 をベースに 5 年間計画に落とし込む作業）は、新政権後発足時の政府組織改編時には組織体制的には NDA 所管になったものの、開発政策計画法上は MOF 所管のままに残っており、現在、NDA の所管になる様、法改正を行う準備中であると事である。それぞれについて支援の内容を概観すると以下のとおり。

NDA を主な支援対象とする場合は、PIP 策定の元となる投資政策策定支援につながる取組となる。特に、投資政策のないモンゴルにとって、この分野の支援は公共投資分野においても、今後の PPP、コンセッション等の展開方向性、FDI 誘致、民間投資の方向性などを示す上で重要な取組となる。なお、既に、NDA では、PIP 策定検討ワーキンググループの活動の一環として投資ロードマップの検討にも着手しているので、これを支援しつつ、その中で公共投資の位置づけ、また、それら財源手当についての方向性を明らかにするという観点からの支援とすることを検討すべき（想定される主な担当部署：開発政策・計画課、セクター開発政策調整課）。

MOF を主な支援対象とする場合は、開発政策計画法第 8 条の改定により、中期開発計画策定が NDA の所管になった場合でも、投資分野を含め財政的な枠組みを規定する立場から、公共投資分野を公共財政管理の基礎となる政策を提起する事になるであろう（想定される主な担当部署：開発政策・計画課、公共投資局）。

(3) 公共投資事業評価技術及び財源手当・調整のための能力強化及び制度整備支援

本件能力強化支援は、上記支援プロジェクトの目的の 2 番目を直接受けた支援分野である。支援範囲は、公共投資に係る事業評価、実施・モニタリング等の手法に加え、評価基準の設定、優先順位決定及び実施計画策定プロセスの客観化・明確化等の制度整備を含む。

NDA を主な支援対象とする場合は、PIP の対象となる公共投資事業³が対象となり、開発政策を実施する上での評価・優先順位設定及び実施事業の評価に重点をおいた CD と制度整備支援となる。本年度については、5 月には PIP が策定されることから、実質的には、今後のレビューを通したリファイニング(精緻化)プロセス、及び、これに基づく各省間事業調整・財源確保を含む実施にあたっての制度的体制整備に係る技術支援となる。なお、政府予算を超える財源の手当については、MOF との協議プロセスなどを明確にし、各省と連携した一定の調整機能整備を視野に入れることが重要である。(PIP 対象事業の、PPP プロセス、投資ファンド等の利用を含む財源調整と NDA の役割についての明確な制度整備。)（想定される主な担当部署：総合投資政策課）

MOF を支援対象とする場合は、一般予算の対象となる公共事業が対象となり、各省政策に基づく年度毎の事業について予算全体の執行の一部として評価・優先順位が検討され、

² 開発政策計画法第 8 条 2 項 (Article 8.2) では、“The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget matters shall develop the State policy to be implemented at the inter-sectoral level jointly with respective State Central Administrative body.”と規定している。

³ 予算法の規定に基づけば、MNT300 億（約 1,200 万 USD）を越える事業を PIP 対象とし、それ以下は一般予算の公共投資部門で計上することとなっている。

各省予算に組み込まれる。従って、開発政策計画法による PIP の策定支援ではなく、年度予算・MTFF 策定における公共財政管理の内、特に公共投資部門に焦点をあてた支援となる。(想定される主な担当部署：金融政策・計画局、投資予算局)

(4) NDA の PIP 策定・実施プロセスに資する諮問機関及び「シンクタンク」の設置支援

1) 諮問機関設置支援

NDA における PIP 策定・実施プロセスを鳥瞰的に掌握し、NDA の諮問に、適宜、マクロ的な視点から対応できる諮問機関設置が必要である。現在、NDA からだけでなく、モンゴル側の主要有識者からも、日本における「経済財政諮問委員会」といった機関（機能）の設置が期待されている。既に招集されている首相直轄の「経済開発委員会」を母体とすることも一案であるが、諮問機関の在り方を含め検討し、PIP 策定・実施プロセスの上での位置づけ・機能等を明確にした制度的体制整備と運営面での技術支援が必要である。

(想定される主な担当部署：開発政策・計画課、セクター開発政策調整課、総合投資政策課)

2) 「シンクタンク」設置支援

上記諮問機関がマクロ的な視点であるのに対して、専門分野毎の技術的な諮問に答え得る機関（機能）の設置が必要である。PIP 対象事業の評価、政策面での実施進捗等評価については、幅広い分野における技術的専門知識・情報が必要であり NDA をサポートする必要がある。現在、NDA 内においても、国際ドナーを含む専門家、学識経験者等からなる「シンクタンク」の設置が検討されているが、上記と同様、その在り方を含め、制度整備に係る技術支援が必要である。(想定される主な担当部署：開発政策・計画課、セクター開発政策調整課、総合投資政策課)

(5) PIP 策定・実施プロセスに係る法的な詳細規定の充実

PIP の基本的な枠組みは、開発計画法、予算法、投資法等々で既に整備されているが、具体的な詳細規定については今後充実化が期待される。(例えば、NDA の行政的ステータスの適正、PIP 策定・実施プロセスにおける NDA と MOF との連携・デマケーション・手続きの具体化、各省からの公共投資事業案件提起手続きの具体化、事業評価にかかる客観的な基準整備、等々) また、現在 NDA のイニシアティブによって進められている各省協議の場は、PIP 対象事業の形成（設計）・評価において非常に重要な役割を果たし始めているが、こうした検討の取組についても PIP 策定・実施プロセスにおける位置づけと機能の明確化が必要である。PIP 策定プロセス及び今後のレビュープロセスを通して必要とされる詳細規定の検討・策定に係る技術支援が必要である。(想定される主な担当部署は、対象となる分野を所掌する NDA/MOF 双方の部署)

6.5 関係ドナーとの協調スキームの可能性

関係ドナーの支援状況については、上記「3.3 ドナーの協力プロジェクト」で概観したとおりであるが、現在、NDA 支援については GIZ、UNDP、IFC、MOF 支援については ADB、EU、KOICA、世界銀行、がそれぞれ中心となって支援を実施している。

(1) NDA における協調スキーム

GIZ は、2020 年まで延長を決定した「Integrated Mineral Resource Initiative」プログラムにおいて、鉱物資源開発地域振興の一環として地域開発（4 アイマグ対象）を支援している。本件との関係では、中央の投資政策推進の一環として地方の政策との連携をはかる取り組みとなる本件と、関係する地域における地方行政支援に取り組む GIZ とは、棲み分けに加え連携が可能。GIZ 側は、JICA との MOU 締結に関心がある。カナダ政府とは地域開発に関して連携の MOU を検討中とのことである。

UNDP は、SDG17 項目の達成に向けた各アイマグレベルでの開発政策支援に重点を置く方針である。中央からのアプローチをとる JICA 支援との連携に関心を有している。他方、SDG 推進のためのアドバイザーとして UNDP 自体が登用している専門家（ハシチュルーン教授）を、NDA 活動全体のアドバイザーとしてもアサインしており、PIP 策定・実施プロセス支援を軸とする JICA 支援と補完関係を構築できる。

IFC では、NDA と本年 7 月までの MOU を締結しており、各省協議会開催、研修の提供などに加え、ローカル及び国際コンサルタントを派遣し、5 月 15 日提出予定の PIP 起草に係る政策及び事業評価の技術支援を行う。JICA 側の支援は 7 月以降これを引き継ぎつつ、上記の支援コンポーネントを展開する形で実施する協調スキームが考えられるが、NDA 側からは、7 月までの期間も、JICA には IFC 支援と伴走する形ででも、早急な支援開始の期待がある。（IFC には期日までの PIP 起草のための支援、JICA には、より中長期的に維持可能な体制整備・能力向上のための支援を期待している。）なお、IFC 側からも、通常、上流部分への支援は行っておらず、JICA が連携しこの部分のサポートに入ることを期待し連携を歓迎している。これらを踏まえると、本格支援が開始されるまでの期間、政策評価面及び事業評価面双方で、短期専門家派遣等により要請に応えつつ、本格支援へのシームレスな支援スキームを検討することが肝要。

(2) 大蔵省における協調スキーム

ADB では、公共投資運営管理に係る ICT 構築を目的とした準備調査を実施中で、開発予算の計画策定・支出プロセス、Glass Account Law に基づく公共投資案件の動向をモニタリング、関係する研修の提供などを実施している。徴税制度の電子化の実態調査も実施中で、2017 年を目途に 1 億 5,000 万 USD 規模の有償案件として、低所得者層への社会保障を目的とした Policy-Based Loan 支援を実施予定。MOF、NDA いずれを対象とした支援スキームでも、JICA において、公共投資事業評価等での支援が実施される場合、システムのバックアップを得るといった協調スキームを検討できる。

EU については、「Economic Governance for Equitable Growth Project」の 3 年目、フェーズ III の Annual Work Plan が 2 月 14 日に合意されている（予算残は 250 万 EUR 規

模)。同プロジェクトは、MOF の開発政策策定と監視・評価プロセスについての能力強化を目的として、政策と MTFF との整合性確保、実施面での監視・評価、予算法と整合性を確保した国会等との連携を通じた政策検討等のプロセスの強化のための研修プログラムなどが予定されている。

KOICA については、10 名程度の専門家による研修等 CD 支援を波状展開しているとのことであったが（2 月上旬現在、労働福祉専門家が活動している）、T/A 的側面での具体的な支援実態は MOF 側から確認できなかった。但し、MTFF 策定を支援する機材及びソフト供与について支援実施が確認された。

世界銀行では、「MSTAP : Multi-Sectoral Technical Assistance Project」のフェーズ I において、予算投資のポートフォリオ統合、投資優先順位の合理化、PPP 及び同スキームへの MOF の関与等についての支援を実施しており、継続して本年 7 月からフェーズ II が実施される。なお、同プロジェクトでは、現在、世銀から人件費の支援を得ている専門家約 20 名が MOF の各部署に配置され、主要な業務の担当として省内の通常業務に携わっている。JICA との協調スキームとしては、NDA 側の支援に軸を置くとすれば、投資優先順位の合理化、PPP 関係との協調スキームを検討することが可能であるが、直接的に対 MOF 支援を考えると、重複する部分があり得るので調整が必要である。

6.6 実施上考慮すべき留意点

(1) PIP 対象事業に対する予算の考え方

現在の財政状況と経済状況を注意深く観察する必要がある。MTFF ではやや楽観的な数字が計上されていることもあり、PIP 策定に際して財源根拠をモニタリングする必要がある。NDA としては、PIP 事業への政府予算を上回る部分の財源について、別途手立てを検討する必要があるが、この部分の事業予算シーリングが不明である点、また DBM の開発ファンドに期待できる部分が不透明である点から、今後、事業採算等評価において課題を有している。また、MOF 側においても、PIP 事業による歳入を前提とした MTFF 等予算計画を提起しているが、これまでの BT 案件への対応を含め、PIP 事業を PPP スキームにのせる可能性に対応した財政支出の検討は十分ではないと考えられる点に留意が必要。また、IMF の Stand-by Arrangement あるいは拡大信用供与 (EFF) 如何により、今後数年の公共投資財源枠に大きな影響がでることが想定される点にも留意が必要である。

(2) 持続的な体制整備及び能力開発

政権交代があっても機能する仕組みの構築が必要であることは従来からの視点であるが、開発政策計画法成立以降は、同法の実効性を裏付ける上でも重要となる大きな命題である。そのため、本支援案件実施に際しては、開発政策計画法、「長期開発ビジョン」の段階からイニシアティブを有してきた国会国務常任委員会の継続的な関与とその在り方に留意する必要がある。また、政権交代毎に省庁再編や行政官の大幅な入れ替えがあり、ノウハウやデータが後任へ引継ぎされない点が指摘されるが、今後の支援にあたってはこうした蓄積が属人的なものにならないように注意し、組織に帰属あるいは制度化される仕組み作り（ナレッジベースの構築等）が必要である。

(3) これまでの JICA 技術支援の成果の活用

これまで、JICA においては、開発政策、投資政策、PFM 等ガバナンス、それぞれの分野で、技術支援の実績がある。しかし「外交投資促進のためのキャパシティ・デベロップメントプロジェクト」(2010年11月～2013年5月)「モンゴル PPP 能力強化プロジェクト」(2014年5月～2016年4月)等のプロジェクトでは、プロジェクト期間の間に総選挙による政府組織改編から、支援対象機関の大幅な改組、支援対象人材の他部門への異動等が生じ、支援成果の実質的確認が難しい状況を経験してきた。これらの経験を活かし、持続的な体制整備等に資する取り組みに留意すると共に、これらの支援実績で、個別属人的、一部組織・制度的に維持されたものについては、見落とすことなく有機的に連携し、本件の取り組み推進に資するよう留意することが重要である。NDA 及び MOF 及び関係方面には、上記プロジェクトの成果の片鱗が散在している点にも確認が必要である。

また、MOF を対象に支援継続されている「内部監査及び業績モニタリングにかかる能力向上プロジェクト」(フェーズ I : 2012年1月～2014年7月、フェーズ II : 2014年8月～2017年8月)、公共投資に深く関わる地域開発の分野における「モンゴル国地域総合

開発に係る情報収集・確認調査（MONDEP）」（2015年3月～2016年11月）等の成果の活用を検討することが重要である。特に、後者の MONDEP に関しては、前政権・現政権を通して、公共投資関連を含む提案の多くが継続的に支持されている。

(4) 「全国総合開発計画」策定支援との連携

2016年度に、日本政府に対して正式要請された「全国総合開発計画策定調査」の策定に対して、NDA を初め、関係省庁からの協力の早期開始に大きな期待がかかっている。「長期開発ビジョン」と、それと整合性がとれた「空間計画の策定」は、国の開発行政にとっては車の両輪と認識されている点に留意が必要。2017年1月10日現在、建設都市開発省（MCUD）は、「全国総合開発計画」策定調査の実施を睨んで、自省の政策を盛り込む「国家定住計画の策定」に向けたワーキングチームを立ち上げた。「全国総合開発計画」策定過程には、当然ながら経済・社会インフラに関与する省庁が参画するが、開発管理を主務とする NDA がコアカウンターパートの一つとして主体的に関与する事に留意する必要があり、MCUD 側でも、こうした関連機関が協力する体制を想定している。

7 最後に

7.1 「モ」国における新開発行政システム構築支援の意味

本調査の主旨を説明する目的で面談したモンゴル国会国務常任委員会エンフボルド委員長は、社会主義を放棄して自由経済体制に移行して四半世紀が経ても、国づくりの上で本当に重要な体制及び法制整備を十分に進めてこなかった反省と、現在、マクロ経済が落ち込んで厳しい状況にあるが、新たな開発の時代に入り、今こそ次の時代を作るために最も重要な時であるとの認識を述べられた。そして、新たな開発の時代を確実に前に進めるために、2015年11月に「国家開発政策計画法」が制定され、その法に基づいた「持続的長期開発ビジョン 2030」が2016年2月に国会承認された。この「長期開発ビジョン 2030」は、誰が政権政党となろうと政党を超えて遵守すべき長期開発目標であることが法的に担保されており、現に、2016年6月に実施された総選挙において、各政党のマニフェストは、このビジョンの枠組みから逸脱することは無いように選挙管理委員会からのチェックを受けて実施された。2015年以来、こうした安定的な長期開発政策の立案から実施までを含む国家システムの整備を主体的、精力的に進めてきたエンフボルド国務常任委員長は、我々調査団に対して以下のような熱い思いを述べられた。

「長期開発ビジョン 2030 は、2020 年を中間目標として 5 カ年中期計画にブレイクダウンされ、それが確実に実施される必要がある。この開発行政システムを確実に前に進めるために、首相府の下に新たな『国家開発庁 (NDA)』を創設した。計画の実施に向けては省庁間の調整が鍵になることは、これまでの経験から解っているので、その機能を果たせるように首相直轄の機関と位置付けた。しかし、人材面での更なる能力強化が必要であるし、法制度面の整備も更に必要であろう。国会としても、その為の役割を果たす覚悟があるので、JICA にはこの開発行政の流れが機能し、成功するように支援をお願いしたい。」

調査団は、新たな課題に真剣に取り組み始めたこの政治家と、彼を支えながら新しい開発行政の流れを創ろうと頑張っている「ワーキンググループ・メンバー（経験豊かな有識者達）」との面談を通して強くした思いがある。それは、モンゴルが過去の苦い経験を踏まえて、新たな合理的な開発行政の仕組みを創ろうと、良識あるそれぞれの立場の人達が賢明に努力している今だからこそ、彼らに寄り添った技術支援に本当の意義があるとの思いである。この思いは、2017年1月26日、27日に、全省の政策計画担当者を集めて、NDA と調査団の共同で実施したセミナーにおいて、調査団総括として述べた以下の言葉に表しているので、再掲したい。

「本日、昨年 11 月にテレルジで開催した『公共投資事業にかかる検討会議』に引き続き、第 2 回目の調整会議が開催されることになりました。こうした貴重な機会に、JICA 調査団が NDA と協力し、皆様方とご一緒できることを嬉しく思います。

新しい政権となり、新しい年を迎え、そして、長期ビジョンの新たな始動に際し、公共投資を効果的に進めていくことが、益々重要となっております。昨年末以来、石炭の国際市場価格が若干上向きに推移する傾向にありますが、国際的な経済環境の変化に伴い、

依然、モンゴル経済は楽観できない状況にあります。次の成長ステップに向けて、新たな経済力を蓄える必要にあることは言うまでもありません。厳しい財政状況にある今こそ、将来に向けて真に有効な投資は何かをしっかりと見極めて、実現に向けて必要な手立てを講じておかなければならないと考えます。このような環境で、各省が知恵を出し合って、最も効果的で効率的な公共投資の方向性を検討することは、特段の意義があります。事業の相乗効果・優先順位を各省連携の下で検討することこそ、今、長期的な国家開発を支える重要なアプローチの一つだと考えます。

今セミナーの2日間、各省が最も重要と考える『開発政策』と優先度が高い『開発投資』の方向性について、関係各省で共有し、それらを踏まえて、財務的な可能性を考慮した上で、実質的な公共投資計画（英語で PIP と呼んでいます）の案が策定されるものと期待しています。

その PIP ドラフトは、法的に本年 5 月 15 日までにとりまとめられる必要がありますが、それまでに、何回かこのような会議が開催されると了解しております。与えられた時間は短いように思いますので、今回の協議会で、是非とも実りのある検討を進めて頂けることを期待しております。

なお、我々 JICA 調査団は、モンゴル国において、開発政策の効果的かつ適正な実施体制が構築される事を目標に、ガバナンス強化の観点から継続的な支援を展開することを検討しております。PIP の更新は 4 年毎ですが、毎年のレビューが適正に実施される様に、NDA を中心に、MOF を初めとする関係機関と伴走する形で、中長期的な展望のもとで進められるよう、実質的な支援プログラムを提案したいと思っております。」(2017 年 1 月 26～27 日 NDA-JICA 調査団共催セミナーにおける JICA 調査団総括の開会挨拶文)

7.2 本格技術プロジェクト実施にかかる考慮すべき点

本調査は、2016年9月に発足した新政権の体制が整う以前に、MOFから正式要請された「国家開発政策立案と公共投資計画（PIP）策定に係る人材能力強化」を目的とした技術支援の在り方を検討する情報集中・確認調査であるが、調査を通じて把握できた、この要請の背後にある政治・行政・財政状況の深刻性の認識と取り組むべき重要課題については、前述第6章及び7章に記述の通りである。

以下、本格技術プロジェクト実施計画を策定するに当たって、考慮すべきいくつかの点について、前章までの記述と重複する部分もあるが、以下に記す。

(1) 中期マクロ経済発展及び財政見通しに注視

2020年までの中期国家財政の規模及び投資的財政支出の枠組みについては、マクロ経済見通しと債務削減に対する政策シナリオが、その規模を規定するベースになる。その意味から、現在の財政状況と経済状況を注意深く観察する必要があるが、2016年、MOFが策定したMTFF（中期財政フレームワーク）及びERP（経済回復プログラム）では、やや楽観的な経済回復見通しに基づいていることもあり、出来るだけ直近の経済指標を注視しながら、常にPIPの財源根拠を注意深くモニタリングする必要がある。特に、2017年1月末現在、IMFとの間で議論されている「スタンドバイ取極め(Stand-by Arrangement)」もしくは「拡大信用供与(Extended Fund Facility: EFF)」の借款条件や、それに同歩調を取る援助機関からのODAが膨らむことで、公的投資額の支出可能枠が大きく制限される可能性がある。そうした状況を考慮すると、2017年5月15日までにNDAに策定が義務付けられたPIPは、2018年までに根本的な見直し作業をする必要があることを考慮しておく必要がある。

(2) NDAとMOFとの調整問題

本格技プロに主たるカウンターパートとしては、第6章に論述した様に、NDAかMOFか、どちらかの代替案が考えられるが、中期開発政策の立案と省庁間調整及び一定規模（300億MNT）以上のプロジェクトを扱うPIP策定権限が法的に付与されたNDAをメインのカウンターパートとすることが、本技プロの目的に照らすと合理的判断と思われる。但し、言うまでも無くMOFとの協調、協働は不可欠であり、その意味で、双方組織の業務分掌の整理が必要となる。法的には基本的な責任分担は明示されているものの、現実的・実務的には、どの様な政策項目、どの範囲の政策議論に対して双方の意見調整が必要か、今後、作業過程の中で詰めて行く事になるが、重要なことは、事前に責任分担の明確な線引きをすることよりも、双方が調整すべき領域（ゾーン）をイメージすることのよりに思われる。

(3) 政策継続性の確保に向けた国務常任委員会との関係強化

2020年の総選挙の結果、仮に政権交代があっても、それまでの努力の積重ねによって構築された開発行政システム及び公共投資計画の実効性が損なわれることなく、根本的なところではしっかりと機能する仕組みを構築することが必要である。そのため、国会国

務常任委員会の継続的な関与とその役割を最大限に活用する必要がある。これまでは、政権交代毎に省庁再編や行政官の大幅な入れ替えがあり、ノウハウやデータが後任へ引継ぎされない事が歴史的にも多々起こってきた。今後の支援にあたっては属人的なものにならないように注意して、ノウハウやデータが個人ではなく組織に帰属するような仕組み作り（ナレッジベースの構築等）に特段の留意が必要となる。

(4) 他ドナーが実施する技術支援との補完性の確保

多くのドナーが同分野での支援を申し出ている。NDA に対して、既に UNDP、GIZ、IFC が既に支援に乗り出しており、MOF にも、過去から、EU、WB、ADB、KOICA 等の支援が続いている。想定する技プロを実施する上で、重複を防いで協働できるように関係ドナーへの事前の情報提供は必須であるが、どのドナーも独自の関心事に限定的であって、NDA の能力強化に対して包括的な支援を予定している機関はない。それ故、スコープ変更が求められる等の大きな問題を抱えることは無いが、GIZ が 2014 年 8 月から実施している「Integrated Mineral Resource Initiative II」のカウンターパートが NDA であることから、JICA が実施するであろう本格技プロの活動と接点が生まれる可能性がある。当案件は、鉱業が地域産業の中心になっている地方 4 県（バヤンホンゴル県、セレンゲ県、ウブス県、ウブルハンガイ県）において、鉱山会社、市民、地元中小企業、地方政府の 4 者が協力して進める総合コミュニティ開発プロジェクトである。2020 年までのプロジェクト期間の延長が決まったが、対象地域を拡大することは今のところ考えられていないとのことである。NDA としては、地方開発政策の典型事例として当該 GIZ プロジェクトからの協力を推し進める方針とのことである。

一方、「長期開発ビジョン 2030」の策定支援以来、継続的に NDA 支援を進めている UNDP は、長期ビジョンで謳われている SDGs の達成に向けて、モンゴル国の開発政策及び財政及び開発資源が目標とする方向に確実に向けられているかという問題に大きな関心があり、その流れの中で NDA 行政能力強化支援を検討している。具体的な関心は、より現場に近い地方政府に置いており、包括的視点から国レベルの開発政策に焦点を置く JICA 技プロ案件とは、ある意味、補完的な関係を築くことが可能であろう。

IFC は、NDA が所掌する開発行政の中で、特に、民間投資・PPP によるエネルギー部門のインフラ投資プロジェクトの実施に強い関心を持っている。投資金融機関である IFC が、政策立案能力強化やガバナンス等の上流部門の支援に関心を持つことは稀であるが、NDA がその機能を十分に果たせる機関となるためには、創設期が重要との認識から、限定的ではあるが 2017 年 7 月まで、コンサルタントを調達して独自の CDTA (Capacity Development Technical Assistance) を実施する予定とのことである。これも、JICA 技プロ案件とは補完的な関係となる。

(5) 「全国総合開発計画策定調査」との相互調整の在り方

昨年度 JICA に正式要請された「全国総合開発計画策定調査」（以下「全総調査」と称する）の策定に対して、NDA を初め、関係省庁からの協力の早期開始に大きな期待がかか

っている。長期開発ビジョンと、それと整合性が取れた「全国総合開発計画の策定」は、国の開発行政にとっては車の両輪と認識されているからである。

こうした中で、2017年1月4日、建設都市開発省（MCUD）の重点政策である「国家定住計画の策定（Formulation of General Plan for Mongolia's Population Settlement）」を実施するための首相決議（No. 5）が発令された（7章添付資料参照）。当決議では以下の点が示されている。

- 1) 国家定住計画の策定のために国家委員会（National Committee）の設立とその構成メンバーの承認
- 2) MCUD 大臣（Munkhbayar 氏）に対する国家定住計画案の策定と、案の委員会への提出および付議する義務
- 3) MOF 大臣（Chojilsuern 氏）と MCUD 大臣（Munkhbayar 氏）に対して、2018年度、2019年度の国家予算において計画案策定費の手当、並びに、海外・国際機関や他の資金による事業実施のため予算措置を講ずる義務

尚、当該国家委員会（National Committee）は、議長には首相が、副議長には MCUD 大臣及ウランバートル市長が任ぜられており、ほぼ全ての省庁の次官及び外局のトップが委員に任ぜられている。もちろん、NDA 長官も委員の1人となっている。事務局は MCUD である。

MCUD が中心となって実施する「定住計画の策定」作業は、当然ながら、MCUD より JICA に正式要請された「全総調査」が実現し、その業務の一環として実施される事が期待されている。しかし、全国総合開発計画の策定においては、当然ながら、MCUD が所管する都市・定住中心、土地管理及び土地利用等に係る計画議論がその基礎をなすものの、それが全てではない。運輸交通システム、自然環境資源管理、産業・経済システム、社会インフラ等、全ての行政部門を包括した議論が求められている。そのためには、MCUD を作業の主体と位置付けながらも、複数の部門別ワーキンググループを構成して、それぞれの部門において、開発政策を空間計画に翻訳する作業を展開する必要がある。そして、それら部門計画を統合した形で全総計画が策定されるが、その包括的な議論においては、首相決議令によって設立された「国家委員会」をそのまま機能させれば良い。この場合、事務局は、MCUD に NDA を加えた 2 者担当とすることが望まれる。開発管理を主務とする NDA が責任官庁の一つとして主体的に関与する事が重要であると思料するからである。

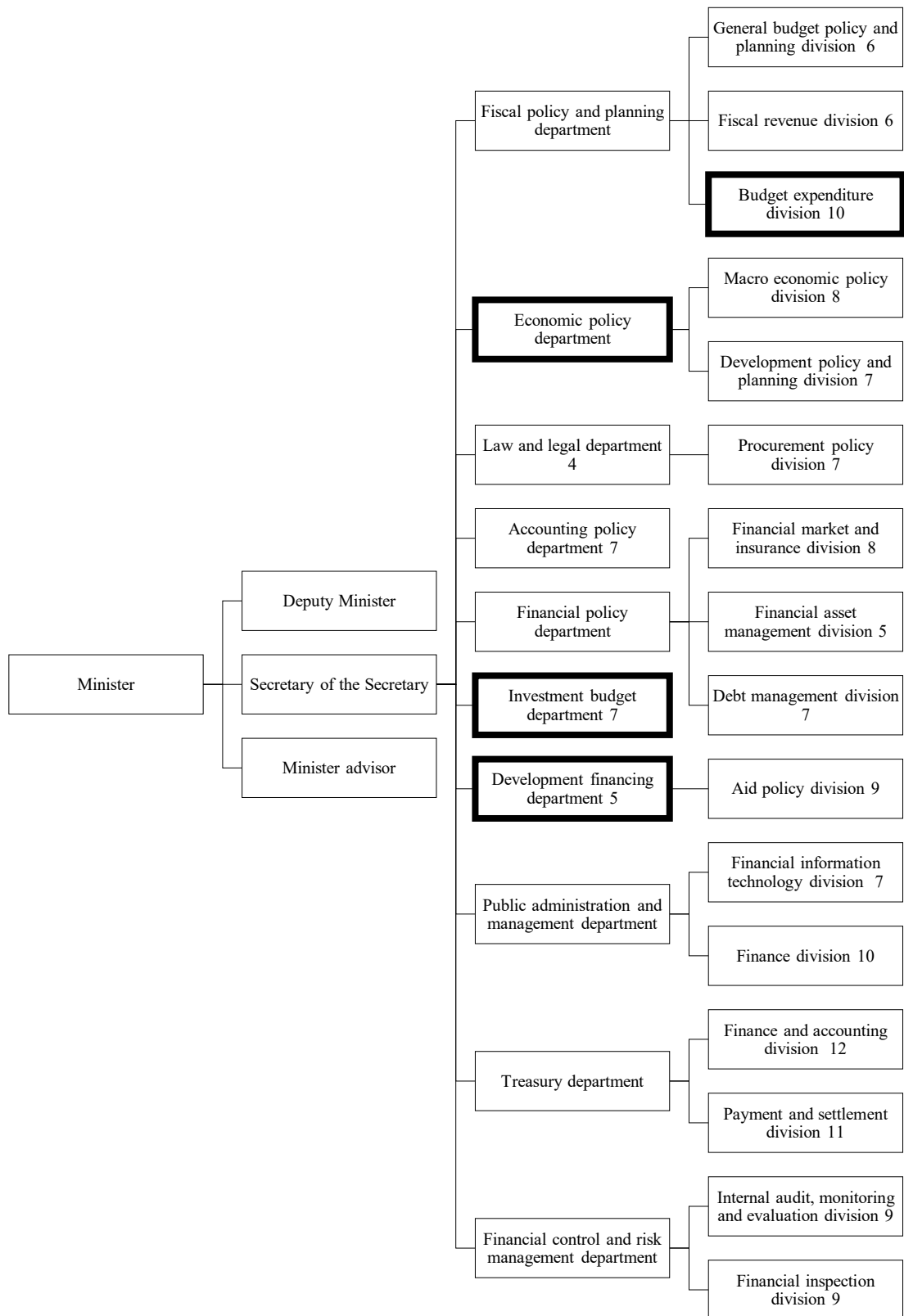
(6) 本格技プロの開始までの間断ない支援の必要性

前章においても記述した様に、予算法に基づいた最初の PIP は、NDA によって 2017 年 5 月 15 日までに政府に提出されなければならない。一方、JICA が本格技プロを開始できるのは、現実的に見て、早くても 2017 年 8 月頃になるのではないかと推察される。PIP の策定支援を一つの目的とするなら、原案策定の重要な局面において寄り添った支援が叶わず、残念ながらその目的を十分に果たせなくなる。2017 年前半、本格技プロが開始されるまでの間、NDA と MOF は極めて重要な業務の遂行が課せられており、それ故、JICA による間断ない支援が強く望まれている。それに応えるために、JICA から短期専門家を

派遣する等して時間的な隙間を埋める事ができないか、次に繋がる本格技プロの援助効果を高める上でも検討を望みたい。

添付資料

大蔵省の組織体制



BUDGET LAW APPROVED by GOVERNMENT

О Г Н О О : 2016/11/10, Нийтэлсэн: , Төрөл: 2017 оны төсөв, Төсвийн тухай хууль, Төсвийн шинэчлэл, Төсвийн эрх зүйн орчин, Хууль, Хэлэлцүүлэг

BUDGET LAW

(Revised edition)

CHAPTER ONE

General provision

Article 1. Purpose of the Law

1.1. The purpose of this Law is to establish principles, systems, composition and classification of the budget, to implement special fiscal requirements, to define authorities, roles and responsibilities of bodies that participate in the budget process, and to regulate relations that rise in connection with budget preparation, budget approval, spending, accounting, reporting and auditing.

Article 2. Legislation

2.1. The legislation applicable to the budget system of Mongolia shall consist of the Constitution of Mongolia[1], the Fiscal Stability Law[2], Debt Management Law, this Law, and any other legislative acts enacted in accordance with this Law.

Article 3. Scope of the Law

3.1. This Law applies to budget entities and their officials, government and local special funds, fully and partly state and locally owned bodies that provide works and services related to the functions of the state on a contractual basis, which are obliged to collect revenues to the budget in accordance with legislation.

3.2. Provisions and clauses on program planning and performance agreements, and their execution and reporting stipulated in this Law, shall not apply to the budget of authorities engaged in executive functions, in accordance with legislation, involving state security.

3.3. Articles related with transparency of this Law shall not apply to the budgets of entities dealing with state secrets, in accordance with legislation, and to the executive functions of authorities specified in Article 3.2 of this Law.

3.4. Budget relations shall be regulated only by this Law, which shall also govern establishment of the

添付資料：予算法

level of financing sources for local government and sector activities and their distribution.

3.5 Registration and management of loans, issuance of government debt guarantees, and sublease by the government and Aimags are stipulaed in the Debt Management Law.

Article 4. Definitions of terms used in this Law

4.1. Terms used in this Law shall be understood to mean the following:

4.1.1. “Special fiscal requirements” is defined in Article 6 of the Fiscal Stability Law;

4.1.2. “medium-term” is defined in Article 4.1.9 of the Fiscal Stability Law;

4.1.3. “medium-term fiscal framework statement” is defined in Article 4.1.10 of the Fiscal Stability Law;

4.1.4. “budget proposal” means a draft budget submitted by the Government to the State Great Khural and a draft budget submitted by each Governor at all levels to the respective Citizens’ Representative Khural, prepared on the basis of the Medium-term Fiscal Framework Statement, in accordance with the requirements specified in the legislation for each budget level and using the budget classification.

4.1.5. “budget” means the financial resources required to implement government functions, including the mix of assets, revenues, expenditures, liabilities, financial commitments and obligations where funds are collected, allocated and spent within the authority of the state, related financial activities, activities to be implemented, inputs required for them and expected outcomes..

4.1.6. “state budget” means a budget approved by the State Great Khural and generated, allocated and expended by general budget governors subordinated to the Government and the state budget;

4.1.7. “baseline budget” means a budget which is adjusted to macroeconomic assumptions and where expenditures and revenues are projected assuming no legal or policy change in the year when the budget is executed.

4.1.8. “annual budget ceiling” means the maximum amount of expenditures and minimum amount of revenues, established in conformity with special fiscal requirements and the Medium-term Fiscal Framework Statement, that guide general budget governors when preparing their budget proposals for the particular fiscal year;

4.1.9. “budget revenue” means revenues that are collected in accordance with legislation that support state and local budgets and revenues generated from budget entities’ own operations;

4.1.10. “budget expenditure” means funds allocated from the approved budget for financing activities, programs, projects and measures implemented by budget governors;

4.1.11. “budget balance” means the difference between total budget expenditure and total budget

revenue of a particular fiscal year;

4.1.12. “budget surplus” means revenues that exceed expenditures;

4.1.13. “budget deficit” means expenditures that exceed revenues;

4.1.14. “receipts” means all types of cash inflow transactions from external parties excluding internal transactions of a particular body;

4.1.15. “outlays” means all types of cash outflow transactions excluding internal transactions of a particular body;

4.1.16. “program” means a set of closely related activities combined for the purposes of budget allocation and aimed at implementing government functions for which performance is reportable and assessable;

4.1.17. “activity” means works and services produced as a part of a program which is specified by criteria such as quantity, quality and timing ;

4.1.18. “input” means tangible and intangible resources required for implementing works and services;

4.1.19. “aggregate economic classification” means grouping of detailed items in the economic classification;

4.1.20. “detailed economic classification” means the lowest level items in the economic classification;

4.1.21. “financial support” means funds to be allocated to finance budget deficits;

4.1.22. “revenue transfer” means funds to be allocated from the revenue of upper level budget to the local budget to support the local budget;

4.1.23. “special purpose transfers” means funds to be allocated from the state budget to Aimag and capital city budgets, in accordance with the specifically determined purposes, conditions and requirements, to finance functions specified in 61.1 of this Law.;

4.1.24. “investment” means capital expenditures to be financed from the budget and to be transferred into the ownership of a legal body who is associated with the budget of the respective level;

4.1.25. “tax expenditures” mean tax discounts and exemptions to taxpayers in the particular year in accordance with tax laws;

4.1.26. “supplementary budget” means amendments to the decision of the authority who approved the budget for the particular year;

4.1.27. “local budget ” means a budget approved by Aimag, capital city, Soum and district Citizens’

Representative Khurals and money collected, allocated and expended by general budget governors subordinated to the budget of the respective level;

4.1.28. “General Local Development Fund” means funds reallocated from the state budget to local budgets in order to support local development and to ensure equity of regions;

4.1.29. “base revenue of local budget” means the sum of non-tax revenues and revenues estimated at the minimum rate and the amount of taxes to be collected for the budget of the respective level;

4.1.30. “base expenditure of local budget” means the sum of recurrent and capital expenditures related with functions stated in 58.1.1, 58.2.1, 58.3.1 and 58.4.1 of this Law and recurrent expenditures related with functions stated in 58.1.4, 58.1.14, 58.2.4, 58.2.13, 58.3.2, 58.3.5, 58.4.2 and 58.4.6 of this Law;

4.1.31. “basic local budget deficit” means the portion of base expenditure of local budget that exceeds the base revenue of local budget;

4.1.32. “Social Insurance Funds’ budget, means the budget with revenues collected and expended in accordance with the Law on Social Insurance[3] and approved by the State Great Khural in the particular year;

4.1.33 (deleted)

4.1.34. “budgetary entity” means state or locally owned, not-for-profit legal body who provides work and services to execute the functions of the state in accordance with the approved budget and registered by the State Central Administrative Body Responsible for legal entity registration, in accordance with the Law on State Registration of Legal Bodies[5].

4.1.35. “budget governor” means general, central and direct budget governors;

4.1.36. “general budget governor” means an official who is authorized to plan budgets for the area within his authority and allocate, oversee, manage and report on the execution of the approved budgets in accordance with legislation;

4.1.37. “central budget governor” means an official who is authorized to plan budget for functions assigned by the general budget governor, re-allocate it to a direct budget governor, oversee and manage budget resources and report on budget execution in accordance with legislation;

4.1.38. “direct budget governor” means an official who is authorized to plan budget resources for functions assigned by a general budget governor or central budget governor, and manage the budget resources and report on its execution in accordance with legislation;

4.1.39. “contractor of work and services that belong to state functions” means a body who undertakes work and services that belong to state functions on a contractual basis and takes sole responsibility for the quality, quantity and outcome of the work and services;

4.1.40. “treasury activities” means executing the government’s budget, managing cash and liabilities, processing payments and reporting budget execution;

4.1.41. “treasury single account” means the general budget account with Government’s general coordination and cash accounts of all budget governors who belong to the Unified Budget of Mongolia which are located in the Mongol Bank;

4.1.42. “general budget account” means an account to consolidate and record cash transactions of the respective level’s budget.

4.1.43. “spending authorization” means the maximum amount of a budgetary entity’s budget to spend on monthly and quarterly basis within its approved budget;

4.1.44 (deleted)

4.1.45. “debt” means payment obligation to be repaid through debt instruments by the particular body to other bodies;

4.1.46 (deleted)

4.1.47. “Public Debt ” is defined in Article 4.1.8 of the Fiscal Stability Law;

4.1.48. “Contingent liability” means risks expressed in money terms that may occur in connection with policy actions to be undertaken by the government with the purpose of keeping government guarantees, ensuring national security and political, social, economic, financial and fiscal stability;

4.1.49. “internal audit” means independent activities of internal budget control aimed at effective and efficient usage of budget resources and managing risks.

4.1.50. “revolving fund” means a special budget account that finances activities, specified in law, implemented over more than one fiscal year. Revenues earned from these activities or repayment of funds are retained by the fund to finance the continuation of the activities.

4.1.51 “health insurance fund budget” is the budget approved by the Great Hural, raised through procedures stipulated in the Social Insurance Law and the Health Insurance Law, and utilized based on the Health Insurance Law

4.1.52 “Lending” is action made based on the Debt Management Law

4.1.53 “External assistance” is funding by international operations and development partners in form of grants and technical cooperation. There are no obligations for return.

4.1.54 “future pension reserve fund budget” is a budget resource under rules stipulated in the Pension Accumulation Law.¹

¹ Enter into force on Jan. 1, 2019

CHAPTER TWO

Budget principles and its adoption

Article 5. Budget Principles

5.1. The following principles shall be followed in the budget planning, approval, implementation and reporting processes:

- 5.1.1. Ensure fiscal stability;
- 5.1.2. Ensure comprehensiveness and accuracy of the budget;
- 5.1.3. Ensure efficient financial and budget management;
- 5.1.4. Ensure fiscal transparency; and
- 5.1.5. Ensure accountability;

Article 6. Applying budget principles

6.1. Authorized bodies and budget governors shall be responsible for following the budget principles in budget planning, approval, implementation and reporting processes.

6.2. The principle of ensuring fiscal stability stated in Article 5.1.1 of this Law shall be followed as outlined below:

- 6.2.1. Follow the special fiscal requirements specified in the Fiscal Stability Law.
- 6.2.2. Plan, approve and execute annual budget expenditures in such a way that they are covered fully by budget revenues and other financing sources.
- 6.2.3. If fiscal deficits increase due to a decrease in budget revenues or an increase in budget expenditures caused by unforeseen circumstances, balance the budget by amending the particular year's budget by decreasing budget expenditures or increasing revenue sources.
- 6.2.4. Any decisions made by the President of Mongolia, the State Great Khural of Mongolia, self governing body of the local government, the Government or Governor shall be based on the assessment of its impact on the budget.
- 6.2.5. If policy decisions with the consequence of reducing revenues and increasing expenditures are made in the middle of the fiscal year, these decisions shall become effective starting from the following year.

6.3. The principle of ensuring comprehensiveness and accuracy of the budget stated in Article 5.1.2 of this Law shall be followed as outlined below:

6.3.1. Plan and report transactions related with budget revenues, expenditures, assets and liabilities on a gross basis.

6.3.2. Accurately record and report any financial transactions in a timely and accessible manner in accordance with international and national accounting standards, and presenting them in the national currency.

6.3.3. In the budget present Government guarantees secured by budget revenues, foreign loans and contracts, agreements and actions related with all types of financial obligations.

6.3.4. Any revenues, loans, donations, and grants made newly available during the budget year and expenditures financed by them shall be part of budgets.

6.4. The principle of ensuring effective fiscal management stated in Article 5.1.3 of this Law shall be followed as outlined below:

6.4.1. Plan and expend budgets in an efficient and economical way.

6.4.2. Budget financing of programs or activities that do not belong to state functions is prohibited.

6.4.3. Consider the possibility of using citizens, entities or non-government organizations in delivery of programs or activities if these programs or activities can be carried out by them.

6.4.4. Unless otherwise specified in law, selection of a body to delivery any goods, work or services shall be conducted through an open and competitive procedure.

6.4.5. A budget governor shall not use budget revenue as collateral or guarantee.

6.4.6. Unless otherwise specified in law, purposefully assigning budget revenues to anybody or any activities is prohibited.

6.4.7. Any activities, programs, and measures to be undertaken by the state, tax imposition or its discount, guarantees, loans, liabilities, financial activities, or contingent liabilities as well as their outcomes shall not create inequality for current and future generations.

6.4.8. Efficiently manage finance and budget, and avoid incurring receivables and liabilities.

6.5. The principle of ensuring fiscal transparency stated in Article 5.1.4 of this Law shall be followed as outlined below:

6.5.1. Budget discussions and the budget approval process shall be open to the public and information on the budget plan, execution and reporting shall be publicly available in a timely and accessible manner and in understandable way..

6.5.2. Ensure community participation in budget planning, revenue collection, allocation and reporting processes.

6.5.3. Provide the public with possibilities to oversee the budget process and verify that the budget is executed and spent as approved in the plan.

6.5.4. Provide the public with possibilities to oversee any works or services delivered by the state and procurement of goods and services within these works and services.

6.5.5. Consider public opinion in making decisions on establishing priorities, the sequence of implementation and the means for implementing programs, projects and activities.

6.5.6. Each authority shall inform the public on how comments and opinions of citizens and non-governmental organizations are reflected in his/her decisions and how his/her actions ensure public participation in budget activities.

6.6. The principle of ensuring accountability stated in Article 5.1.5 of this Law shall be followed as outlined below:

6.6.1. A budget governor shall be accountable on budget matters to the institution or the official who appoints him/her or to an upper level budget governor.

6.6.2. A budget governor shall resolve budget issues through the respective upper level budget governor.

6.6.3. Budget governors may delegate to lower level budget governors some of his/her authorities. However, such delegation shall not limit the accountability of the budget governor for exercise of those powers.

6.6.4. If a budget governor, under his/her area of responsibility granted by this Law, makes amendments and adjustment to the particular year's budget during the fiscal year, he/she shall report its execution in comparison with the initially approved objectives and outcomes.

6.6.5. If responsibilities other than the ones assigned by this law are assigned to the local budget by other laws, the transfer of these responsibilities must be accompanied by financing to carry out the responsibilities.

6.6.6. Functions to be financed from the respective level's budget as defined in this law shall be financed only from their part of the respective level's budget.

Article 7. Fiscal year

7.1. A fiscal year starts on January 1 and ends on December 31.

7.2. A fiscal year is divided into months, quarters, half year and full year.

7.3. Budgets are approved and reported on an annual basis and approved budgets are allotted and implemented on a monthly and quarterly basis.

7.4. A budget execution report shall be prepared on a monthly basis and financial and budget execution reports shall be prepared on a quarterly, half yearly and yearly basis.

7.5. Preparatory work for implementing the approved budget can be started from the date when the budget is approved by the respective authority.

7.6. With the start of the fiscal year each budget governor's authorization to spend in the approved budget of the corresponding fiscal year shall become effective.

7.7. Apart from the cases specified in Article 43 of this Law, with the end of the fiscal year each budget governor's authorization to spend that fiscal year's budget will lapse. The unused balance of the budget governor's budget shall be mobilized into general budget account of the respective level's budget.

7.8. If the business cycle of a particular sector is different from the fiscal year due to specificity of its activities, budget planning shall be regulated with a procedure approved by the Cabinet Member in Charge of Finance and Budget Matters.

7.9 Article 7.7 of this Law does not apply to budget managers of national and Aimag-owned special and general hospitals.

Article 8. Budget calendar

8.1. The Medium-Term strategic document for state debt management / hereinafter referred to as "Strategic Document"/, and the Medium-term Fiscal Frameworks Statement shall be prepared and approved in accordance with the following calendar:

8.1.1. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall submit the draft of the Strategic Document, the Medium-term Fiscal Framework Statement to the Government no later than the 15th of April of each year.

8.1.2. The Government shall discuss and submit the Strategic Document and the Medium-term Fiscal Framework Statement to the State Great Khural no later than the 1st of May of each year.

8.1.3. The State Great Khural shall discuss and approve the Strategic Document and the Medium-term Fiscal Framework Statement no later than the 1st of June of each year.

8.1.4. The State Great Khural shall publish the Strategic Document and the Medium-term Fiscal Framework Statement within 7 working days after its approval.

8.2 (deleted)

添付資料：予算法

8.3. General budget governors' annual budget ceilings, based on the Medium-term Fiscal Framework Statement, shall be prepared and approved in accordance with the following calendar:

8.3.1. General budget governors shall submit his/her proposal for a budget ceiling based on the Medium-term Fiscal Framework Statement to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters by the 10th of June of each year.

8.3.2. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall consolidate and prepare draft budget ceilings of general budget governors and submit it to the Government by the 20th of June of each year.

8.3.3. The Government shall discuss and approve draft annual budget ceilings of general budget governors by the 1st of July of each year.

8.3.4. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall deliver to general budget governors annual budget ceilings approved by the Government along with the budget circular by the 5th of July of each year.

8.4. The State budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget and the Future Pension Fund budget² shall be prepared and approved in accordance with the following calendar:

8.4.1. Direct budget governors who report to the central budget governor shall submit his/her annual budget proposal to the respective central budget governor by the 25th of July of each year.

8.4.2. Central budget governors and those direct budget governors who do not report to him/her shall submit his/her annual budget proposals to the respective general budget governor by the 1st of August of each year.

8.4.3. General budget governors shall submit his/her budget proposal to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters by the 15th of August of each year.

8.4.4. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall consolidate and prepare annual budget proposals defined in Article 8.4.3 of this Law and submit it to the Government by the 15th of September of each year.

8.4.5. The Government shall submit the annual budget proposal to the State Great Khural by the 1st of October of each year.

8.4.6. The Government shall publish the annual budget proposal within three working days after its submission to the State Great Khural.

8.4.7. The State central audit body shall present its opinion on the annual budget proposal to the State

² Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

Great Khural by the 15th of October of each year.

8.4.8. The State Great Khural shall discuss and approve the annual budget proposal by the 15th of November of each year.

8.5. Aimag and the capital city annual budgets shall be prepared and approved in accordance with the following calendar:

8.5.1. Aimag and capital city governors shall submit the budget proposals of the respective level to the respective Citizens' Representative Khural by the 25th of November of each year.

8.5.2. Aimag and the capital city Citizens Representative Khurals shall discuss and approve the respective annual budget proposal by the 5th of December of each year.

8.5.3. Soum and district governors shall submit budget proposals to the respective Citizens' Representative Khural by the 10th of December of each year.

8.5.4. Soum and district Citizens Representative Khurals shall discuss and approve the respective annual budget proposal by the 20th of December of each year.

8.5.5. Aimag and capital city Governors shall submit approved annual budgets of the respective level to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters by the 31st of December.

8.6. Monthly and quarterly budget allotment schedules for the state budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget and Future pension reserve fund budget³ shall be prepared and approved in accordance with the following calendar:

8.6.1. Central budget governors and direct budget governors who do not report to a central budget governor shall submit their budget allotment schedule proposals to their respective general budget governor by the 15th of December of each year.

8.6.2. General budget governors shall submit his/her budget allotment schedule to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters by the 25th of December.

8.6.3. Cabinet Member in Charge of Finance and Budget Matters shall approve the budget allotment schedule for the state budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget, Future Pension reserve Fund budget⁴ by the 1st of January of each year.

8.7. Monthly and quarterly budget allotment schedules for Aimag and capital city annual budgets shall be prepared and approved in accordance with the following calendar:

³ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

⁴ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

添付資料：予算法

8.7.1. Aimag and capital city governors shall approve the respective level's budget allotment schedule by the 25th of December of each year.

8.7.2. Aimag and capital city governors shall submit his/her budget allotment schedule to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters by the 31st of December.

8.8. Monthly budget execution reports for the state budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget, Future pension reserve fund budget⁵ and Aimag and capital city budgets shall be prepared and approved in accordance with the following calendar:

8.8.1. Direct budget governors shall submit monthly budget execution reports to the respective central budget governor by the 2nd day of each month.

8.8.2. Central budget governors shall submit special fund's monthly budget execution reports to the respective general budget governor by the 4th day of each month.

8.8.3. General budget governors shall submit monthly budget execution reports to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters by the 6th day of each month.

8.8.4. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall approve the Unified Budget's monthly execution report by the 8th of each month

8.8.5 (deleted)

8.9. Quarterly, semi-annual and annual budget execution reports for the state budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget, Future Pension reserve Fund budget⁶ and local budgets, and consolidated financial statements of general budget governors shall be prepared in accordance with the following calendar:

8.9.1. Direct budget governors shall prepare and submit quarterly budget execution reports and financial statements by the 15th of the first month of the next quarter to the respective upper level budget governors, submit annual budget execution reports and financial statements by the 25th of January of the following year to state audit bodies and audited financial statements to the respective upper level budget governors by the 25th of February.

8.9.2. Central budget governors shall prepare and submit semi-annual budget execution reports and consolidated financial statements to the general budget governor no later than the 25th of July and annual budget execution reports and financial statements to the state audit body no later than the 5th of March, and submit audited reports to the general budget governor no later than the 25th of March of every year.

8.9.3. Soum and district treasuries shall prepare and submit semi-annual budget execution reports

⁵ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

⁶ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

and consolidated financial statements to the general budget governor by the 25th of July of every year, annual budget execution reports and consolidated financial statements to the state audit body by the 5th of March of the following year, and submit audited reports by the 25th of March of every year to the respective upper level general budget governor.

8.9.4. Aimag and capital city general budget governor shall submit budget execution reports and financial statements by the 1st of April to the state audit body and audited statements by the 20th of April to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters.

8.9.5. General budget governors shall submit semi-annual budget execution reports and consolidated financial statements by the 15th of August of every year, annual budget execution reports and consolidated financial statements by the 5th of April of the following year, and submit audited annual statements by the 25th of April of the following year to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters.

8.9.6. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall prepare a consolidated semi-annual budget execution report and financial statement by the 25th of August of every year.

8.9.7. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall prepare and submit a consolidated annual budget execution report and financial statement by the 15th of April of the following year to the central audit body and the central audit body conducts the audit of the annual reports and issue its audit opinion by the 5th of May.

8.9.8. Fully and partly state and locally owned legal bodies shall submit their annual financial statements to state audit bodies by the 15th of February and submit their audited statements to the respective general budget governors and the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters by the 15th of March.

8.10. The Unified Budget execution report and Government's consolidated financial statement shall be prepared in accordance with the following calendar:

8.10.1. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall submit the unified budget execution report and Government's consolidated financial statement to the state central audit body by the 10th of May of every year.

8.10.2. The state central audit body shall conduct audits of Unified Budget execution report, Government's debt report and Government's consolidated financial statement within one month and submit its audit opinion to the Government and the State Great Khural.

8.10.3. The Government shall submit the Unified Budget execution report and consolidated financial statement along with the audit opinion to the State Great Khural within seven working days of the issuance of the audit opinion specified in 8.10.2 of this Law.

8.10.4. The State Great Khural shall discuss the Unified Budget execution report in its spring session and approve the state budget execution.

8.10.5 (deleted)

CHAPTER THREE

Authorities and Responsibilities of state institutions and officials on budget

Article 9. Authorities of State Great Khural

9.1. The State Great Khural has the following authorities and responsibilities:

9.1.1. Approve the Medium-term Fiscal Framework Statement as stated in Article 9.1.1 of the Fiscal Stability Law;

9.1.2. Approve the State General Guidelines for Socio-economic Development, state budget, Social Insurance Fund Budget, Health Insurance Fund budget, Future Pension reserve Fund budget⁷ and their amendments prepared in conformity with the Medium-term Fiscal Framework Statement;

9.1.3. Discuss the Unified Budget execution and approve the state budget execution;

9.1.4. Oversee the spending and result of the budget funds; and

9.1.5 (deleted)

Article 10. Authorities of Government

10.1. The Government has the following authorities :

10.1.1. Submit the draft Medium-term Fiscal Framework Statement to the State Great Khural;

10.1.2. Approve budget expenditure ceilings by each general budget governor within the constraints of the Fiscal Framework Statement approved by the State Great Khural;

10.1.3. Submit the State General Guidelines for Socio-Economic Development, annual budget proposal and supplementary budget proposal in compliance with the Government Action Program and the Medium-term Fiscal Framework Statement to the State Great Khural;

10.1.4. Approve every General budget governor's procurement plan for goods, works and services;

10.1.5. Approve the public investment program.

10.1.6. Review budget proposals to verify that they meet the requirements of the Debt

⁷ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

Management Law and specified in Article 27 of this law;

10.1.7. Oversee budget execution;

10.1.8. Report on the execution of the Unified Budget to the State Great Khural;

10.1.9 (deleted)

10.1.10. Establish, restructure and dissolve budget entities except the ones established by decisions of the State Great Khural's as stipulated in law.

10.1.11. Manage budget resources efficiently and ensure fulfillment of quality requirements for works and services to be delivered by budget entities;

10.1.12 (deleted)

10.1.13. Approve procedures for preparing, implementing, financing and overseeing of projects implemented with public funds ;

10.1.14. Reallocate funds within the budget of the general budget governors in line with their progress without adding new projects in the list of investment projects approved by the State Great Khural.

10.1.15 Receive, evaluate and approve selection criteria for projects to be included in the Public Investment Program,

10.2. The Non-Permanent National Budget, Financial and Economic Council with 9 members comprised of NGOs, professional associations and sector scholars, who represent tax payers, shall be established under the Prime Minister with the purpose of improving fiscal and economic policy planning, ensuring its reporting and transparency, and exercising public oversight.

10.3. The National Council specified in Article 10.2 of this Law shall discuss a budget proposal and the State General Guidelines on Socio Economic Development and present their comments and conclusions to the Government.

10.4. The charter of the council stated in Article 10.2 of this Law shall be approved by the Government.

Article 11. Authorities of the Cabinet Member in Charge of Finance and Budget

11.1. The Cabinet member in charge of Finance and Budget has the following authorities:

11.1.1. Prepare the Medium-term Fiscal Framework Statement, budget proposal, supplementary budget proposal and annual budget ceiling discussed at Cabinet meetings;

11.1.2. Approve and issue procedures and instructions on financial and budget management matters under his/her authority;

11.1.3. Set budget expenditure norms and normative, and determine the structure of budgetary entities and standard limits for staffing budgetary entities;

11.1.4. Prepare proposals on improvement of budget and financial management, planning and coordination and submit them to the respective authorities for their approval;

11.1.5. Approve the detailed classification of the budget;

11.1.6. On behalf of the government, incur debts, issue debt guarantees and issue permission to incur debts as stipulated in Article 62.6.2 of this Law as authorized by the government according to relevant laws and regulations;

11.1.7. Provide comments on draft laws that regulate budget and tax relations regarding their consistency with budget and financial policy documents;

11.1.8. Administer loans, grants comprehensive policy for ODA, management of donor coordination and services and registration;

11.1.9 (deleted)

11.1.10. Manage treasury functions;

11.1.11. Conduct and manage budget and financial internal audit and inspection;

11.1.12. Provide budget execution with integrated management;

11.1.13. Approve, enforce and make changes to budget allotment schedules defined in 8.6.3 of this Law;

11.1.14. Define terms and conditions for government securities stated in Article 10.1.9;

11.1.15. Issue financing for programs to be financed from the state budget according to the approved budget to general budget governors, budgetary entities and other bodies;

11.1.16. Define capital charges for the usage of state property;

11.1.17. Approve a procedure for developing local budget proposals;

11.1.18. Establish a general procedure on purpose and spending of governors' reserve funds;

11.1.19. Obtain information required for exercising authorities defined in this law from budgetary entities and other bodies.

11.1.20. Represent the Government of Mongolia concerning ODA contracts and agreement except for those that require special authority

11.1.21 Approve plan, financing, implementation and registration of the Regional Development Fund

11.1.22 Approval of the local development fund planning, financing and spending, and regulations related to registration.

Article 12. Authorities of the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters

12.1. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters has the following authorities:

12.1.1. Prepare the Medium-term Fiscal Framework Statement and the economic and fiscal projections reflected in the Medium-term Fiscal Framework Statement;

12.1.2. Prepare proposals for the state budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget and Future pension reserve fund budget⁸ and their amendment;

12.1.3. Prepare annual budget ceilings for each general budget governor within the indicators specified in the Medium-term Fiscal Framework Statement approved by the State Great Khural;

12.1.4. Prepare a budget circular to formulate an annual budget proposal, in accordance with the budget preparation calendar, and circulate it to general budget governors;

12.1.5. Prepare the government's proposal for a supplementary budget;

12.1.6. Monitor budget execution of general budget governors;

12.1.7. Prepare a report on the execution of the Unified Budget;

12.1.8. Prepare the Government's consolidated financial statement in accordance with international accounting standards;

12.1.9. Develop accounting standards of Mongolia in accordance with international accounting standards and ensure its implementation;

12.1.10 (deleted)

12.1.11. Authorize state budgetary entity to open bank accounts;

⁸ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

12.1.12 (deleted)

12.1.13. Implement state central treasury functions, and manage budget funds and reserve funds;

12.1.14. Provide various offices responsible for economic, budget and financial matters with professional and methodological guidance;

12.1.15. Monitor the implementation of activities of budgetary entity under the authority of general budget governors and the activities of local budgetary entities financed with state budget funds;

12.1.16. Execute budgetary internal audit and inspection functions;

12.1.17. In line with budget revenue collection, decrease authorization to spend and authorization to finance within the cash management framework;

12.1.18. Prepare a proposal on establishment and operation of an independent center with responsibility to undertake economic, financial and budget policy analysis and research and submit to the authorized body for approval;

12.1.19. Manage integrated information systems on budget planning, budget execution, accounting, and reporting;

12.1.20. Obtain necessary information from budgetary entities and other bodies in order to exercise authorities defined in this Law.

12.1.21 Formulate proposals of tax exemption and deduction for ODA projects

12.2 The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall exercise the following powers in budget planning:

12.2.1 Develop the policy for national socio-economic development and submit to the Government.

12.2.2 Develop the national public investment program

12.2.3 Develop the amendment of bonds and loan conditions issued for government investment projects

Article 12¹. Authorities of the state administrative body in charge of the National Development

12¹.1 The State Administrative Body responsible for National Development Matters has the following

authorities:

12¹.1.1. Develop the State General Guidelines Proposal for Socio-Economic Development; and submit to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters

12¹.1.2. Develop the public investment program.

Article 13 (deleted)

Article 14. General budget governors and their authorities

14.1. The following officials shall act as general budget governors:

14.1.1. Head of the Office of the President of Mongolia in relation to the budget of the President of Mongolia;

14.1.2. Speaker of the State Great Khural in relation to the budgets of the State Great Khural;

14.1.3. Heads of organizations who reports directly to the State Great Khural in relation to the respective organization's budgets;

14.1.4. Prime Minister in relation to the budget of organizations within his/her Portfolio specified by Law;

14.1.5 (deleted)

14.1.6. Deputy Prime Minister in relation to the budget of organizations within his/her Portfolio specified by Law;

14.1.7. Head of the Cabinet Secretariat in relation to the budget of the Prime Minister, the budget of the Offices of the Deputy Prime Minister, the budget of the Cabinet Secretariat, and the budget of other organizations within his/her Portfolio specified by Law;

14.1.8. Cabinet Member in relation to the budget of the respective State Central Administrative Body and the budget of other organizations within his/her Portfolio specified by Law;

14.1.9. Head of the Constitutional Court in relation to the budget of the Constitutional Court;

14.1.10. General Judge of the Supreme Court in relation to the budget of the Supreme Court;

14.1.11. Chairman of the Judiciary Council in relation to the budgets of the Secretariat of the Judiciary Council, Aimag, Capital City, Soum, inter-Soum, District and specialized courts;

14.1.12. General Prosecutor in relation to the budgets of the Prosecutor's office at all levels;

添付資料：予算法

14.1.13. General Secretary of the National Security Council in relation to the budget of the National Security Council;

14.1.14. Head of the Anti-corruption agency in relation to the budget of the Anti-corruption agency;

14.1.15. Head of the Presidium of Aimag, Capital City, Soum and District Khurals in relation to the budget of the respective level Khural

14.1.16. Heads of organizationorganizations who report directly to the Khural in relation to the budget of that organizationorganization;

14.1.17. Governors of the capital city, Aimag, Soum and district in relation to the budget of the respective level of administration except the ones specified in 14.1.15 and 14.1.16 of this Law.

14.2. General budget governors have the following authorities:

14.2.1. Formulation of the budget proposal within the annual budget ceiling;

14.2.2. Estimate realistically the financing for programs implemented under his/her area of responsibility;

14.2.3. Ensure efficient management and execution of the budget under his/her area of responsibility;

14.2.4. Under his/her area of responsibility prepare investment project proposals within the annual budget ceiling in line with all types of financial sources for the budget year and the medium-term;

14.2.5. Maintain normal operation of budgetary entities and agencies under his/her area of responsibility;

14.2.6. Prepare and submit program performance and budget execution reports to the Cabinet Meeting;

14.2.7. Consolidate and submit semi-annual and annual financial statements including financial statements of agencies and other budgetary entities, government special funds, and projects implemented with the support of foreign loans and grants under his/her area of responsibility to the State Central Administrative Body in Charge of Finance and Budget Matters;

14.2.8. Oversee implementation of investment projects and activities during budget execution and report quarterly to the State Central Administrative Body in Charge of Finance and Budget;

14.2.9. Upon completion of investment projects report on investment spending to the State Central Administrative Body in Charge of Finance and Budget;

14.2.10. Carry out internal audit under his/her area of responsibility;

14.2.11 Improving the efficiency of public expenditures and effectiveness of operations, eliminating duplication of functions, increasing productivity, and conducting comprehensive analysis for functions and performances of the responsible agencies and the other budget organizations once in 3-5 years in order to improve quality and accessibility of government services to the citizens and presenting the outcome to the Cabinet;

14.2.12 Revising the organizational structure and functions within the budget and number of positions approved in order to improve the performance of the activities of portfolio budget organizations, eliminate duplication of functions, reduce the number of positions, and increase productivity;

14.3. Ensure appropriate and efficient use of budget expenditures and revenues, and performance execution, and be fully responsible for his/her budget execution before the State Central Administrative Body in Charge of Budget and Finance, respective level of Khural, the Government and the State Great Khural.

14.4. General budget governors may delegate to central budget governors or direct budget governors some of their authorities related with budget allocation and execution. The exercise of such delegation shall not limit the accountability of general budget governor for the exercise of those powers.

14.5. General budget governors shall have a financial unit, accountant and officers in charge of budget matters associated with his/her authority.

14.6 Functions and methods approved by Government will be carried out a comprehensive review and re-allocation of the functions referred to Article 14.2.11.

Article 15. Central budget governors and their authorities

15.1. General budget governors can have central budget governor under his/her supervision who shall have authority to supervise direct budget governors;

15.2. Aimag and capital city governors shall act as central budget governors who received special purpose transfers by agreements as specified in Article 39.1 of this Law.

15.3. The Government shall determine state central budget governors and direct budget governors who shall be under supervision of the central budget governors.

15.4. Central budget governors shall have the following authorities in relation to budgets pertaining to him/her:

15.4.1. Exercise authorities of General budget governors as articulated by Articles 14.2.2, 14.2.3, 14.2.5, and 14.2.8 of this Law and authorities of direct budget governors as articulated by Article 16.5 of this Law

15.4.2. Consolidate reports specified in Article 14.2.8 of this Law and submit it to the respective

添付資料：予算法

general budget governor.

Article 16. Direct budget governors and their authorities

16.1. Budgetary entities shall be managed by direct budget governors who shall provide these budgetary entities with efficient operational management and be responsible for their performance.

16.2. The respective general budget governor shall appoint the direct budget governors for organizationorganizations that report directly to the State Great Khural.

16.3. The respective general budget governor shall appoint the direct budget governor for organizationorganizations that report directly to the Aimag and capital city Citizens' Representative Khural.

16.4. The following officials shall act as direct budget governors:

16.4.1. Deputy Head of the Office of the President in relation to the budget of the President and the Office of the President;

16.4.2. General Secretary of the Secretariat of the State Great Khural in relation to the budget of the State Great Khural;

16.4.3. First Deputy Head of the Cabinet Secretariat in relation to the budget of the Prime Minister and budgets of offices Deputy Prime Minister and the Cabinet Secretariat;

16.4.4. State Secretary of the State Central Administrative Body in relation to the budget of the respective body;

16.4.5. Head of an agency in relation to the budget of the agency;

16.4.6. Head of the Office of the Constitutional Court in relation to the budget of the Constitutional Court;

16.4.7. Head of the Office of the National Security Council in relation to the budget of the Council;

16.4.8. Head of the Office of the High Court in relation to the budget of this Court;

16.4.9. Secretary of the Judiciary Council in relation to the budget of the Secretariat of the Judiciary Council;

16.4.10. Head of the Anti-corruption Authority in relation to the budget of this authority;

16.4.11. Head of the Office of Aimag, capital city, Soum, inter-Soum, district and specialized courts in relation to the budget of respective level court;

16.4.12. Head of the Secretariat of the General Prosecutor in relation to the budget of General Prosecutor's office;

16.4.13. Head of the Offices of the Aimag and capital city Prosecutor in relation to the budget of respective level of Prosecutor's office;

16.4.14. Secretary of the Presidium of Aimag, capital city, Soum and district Khurals in relation to the budget of respective level Khural;

16.4.15. Head of the Office of the Aimag, capital city, Soum and district Governors in relation to the budget of the Office of respective level Governor;

16.4.16. Head of the Project Unit which is implemented with the financial support of a concessional loan and grant through Government in relation to the budget of this project;

16.4.17. Manager of the Government Special Fund in relation to the budget of this fund; and

16.4.18. Head (principal and director) of other budgetary entity in relation to the budget of this budgetary entity.

16.5. Direct budget governors have the following authorities on budget management:

16.5.1. Provide budgetary entity with day-to-day management;

16.5.2. Manage budget resources and control over their realisation within the performance agreement established with the general budget governor on implementation of programs and execution of the approved budget;

16.5.3. Determine staffing and employees' salaries of the budgetary entity within the approved salary fund and staffing limit;

16.5.4. Improve the performance effectiveness of the budgetary entity;

16.5.5. Spend the approved budget according its purpose;

16.5.6. Undertake internal audit activities;

16.5.7. Prepare accurate and correct financial statements, budget execution reports and performance reports within the specified timeframe; and

16.5.8. Provide the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters with required information in a timely manner;

16.5.9 Revising the organizational internal structure within the budget and number of positions approved in order to improve the performance of activities, eliminate duplication of functions, reduce the number of positions and increase productivity as per approval of the high level body in charge of

budget.

Article 17. Budgetary entity

17.1. A project unit operated with loans or grants rendered by international organizations and donor countries to Mongolia through Government shall be a budgetary entity.

17.2. As stated in the Law on State Registration of Legal Bodies, the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall register budget entities.

17.3. A unit, which carries out one-time, non-permanent activities of a budget governor, shall belong to the budget governor who will directly supervise it and it shall be subject to the budget process.

Article 18. Special funds

18.1. Activities directed at implementing some state functions can be carried out through special funds.

18.2. Special funds shall be in the form of Government special funds and local special funds.

18.3. The establishment of Government special funds, principles for fund's activities, its functions, revenue and spending processes shall be regulated by legislation.

18.4. The establishment of local special funds, principles for fund's activities, its functions, revenue and spending processes shall be regulated by this Law.

18.5. Government special funds shall be part of the state budget and local special funds shall be part of the local budget.

18.6. The remobilization of the revolving fund's balances specified in 4.1.50 of this Law to the budget shall be regulated by law of the particular fiscal year.

18.7. Relations arise in connection with the establishment of revolving funds and its revenue, purpose, spending and reporting of the revolving funds shall be regulated by law.

Article 19. Appointment and dismissal of the budget chief accountant

19.1. Organizations at all levels of the budget process shall employ a budget chief accountant for the respective level.

19.2. General budget governors specified in Articles 14.1.3, 14.1.7, 14.1.8, 14.1.11, 14.1.12 and 14.1.16 of this Law shall have budget chief accountants.

19.3. General budget governors except the ones specified in Article 19.1 and 19.2 of this Law, central budget governors and direct budget governors shall have senior budget accountants and budget accountants.

19.4. General budget governors specified in 14.1.3, 14.1.7, 14.1.8, 14.1.11, and 14.1.12 of this Law shall appoint and dismiss the respective budget chief accountant upon agreement with the State Secretary of the State Central Administrative Body Responsible for Budget and Finance.

19.5. Soum and district general budget governors shall appoint and dismiss the respective budget chief accountant upon agreement with the Aimag and capital city general budget governors, and Aimag and capital city general budget governors shall appoint and dismiss the respective budget chief accountant upon agreement with the State Secretary of the State Central Administrative Body Responsible for Budget and Finance.

19.6. Central budget governors and direct budget governors shall appoint and dismiss respective senior budget accountant as described below:

19.6.1. As for budget accountants of central budget governors and direct budget governors under the State Budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget, Future Pension Reserve Fund budget⁹ upon agreement with the State Secretary of the State Central Administrative Body Responsible for Budget and Finance;

19.6.2. As for senior budget accountants of budget entities transferred to the local government through agreement stated in Article 39 of this Law which reports to central budget governors upon agreement with the head of the Aimag's and capital city's treasury division.

19.6.3. Central budget governor and direct budget governors, who deal with Aimag and capital city budgets, will appoint their budget accountants in consultation with Aimag and capital city treasury division heads. Direct budget governors who deal with Soum budgets will appoint their budget accountants, in consultation with Aimag and capital city treasury division heads; and

19.6.4. As for budget accountants of direct budget governor who deal with district budgets upon agreement with the head of the district financial and treasury division.

19.7. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall determine requirements, criteria and procedure for chief accountants of budgetary entities and fully and partly state owned entities.

Article 20. Integrated Financial Information System

20.1. Preparation of all levels' budgets, budget execution, accounting and reporting shall be implemented through integrated budget information network.

20.2. Data in the integrated financial information system shall be supported by respective decisions, legal acts and accounting documents.

⁹ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

添付資料：予算法

20.3. Respective entities and officials shall have obligation to enter accurate data into the budget information system, and file, record and protect the original documents entered into the system.

CHAPTER FOUR

Budget structure

Article 21 . Budget level

21.1. The Unified Budget of Mongolia is comprised of the state budget, local budgets, the budget of the Social Insurance Fund Health Insurance Fund budget and the Future Pension Reserve Fund budget¹⁰.

21.2. The local budget is comprised of Aimag, capital city, Soum and district budgets.

21.3. The state budget shall be an upper level budget for Aimag and capital city budget and Aimag and capital city budget shall be an upper level budget for Soum and district's budget.

21.4. Revenues to be imposed and functions to be implemented for each level of the budget shall be determined by law.

Article 22. Budget classification

22.1. Budget is planned, implemented, recorded and reported in accordance with the set classification.

22.2. Budgets shall be classified with the following categories:

22.2.1. By budget level;

22.2.2. By budget governors;

22.2.3. By economic classification;

22.2.4. By programs;

22.2.5. By activities; and

22.2.6. By financing sources.

22.3. The classification specified in 22.2 of this Law shall be the primary budget classification.

¹⁰ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

22.4. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters can determine other classifications and the coding level of the budget classification if needed.

22.5. It is not allowed to change the amount of revenues or expenditures by recording deliberately incorrect information in the budget classification.

22.6. Budget classifications shall be applied in the following ways for every step of budget planning, approval, implementation and reporting:

22.6.1. Establish indicators of the Medium-term Fiscal Framework Statement for each level of budget;

22.6.2. Define budget expenditure ceilings by budget level, by general budget governors for respective budget level, and by aggregate level of expenditures;

22.6.3. Prepare budget planning, recording and reporting by each category of budget classification with detailed classification.

22.6.4. Authorized body approves budgets by each level, by general budget governors for each level, by each program and its expected outcomes, investment project and project and activity implemented through special funds, revenues, and financing sources.

22.6.5. General budget governor, approves his/her approved budget by each central budget governor and by each direct budget governor where the budget is not directly supervised by the central budget governor in accordance with the classification specified in Articles 22.2.3-22.2.6 of this Law together with the outcomes.

22.6.6. Central budget governor, approves his/her budget by each direct budget governor in accordance with the classification specified in Articles 22.2.3-22.2.6 of this Law together with its outcomes.

22.6.7. Direct budget governor, records and reports approved budget in accordance with the classification specified in Articles 22.2.3-22.2.6 of this Law.

22.6.8. Budget execution process shall be controlled by the classifications specified in Article 22.2 of this Law and control level can be set for aggregate level of expenditures within the detailed economic classification.

22.7. By each type of the classifications identified in Article 22.2. of this Law, the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall determine detailed classification for each category of the budget classification and issue procedures for using this classification in budget planning, reporting and execution.

22.8. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall determine methodology for converting budget classification in conformity with International

standards on Government Financial Statistics.

22.9. The Government shall define and enforce the procedure for exercising virement between line items of budgets set by classifications as defined in Article 22.6.8 of this law by each category of budget governor and common rule for setting aggregate expenditure level for controlling.

Article 23. Budget revenue

23.1. Budget revenue is comprised of tax and non tax revenues and other revenues.

23.2. Tax revenues are comprised of taxes, fees and commissions as articulated by the General Tax Law.

23.3. Non tax revenues are comprised of dividends from fully and partly state and locally owned enterprises for the share of state and local property, sales revenue and charges for the use of state and local property, proceeds from privatisation, sale and renting of state and local property, fines, revenue from non-core activities of budgetary entity, loans and grants organization and other types of revenues generated into the budget in accordance with respective laws.

23.4. State budget tax revenues are comprised of the following types of revenues:

23.4.1. Company income tax;

23.4.2. value added tax;

23.4.3. excise tax;

23.4.4. customs duties;

23.4.5. fuel and diesel tax ;

23.4.6. mineral resource exploitation tax;

23.4.7. Mining and exploration license fees;

23.4.8. Air pollution tax; and

23.4.9. State stamp tax specified in 11.2 of the Law on State stamp tax.

23.4.10 Water pollution fee

23.4.11 70 percent of oil royalties

23.4.12 70 percent of oil exploration and mining license fees

23.5. State budget non tax revenues are comprised of the following types of revenues:

23.5.1. dividends from fully and partly state owned enterprises for the share of state property except the one specified in Article 7.1.1 of the Law on Future Heritage Fund¹¹;

23.5.2. charges for the usage of state property and revenue from the sale of state property; and

23.5.3. other types of revenues to be generated into the state budget in accordance with the respective laws.

23.6. Aimag and capital city budget tax revenues are comprised of the following type of revenues:

23.6.1. capital city tax;

23.6.2. land fee;

23.6.3. immovable property tax;

23.6.4. vehicle and self movable carriage tax;

23.6.5. charges for service and industrial water users;

23.6.6. taxes on income specified in Article 8.1.1 of the Law on Personal Income Tax;

23.6.7. taxes on inheritance and gifts; and

23.6.8. state stamp tax other than that specified in Article 23.4.9 of this law.

23.6.9 20 percent of oil exploration and mining license fees

23.7. Aimag and capital city budget non-tax revenues are comprised of the following type of revenues:

23.7.1. dividends from fully and partly locally owned legal bodies for the share owned by local government;

23.7.2. charges for the usage of local property and revenue from the sale of local property, revenue from interest and fines; and

23.7.3. other types of revenues to be generated into Aimag and capital city budgets in accordance with respective laws.

¹¹ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

添付資料：予算法

23.8. Soum and district budget tax revenues are comprised of the following type of revenues:

23.8.1. Personal income taxes other than articulated by Article 8.1.1 of the Law on Personal Income Tax;

23.8.2. firearms tax;

23.8.3. state stamp tax other than that specified in 23.4.9 of this Law;

23.8.4. hunting fee;

23.8.5.license fee for exploitation of natural resources other than mineral resources;

23.8.6.fee on natural plants;

23.8.7.timber fee;

23.8.8.fee on use of widespread mineral resources;

23.8.9.fee on the household usage of water and spring water;

23.8.10. income tax of self-employed person whose income is not predictable for a certain time period; and

23.8.11. dog fee.

23.8.12 Waste service fee

23.8.13 10 percent of oil exploration and mining license fees

23.9. Soum and district budget's non tax revenues are comprised of the following types of revenues:

23.9.1. dividends from fully and partly locally owned enterprises for the share owned by local government;

23.9.2. charges for the usage of local property and sales revenue, revenue from interest and fines; and

23.9.3. other types of revenues to be generated into Soum and district's budget in accordance with the respective laws.

23.10. Proceeds from donations, grants and assistance specified in Article 25 of this law shall be budget revenues.

23.11. Revenues occurred in relation to owning, using and spending land and natural resources in the form specified in law shall be part of the budget revenue.

Article 24. Budget expenditure

24.1. Budget expenditures shall consist of capital and recurrent expenditures.

24.2. Expenditures related with the creation and purchase of state and local property and establishment of a legal body, financed in the form other than state and locally owned enterprises' own sources, shares, and paid-up capital and all types of financial instruments associated with it, shall be part of budget expenditures of the respective level.

24.3. Budget expenditures shall be planned by each category and sector, presented in the budget execution and reported in detailed way.

24.4. If procurement of goods and services with budget fund is not organized in accordance with the respective legislation it is prohibited to make financing from the budget.

24.5. Activities, works, and services to be implemented by General budget governor and agencies and budgetary entity within the area of responsibility of the General budget governor shall be included in respective programs of the General budget governors.

Article 24¹ Provision of Government Loans

24¹.1 In cases where resources are approved at the annual budget, the government may provide loans from the national budget with the following objectives:

24¹.1.1 Finance for Aimags that have seasonal revenue shortage

24¹.1.2 From Government Special Fund for legal reasons

24¹.1.3 Sublease under Debt Management Law

Article 25. Grant revenue and expenditures to be financed from this revenue

25.1. Grant revenues shall be in the following forms:

25.1.1. development grants to be obtained in accordance with international agreements;

25.1.2. grants and donations obtained from non-state and locally owned bodies;.

25.2. Budgetary entities that provide only the following social services can obtain grants and donations in accordance with the procedure specified in this law:

25.2.1. health services;

25.2.2. all level education services; and

25.2.3. cultural services.

25.3. The value of grants and donations obtained by general budget governors shall not exceed 50 percent of the approved budget of the particular budgetary entity.

25.4. Budgetary entities through their general budget governor can obtain grants and donations in the form of cash and movable property from non-state and locally owned entities in the following circumstances:

25.4.1. to continue implementation of programs and activities the lack financing sources; and

25.4.2. to implement training programs aimed at strengthening organizationorganizational human resource capacities;

25.5. It is prohibited for budgetary entities to obtain grants and donations considering the following cases as conflict of interest:

25.5.1. a body who rendered grants and donations use public services of that budgetary entity or sells its goods or provides its works and services for that budgetary entity's needs; and

25.5.2. for the purpose of resolving social issues of personnel other than that specified in Article 25.4.2 of this law.

25.6. The same requirements that apply when carrying out activities financed from the budget shall also apply when carrying out the same activities financed from grants.

25.7. Grants and donations shall be recorded and reported in accordance with the respective procedure.

25.8. General budget governors shall submit a copy of the agreement for grants and donations to the either State Central Administrative Body Responsible for Budget Matters or Aimag, the capital city, Soum and district's treasury office within one month.

25.9. Unless otherwise stated in law, non-state and locally owned legal bodies shall render grants and donations from their after tax profit.

25.10. It is prohibited for state and locally owned legal bodies to render grants and donations.

25.11. Relations that arise in connection with obtaining, expending, managing, recording and reporting development grants shall be regulated by law in accordance Regulation approved by the Government

25.12. Unless otherwise defined in international agreements to which Mongolia is a signatory, grant funds shall be placed in the Treasury Single Account.

25.13 Regulations related to Article 25.11 of this law is developed at the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters, and managed its implementation

25.14 Regulations related to value-added tax exemption for ODA and NGO grants and humanitarian support will be approved at the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters and managed its implementation

Article 25¹ Service fees for Government Debt

25^{1.1} Government service fee for government debt and bond for commercial investments, and government debt guarantees will be repaid through capital expenditure

25^{1.2} Debt service fees for refinancing the payment stipulation ng 251.2 will be paid through capital expenditure

Article 26. Financial records and standards

26.1. Budgetary entity shall maintain accounts on a full accrual basis in accordance with international and national accounting standards.

26.2. Budget records shall be recorded and reported with modified accrual basis.

26.3. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall develop and enforce national accounting standards to be applied in public sector and budget records.

CHAPTER FIVE

Budget preparation, submission and approval

Article 27 Requirements for preparation of budget proposal

27.1. In addition to the special fiscal requirements specified in the Fiscal Stability Law, the following requirements shall be met when preparing a budget proposal:

27.1.1. Comply with budget principles;

27.1.2. Be based on macro-economic conditions, analyses and estimations;

27.1.3. Aim at improving accessibility and quality of public services and maximizing public benefits resulting from budgetary financing;

27.1.4. Be based on its annual budget ceiling;

添付資料：予算法

27.1.5. Prepare the budget proposal by programs and by each general budget governor;

27.1.6. Include all public entities' budgets to be financed from the budget in the relevant General budget governor's budget proposal.

27.1.7. Plan, record and report revenues and expenditures on the basis of all transactions except internal transactions.

27.2. Annual budget ceilings to be delivered to general budget governors shall meet the following requirements:

27.2.1. set budget ceilings by recurrent and capital expenditures; and

27.2.2. present new and continuing projects and activities to be included in the investment program by financing sources.

27.3. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall distribute to general budget governors a budget circular that outlines detailed instruction on preparation of budget proposals of general budget governors who belong to the state budget.

27.4. The following shall be included in the budget circular:

27.4.1. estimation of the Medium-term Fiscal Framework Statement and explanation on the decisions made;

27.4.2. Government approved budget ceiling;

27.4.3. policy guidance on the State General Guideline for Socio- Economic Development and the Government Action Plan.

27.4.4. general and special requirements for preparation of investment projects;

27.4.5. general conditions for making request on financing of budget proposals;

27.4.6. special forms and their instruction for preparation of budget proposals; and

27.4.7. deadline for submitting budget proposals.

27.5. An instruction for preparation of local budget proposal shall be reflected in the budget circular and shall be delivered to Aimag and capital city governors.

Article 28. Public Investment Program Planning

28.1. Those infrastructure and development investment projects aimed at ensuring socio-economic development for the long term with a value of more than 30 billion togrogs which are to be

implemented for the period of more than one year shall be included in the Public Investment Program.

28.2. General budget governor shall submit his/her proposal on projects and measures to be included in the public investment program to the State Administrative Body Responsible for National Development Matters.

28.3. The State Administrative Body Responsible for National Development Matters shall establish priorities and implementation orders for investment projects to be included in the Public Investment Program taking into consideration the following:

28.3.1. national long- and medium-term development policies;

28.3.2. economic benefits and investment return;

28.3.3. social significance;

28.3.4. Government action program and priority areas;

28.3.5. standards for public services delivered by the government;

28.3.6. sector development policies;

28.3.7. regional development policies;

28.3.8. local development needs;

28.3.9. Medium-term Fiscal Framework Statement; and

28.3.10. assessment of contingent liabilities and other financial risk.

28.3.11 Demands stipulated in the Debt Management Law and Strategic Document

28.4. Taking into consideration the items stated in 28.3.1-28.3.8 of this Law, the State Administrative Body Responsible for National Development Matters shall undertake pre-feasibility studies of projects and measures with a value of more than 30 billion togrogs that will be included in the public investment program.

28.5. The State Central Administrative Body Responsible for National Development Matters shall review and verify projects to be included in the public investment program against requirements stated in 28.3.9 and 28.3.11 of this Law.

28.6. The State Administrative Body Responsible for National Development Matters shall carry out design, budget and feasibility studies of projects which are proven to be beneficial by the pre-feasibility studies in terms of economic benefits and social significance stated in 28.3.2 and 28.3.3 of this Law.

28.7. Studies and estimation stated in 28.4 and 28.6 of this Law shall not be applicable to the following projects and measures:

28.7.1. projects and measures related with the activities of the national security and defense; and

28.7.2. projects and measures aimed at eliminating or recovery from the consequences of natural disaster.

28.8. The Government shall approve once in 4 years and review annually the public investment program within the framework of the state policy documents.

28.9. The State Administrative Body Responsible for National Development Matters shall submit to the Government a draft update of the investment program to be undertaken in the particular year by May 15 of every year.

28.10. The public investment program includes projects financed by budget, loans, and grants as well as those to be implemented by concession agreement, Government debt guarantees and Development Bank funded projects.

28.11. Methodology for estimating the result of the projects considering economic benefits and social significance of investment shall be approved by the Cabinet Member in charge of Finance and Budget Matters.

Article 29. Public investment budgeting

29.1 Within the public investment program, the Administrative Body Responsible for National Development Matters shall prepare a proposal on continuing and new investment projects and general budget governors shall prepare a proposal on investment projects with a total value of less than 30 billion togros other than that stated in 28.1 of this Law in accordance with the budget circular and submit it to the State Central Administrative Body Responsible for National Development Matters within the timeframe defined in 8.4.3 of this Law.

29.2 Estimates related with the operational costs of a capital asset to be established through investment project such as recurrent expenditure, staffing and financing resources, and an assessment of its impact on the budget, shall be attached to the project proposal..

29.3 The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters and respective level governors shall present investment projects in the annual budget proposal in the following ways:

29.3.1 in compliance with the Medium-term Fiscal Framework Statement and annual budget ceiling;

29.3.2 present projects in the public investment program by their total cost, starting and ending dates and expenditures planned for the fiscal year;

29.3.3 present recurrent maintenance of short term assets to be completed within each year, capital asset renovation, equipment and other capital projects by programs and general budget governors;

29.3.4 present the full cost of each project regardless of its financing sources; and

29.3.5 The particular fiscal year's allotment of the total budgeted cost for new buildings and construction, investment projects and measures shall not be less than the amount evenly divided for periods of implementation.

29.4 Those investment projects for which feasibility studies have been undertaken and design and budget are approved shall be presented in the investment budget.

29.5 Requirements identified in 28.3 of this Law shall also be applicable to investment projects and measures with total budgeted cost of less than 30 billion togrogs.

29.6 The State central administrative body responsible for the particular matters shall undertake feasibility studies for investment projects and measures with total budgeted cost less than 30 billion togrogs and the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall reflect them in the budget if the investment projects are proven to be beneficial as specified in 28.6 of this Law.

29.7 If the price index of material used in a project increases by twice the tariff used when estimating the budget for the approved project, it can be considered in the particular year's supplementary budget.

29.8 The condition specified in 29.7 of this Law emerged due to faulty actions of contractors shall not be a justification for changing the budgeted costs.

Article 30. Public-Private Partnership

30.1 The following types of public-private partnership can be formed.

30.1.1 public services may be executed by the private sector; and

30.1.2 through concession contracts;

30.2 In the following circumstances public-private partnerships shall be used:

30.2.1 Introduce technology, equipment and efficient management tools of the private sector to public sector;

30.2.2 Implement projects or activities that require mandatory government support but which cannot be implemented solely by private sector; and

添付資料：予算法

30.2.3 Implement projects and activities with proven benefits as shown in feasibility studies.

30.3 Public-private partnerships are prohibited for the purpose of avoiding contribution to the budget deficit or for postponing budgetary payment.

30.4 (deleted)

30.5 Concessional contracts that have conditions of repayment by the national and regional budget shall be regulated by respective laws.

30.6 Project implemented through concessional contracts and their measures, information related to debts and risk estimation shall be reported through government consolidated financial report as supplementary budget

30.7 Concessional contracts shall be regulated by respective laws

Article 31. General budget governor's annual budget proposal

31.1 General budget governors annual budget proposals shall meet the following requirements:

31.1.1 Funding should be determined by the scope of programs and activities pertaining to core functions;

31.1.2 Objectives, targets and outcomes of program should be estimated;

31.1.3 Annual budget ceiling shall be complied with;

31.1.4 Within each area of responsibility, investment projects and activities and resources required to implement them shall be reflected in the respective program;

31.1.5 Within each area of responsibility, pensions, allowances and other types of financial supports to be financed from the budget shall be reflected in the respective program; and

31.1.6 Procurement plan proposals shall be attached.

31.2 If general budget governors submit proposals that exceed the ceiling stated in Article 31.1.3 of this law, the proposals shall be made with respective justification and explanation separately from the budget proposal.

31.3 The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall return the budget proposal of a the general budget governor if it does not meet the requirements identified in 31.1 of this Law.

31.4 The following estimates shall be attached to the budget proposal of the General budget governor:

- 31.4.1. Estimates of revenue to be collected to finance expenditures;
 - 31.4.2. Estimates of revenue from a budgetary entity's own operations;
 - 31.4.3. Estimates of new programs and activities;
 - 31.4.4. Proposal and estimates on halting or reducing financing for programs and activities that have become socially and economically unbeneficial, together with financial implications of this proposal.
 - 31.4.5. Budget execution review report and preliminary estimation of the expected actual budget execution of the current fiscal year;
 - 31.4.6. Expenditure allocation estimates presenting inputs, budget, financing sources, and expected outcomes by programs and by economic classification; and
 - 31.4.7. justification and estimates of projects and measures implemented through concession contracts and information specified in Article 10.3 of the Law on Concession.
- 31.5 The Government and Governor's Council shall discuss budget proposals by each general budget governor.

Article 32. Submission of Budget proposals to the State Great Khural

32.1. The Government shall submit proposals for the Unified Budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget and Future Pension reserve Fund Budget¹² with the presentation specified by Article 32.2 of this law to the State Great Khural in accordance with the timeframe specified in Article 8.4 of this Law.

32.2 The presentation of the budget proposal shall include the following information:

- 32.2.1 Assessment of macroeconomic current condition and projections and trends;
- 32.2.2 The Government's policies and priorities for the budget year directed at ensuring macroeconomic and fiscal stability and their implementation issues;
- 32.2.3 Estimates of targeted indicators for budget balances;
- 32.2.4 Assessment of key fiscal risks that may affect budget execution;
- 32.2.5 Estimation of tax expenditures by each type of tax, the previous two year's execution and projections for the following two fiscal years;
- 32.2.6 List of investment projects and activities by types and funding sources;

¹² Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

添付資料：予算法

32.2.7 List of projects and activities for which funding sources are to be frozen or reduced and their impacts on the budget, and its explanation;

32.2.8 List of projects and activities to be funded by foreign loans and assistance, each identified by type, physical structure, and total cost;

32.2.9 Estimation of Special Fund revenues and expenditures;

32.2.10 Dividends from fully and partly state and locally owned legal bodies for the share owned by central government;

32.2.11 Programs implemented by each general budget governor, measures, conditions required, expected results, measurement of outputs and their explanations

32.2.12 explanation on compliance with the requirements of the budget and the medium-term fiscal framework statement;

32.2.13 In case of not following to the budgetary requirements in temporary, its grounds and proposals;

32.2.14 consolidated budget's revenues and expenditures summary

32.2.15 Estimation of balanced budget revenue

32.2.16 Proposal regarding debt financing if a deficit is planned for the budget

32.2.17 Government debt, total project loan domestic source, government guarantee and its total

32.2.18 Contingent debt and payments equal to one percent of the amount exceeding budget revenue and its potential risk calculations

32.2.20 Legislative draft for resolution regarding budget proposals

Article 33 The State Great Khural Approval of the Budget

33.1 The State Great Khural shall enact proposals on the State budget, Social Insurance Fund budget, Health Insurance Fund budget, Future Pension reserve Fund budget¹³ and Human Development Fund budget in compliance with the requirements of the Fiscal Stability Law in accordance with the calendar specified by Article 8.4 of this law.

¹³ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

33.2 The following items shall be included and approved in the budget:

33.2.1 Revenues to be collected by each general budget governor into its annual budget and own revenues of its subordinate budget entities for the particular fiscal year;

33.2.2 Maximum level of aggregate budget expenditures and maximum level of recurrent and capital expenditures for each general budget governor for the fiscal year, within which should be shown the amount of special purpose transfers for the particular fiscal year;

33.2.3 Sources for financing budget deficits, maximum levels for new debt to be incurred by the Government and limitations on cash flows;

33.2.4 Revenue transfers and financial support to be allocated to budgets at other levels;

33.2.5 Programs to be implemented by each general budget governor and qualitative and quantitative indicators of expected outcomes of the programs as presented in the annex;

33.2.6 List of investment projects as set in the annex (name, location, capacity, timeframe for implementation, budgeted cost, financing sources and total amount of financing for the particular fiscal year).

33.2.7 List of projects and activities to be implemented through concession contracts and requirements and terms and conditions set for them as presented in the annex.

33.2.8 Ceiling of loan to be paid in the budget year for projects with repayment conditions

Article 34 Supplementary budget

34.1 For the following circumstances the Government shall formulate and submit a supplementary budget for the particular fiscal year to the State Great Khural:

34.1.1 In the case of occurrence of events that causes suspension of the special fiscal requirements as defined in the Fiscal Stability Law;

34.1.2 Due to unforeseen circumstances, budget revenue has decreased, expenditure has increased and the Unified Budget deficit has increased by 3% or more of GDP.

34.1.3 If a justification as specified in Article 29.7 of this law becomes apparent, budgeted costs of programs, projects and activities shall be amended.

34.1.4. Adjustment of budgets between general budget governors;

34.1.5 Lack of government debt insurance fund resources for payment for government guarantees based on the law and contracts

34.2 For the following circumstances the Governor shall formulate and submit a supplementary

添付資料：予算法

budget for the particular fiscal year to the respective level of Citizens' Representative Khural:

34.2.1. Due to amendments to the upper level budget;

34.2.2. In the circumstances of the event where budget revenue has decreased, expenditure has increased and the local budget is in deficit due to unforeseen conditions;

34.2.3. Justification as defined in Article 29.7 of this Law becomes apparent, making it necessary to amend the budgeted costs of approved programs, projects and activities.

34.3. Until the period of completion of amendments to the budget of the particular fiscal year, financing or implementation of the following programs, projects and activities can be stopped temporarily:

34.3.1. for those programs, project and activities for which financing in the supplementary budget proposal is expected to be reduced or eliminated; or

34.3.2. contracts of programs, projects and activities that have not been established.

CHAPTER SIX

Budget implementation and execution

Article 35. The Treasury Single Account

35.1 Financial assets are managed through the Treasury Single Account, established in the Bank of Mongolia;

35.2 Budget revenues and own revenues collected by any budgetary entity are deposited into the Single Treasury Account without delay;

35.3 All disbursements are processed through the Single Treasury Account unless a separate bank account has been authorized by the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters;

35.4 No bank is permitted to establish a bank account for any budgetary entity without the prior written approval from the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters.

35.5. Respective level's treasury office and state audit body shall inspect and close accounts opened outside the Single Treasury Account without the authorization specified in Article 35.3 of this Law and mobilize the assets into the Single Treasury Account.

35.6. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters and the Bank of Mongolia jointly shall approve a procedure on opening and closing of accounts at banks

outside the Single Treasury Account.

Article 36. Treasury System

36.1 The Treasury System is comprised of the Central State Treasury, the treasury of Aimags and the Capital City, the treasury of Soums, and Districts and the treasury unit under General Budget Governors and budget accountants (hereinafter called as the “Treasury”);

36.2 The Central State Treasury shall be in the structure of the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters and the treasury of Aimags, Capital City, Soums, and Districts shall be in the structure of the particular level’s Governor’s office.

36.3 A single unit can be established to provide accounting services to multiple budgetary entities, at the Soum and district level, that are similar in function and budgetary amounts.

36.4. The respective governor shall make a decision on the establishment of an accounting service unit defined in 36.3 of this Law as authorized by the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters.

36.5. If a unit defined in 36.3 of this Law is established, it is prohibited for a budgetary entity to create a position responsible for undertaking functions that overlap with the treasury unit.

36.6. The Central Treasury shall undertake internal control functions for activities of the Treasury of Aimag and the capital city and state central administrative bodies and the Treasury of Aimags and the capital city shall undertake internal control functions for activities of Soum and district’s treasury office respectively.

Article 37. Common Functions of the Treasury

37.1. The Treasury shall undertake the following common functions:

37.1.1 Organize and oversee budget implementation;

37.1.2 Process daily transactions of budget revenues and expenditures;

37.1.3 Undertake budget control by grouping expenditures;

37.1.4 Establish order for budget expenditure payment;

37.1.5 Process and control budget transactions through an electronic system;

37.1.6 Record commitments by comparing the budget with contract records on procurement of goods, works and services and payment orders;

37.1.7. Record budget revenues, expenditures, assets and liabilities in the respective accounts in accordance with the Accounting Law; and

添付資料：予算法

37.1.8. Based on monthly and quarterly budget allotment schedule, issue authorization to finance and spend to budget entities' accounts.

37.2. The Government shall approve the procedure on treasury functions.

Article 38. Central Treasury Functions

38.1. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall operate the following functions of the Central State Treasury:

38.1.1 Management of the Treasury Single Account;

38.1.2 Development and implementation of a procedure and instruction to regulate payment and receipt transactions;

38.1.3 Development and implementation of training programs for Treasury System staff;

38.1.4 Development and implementation of a procedure on treasury activities;

38.1.5 Integrated cash management;

38.1.6. Borrow in financial markets to regularly finance expenditures of the state budget;

38.1.7. If either the state budget does not have sufficient funds to pay its obligations on a timely basis, funds available in the Treasury Single Account not associated with the respective fund can be used to pay obligations so long as the funds are repaid before the end of the fiscal year.

38.1.8. Make decisions on investing idle cash balances through the Mongol Bank in short term instruments;

38.1.9. Provision of financial services to budget governors;

38.1.10. Management of financial assets and liabilities;

38.1.11. Preparation of a consolidated report of the Unified Budget execution; and

38.1.12. Provision of disbursement services to budget governors.

Article 39. Agreement for implementation of some of Government's functions by local government

39.1. General Budget Governors defined in 14.1.6 and 14.1.8 of this Law shall establish an agreement with Aimag and capital city governors, for implementation of delegated functions specified in 58.1 of

this Law within 14 working days of the passage of the state budget;

39.2. Aimag and capital city governors shall establish with Soum and district governors an agreement specified in 39.1 of this Law at the Soum and district levels within 14 working days of the passage of the Aimag and capital city budget;

39.3. The following conditions must be included in 39.1 and 39.2 of this Law:

39.3.1. purpose of expenditures;

39.3.2. quantitative and qualitative indicators used to determine required financing for meeting service standards; and

39.3.3. reporting requirements for financial and performance information.

39.4. The following requirements are established for Aimag, capital city, Soum and district governors to implement delegated functions specified in 61.1 of this Law:

39.4.1. not transferring special purpose subsidies for base expenditure of local budget and financing of other sectors.

39.4.2. not occurring debts and receivables;

39.4.3 not reducing standards, quantity and quality targets and accessibility of services;

39.5. Respective general budget governor shall assess the fulfillment of agreements specified in 39.1 and 39.2 of this Law on a semi-annual and annual basis and carry out internal audits of agreements.

Article 40. Performance agreement

40.1. Direct budget governors and central budget governors shall conclude performance agreements with respective upper level budget governors prior to the start of the fiscal year.

40.2. Performance agreements specified in Article 40.1 of this Law shall reflect each budgetary entity's programs and activities for the particular fiscal year, their budget, expected outcomes and assessment criteria.

40.3. Performance agreements shall be assessed by the upper level budget governor on a semi-annual and annual basis.

40.4. Based on fulfillment and implementation progress of the performance agreement, the evaluator of the performance agreement shall take the following actions:

40.4.1. Prepare a directive to improve budget outcomes and intensify budget implementation, and oversee its fulfillment; and

40.4.2. Within his/her area of authority as specified by law, sanction or reward the party implementing the performance agreement.

40.5 The general budget governor shall take consideration of the glass account when evaluating the performance agreements stipulated in 40.1 of this law.

Article 41. Management of Budget Execution

41.1. Control over the detailed calendar for implementation of the approved budget, detailed budget allotment schedule, and budget spending and revenue collection shall be undertaken in accordance with the approved monthly and quarterly budget allotment schedule.

41.2. All level budget governors shall be responsible for carrying out the following actions when implementing the budget:

41.2.1. Collect fully revenues in accordance with state and local budgets and budgetary entity' revenues from their own operations according to law;

41.2.2. Budget expenditure shall be released only as authorized in the approved budget;

41.2.3. Undertake and report budget execution as stipulated in law;

41.2.4. Observe monthly and quarterly budget allotment schedules;

41.2.5. Finance budgetary entity' expenses within the authority stated in Article 37.1.8 of this Law;

41.2.6. Finance goods, works and services to be procured with state and local funds based on procurement agreements and payment schedule; and

41.2.7. Oversee program implementation and ensure fulfillment of their outcomes;

41.3. An authorized body defined in Article 11 and Articles 65.1. and 66.1 of this Law shall approve and ensure the enforcement of monthly and quarterly budget allotment schedule based on proposals of general budget governors.

41.4. In the event of failure to approve the budget at the start of the fiscal year, until the approval of the budget, a temporary procedure shall be established by an authorized body defined in Article 41.6 of this Law and budget expenditures shall be financed in the following ways:

41.4.1. Salary of employees of budgetary entity at the minimum wage level;

41.4.2. Pensions and allowances of social welfare and social insurance at their minimum level;

41.4.3. Government reserve fund and Governor's reserves at the level of the previous year;

41.4.4. Recurrent expenditures of core functions of defense, health, education, border protection, organizations for national security, emergency, court, and prosecution, police, taxation, customs, professional inspection and other state administrative organizations at the level of the previous year;

41.4.5. Recurrent expenditures of core functions of organizations other than specified in Article 41.4.4 of this Law at 50 percent of these organizations' recurrent budgets of the previous year; and

41.4.6. Follow terms and amounts of payments stated in the loan agreements for payment of principal and interest of Government debt.

41.5. Short term loans can be allocated from upper level budgets for financing the shortage of financing for lower level budgets as specified in Article 41.4 of this Law.

41.6. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters or Aimag and capital city governors shall approve and ensure enforcement of the temporary procedure and monthly and quarterly budget allotment schedule for implementing the procedure.

41.7. The Government shall approve a procedure that sets requirements and conditions for ensuring transparency of approved budgets of budgetary entities, own revenues, expenditure savings and their spending and ensuring openness for public and staff of the budgetary entity.

Article 42 Adjustment to the Budget of Budget Governor

42.1 Budget adjustments between general budget governors can be done only through the supplementary budget of the particular year.

42.2 Budget governors can make adjustment in the budget in the following ways:

42.2.1. General budget governors:

42.2.1.a. between programs of his/her portfolio;

42.2.1. b. between budgets of central budget governors under his supervision and responsibility;

42.2.1.c. between budgets of central budget governors and direct budget governors;

42.2.1.d. between budgets of direct budget governors under his supervision and responsibility;

42.2.2. central budget governors, between budgets of direct budget governors under his supervision and responsibility;

42.2.3. direct budget governors, only between his/her recurrent expenditures.

42.3. Adjustment in the budget of direct budget governors shall be resolved as described below:

42.3.1. Budget governor shall present his/her proposal on adjustment for the budget to the respective

添付資料：予算法

central budget governor, if he/she does not report to central budget governor then to general budget governor;

42.3.2. Central budget governor shall present the proposal to the respective general budget governor;

42.3.3. if an adjustment proposal pertains to the state budget, the Social Insurance Fund budget, the Health Insurance Fund budget and the Future Pension Reserve Fund budget¹⁴, the general budget governor shall present the proposal to the State Administrative Body Responsible for Budget and Finance Matters and if it pertains to the local budget, present the proposal to Aimag, capital city, Soum or district governors.

42.3.4. An organization or an official specified in Article 42.3.3 of this Law shall resolve adjustments by making changes in monthly and quarterly allotment schedules upon the review and approval of the general budget governor's proposal specified in Article 42.2 of this Law.

42.4. Permission shall be obtained from the upper level budget governor for making budget adjustments specified in 42.2 of this Law.

42.5. Central budget governors specified in Article 15.2 of this Law can resolve adjustments to budgets for his/her subordinate direct budget governors by making changes in his/her approved budget's monthly and quarterly allotment schedule.

42.6. The Cabinet Member in Charge of Finance and Budget Matters shall approve limits, terms and conditions and procedures for making adjustments to budgets.

42.7. Budget adjustments shall not be made between capital and recurrent expenditures and it is prohibited to finance new programs and activities that are not already included in the budget.

Article 43 Budget adjustments for activities to be implemented through more than one fiscal year

43.1. The following unused budget sources of the particular fiscal year can be carried over for the following fiscal year:

43.1.1. Government bonds, principal and interest payment of loans;

43.1.2 (deleted)

43.1.3. Budgets for projects and activities to be funded with concessional loans through Government bilateral and international agreements ratified by the State Great Khural;

43.1.4 (deleted)

43.1.5. Donation, assistance and support obtained from non state and locally owned bodies.

¹⁴ Health insurance fund budget and future pension reserve fund budget are entered into force on 1st of July 2018.

43.2. The total amount of the budgets other than articulated in Article 43.1.3 of this Law which authorization to spend is carried over to the next fiscal year shall not exceed 3 percent of the general budget governor's budget of the particular year and the amount that exceeds it shall be mobilized into the general account of the respective level's budget.

43.3. At the end of a fiscal year, the mobilization of the revolving fund's balance specified in the Law on Government Special Funds into the budget shall be resolved as stipulated in Article 18.6 of this Law and the balance shall be spent in accordance with the approved budget of the following year.

43.4 (deleted)

43.5. Budget governors shall not carry over budgets other than that specified in Articles 43.1.3 and 43.1.5 of this law through two fiscal years.

43.6. Carry over for authorization to spend for the following year, shall not be a justification for reducing outcome targets of programs, projects, and activities to be implemented with the approved budget.

Article 44 Non-core activities

44.1. Budgetary entity may engage in non-core activities under the following circumstances to earn revenue:

44.1.1. General budget governor gives prior written approval;

44.1.2. Non-budgetary resources to compensate the possible loss associated with such activities are clearly specified;

44.1.3. Such activities are properly reflected in financial statements and performance agreements;

44.1.4. Such activities do not divert public assets from their main use, and do not divert personnel of the budgetary entity from their core activities.

44.1.5. Such activities do not conflict with core-functions of budgetary entity.

44.2 Cost for non-core activities includes all forms of direct and indirect costs, payables and financial obligations.

44.3. The use of core activities' expenditures for non-core activities in direct or indirect ways is prohibited.

44.4. If a permission to engage in non-core activities was given in the middle of the fiscal year, it shall be implemented as additions to the budget and in other cases it shall be reflected in the budget of the particular year.

添付資料：予算法

44.5. Profits earned from non-core activities shall be spent for the following purposes:

44.5.1. to reduce budget financing for a particular budgetary entity's core functions;

44.5.2 to make investment for supporting operations of that particular budgetary entity or branch;

44.5.3 to use for resolving social issues of employees of that particular budgetary entity; and

44.6 (deleted)

44.7. Relations with regard to implementation of issues specified in 44.5.2, and 44.5.3 of this Law with profits earned from non-core activities shall be regulated by Article 46 of this law.

Article 45 Budget savings

45.1 The following unused budget balance of budget governors shall be considered as budget expenditure savings:

45.1.1 The balance occurred due to decrease in unit cost or price during the procurement process for goods and services financed from the recurrent budget;

45.1.2 The balance occurred as a result of reducing unit cost without decreasing quality but by improving operational cost efficiency of budgetary entity; and

45.1.3. The balance occurred as a result of reducing unit cost without reducing quality of projects, measures and activities where the approved budget was estimated using norms and normatives of units.

45.1.4 buildings and remains in a reduction of operating costs of technical equipment, such as technological change;

45.1.5 4.2.12 and 16.5.9 in the framework of a revised organizational structure of the establishment due to the decline of wages and other expenditures per outstanding him in accordance with the Articles of this law;

45.1.6 planned programs and measures to balance quality results to be achieved by arranging a more efficient and practical solutions decreasing.

45.2 The following unused balance of budget governor's budgets shall not be considered as savings and such balances shall be mobilized into the general budget account of the respective level's budget.

45.2.1 Number of units actually delivered is less than the initial estimation used in the approved budget where the budget was estimated using unit cost norms and normative.

45.2.2 The balance occurred due to a decrease in the number of units delivered or budgeted projects and activities were not implemented.

45.2.3 The balance occurred due to decrease in unit cost, price and quantity during the investment procurement process.

45.2.4 The balance occurred due to operation of the state administrative body with a fewer number of staff than the approved staffing level.

Article 46. Budget incentives

46.1 Budget governors can retain profits from non-core activities, budget expenditure savings or performance agreement incentives as budget incentives.

46.2 Based on the expected actual of the fiscal year, funds required for providing performance incentives stated in Article 46.1 of this Law shall be reflected and approved in the next year's budget of the general budget governor in charge of budget matters of the respective level and shall be provided subsequent to his/her decisions.

46.3. Decisions on how to spend incentives specified in 46.1 of this law shall be made based on discussion of this issue by the staff meeting of the budgetary entity. Copies of the minutes of the meeting and the decision shall be delivered to the treasury of the respective level and based on that the incentives shall be issued.

46.4. Incentives shall be used for measures defined in Article 44.5 of this Law and common measures such as remunerating staff taken into account staff performance and resolving social issues of staff.

46.5 A procedure on the size of, and criteria for, incentives to be allocated from the savings of budgetary entity, and their spending, reporting, accounting and monitoring shall be approved by the Cabinet Member in Charge of Finance and Budget Matters.

46.5 additional income from savings and operating expenditure not allowed to use the following method:

46.5.1 The following cases could impair the normal functioning of institutions:

46.5.1.a reached the salaries of employees available for the period provided by law;

46.5.1.b reduced quality and accessibility of public services.

46.5.2 create a liability for the fiscal year, or two consecutive quarterly budget performance reports;

46.5.3 representative to receive guests and to finance foreign travel expenses;

46.5.4 increase current costs by permanent staff, and a new structure.

46.6 Budget incentives shall be defined and issued within one month after submission of the budget execution report to the State Great Khural or Citizens' Representative Khural.

Article 47 Additions to Budget

47.1 Budget governors can spend the following types of additions to the budget for relevant projects and activities:

47.1.1 Donations and aid given by a non-state and locally owned body.

47.1.2 Bilateral government agreements ratified by the State Great Khural or concessional loans obtained from international organizations during a fiscal year;

47.1.3 Resources allocated to a particular budget governor based on relevant legal parties' decisions from the Government reserve fund, Governor's reserves or similar unclassified reserve fund;

47.1.4 Resources allocated from the budget of an upper level budget governor to a lower level budget governor;

47.1.5. Additional revenue collected within the framework of core functions of budgetary entity; and

47.1.6 (deleted)

47.2 Additions to the budget and their related activities shall be part of financial statements and budget execution reports as the budget.

47.3. Revenues stated in Article 47.1.2 and 47.1.6 of this Law shall be spent only within the approved budget.

CHAPTER SEVEN

Property and Government Debt management

Article 48 Property

48.1 Relations that rise in connection with management, coordination, spending, records and reporting of state and local property and assets shall be regulated in separate laws.

Article 49 (deleted)

Article 50 (deleted)

Article 51 (deleted)

Article 52. Contingent Liability

52.1 Information on the Government's contingent liabilities shall be disclosed to the State Great Khural and the public.

52.2 Records of contingent liabilities shall be reflected in the annual and supplementary budget proposals, and semi-annual and annual budget execution reports.

52.3 The State Central Audit Office shall monitor and issue an opinion on contingent liabilities, debt guarantees and related records.

52.4 Disclosure of estimations on contingent liabilities, loan guarantees, and possible risks shall not mean they are accepted or that the liabilities have been incurred.

52.5 The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall exercise record the volume of contingent liabilities, control, regulation, research and probability, and analyze potential costs from a budget and make a conclusions and reporting.

52.6 The following information about the contingent liability shall submit the relevant parties immediately to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters:

52.6.1. Debt of Government special fund

52.6.2. Debt of legal entities fully or dominantly owned by state or local government.

52.6.3. Guarantees in accordance with the Articles of the Concession Law;

52.6.4. Projects and measures that have been financed government debt guarantees by borrowing;

52.6.5. Information related to the contingent liability and other relevant information required by the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters.

52.7. if there is any risk of performing a payment from the state budget within the contingent liabilities relevant cabinet member shall present and make resolution to the Government and State Great Khural, in consultation with the Cabinet member in charge of finance and budget matters.

Article 53 Government debt management

53.1 (deleted)

53.2. Asset and liability management, Government's borrowing, issuing loans, on-lending, and issuing debt guarantees, and requirements, terms and conditions and limitations set for them and contingent liability management process shall be regulated by law.

CHAPTER EIGHT

Budget Reporting

Article 54. Financial statements and budget execution reports

54.1. Government's consolidated financial statement shall include financial statements of the state and local budgets, consolidated financial statements of general budget governors and financial statements of fully and partly state-owned enterprises.

54.2. General budget governors shall cover in his/her consolidated financial statement financial statements of budgetary entity and agencies of his/her portfolio, financial statements of projects and programs implemented by concessional loans and grants obtained through government, and financial statements of fully and partly state owned and locally owned enterprises.

54.3. The general budget governor shall prepare his/her budget execution report and consolidated financial statement in accordance with International Accounting Standards.

54.4. The consolidated financial statement shall have the following components:

54.4.1. An income statement;

54.4.2. A balance sheet;

54.4.3. A statement of cash flows;

54.4.4. A statement of changes in net assets; and

54.4.5. Explanatory notes.

54.5. The budget execution report shall include the following:

54.5.1. Actual revenues and expenditures of the fiscal year (by total amount, programs, budget governors, and by each investment project);

54.5.2. Tax expenditures by each sector and legal body along with a legal justification;

54.5.3. Actual amount spent for goods, work and services procured in the fiscal year;

54.5.4. Expenditures for programs and activities, attained results and their introduction (fulfillment of program performance, fulfillment of policy objectives, assessment of impacts, implementation of investment projects and explanation if implementation was disrupted); and

54.5.5. Additions to the budget and related explanation.

54.5.6. Information of Government debt and Government debt guarantees

54.6. If adjustment to the budget was made as stated in Article 42 of this law, program performance shall be reported with comparison with the initially projected targets.

Article 55. Pre-election economic and fiscal outlook report

55.1. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall submit to the State Great Khural a pre-election economic and fiscal outlook report not less than one month before the announcement of the date for an election of the President of Mongolia and the State Great Khural.

55.2. The Cabinet Member in Charge of Finance and Budget Matters shall present information specified in Article 55.1 of this Law to the general session of the State Great Khural.

55.3. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall prepare a pre-election economic and fiscal outlook report and publicly release this report after the information stated in Article 55.1 of this Law is reviewed by the State Great Khural.

55.4. A pre-election economic and fiscal outlook report shall contain the following information:

55.4.1. An assessment of whether or not the Government's economic, financial and fiscal policies implemented by the Government during the terms of the President of Mongolia and the State Great Khural meet the special fiscal requirements established in Article 6 of the Fiscal Stability Law;

55.4.2. The macroeconomic and fiscal assumptions for the next four years;

55.4.3. A statement of the amount, purpose and terms and conditions of Government debt and contingent liabilities, and a tabulation of debt in arrears with principal and interest amount;

55.4.4. An assessment of the amounts and its adequacy for ensuring fiscal stability, and projected changes over the next two years of resources accumulated in the Stability Fund of the Government;

55.4.5. Contingent liabilities;

55.4.6. Government commitments reflected in the Government action program and estimated costs to be borne from the budget and other sources;

55.4.7. Government debt and guarantees reflected in Government agreements.

55.4.8. Effect of all decisions and actions of the Government made during the election year on the financial and fiscal outlook of the forthcoming years;

55.4.9. An explanation on whether medium-term economic, financial and fiscal assumptions are

添付資料：予算法

consistent with the Medium-Term Fiscal Framework Statement approved by the state Great Khural or the Budget, and the special fiscal requirements established by the Fiscal Stability Law.

55.5. The information outlined in Articles 55.4.5-55.4.8 of this law that may have effects on the fiscal outlook shall be expressed in numbers.

CHAPTER NINE

Local budget relations

Article 56. Fiscal relations between budget levels

56.1. Transfers from upper level budgets to lower level budgets shall be made in the following forms:

56.1.1. financial support rendered from upper level budgets to lower level budgets for financing the basic budget deficit of the lower level budget;

56.1.2. revenue transfers from upper level budgets to lower level budgets for implementation of its investments, programs, projects and activities; and

56.1.3. Special purpose transfers allocated from the state budget to implement some Government functions delegated to local government.

56.2. Portion of the basic budget surplus of lower level budgets shall be mobilized to upper level budget.

56.2.1. Portion of the basic budget surplus of lower level budgets less or equal to base expenditures shall be retained 70 percent and the residual shall be mobilized to upper level budget.

56.2.2. Portion of the basic budget surplus of lower level budgets less more than base expenditures shall be retained portion of 70 percent of base expenditures and the residual shall be mobilized to upper level budget.

56.3. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters has authority to withhold temporarily financial support, revenue transfers, and special purpose transfers to the Aimag and the capital city budgets, and Aimags and the capital city governors have the same authority with respect to the Soum and districts' budgets, until the period of rectification of the following breaches are revealed:

56.3.1. The budget legislation is breached;

56.3.2. The Citizens' Representative Khural approved the particular year's budget by increasing it without justification;

56.3.3. Purpose, conditions and requirements set for special purpose transfers are breached;

56.3.4. The total budget is executed with a deficit due to lack of compliance with standards for services financed from the local budget;

56.3.5. The stability of the local budget is disrupted; and

56.3.6. The local budget is not approved within the timeframe as specified in this Law.

56.4. The Government shall define a methodology for estimating base expenditures of each local budget, standards of services to be financed from local budgets and normative for inputs and budgets of these services.

56.5. The purpose of the special purpose transfers and conditions and requirements for their spending as defined in Article 56.1.3 of this Law shall be established by agreement specified in Articles 39.1 and 39.2 of this Law and the Government shall oversee its implementation.

56.6. The Government and Aimag and the capital city governors shall implement a stabilization program in the local government for the purpose of eliminating breaches stated in Article 56.3 of this Law, ensuring enforcement of legislation and stability of the local budget, and strengthening capacity of bodies involved in the budget process.

Article 57. Local budget

57.1. Functions to be undertaken with local budgets and types of revenue to be allocated to local budgets shall be defined by this law.

57.2. Local budgets shall be planned, approved and implemented without deficit.

57.3. Expenditures to be financed from the previous year's local budget balance shall be implemented by reflecting and approving them in the budget, and expenditure shall not exceed the financing sources.

57.4. Short term loans can be allocated from Aimag and capital city budgets to finance the shortage of seasonal revenue of Soum and district budget revenue.

57.5. It is prohibited for the local budget to incur debts, or to issue guarantees apart from the cases specified in Debt Management Law and Articles 41.5, 57.4 and 62.2 of this Law.

Article 58. Functions to be implemented by local budgets

58.1. The capital city shall implement with its budget the following functions:

58.1.1. Capital city management;

添付資料：予算法

58.1.2. Urban planning, construction and establishing new infrastructure;

58.1.3. Capital maintenance of construction and buildings owned by the capital city, establishing new property and making investments;

58.1.4. Social care and welfare services;

58.1.5. Implementing programs and measures to support employment and alleviate poverty;

58.1.6. Development of small and medium-sized enterprises;

58.1.7. Pasture management;

58.1.8. Establishing water supply, sewerage and drainage systems, water services; build water supply and waste water treatment facilities and water for farming concessions and services;

58.1.9. Housing and public utility services;

58.1.10. Flood protection;

58.1.11. Public transport services;

58.1.12. Fight of infectious livestock and animal diseases, pest eradication and control, providing veterinary services;

58.1.13. Disaster prevention;

58.1.14. Environmental protection and rehabilitation;

58.1.15. Establishing large scale roads, bridges and their lighting, traffic lights and other respective construction;

58.1.16. Utility services for public areas, landscaping, public hygiene, street lighting, cleaning, and waste removal;

58.1.17. Within the territory of the capital city operation and maintenance services of high voltage and electricity lines and substations and other activities to ensure normal functioning; and

58.1.18. Other functions specified in law.

58.2. Aimags shall implement with their budgets the following functions:

58.2.1. Aimag management;

58.2.2. Urban planning, construction and establishing new infrastructure;

58.2.3.Capital maintenance of locally owned construction and buildings, establishing new property and making investments;

58.2.4.Social care and welfare services;

58.2.5.Implementing programs and measures to support employment and alleviate poverty;

58.2.6.Development of small and medium-sized enterprises;

58.2.7 (deleted)

58.2.8.Pasture management within the territory of the Aimag;

58.2.9.Establishing livestock fodder reserve;

58.2.10. Water supply, sewerage and drainage systems, housing and public utility services, and flood protection;

58.2.11. Public transport services;

58.2.12. Fighting infectious livestock and animal diseases, pest eradication and control, and disaster prevention and elimination, providing veterinary services;

58.2.13. Environmental protection and rehabilitation;

58.2.14. Establishing within the territory of the Aimag and inter-Soum road, bridge and their lighting, traffic lights and other respective construction;

58.2.15. Utility services for public area, landscaping, public hygiene, street lighting, cleaning, and waste removal;

58.2.16. Within the territory of the Aimag operation and maintenance services of high voltage and electricity lines and substations and other activities to ensure normal functioning; and

58.2.17. Other functions as defined in law.

58.3. Districts shall independently implement the following functions with its budget:

58.3.1. District management;

58.3.2.Social care and welfare services provided subsequent to the decision of district governors;

58.3.3.Within the territory of districts, utility services for public areas, public hygiene, street lighting, cleaning and waste removal;

添付資料：予算法

58.3.4.Promotion of intensified raising of livestock, ,fighting infectious livestock and animal diseases, pest eradication and control, and disaster prevention and elimination, providing veterinary services;;

58.3.5.Protection of nature and the environment within the district territory;

58.3.6.Recurrent maintenance of lighting of public areas within the district territory;

58.3.7.District landscaping, and development and maintenance of sidewalks, recreational areas and children’s playgrounds;

58.3.8.Other functions as defined in law.

58.4. Soms shall independently implement the following functions with its budget:

58.4.1. Soum management;

58.4.2. Social care and welfare services provided subsequent to the decision of Soum governors;

58.4.3. Within the territory of Soms, utility services for public areas, public hygiene, street lighting, cleaning and waste removal;

58.4.4. Fighting infectious livestock and animal diseases, pest eradication and control, and disaster prevention and elimination, providing veterinary services;

58.4.5. Pasture management within the territory of the Soum;

58.4.6. Protection of nature and the environment within the Soum territory;

58.4.7. Recurrent maintenance of lighting of public areas within the Soum territory;

58.4.8. Soum landscaping, and development and maintenance of sidewalks, recreational areas and children’s playgrounds;

58.4.9 build water supply and waste water treatment facilities and water to economic concessions and services;

58.4.10 countries to invest a lot of maintenance, and a new property of the state and local government buildings and property;

58.4.11.Other functions as defined in law.

58.5. Functions specified in 58.1-58.4 of this Law shall be financed from the following sources:

58.5.1. Tax and non-tax revenues of Aimags, capital city, Soms and districts;

58.5.2. Revenue transfers allocated from the state budget;

58.5.3. Financial support allocated from the state budget;

Article 59. General Local Development Fund

59.1 The General Local Development Fund consists of the following sources:

59.1.1. 5 percent of VAT revenue of goods and services except imported goods and services;

59.1.2. 5 percent of the revenues from mineral resource royalty payment under Article 47³ of Mineral Law;

59.1.3. Grants and donations rendered by domestic non-governmental organizations and official foreign aid to support local development; and

59.1.4 (deleted)

59.1.5 30 percent of the revenues from the oil royalty payment

59.2. Aimags and the capital city shall reallocate transfers allocated from the General Local Development Fund and state budget to Soum and district Development Funds as follows;

59.2.1 Allocate service costs specified in Article 60.11 of this law to the Local Development Fund of Soum districts

59.2.2 Allocate at least 30 percent except of those in specified in Article 59.2.1 in this law, taking population, distance and size of area into consideration

59.2.3. Allocate transfer of revenue specified in Article 60.2.6, 60.2.7 in this law the by rate specified in Article 60.6, 60.7 of this law, from State budget to Local Development Fund of Aimag and Soum.

59.3. The following indicators shall be considered in defining transfers from the General Local Development Fund to the local budget in the fiscal year:

59.3.1. Development index of local government;

59.3.2. Population;

59.3.3. Population density, remoteness and size of territory; and

59.3.4. Tax initiatives of local government.

59.4. When allocating the mineral resource exploitation tax from the General Local Development Fund, per person amounts in the particular local area where mining is carried out shall be increased by up to 10 percent compared to the amount allocated on a per person basis to other local areas.

59.5. The Government shall determine a methodology for estimating transfers to be allocated from the General Local Development Fund and Local Development Fund.

Article 60. Local development fund

60.1. A particular level's general budget governor shall have a Local Development Fund aimed at supporting local development.

60.2. Local development fund shall be generated from the following sources:

60.2.1 Transfers to be allocated from the General Local Development Fund;

60.2.2. Funds stated in Article 59.2 of this Law; and

60.2.3 (deleted)

60.2.4. Additional sources generated through increasing tax rates and saving expenditures; and

60.2.5. Domestic and foreign grants and donations to support local development.

60.2.6 10% of the subtracted amount of mineral resources royalty gained through payment by companies conducting national-level large projects, from the revenue from total amount of mineral resources royalty gained under Article 47³ of Mineral Law,

60.2.7 50% of the mineral exploitation and mining license fees

60.3. It is prohibited to spend Local Development Fund sources for the following purposes:

60.3.1. Programs and activities other than those authorized by law to be financed from the local budget;

60.3.2 Expenditures of political parties and NGOs;

60.3.3. Holidays, festivals, anniversary celebration, and religious events other than national festivals;

60.3.4. Activities that are not in the common interest of the public;

60.3.5. Issue loans, issue guarantees with financial consequences, and commit to cover loss or damages; and

60.3.6. Expenditures and measures that do not reflect local community opinions and are not reflected and approved in the local budget.

60.4. Functions associated with Aimag, the capital city, Soum and district management shall not be part of the legal functions set by Article 60.3.1 of this Law.

60.5 As for Local Development Funds for Aimags and the Capital, more than 33% of the revenues as stipulated in 60.2.6 of this law will be provided to the Local Development Fund of Soums and districts where mining was conducted.

60.6 As for Local Development Funds for Aimags and the Capital, more than 50% of the revenues as stipulated in 60.2.6 of this law will be provided to the Local Development Fund of Soums and districts where mineral exploitation was conducted and license issued.

60.7 Mining revenues stipulated in 60.2.6 and mineral exploitation and licensing revenues stipulated in 60.2.7 will be sent from the national budget to Local Development Funds of the respective Aimags and district.

60.8 The Government will approve the list of companies that will implement large national-level projects as stipulated in 60.2.6 of this law.

60.9 If the designated area stipulated in 60.6 and 60.7 cover more than two administrative regions, the Local Development Funds will be divided in share of contribution.

60.10 The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters approves the procedural manuals on how to send revenues earned from 60.5 to 60.9 of this law.

60.11 The indication of 60.3.6 of this law does not include service fees for implementation of what is stipulated in 58.1.8, 58.1.12, 58.2.11, 58.2.12, 58.2.15, 58.3.4, 58.4.3, 58.4.4, 58.4.9 and 58.4.10.

Article 61. Some government functions delegated to local government

61.1. Aimag and the capital city Governors shall implement the following functions on behalf of the Government :

61.1.1. pre-school education services;

61.1.2 general education services;

61.1.3. cultural services;

61.1.4. primary health care services;

61.1.5 land relations and cadastre services

61.1.6. child development and protection services; and

61.1.7. public fitness activities.

61.2. Delegated functions specified in 61.1 of this Law shall be financed by special purpose transfers allocated from the state budget on the basis of agreement specified in Article 39 of this Law.

61.3. Aimag or capital city governors shall prepare and submit a proposal on distribution of the budget for each expenditure responsibility defined in Article 61.1 of this Law along with the local budget proposal to the Citizens' Representative Khural of the respective level within the timeframe specified in law.

61.4. Aimag, capital city, Soum and district Citizens' Representative Khural shall approve the distribution of the budget for each expenditure responsibility based on the agreement specified in Article 39 of this Law and the proposal submitted by each governor without decreasing the total amount transferred by the agreement specified in Article 39 of this Law.

61.5. Special purpose transfers shall be transferred to Aimag and capital city treasury in accordance with monthly and quarterly allotment schedule defined in this Law.

Article 62. Incurrence of debt for local government needs

62.1. Governor of aimag and capital city may incur debt from the state budget for the purpose specified in 41.5 of this Law with the condition that it will be repaid within that year from the State budget.

62.2 (deleted)

62.3 (deleted)

62.4 (deleted)

62.5. Special purpose transfers allocated from the state budget shall be considered a revenue.

62.6 (deleted)

62.7 (deleted)

Article 63. Ensuring community participation in the local budget process

63.1. Governors of baghs and khoros shall conduct an open survey and questionnaire on investments, programs, projects and activities to be implemented by the Local Development Fund in their bagh and knoroo, and the sequence and means for implementing them .

63.2. The result of the questionnaire stated in Article 63.1 of this Law and ideas initiated at the khoroo and bagh Citizens' Khurals shall be discussed by the khoroo and bagh Citizens' Khurals and projects and activities shall be prioritized and selected.

63.3. As stated in Article 63.2 of this Law, the Soum and district Governor's office shall prioritize proposals presented by the khoroo and bagh's Citizens' Khurals in conformity with the local

development policy and priorities and reflect them in the budget proposal and submit it to the Soum and district Citizens' Representatives' Khural.

63.4. Soum and district Citizens' Representatives' Khural shall discuss and approve the proposal stated in Article 63.3 of this Law.

Article 64. Authorities and Responsibilities of Citizens' Representatives' Khurals

64.1. Khurals of Aimags, capital city, Soums and districts shall have the following authorities and responsibilities in relation to local budget management and financing:

64.1.1. Debate, approve and oversee the implementation of the Governor's action program;

64.1.2. Debate and approve the budget and its supplementary budget for the fiscal year, oversee their implementation and inform the public;

64.1.3. Discuss and approve the budget execution; and

64.1.4. Conduct hearings on the Governor's presentation on the budget execution report and financial statements.

Article 65. Authorities and Responsibilities of Aimag and Capital City Governors

65.1. Aimag and capital city Governors shall have the following authorities and responsibilities in relation to local budget management and financing:

65.1.1. Formulate a budget proposal and supplementary budget proposal for discussion and approval, and administer the budget and report on the execution of the budget to the Citizens' Representative Khural of the respective level;

65.1.2. Consolidate, prepare and submit to the respective general budget governor a budget proposal, budget execution report, monthly and quarterly statements, financial statements of budgetary entity in the local area, and programs and activities to be financed from the special purpose transfers.

65.1.3. Establish agreements on implementation of some Government functions delegated to local government with respective general budget governors;

65.1.4. In conformity with respective law, establish an agreement on the purchase of goods, work and services to be implemented by the local budget resources;

65.1.5. Submit the local budget approved by the Citizens' Representatives' Khural to the State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters within the timeframe specified in Article 8.5.5 of this Law.

65.1.6. Fully finance budgeted expenditures of state budgetary entity for their planned purposes without disruption and in a timely manner according to the agreement stated in Article 39.1 of this

Law.

65.1.7. Approve and enforce annual budget's monthly and quarterly schedule of Aimag and the capital city; and

65.1.8. Approve the number of staff members of budgetary entity of the respective level by each budget governor.

Article 66. Authorities and Responsibilities of Soum and District Governors

66.1. Soum and district Governors shall have the following authorities and responsibilities in relation to local government budget and finance:

66.1.1. Formulate a budget proposal and its supplementary budget proposal for discussion and approval, and administer and report on the execution of the budget to the Citizens' Representative Khural of the respective level;;

66.1.2. Consolidate, prepare and submit to the respective Aimag and capital city governor a budget proposal, budget execution report, monthly and quarterly statements, financial statements of budgetary entity in the local area, and programs and activities to be financed from the special purpose transfers.

66.1.3. Establish an agreement with amiang and capital city governors on implementation of some Government functions delegated to local government.

66.1.4. Submit the local budget approved by the Citizens' Representatives' Khural to the Aimag and capital city governor within seven working days.

66.1.5. Fully finance budgeted expenditures of state budgetary entity for their planned purposes, without disruption and in a timely manner according to Article 39.2 of this Law.

66.1.6. Approve and enforce the annual budget's monthly and quarterly allotment schedule for each Soum and district; and

66.1.7. Approve the number of staff members of budgetary entity of the respective level by each budget governor.

Article 67. Formulation and submission of the local budget

67.1. Aimag, capital city, Soum and district governors shall develop and submit to the respective Citizens' Representative Khural the local budget proposal along with the presentation specified in Article 67.2 of this Law.

67.2. The following shall be attached to the presentation of the local budget proposal in addition to those articulated in Articles 32.2.1-32.2.12 and 32.2.19 and 32.2.20 of this Law;

67.2.1. Medium-term plan presenting policy objectives of the local budget;

67.2.2. Budget estimates and presentation of the budget proposal prepared in accordance with the budget classification specified in Article 22 of this Law;

67.2.3. A proposal on planned financial support and revenue transfers to be allocated from Aimags and the capital city budgets to Soum and district budgets; and

67.2.4. The amount of money to be collected and transferred to the upper level budget approved in the upper level budget.

67.3. In the course of preparing Aimag, capital city, Soum and district budget proposals, draft budget proposals shall be presented to the public and comments and requests of citizens of the Aimag, capital city, Soum and district shall be presented to the respective Citizens' Representatives' Khurals.

Article 68. Approval of the local budgets

68.1. The local budgets shall be approved by reflecting the items defined in Articles 33.2.1-33.2.7 of this Law.

68.2. During discussion of the budget by Citizens' Representative Khurals, additional requests on investment projects and activities shall be reflected in the budget upon receipt of an assessment by the body who submitted the budget proposal whether the additional requests meet requirements defined in Article 29 of this law.

68.3. Budgets approved by the Citizens' Representative Khurals shall be presented to the public in accessible and transparent ways.

CHAPTER TEN

Audit and Inspection

Article 69. Internal audit

69.1. Each general budget governor shall establish an internal audit unit and employ an internal auditor aimed at controlling enforcement of legislation, conducting financial inspection of budgetary assets and liabilities, revenues and expenditures, programs and activities and investment, and making assessments, evaluations and recommendations and proposing risk management measures.

69.2. The State Central Administrative Body Responsible for Finance and Budget Matters shall provide general budget governors' internal audit units with standards of activities and methodological guidance.

69.3. Financial activities of budgetary entities, state and locally-owned legal bodies and legal bodies majority owned by state and local government under the responsibility of general budget governors

添付資料：予算法

shall be subject to internal audit.

69.4. The Internal Auditor shall hold a state financial inspector's license.

69.5. The Government shall approve the charter of the internal audit unit.

CHAPTER ELEVEN

Sanctions regime

Article 70. Sanctions for violations of the legislation

70.1. If Articles 6.2-6.4, 6.6, 25.10, 42.7, 57.5, 60.3, 62.3 and 62.4 of this law are violated, it shall serve as the basis for dismissal of the governor of the respective level as provided in Article 32 of the Law on Administrative and Territorial Units and Their Governance.

70.2. Unless otherwise stated in law if general budget governors specified in Articles 14.1.1, 14.1.3-14.1.8, 14.1.14 of this law violate Articles stated in 6.2-6.4, 6.6, 25.10, 42.1 42.7 and 46.5 of this law, it shall serve as the basis for an authorized official to dismiss the concerned official from his/her position.

70.3. If the Articles outlined in Article 6 and 24.4 of this Law are violated, a disciplinary sanction of dismissal from the position and not rejoining the public service for a 10 year period shall be imposed on the guilty official by the concerned authorized official.

70.4. A lawyer or state financial inspector shall impose the following sanctions on a person for violation of provisions of the budget legislation, if it does not call for criminal sanctions:

70.4.1. A fine equal to 5-10 times the minimum wage shall be imposed if estimates, proposals, budgets proposals and reports specified in 8.3-8.10 of this Law are not submitted within the specified timeframe;

70.4.2. A fine equal to 5-10 times the minimum wage shall be imposed if an official did not exercise the powers outlined in Articles 14.2.7, 14.2.8 and 16.5.7 of this Law in lawful manner.

70.4.3. A fine equal to 2-3 times the minimum wage shall be imposed on an official who violated Article 20.3 of this Law.

70.4.4. A fine equal to 5-10 times the minimum wage shall be imposed on an official who violated Article 22.5 of this Law.

70.4.5. A fine equal to 5-10 times the minimum wage shall be imposed on an official who violated Articles 25.2-25.8, 25.12, 28.6 and 29.6 of this Law.

70.4.6. A fine equal to 10-15 times the minimum wage shall be imposed on an official who violated Articles 30.3, 39.4, 41.2 and 42.2, Article 43, and Articles ~~49-3~~, 50.1, 50.2, 51.2, 65.1.6 and 66.1.5 of

this Law.

70.4.7. A fine equal to 5-8 times the minimum wage shall be imposed on an authorized official of a budgetary entity who opened a bank account for a budgetary entity by violating the Article outlined in 35.3 of this law and a guilty person who opened a bank account for a budgetary entity by violating the Article outlined in 35.4 of this Law.

70.4.8. If a position is created to implement functions that overlap with the functions of the unit by violating the Article specified in 36.5 of this Law, a guilty official shall be punished with a fine equal to 2-3 times the minimum wage.

70.4.9. A fine equal to 3-5 times the minimum wage shall be imposed on an official if provisions on expending incentives of budgetary entity outlined in 46.3 and 46.4 of this Law are violated.

70.4.10. A fine equal to 3-5 times the minimum wage shall be imposed on a guilty body if the pre-election economic and fiscal outlook report defined in Article 55 of this Law is not prepared and presented within the specified timeframe.

70.4.11. A fine equal to 4-6 times the minimum wage shall be imposed if obligations on public release of information specified in law are not fulfilled.

70.5. Irrespective of the type of violation or applicable sanction, any person or institution that violates this Law shall be liable for reimbursing the damages caused to the State.

70.6. Sanctions specified in Articles 70.4.2, 70.4.4 and 70.4.10 of this Law shall be imposed by lawyers and sanction specified in Articles 70.4.1, 70.4.3, 70.4.5-70.4.9 and 70.4.11 of this Law shall be imposed by state financial inspectors.

Article 70. Penalties for Violation

70.1 officials violating this law acts that do not seem to criminal penalties under the civil service¹⁵.

Article 71. Entry into force

71.1. Articles other than 71.2 and 71.3 of this Law shall enter into force on the 1st of January, 2013.

71.2. Articles and provisions of this Law related with preparation, submission, approval of, and informing the public on, the budget, the State General Guidelines for Socio Economic Development and the Medium-term Fiscal Framework Statement, enforcement of the budget calendar and preparation of a pre-election economic and fiscal outlook report and presenting it to the State Great Khural and informing the public shall enter into force on the 1st of February, 2012.

71.3. Article 71.2 of this Law shall not be applicable to the preparation, submission and approval of supplementary budget proposals of 2012.

¹⁵ Enter into force on 1st of July 2017

添付資料：予算法

71.4 (deleted)

71.5 " budget, Health insurance fund budget and future pension reserve fund" referred to Article 8.4, 8.6, 8.6.3, 12.1.2, 19.6.1, 21.1, 32.1, 42.3.3 and referred to Article 8.8, 8.9, 9.1.2, "Health insurance fund budget future pension reserve fund" and referred to Article 33.1 "budget, Health insurance fund budget, future pension reserve fund," entered into force on 1st of July, 2018.

SPEAKER OF THE

STATE GREAT KHURAL

D.DEMBEREL

[1] The Constitution of Mongolia – published in Issue 1 of “The State News” of 1992.

[2] The Fiscal Stability Law – published in Issue 30 of “The State News” of 2010.

[3] The Law on Social Insurance – published in Issue 8 of “The State News” of 1994.

[4] The Law on Human Development Fund – published in Issue 45 of “The State News” of 2009.

[5] The Law on State Registration of Legal Bodies – published in Issue 22 of “The State News” of 2003.

経済回復プログラムの実施にかかる詳細計画

| 目標 | 施策 | 施策の詳細計画 | 実施期間 | 担当機関 | 指標 | 達成される成果 | 財源 /10億 tug/ | |
|-------------------------------------|--|---------|--|---------|-----|------------------|--------------------|---|
| 戦略 1.マクロ経済状況の早期改善 | | | | | | | | |
| 1.1. 国家予算の赤字の削減や財政安定化の確保に向けた予算政策の実施 | 1.1.1. 予算規律の改善、予算の収入基盤の拡大、業績に基づくファイナセンシングなどの実施、予算のノルマ・基準の遵守に基づく節約対策（節約レジーム）への移行。 | 1. | 予算執行に関わる規則、予算区分、ガイドラインの更新。 | 2017年後半 | 大蔵省 | 更新される規則・ガイドラインの数 | 3-5 | - |
| | | 2. | 保健、教育、文化・芸能機関の予算については、達成される成果、サービスの頻度、施策などに基づき配分する予算・資金調達方法を策定・導入する。 | 2018年前半 | 大蔵省 | 試験的に実施する機関数 | 5-10 | - |
| | | 3. | 割増賃金（賃金の増額分）の計算方法、規則、予算支出ノルマ・基準の更新・承認・遵守 | 2017年後半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 4. | 税記録の改善を通じて税の基盤の拡大、課税対象者の増加に向けた対策の実施 | 2017年後半 | 大蔵省 | 納税者数の増加対策の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 5. | 基準価格の利用手法の更新・承認 | 2017年後半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 6. | （鉱物資源の）ロイヤリティの収入に対する管理の改善を | 2017年後半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |

| | | | | | | | | |
|--|---|----|--|-------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------------|---|
| | | | 目指し、閣議決定を改定する。 | | | | | |
| | | 7. | 所得水準に応じた所得税のブラケットの導入の可能性の調査 | 2017 年後半 | 大蔵省 | 調査の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 8. | 国内総生産に占める予算収支の赤字を段階的に減少させる方針で計画する。 | 2017-2018 年 | 大蔵省 | 統合予算の収支の規模 / 国内総生産に占める割合 / | 2017 年に 9.1%以下、2018 年に 7.5%以下に抑える | - |
| | | 9. | 債務安定化の分析を行い、政策助言を策定し、遵守する。 | 2017 年前半 | 大蔵省、 モンゴル銀行 | 調査の進捗状況、% | 100 | - |
| | 1.1.2. " ナショナル節約" プログラムの策定・実施 " | 1. | " ナショナル節約" プログラムを策定し、実施する。 | 2017 年前半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 1.1.3. 地方開発基金に対する効率性の分析の実施、基金の運用状況（使い方）の公開性・透明性の確保。 | 1. | 地方開発基金の資金で実施された又は実施されるプロジェクト・施策に関する情報を地方開発基金のシステムに入力する。 | 2017 年前半 | 県知事、 首都知事、ソム 長、 区長 | 情報を入力する作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 2. | 地方開発基金のシステムのウェブサイト www.tusuv-oronnutag.mn の一般公開部分の改善・開発。 | 2017 年前半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 3. | 地方開発基金からの支出に対し効率性分析を行なう手法の策定や遵守。 | 2017 年後半 | 大蔵省、 国家開発庁 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 4. | 地方開発基金からの支出に対する効率性分析結果に基づき、助言書を作成し、各県、首都に届ける。 | 2017 年後半 | 大蔵省 | 助言書を首都や各県に届けた状況、% | 100 | - |
| | | 5. | 地方開発インデックスの算定手法の更新 | 2017 年前半 | 国家開発庁 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 1.1.4. 政府受注で実施された工事・ | 1. | 政府受注で実施された工事・グッズ・役務の費用が支払わ | 2017 年前半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |

| | | | | | | | | |
|--|---------------------------------------|----|--|----------|--|--------------------------|----------------------|---|
| | グッズ・役務の費用が支払われていない個人、企業、団体に対する支払いの実施。 | | れていない個人、企業、団体の調査を行う。 | | | | | |
| | | 2. | 政府受注で実施された工事・グッズ・役務の費用が支払われていない個人、企業、団体への支払い実施。 | 2017 年後半 | 大蔵省 | 支払率、% | 50%以上 | - |
| 1.1.5. 国債の定期的な発行や証券取引所に於ける販売、証券ブローカー会社の参加の促進 | | 1. | 国債の販売のスケジュールを四半期毎に作成、公開し、取引をスケジュールに沿って定期的に行い、啓発する。 | 2017 年 | 大蔵省、 モンゴル銀行 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 2. | 国債の1次及び2次市場での販売を証券取引所により開始する。 | 2017 年前半 | 大蔵省、金融監督委員会、モンゴル証券取引所、 MCSD(Mongolian Central Securities Depository)、 MSSCH (Mongolian Securities Settlement and Clearing House) | 1次及び2次市場での取引の開始対策の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 3. | 証券ブローカー会社の参加の促進 | 2017 年前半 | C3X | 証券ブローカー会社の国債取引への参加 | 証券ブローカー会社の参加が活発化している | - |
| | | 4. | 証券市場法の改正法案の策定や国家大フレールへの提出 | 2017 年前半 | 金融監督委員会 | 提出する法案数 | 1 | - |
| | | 5. | 国債の取引の規制サービス料や取引手数料の削減対策 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 取引手数料削減対策の進捗状況、% | 100 | - |
| | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|----|--|---------|--------------------|---|-----|---|
| | | 6. | 証券取引所を通じて行なう国債の決済手続き（ペイメントやセトルメント手続き）をT+3までの手続きやDvPペイメント制度へ移行させる。 | 2018年前半 | 大蔵省、金融監督委員会 | 国債の決済手続き（ペイメントやセトルメント手続き）をT+3までの手続きやDvPペイメント制度へ移行させるための作業の進捗状況、%。 | 100 | - |
| | | 7. | モンゴル銀行を通じて発行されている国債の定期化に向けた対策 | 2018年前半 | 大蔵省、金融監督委員会、モンゴル銀行 | 関連規則の修正作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 8. | 顧客を代表し国債を売買する権限を商業銀行に与える。 | 2017年後半 | 大蔵省、金融監督委員会、モンゴル銀行 | 活動の実施状況、% | 100 | - |
| | 1.1.6. 関税規制や非関税規制による国内市場の保護、国内調達の政策的促進、法的環境の整備 | 1. | 世界貿易機関の関税及び貿易に関する一般協定に記載された権利や義務の範囲内で国内市場を関税規制や非関税規制により保護する可能性を調査する。 | 2017年前半 | 食料農牧業軽工業省、大蔵省 | 調査の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 2. | 2016年の第87号、第101号閣議決定により承認された”輸入品の原産国ルール”の更新。 | 2017年前半 | ГХЯ | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 1.1.7. 資本市場へのアクセスビリティの向上や市民の参加のための法的環境の改善 | 1. | 大手企業は社債を発行し、株式会社になることを支援するために関連法規を改正し、国会に法改正案を提出する。 | 2018年前半 | 大蔵省、金融監督委員会 | 提出する法案数 | 2 | - |
| | | 2. | 証券市場の流動性の向上を目指し、デリバティブ（金融派生商品）の開発のための規制環境やインフラ環境を整備す | 2018年前半 | 大蔵省、金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |

| | | | | | | | | |
|--|---------------------------------------|----|--|----------|------------------------------|---------------------------------------|--------|-----------------------|
| | | | る。 | | | | | |
| | | 3. | 証券ブローカー会社の能力向上への支援 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 4. | 証券市場の製品・サービス類の増加、アクセスビリティの向上を目指し、新技術に基づいた金融サービス提供者を支援し、監督環境を整備する。 | 2018 年前半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 5. | 鉱物資源法の 5.6 に従い、モンゴル証券取引所に於いて戦略鉱床を所有する法人の株式の取引を活発化させる。 | 2018 年前半 | 金融監督委員会、鉱業重産業省、国有財産政策調整庁 | 証券取引所で戦略鉱床を所有する法人の株式の取引が開始されている。株式の枚数 | 2 | - |
| | | 6. | 国有企業の民営化を証券取引所を通じて実施し、調整（規制）政策で支援する。 | 2018 年前半 | 金融監督委員会、鉱業重産業省、国有財産政策調整庁、大蔵省 | 証券の取引の規模、市場価値の向上、% | 5 以上 | - |
| | | 7. | 証券取引所の登録区分の基準を満たさない企業の除外や登録の質向上。 | 2017 年前半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 70 | - |
| | 1.1.8. 正規雇用や非正規雇用を維持する事業体の税・融資政策面での支援 | 1. | 正規雇用や非正規雇用を維持する自営業者、零細企業、小企業に対し、“雇用促進基金”による小融資を提供する。 | 2018 年前半 | 労働社会保障省 | 融資を借り入れた個人や企業数 | 約 8000 | 雇用促進基金 /25/ 世銀 /13.0/ |
| | | 2. | 地域化（ゾーニング）による発展の促進を目指す雇用政策の一環として遠隔地で製造業の雇用を創出している企業に対する税及び関税免税案を策定し、閣議に提出する。 | 2017 年後半 | 労働社会保障省 | 作業の進捗状況、% | 100 | |
| | 1.1.9. コンセッシ | 1. | コンセッション事業として実 | 2017 年前半 | 大蔵省、国家開 | 作業の進捗 | 1000 | - |

| | | | | | | | | |
|--|---|----|---|-----------------|---------------------------|---------------------------------|------------|----------|
| | <p>ン事業として実施された又は実施中のプロジェクト・プログラムの審査、今後実施されるプロジェクト・施策のリストを承認し、実施方式（メカニズム）を投資家に明確に提示する。</p> | | <p>施されているプロジェクト・プログラムの審査を行い、結論を出す。</p> | | <p>発庁</p> | <p>状況、%</p> | | |
| | | 2. | <p>国有財産コンセッション事業リストの更新</p> | <p>2017 年前半</p> | <p>大蔵省、国家開発庁</p> | <p>リスト承認に向けた作業の進捗状況、%</p> | <p>100</p> | <p>-</p> |
| | | 3. | <p>官民連携により実施されるプロジェクトのメカニズムを投資家にとって分かり易くし、“官民連携法案”を策定する。</p> | <p>2017 年後半</p> | <p>大蔵省、国家開発庁その他関連省</p> | <p>策定する法案数</p> | <p>1</p> | <p>-</p> |
| | | 4. | <p>官民連携法の制定、国会承認、施行</p> | <p>2018 年前半</p> | <p>大蔵省、国家開発庁</p> | <p>作業の進捗状況、%</p> | <p>100</p> | <p>-</p> |
| <p>1.2. 収支のプレッシャー（負担）の軽減やインフレ率の安定化の確保に向けた金融政策の実施</p> | <p>1.2.1. アクティブマネジメント制度（アセットマネジメント制度(IAM)の法的環境の整備</p> | 1. | <p>アクティブマネジメント制度を構築し、法案を国家大府に提出する。</p> | <p>2017 年前半</p> | <p>大蔵省、金融監督委員会、モンゴル銀行</p> | <p>作業の進捗状況、%</p> | <p>100</p> | <p>-</p> |
| | <p>1.2.2. 実体経済成長を助長し、マクロ経済の安定化を支える柔軟な金利政策を実施し、銀行システムの基準指標を適切なレベルで維持する。</p> | 1. | <p>予算・金融の整合した政策を実施するために大蔵省やモンゴル銀行の間で情報交換に関する覚書を締結する。</p> | <p>2017 年前半</p> | <p>大蔵省、モンゴル銀行</p> | <p>締結された覚書等の数</p> | <p>1</p> | <p>-</p> |
| | | 2. | <p>インフラ率を 8%以下に抑えるための対策の実施。</p> | <p>2018 年前半</p> | <p>モンゴル銀行</p> | <p>活動の実施率、%</p> | <p>100</p> | <p>-</p> |
| | | 3. | <p>金融政策の意思決定に必要なマクロ経済の将来の推計や金融政策の分析の実施</p> | <p>2017 年後半</p> | <p>モンゴル銀行</p> | <p>活動の実施率、%</p> | <p>100</p> | <p>-</p> |
| | | 4. | <p>インフレの推計やマクロ経済の将来の見通しを反映させたインフレ目標や経済の安定化確保政策のシナリオを含む政策案を策定し、実施する。</p> | <p>2017 年後半</p> | <p>モンゴル銀行</p> | <p>活動の実施率、%</p> | <p>100</p> | <p>-</p> |
| | | 5. | <p>銀行分野のリスク対応力や迅速な支払実施能力を維持するための政策を実施する。</p> | <p>2017 年後半</p> | <p>モンゴル銀行</p> | <p>システムの充実の適切な比例や流動性の適切な比例を</p> | <p>100</p> | <p>-</p> |

| | | | | | | | | |
|--|----|--|----------|-----------------------------|--------------------|------------------|-------|--|
| | | | | | | 確保するための作業の進捗状況、% | | |
| 1.2.3. 外貨フローが一時的に増加する際に MNT のサプライを急激に増加させることを避け、中長期に於いて外貨の準備高を安定的に維持し、保護する方針に従う。 | 1. | 外貨の“取引統合プラットフォーム”の整備 | 2017 年後半 | 大蔵省、金融監督委員会、モンゴル銀行 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | 2. | 外貨取引のライセンスを保有する建設都市開発省に対する管理・検査の環境の改善。 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | 3. | MNT の対外貨レートはマクロ経済基礎条件と整合し、柔軟に定まる原則に従う。 | 2018 年前半 | モンゴル銀行 | 活動の実施率、% | 100 | - | |
| | 4. | MNT の対外貨レートはマクロ経済基礎要因と整合しているかを調査し、金融政策の意思決定に利用する。 | 2018 年前半 | モンゴル銀行 | 活動の実施状況、% | 100 | - | |
| | 5. | 長期に於いて外貨準備高の安定化を図り、必要に応じ、国内外から資金を調達する。 | 2018 年前半 | モンゴル銀行 | 活動の実施状況、% | 100 | - | |
| 1.2.4. 開発銀行、中小企業開発基金、価格安定化プログラムなどにより提供された融資の利用状況を検査し、結論を出す。 | 1. | 商業条件で貸し付けられた開発銀行の融資の利用状況や返済に対し監査を行い、結論を出し、必要な対策をとる。 | 2017 年後半 | 開発銀行、大蔵省、建設都市開発省、食料農牧軽工業省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | 2. | 中小企業開発基金により貸し付けられた融資の利用状況に対し監査を行い、結論を出す。 | 2017 年前半 | 大蔵省、建設都市開発省、食料農牧軽工業省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | 3. | 価格安定化プログラムで貸し付けられた融資の経済・社会指標への影響を確認し、意見や結論を纏め、今後の活動案を策定する。 | 2017 年後半 | モンゴル銀行、大蔵省、建設都市開発省、食料農牧軽工業省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| 1.2.5. 8%の住宅ローンプログラムを引き続き実施し、 | 1. | 住宅融資プログラムを更新し、実施する。 | 2017 年前半 | モンゴル銀行、大蔵省、建設都市開発省、食料 | 住宅融資の対象になり、アパートを買い | 6,000 | 360.0 | |

| | | | | | | | | |
|---|----|---|----------|--|--------------------|---------------------------|-----|-----|
| 住宅融資保険を長期保険製品型に移管する。 | | | | | 農牧軽工業省、金融監督委員会 | 換えた市民数 | | |
| | 2. | 住宅融資の保険を長期保険に変えるための法的環境を整備する。 | 2017 年前半 | | モンゴル銀行、大蔵省、建設都市開発省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 1.2.6. 経済成長を支える大規模プロジェクトの実施のための長期資金の確保を目指し、投資基金（インベストメントファンド）を設立する。 | 1. | 外国投資家との協力による経済の多様化のための効果的な投資基金を設立する可能性の調査を行い、案・結論を出す。 | 2018 年前半 | | 大蔵省、開発銀行、国家開発庁 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 2. | 経済成長を助長する大規模プロジェクトを長期融資で支援することを目指し、投資基金の設立を促進する。 | 2017 年後半 | | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 1.2.7. 輸出促進ナショナルプログラムを実施し、輸出保険製品の開発を通じ、国内の輸出業者（メーカー）を支援する。 | 1. | 輸出保険新製品の開発 | 2018 年前半 | | 大蔵省、農牧業二重保険 | 輸出保険の促進のための製品のサンプルの開発状況、% | 100 | 2.0 |
| | 2. | 輸出保険活動の調整（規制）の改善。 | 2017 年後半 | | 金融監督委員会 | 活動の実施状況、% | 100 | - |
| | 3. | 貿易緩和協定（自由貿易協定）の実施確保のための国家コミッティの設立。 | 2017 年前半 | | 対外関係省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 4. | 海外での EXPO 実施を支援する | 2017 年後半 | | 対外関係省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 5. | 韓国との経済連携協定の締結に向け合同調査を開始する。 | 2017 年前半 | | 対外関係省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |

| | | | | | | | | | |
|--|--|----|---|----------|-------------------------|------------|----------------------------------|---|---|
| | | 6. | アジア太平洋地域貿易協定への加盟 | 2017 年前半 | 対外関係省 | 加盟した協定数 | 1 | - | |
| 1.3. 外貨の国内への流れの増加や近い将来に返済する対外債務のファイナンスのための財源の確保 | 1.3.1.金プログラムを更新し、引き続き実施する。 | 1. | 金プログラム案の策定や閣議への提出。 | 2017 年前半 | 鉱業重工業省、大蔵省、環境観光省、モンゴル銀行 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | 2. | 優遇的な法制度の整備を通じ投資の増加を図る。 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省、大蔵省、環境観光省、モンゴル銀行 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | 3. | 金の埋蔵量の増加や採掘・生産の活発化 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省、大蔵省、環境観光省、モンゴル銀行 | 金の採掘量、トン | 2018 онд 20.0 | - | |
| | 1.3.2. 国債や開発銀行の社債の返済及びリファイナンスのためのスケジュールを策定・実施する。 | 1. | 国債や開発銀行ボンドの返済及びリファイナンス計画の策定・実施 | 2018 年前半 | 大蔵省、モンゴル銀行、開発銀行 | リファイナンスの規模 | 国債の 5 億 USD、開発銀行の政府保証ボンド 5 億 USD | - | - |
| | | 2. | 投資家のための追加メニューを大蔵省のウェブサイトに掲載し、投資家とのミーティングを定期的に行なう。 | 2017 年後半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | 3. | 政府の債務管理戦略を策定し、債務サービス計画を更新する。 | 2017 年前半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | 1.3.3. 政府、モンゴル銀行、開発銀行の偶発債務状況を調査し、リスク予防対策を実施する。 | 1. | 政府、開発銀行の偶発債務状況の調査を実施する。 | 2017 年後半 | 大蔵省、モンゴル銀行、開発銀行 | 調査の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | 2. | 政府及び開発銀行の偶発債務を処理する義務が生じた場合の対応策の計画を策定・実施する。 | 2017 年後半 | 大蔵省、モンゴル銀行、開発銀行 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | 3. | 政府や開発銀行の偶発債務に対する管理・検査のための法的環境の改善。 | 2017 年後半 | 大蔵省、モンゴル銀行、開発銀行 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|-------------------|------------------|-------------|-----------|-----|
| | 4. | モンゴル銀行の偶発債務の調査を行い、リスク予防対策を実施する。 | 2017 年後半 | モンゴル銀行 | 活動の実施状況、% | 100 | - |
| 1.3.4. パートナー諸国、国際金融機関・銀行などとの協議会を開催し、長期・低金利の資金を調達する。 | 1. | 国際機関やドナー諸国と技術協力プロジェクトを実施する。 | 2017 年後半 | 大蔵省、金融監督委員会 | 融資協定承認法案の数 | 8 | - |
| | 2. | 現在実施中のプロジェクト・プログラムの効率的な実施、調達資金の増加、新案件の策定。 | 2018 年前半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 3. | 主要経済パートナー国の中央銀行との通貨スワップ協定の締結やその延長、協力の活性化 | 2017 年前半 | モンゴル銀行、大蔵省 | 活動の実施状況、% | 100 | - |
| | 4. | 金採掘のための低金利融資の財源の確保の調査。 | 2017 年前半 | モンゴル銀行、大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 5. | 金融包摂同盟 (AFI) との協力の活性化 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 1.3.5 外国直接投資の誘致のための法的環境の改善を図り、投資家が長期に渡り、安定的に事業を行なうための環境を作る。 | 1. | 投資法とその他関連法への追加、改正 | 2017 年前半 | 国家開発庁、内閣官房庁 | 作業の進捗状況、% | 100 |
| 2. | | 金融規制の改善を通じ外国投資の増加のための環境作りを図る。 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 3. | | 証券取引に外国投資家が参加する際に発生する困難を排除する。 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 1.3.6. 外国投資家利益保護評議会を設置する。 | 1. | 外国投資家利益保護評議会を設置する。 | 2017 年前半 | 国家開発庁、内閣官房庁 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 1.3.7. 銀行・金融システムの透明性や公開性の確保を図り、外国の銀行支店の開設ための法的環境の改善を | 1. | 銀行・金融システムの透明性や公開性を確保し、外国の銀行支店の開設ための法的環境を改善させる。 | 2017 年後半 | モンゴル銀行、大蔵省、国家開発庁 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |

| | | | | | | | | |
|---|--------------------------------|--|----------|---------|-----------------|---------------------------|----------|--|
| <p>行なう。</p> <p>1.3.8. FS（技術・経済的根拠の調査）が実施され、投資家が選定された実施可能なプロジェクトを全面的に支援し、実施を活発化させる。</p> | 1. | ウラーンの混合金属の銑鋼工場の運転開始 | 2017 年後半 | 鉱業重工業省 | 年間精鋼生産量、1000 トン | ジンの精鋼：150.0, 鉛の精鋼：50.0 | - | |
| | 2. | ハルオボー銑鋼工場の運転開始 | 2017 年後半 | 鉱業重工業省 | 年間精鋼生産量、1000 トン | 鉛の精鋼：140.0 | - | |
| | 3. | シレンオボー鉄鉱石銑鋼工場の運転開始。 | 2017 年後半 | 鉱業重工業省 | 年間精鋼生産量、1000 トン | 鉄鉱石の精鋼：500.0 | - | |
| | 4. | ドラーンハルオール混合金属銑鋼工場の運転開始 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省 | 年間精鋼生産量、1000 トン | 鉛の精鋼：8.0, ジンの精鋼：30.0 | - | |
| | 5. | ツァヒウールトオボー鉄鉱石銑鋼工場 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省 | 年間精鋼生産量、1000 トン | 鉄鉱石の精鋼：2000 | - | |
| | 6. | ツァガーンズバルガ銅モリブデン銑鋼工場の運転開始 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省 | 年間精鋼生産量、1000 トン | 銅精鋼：300.0, モリブデン精鋼：4.0 | - | |
| | 7. | 油田の開発の活性化を図り、長期に於いて持続的な採掘量を維持し、可能な限り増加させる。 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省 | 年間精鋼生産量、1000 トン | 995.0 | 1,500.0 | |
| | 8. | 製油所の建設を図り、下記を実施する。 | | | | | | |
| | | 製油所の建設のための準備を確保する。 | 2017 年前半 | 鉱業重工業省 | 準備の進捗状況、% | 100 | 国家予算：0.2 | |
| | 製油所及び原油パイプラインの設計図を作成し、工事に着手する。 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省 | 工事の進捗状況 | 20 | 外資788.0 | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--------------------------------|-----|---|----------|--------------------------------|---------------|-----|---------------|--|
| | | | 製油所の工事の実施及び人材育成。 | 2017 年後半 | 鉱業重工業省 | 作業の進捗状況、% | 50 | 外資 787.5 | |
| | | 9. | 銅銑鋼工場の建設を図り、下記を実施する。 | | | | | | |
| | | | FS の精査を行なう。 | 2017 年後半 | 鉱業重工業省 | FS の精査の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | | プロジェクト投資家と実施者の選定 | 2017 年後半 | 鉱業重工業省 | 選定の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | | 必要なライセンスや技術仕様の獲得や準備の実施 | 2017 年後半 | 鉱業重工業省 | 準備作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | | インフラや建物の工事や設備の据付の開始 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省 | 工事の進捗状況、% | 10 | 民間 784.0 | |
| | | 10. | 洗炭場・石炭化学処理工場や合成ガス工場の建設を図り、下記を実施する。 | | | | | | |
| | | | 事前 FS 及び詳細 FS の完成、自然環境影響詳細評価報告書の完成 | 2017 年前半 | 鉱業重工業省 | 作業の進捗状況、% | 100 | 0.0 | |
| | | | インフラや建物の工事の開始 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省 | 工事の進捗状況 | 10 | 国家予算 0.5 | |
| | | | 建物の建設工事や人材育成 | 2018 年前半 | 鉱業重工業省 | 作業の進捗状況、% | 60 | 外資 2,289.7 | |
| | 1.3.9. 投資家の利益保護のための法的環境の改善を図る。 | 1. | 投資家利益保護基金法案の策定及び国家大フレールへの提出 | 2018 年前半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | 2. | 小株主利益保護評議会を非政府機関と協力して設立する。 | 2018 年前半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | | 3. | "パブリックの基礎財務教育のレベル向上プログラム 2016-2021" の実施 | 2018 年前半 | 金融監督委員会、大蔵省、教育文化科学スポーツ省、モンゴル銀行 | プログラムの実施状況、% | 30 | - | |

| | | | | | | | | |
|--|--|----|--|----------|----------------------------|-----------|-----|---|
| | | 4. | 学生に大学のプログラムを通じ財務教育を提供し、大学の必須科目に財務知識を提供するテーマを盛り込むことを目指し、大学と協力し合う。 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 5. | 地方の公的機関やNGOのネットワークを利用し、地方の住民に財務知識を提供する。 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 6. | 市民に財務知識を提供するためのウェブサイトを運営する。 | 2018 年前半 | 金融監督委員会、モンゴル銀行、教育文化科学スポーツ省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |

戦略 2. 中長期に於ける経済構造改革の実施、安定的な経済成長の確保、債務負担の軽減

| | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|----|---|----------|------------|--------------------------|------|------|
| 2.1. 鉱山以外の分野の輸出収入の増加や経済の多様化のための基盤作り。 | 2.1.1. 民間航空サービスに於いて先端技術を導入し、上空を通過する便数を増やし、航空交通管制（エアナビゲーション）サービスの収入の増加を図る。 | 1. | 航空交通管制（エアナビゲーション）サービスの改善プロジェクトのフェーズ2の実施 | 2017 年前半 | 道路運輸省 | 航空交通管制（エアナビゲーション）収入の増加、% | 17.1 | 18.0 |
| | | 2. | 隣国の航空交通管制センターとの間でデータを伝達するネットワークを整備する。 | 2018 年前半 | 道路運輸省 | 作業の進捗状況、% | 100 | 17.0 |
| | 2.1.2. 隣国との貿易の拡大を図り、国境周辺の公的機関同士の連携を確保し、国境通過点のキャパシティを向上させ、サービ | 1. | モンゴル国とユーラシア経済連合との間で自由貿易協定を締結することを目指し、合同調査チーム設置する。 | 2017 年前半 | 対外関係省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 2. | ザミンウードーエレーンの越境フリーゾーンの整備に着手する。 | 2017 年後半 | 副首相室、対外関係省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |

| | | | | | | | | |
|---|----------|----------------------------|--|----------|---------------------------|--------------------------|-----------|------|
| | スの改善を図る。 | 3. | モンゴル・ロシア・中国を結ぶ経済コリドー整備プログラムの一環として投資センターの整備を目指す対策をとる。 | 2017 年後半 | 対外関係省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 2.1.3. 主要な観光ルート沿いに休憩所やサービスコンプレックスを整備する。 | 1. | 1. | 休憩所やサービスコンプレックスのFSを実施する。 | 2017 年前半 | 自然環境観光省 | FSの実施状況、% | 100 | 0.8 |
| | 2. | 2. | 休憩所やサービスコンプレックスを整備する。 | 2018 年前半 | 自然環境観光省、大蔵省、国家開発庁、建設都市開発省 | 新規に整備する休憩所やサービスコンプレックスの数 | 4 | 16.0 |
| 2.1.4. カジノ規制法制度の整備を行なう。 | 1. | 1. | 法案を策定・審議する。 | 2017 年前半 | 自然環境観光省 | 活動の実施状況、% | 100 | 0.1 |
| 2.1.5. 競馬（ホースレース）を行なうための法的環境を整備する。 | 1. | 1. | 基礎調査を行い、法案を策定し、閣議に提出する。 | 2017 年前半 | 自然環境観光省 | 活動の実施状況、% | 100 | 0.1 |
| | 2. | 2. | 閣議に於いて審議し、国家大フレアルに提出する。 | 2017 年前半 | 自然環境観光省 | 活動の実施状況、% | 100 | |
| | 3. | 3. | 法案を国家大フレアルで審議する。 | 2017 年前半 | 自然環境観光省 | 活動の実施状況、% | 100 | |
| 2.1.6. 輸入代替建材製造業の政策的支援 | 1. | 1. 建築用鋼材の製造の促進を図り、下記を実施する。 | | | | | | 50.0 |
| | | | 建築用鋼材の工場のFSを完成させる。 | 2017 年前半 | 建設都市開発省 | 調査の進捗状況、% | 100 | |
| | | | 財源を確保する。 | 2017 年後半 | 建設都市開発省 | 財源確保状況、% | 100 | |
| | | 工場の生産容量の拡大 | 2018 年前半 | 建設都市開発省 | 財源確保状況、% | 100 | 1000トンの鉄筋 | |
| | 2. | 2. 断熱材の生産促進を目指し、下記を実施する。 | | | | | | 9.7 |
| | | | 調査作業を具体化する。 | 2017 年前半 | 建設都市開発省 | 調査の進捗状況、% | 100 | |
| | | | 財源を確保する。 | 2017 年後半 | 建設都市開発省 | 財源確保状況、% | 100 | |
| | | 工場の生産容量の拡大 | 2018 年前半 | 建設都市開発省 | 追加生産容量 | 21000トンのミネラルウール | | |

| | | | | | | | | |
|---|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|----------|-------------------|-----------------------------|-------|-------|
| | 3. | PC版組立て方式ビルの構造物の生産促進を目指し、下記を実施する。 | | | | | 14.0 | |
| | | 調査作業を具体化する。 | 2017年前半 | 建設都市開発省 | 調査の進捗状況、% | 100 | | |
| | | 財源を確保する。 | 2017年後半 | 建設都市開発省 | 財源確保状況、% | 100 | | |
| | | 工場の生産容量の拡大 | 2018年前半 | 建設都市開発省 | 追加生産容量 | 床面積30万m ² の住宅 | | |
| | | 4. 西部地域に於けるセメントの生産促進を目指し下記を実施する。 | | | | | | |
| | | 調査作業を具体化する。 | 2017年前半 | 建設都市開発省 | 調査の進捗状況、% | 100 | | |
| | 財源を確保する。 | 2017年後半 | 建設都市開発省 | 財源確保状況、% | 100 | | | |
| | 工場の生産容量の拡大 | 2018年前半 | 建設都市開発省 | 追加生産容量 | 25万トンのセメント | | | |
| | 2.1.7. 食料・農牧製品の製造の活性化や輸入代替品の消費の増加 | 1. | 乳・乳製品のモデル工場を整備する。 | 2017年前半 | 食料農牧軽工業省、大蔵省、県知事室 | モデル工場整備事業の進捗状況、% | 100 | 117.0 |
| | | 2. | 乳・乳製品の生産を増加させ、ドライミルクの輸入を削減する。 | 2018年前半 | 食料農牧軽工業省 | 案件を実施するソム数 | 109 | - |
| 3. | | 肉・肉製品の加工工場の建設 | 2018年前半 | 食料農牧軽工業省 | 工場の数 | 12 | 60.0 | |
| 4. | | 家畜ベースの生理活性製品の工場の案件を実施する。 | 2018年前半 | 食料農牧軽工業省 | 工場の数 | 1 | - | |
| 5. | | 皮革をエコ技術に基づき、完全加工し、完成製品を生産する。 | 2018年前半 | 食料農牧軽工業省 | 工場の数 | 1 | 272.0 | |
| 2.1.8. 第3農業キャンペーンを引き続き実施し、穀物、ジャガイモ、主要野菜類の需要を国産品で賄う。 | 1. | 穀物、ジャガイモ、主要野菜類の需要を国産品で賄う。 | 2018年前半 | 食料農牧軽工業省 | 栽培面積、ヘクタール | 穀物：400.0、ジャガイモ：15.0、野菜：8.5、 | 185.0 | |
| | | | | | 自給率 | 穀物：100、ジャガイモ：100、野菜：80 | | |

| | | | | | | | |
|--------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|----------|---------------|------------------|-----|-------|
| 2.1.9. "家畜の健康改善"プログラムを更新し、法的環境を整備する。 | 1. | 家畜の遺伝子資源法案の策定・承認 | 2017 年前半 | 食料農牧軽工業省 | 作業の進捗状況、% | 100 | 135.0 |
| | 2. | 家畜の健康法案の策定・承認 | 2017 年前半 | 食料農牧軽工業省 | 作業の進捗状況、% | 100 | |
| | 3. | "家畜の健康改善"プログラムの更新 | 2017 年前半 | 食料農牧軽工業省、県知事室 | 作業の進捗状況、% | 100 | |
| 2.1.10. "カシミア"プログラムの更新・実施 | 1. | "カシミア"プログラムの更新・実施 | 2017 年前半 | 食料農牧軽工業省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 2. | "カシミア"プログラムを実施し、運転資金を提供する投資基金を設立する。 | 2017 年前半 | 食料農牧軽工業省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 2.1.11. 輸出可能なソフトウェアやハードウェアの開発を促進する。 | 1. | ハイテック工業団地のインフラを整備する。 | 2018 年前半 | 通信情報技術庁 | 工業団地のインフラ整備の状況、% | 100 | 0.9 |
| | 2. | インターネットデジタルコンテンツを開発する人材を育成する。 | 2018 年前半 | 通信情報技術庁 | 研修に参加する人数 | 300 | 0.3 |
| | | | | | 輸出する製品の数 | 30 | |
| | 3. | モンゴル産のソフトウェアを輸出する。 | 2018 年前半 | 通信情報技術庁 | 輸出する製品の数 | 5 | 1.4 |
| | 4. | スタートアップビジネスのエコシステムを整備する。 | 2018 年前半 | 通信情報技術庁 | 製品の数 | 10 | 1.5 |
| | | | | | 対象になった人数 | 10 | |
| | 5. | 情報技術起業家の養成 | 2018 年前半 | 通信情報技術庁 | 養成された起業家の人数 | 150 | 1.5 |
| 6. | 小規模携帯データセンターの整備 | 2018 年前半 | 通信情報技術庁 | 売上高 | 300 | 3.0 | |
| 7. | 環境監視システムの導入 | 2018 年前半 | 通信情報技術庁 | 売上高 | 250 | 1.0 | |

| | | | | | | | | |
|--|---|----|---|----------|--|---------------|---|------|
| | 2.1.12. 市民が外国で一定の期間で労働が出来るための対策の実施。(政府による労働力輸出対策の実施) | 1 | 旅行ビザ・労働ビザプログラムについてのモンゴル政府とオーストラリア政府の間の協定を国家大フレールに於いて承認し、実施する。 | 2017 年後半 | 労働社会保障省、対外関係省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 2 | 労働力の輸出及び輸入法案の改正を行い、承認する。 | 2017 年後半 | 労働社会保障省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 3 | 日本の外国人研修性プログラムに関する法規の更新に伴い、権限のある機関と研修性の派遣や受け入れについての覚書を改めて締結する。 | 2017 年後半 | 労働社会保障省 | 覚書締結作業の進捗状況 | 100 | - |
| | | 4 | 米国の H2 ビザの対象になり、短期労働者を派遣する。 | 2018 年前半 | 対外関係省 | 協定締結作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 2.1.13. 市民に対して新鮮な野菜を供給することを目指し、国内での野菜栽培業を支援し、温室コンプレックス事業を展開する。 | 1. | 冬用の温室事業を展開する。 | 2018 年前半 | 食料農牧軽工業省、県知事室 | 温室面積、ヘクタール | 5 | 35.0 |
| | | | | | | 野菜収穫量、トン | 2100 | |
| | 2.1.14. 国際機関による信用格付け、ビジネス環境の指標、競争力の指標、投資誘致能力の指標などの改善を図る。 | 1. | 信用格付けの改善を目指し、大蔵省、モンゴル銀行、その他関連機関の参加による常設作業部会を設置する。 | 2017 年後半 | 大蔵省、モンゴル銀行、金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 2.2. 実体分野の成長に資する大規模プロジェクトの実施開始、インフラ整備事業の活発化。 | 2.2.1. タバントルゴイ炭田の開発、出力 450MW のタバントルゴイ火力発電所の建設、ガツールト金鉱床の開発、第 3 火力発 | 1. | タバントルゴイ炭田を拠点にした採掘・洗炭コンプレックスの建設に関する交渉を終了させ、契約を締結し、投資が入ってくる条件を確保する。 | 2018 年前半 | 内閣官房庁、鉱業重工業省、大蔵省、道路・運輸省、エネルギー省、自然環境観光省 | 予算への影響 | 2017 年度国家予算上 539 億 tug, 2018 年度国家予算上 668 億 tug を計上。 | - |

| | | | | | | | | |
|---|---|--|--------------------------------------|----------|---------------|-----------|---------|-------|
| 電所の 250MWの増設、チョイバルサン火力発電所の 50MWの増設などのプロジェクトの実施。 | 2. | ガツールト金鉱山の開発を開始する。 | 2018 年前半 | 鉱業重工 | 金の年間採掘量、トン | 2.5 | 890.0 | |
| | 3. | 第 3 火力発電所の 250MW の増設プロジェクト。 | | | | | | |
| | | 財源を確保し、業者を選定する。 | 2017 年前半 | エネルギー省 | 業者との契約の締結状況、% | 100 | 787.5 | |
| | | 建設工事を開始する。 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事の進捗状況、% | 100 | | |
| | 4. | タバントルゴイの出力 450MW の火力発電所の建設工事 | | | | | | |
| | | 投資家とユーザーの間で売電契約を締結し、プロジェクトの資金調達を終了させるための準備をする。 | 2017 年前半 | エネルギー省 | 業者との契約の締結状況、% | 100 | 1,900.1 | |
| | | 財源を確保し、工事に着手する。 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事の進捗状況、% | 100 | | |
| | 5. | チョイバルサンの火力発電所の 50MW の増設プロジェクト。 | | | | | | |
| | | 財源を確保し、工事に着手する。 | 2017 年前半 | エネルギー省 | 業者との契約の締結状況、% | 100 | 202.5 | |
| | | 建設工事を開始する。 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事の進捗状況、% | 100 | | |
| | | 熱供給系統や送電線の拡張や新規建設 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事の進捗状況、% | 100 | 25.0 | |
| | 2.2.2. タバントルゴイ・ガショーンズハイト間、ナリーンスハイトーシベーフレン間、ズーンバヤンハンギ間、エルデネトーオボート間、フオートービチグト間の鉄道建設事業の促進及びボグドハーン鉄道事業の工事の開始。 | 1. | タバントルゴイ・ガショーンズハイト間の鉄道の FS を実施・完成させる。 | 2017 年前半 | 道路・運輸省 | 作業の進捗状況、% | 100 | 895.5 |
| | | 2. | タバントルゴイ・ガショーンズハイト間の鉄道の工事を完成させる。 | 2018 年前半 | 道路・運輸省 | 工事の進捗状況、% | 100 | |
| 3. | | ナリーンスハイトーシベーフレン間の鉄道の FS を実施・完成させる。 | 2017 年前半 | 道路・運輸省 | 作業の進捗状況、% | 100 | 330.0 | |
| 4. | | ナリーンスハイトーシベーフレン間の鉄道の工事を実施する。 | 2018 年前半 | 道路・運輸省 | 工事の進捗状況、% | 60 | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|---|--|-----------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------|---------------|-----------------------|-------|------|
| | | 5. | フォートービチグト間の鉄道のFSを実施・完成させる。 | 2017 年前半 | 道路・運輸省 | 作業の進捗状況、% | 100 | 795.5 | | |
| | | 6. | フォートービチグト間の鉄道の工事を実施する。 | 2018 年前半 | 道路・運輸省 | 工事の進捗状況、% | 60 | | | |
| | | 7. | ズーンバヤーンハンギ間の鉄道のFSを実施・完成させる。 | 2017 年後半 | 道路・運輸省 | 作業の進捗状況、% | 100 | 6.0 | | |
| | | 8. | ズーンバヤーンハンギ間の鉄道の工事を開始する。 | 2018 年前半 | 道路・運輸省 | 工事の進捗状況、% | 60 | 2,289.5 | | |
| | | 9. | ボグドハーン鉄道のFSを実施・完成させる。 | 2017 年後半 | 道路・運輸省 | 作業の進捗状況、% | 100 | 3.0 | | |
| | | 10. | ボグドハーン鉄道の工事を開始する。 | 2018 年前半 | 道路・運輸省 | 工事の進捗状況、% | 60 | 1,122.0 | | |
| | | 2.2.3. エネルギー分野の安定的な機能を確保するために発電所、送電線、変電所などの新規建設及び増設を行なう。 | 1. | ダルハン火力発電所の35MWの増設プロジェクト | | | | | | |
| | | | | | 主機と補機の据付。 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 据付工事の進捗状況、% | 100 | 28.6 |
| | | | | | 未完成の増設部分の完成。 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 増設部分の工事の進捗状況、% | 100 | |
| | | | | | 据付工事の終了、試験、調節、コラボレーション | 2018 年前半 | エネルギー省 | 試験、調節、コラボレーションの進捗状況、% | 100 | |
| | 技術刺し検査コミッションやテーキングオーバーコミッションによる引き受け。精算終了。 | | | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事完成後のテーキングオーバー、% | 100 | | | |
| | エルデネット火力発電所の35MWの増設。 | | | | | | | | | |
| | 2. | | | 業者選定及び契約締結 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 業者との契約締結の状況、% | 100 | 132.0 | |
| | | | 設備の供給 | 2017 年前半 | エネルギー省 | 設備の供給の進捗状況、% | 100 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|----|--|----------|---------------------|-----------------------|-----|------|--|
| | | | 建設工事の実施 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 工事の進捗状況、% | 100 | | |
| | | | 据付工事の終了、試験、調節、コラボレーション | 2018 年前半 | エネルギー省 | 試験、調整、コラボレーションの進捗状況、% | 100 | | |
| | | | 技術刺し検査コミッションやテーキングオーバーコミッションによる引き受け。精算終了。 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事完成後のテーキングオーバー、% | 100 | | |
| | | 3. | エギーン川の 315 MW の水力発電所の調査を引き続き実施する。 | | | | | | |
| | | | 自然環境影響評価の実施 | 2017 年前半 | ЭХЯ, СЯ, БОАЖЯ | 調査の進捗状況、% | 100 | 22.8 | |
| | | | 水の流量の調査、ダムに於ける貯水の際の他の湖や川に対する影響を調査する。 | 2017 年後半 | ЭХЯ, СЯ, БОАЖЯ, ГХЯ | 調査の進捗状況、% | 100 | | |
| | | | 財源を確保し、契約を締結する。 | 2018 年前半 | ЭХЯ, СЯ, БОАЖЯ, ГХЯ | 関連契約の締結状況、% | 100 | | |
| | | 4. | ホブド川に於ける出力 64MW の水力発電所の事前調査や FS の実施、工事の開始 | | | | | | |
| | | | 事前調査の実施 | 2017 年前半 | エネルギー省 | 調査の進捗状況、% | 100 | 5.0 | |
| | | | プロジェクトの FS や自然環境影響評価の実施、投資の確保 | 2017 年後半 | エネルギー省 | FS や自然環境影響評価調査の進捗状況、% | 100 | | |
| | | | 業者の選定、契約締結、工事の開始 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 作業の進捗状況、% | 100 | | |
| | | 5. | チョイルの 220KV の変電所の更新 | | | | | | |
| | | | 業者の選定や契約締結 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 業者との契約締結の状況、% | 100 | 30.0 | |
| | | | 工事の開始 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 工事の進捗条項、% | 100 | | |
| | | | 工事に対する管理の実施 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 工事管理の進捗状況、% | 100 | | |
| | | | 技術刺し検査コミッションやテーキングオーバーコミッションによる引き受け。 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 工事完成後のテーキングオーバー、% | 100 | | |
| | | 6. | ウランバートルーマンダルゴビ間の 330KV の 2 回線の (260km) 空中送電線及び 22KV の変電所の建設工事、 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|----|---|----------|--------------|----------------------|-----|-------|
| | | オユートルゴイとタバントルゴイの 220KV の変電所の増設。 | | | | | |
| | | 特別に融資契約を結ぶ。 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 融資契約締結作業の進捗状況、% | 100 | 266.1 |
| | | 建設工事の実施 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事の進捗条項、% | 100 | |
| | | 工事に対する技術管理 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事管理の進捗状況、% | 100 | |
| | | 技術刺し検査コミッションやテーキングオーバーコミッションによる引き受け。 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事完成後のテーキングオーバー、% | 100 | |
| | 7. | 220 KV のバガノール変電所からチョイルまでの 220KV の 2 回線 (178km) 空中送電線の建設及び変電所の増設 | | | | | |
| | | 業者選定及び契約締結 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 融資契約締結作業の進捗状況、% | 100 | 81.2 |
| | | 建設工事の実施 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事の進捗条項、% | 100 | |
| | | 工事に対する技術管理 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事管理の進捗状況、% | 100 | |
| | | 技術刺し検査コミッションやテーキングオーバーコミッションによる引き受け。 | 2018 年前半 | エネルギー省 | 工事完成後のテーキングオーバー、% | 100 | |
| | 8. | オユートルゴイーツァガーンズバルガ間の 220KV 空中送電線及び変電所 | | | | | |
| | | コンセッション契約締結 | 2017 年後半 | エネルギー省、国家開発庁 | コンセッション契約締結作業の進捗状況、% | 100 | 81.0 |
| | | 建設工事の実施 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 工事の進捗条項、% | 100 | |
| | | 工事に対する技術管理 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 工事管理の進捗状況、% | 100 | |
| | | 技術刺し検査コミッションやテーキングオーバーコミッションによる引き受け。 | 2017 年後半 | エネルギー省 | 工事完成後のテーキングオーバー、% | 100 | |

| | | | | | | | |
|--|----|--|----------|-------------------------------------|----------------|----------|------|
| 2.2.4. 大規模産業に伴う中小企業の発展を支援し、専用クラスターを整備することを通じ住民世帯の生活水準の向上を支える。 | | シーバックゾーン分野でコストネットワークを構築し、クラスターにより発展させる。 | 2017 年後半 | 食料農牧軽工業省 | 栽培面積、ヘクタール | 10000 | 10.3 |
| | | | | | 加工工場のキャパシティ | 10000 トン | |
| | | | | | シーバックゾーンオイルの輸出 | 1000 トン | |
| 2.2.5. Khushigt 谷で建設されている新国際空港周辺で開発される都市のマスタープランをレビューし、部分的マスタープランを策定し、新しい都市の開発を開始する。 | 1. | 新都市のマスタープランをレビューし、部分的マスタープランを策定するに必要な TOR や設計仕様を承認する。 | 2017 年前半 | 建設都市開発省 | 活動の実施状況、% | 100 | 0.7 |
| | 2. | 設計図を作成し、国家審査 (expertise) を行い、結論を出す。 | 2017 年前半 | 建設都市開発省 | FS や設計の進捗状況、% | 100 | |
| | 3. | Khushigt 谷新国際空港周辺で開発される都市のレビューされたマスタープランを関連法規に従い、閣議で審議する。 | 2017 年前半 | 建設都市開発省 | 作業の進捗状況、% | 100 | |
| | 4. | 承認されたマスタープランに従い、部分的マスタープランを策定し、関連法規に従い承認する。 | 2017 年後半 | 建設都市開発省 | 作業の進捗状況、% | 100 | |
| | 5. | Khushigt 谷で建設されている新国際空港周辺に於ける新都市の開発に関する閣議決定案を閣議で審議し、国家大フルルに提出する。 | 2017 年前半 | 建設都市開発省、大蔵省、エネルギー省、道路・運輸省、法務内務省 | 作業の進捗状況、% | 100 | |
| | 6. | 新都市の開発を開始する。 | 2018 年前半 | 建設都市開発省、大蔵省、エネルギー省、道路・運輸省及びその他関連省庁、 | 開発事業の進捗状況、% | 5 | |

| | | | | | 県知事室、非 政府機関 | | | |
|---------------------------------------|--|----|--|----------|--------------------|-----------|-----|---|
| 2.3経済成長に資する責任のあるガバナンスの強化や安定した法的環境の充実。 | 2.3.1. 国家大フレールに於ける予算法案の審議過程に於いて、政府により提出された国家予算の歳出や歳入の境及び債務の上限などの引き上げを防止するための法的環境を整備する。 | 1. | 立法機関の予算編成への参加度を適切な水準で制限する事例を他国と比較調査し、助言書を作成する。 | 2017 年前半 | 大蔵省 | 調査の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 2. | 関連法案を策定し、国家大フレールに提出する。 | 2017 年後半 | 大蔵省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 2.3.2. 中央銀行のガバナンスの体制を国際基準に合わせて再構築し、モンゴル銀行の幹部の独立性を強化し、金融政策の実施の改善を図り、モンゴル銀行の活動をより明確にすることなどを目指し、中央銀行法を改正する。 | 1. | 中央銀行法改正案の策定・承認 | 2017 年前半 | モンゴル銀行 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 2.3.3. 外貨の流れの規制改善を目指し、外貨規制法の改正案を策定・承認する。 | 1. | 外貨規正法の改正案の策定・承認。 | 2017 年前半 | 大蔵省、モンゴル銀行、金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 2.3.4. 金融市場の構造の多極化、リスク評価、予防、政策の整合性の確保を目指し、金融 | 1. | 金融監督委員会（FRC）のステータス法の改正案を策定し、国家大フレールに提出する。 | 2017 年前半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |

| | | | | | | | |
|---|----|---|----------|--------------------|-----------------|-----|---|
| 監督委員会 (FRC) のステータス法の改正を行なう。 | | | | | | | |
| 2.3.5. 開発銀行の国家予算との関係 (整合性) の充実、リスクの削減、開発銀行のガバナンス、透明性、報告活動の改善、活動範囲の拡大、自立性の強化などを目指し、開発銀行法の改正を行ない、組織再編成を行なう。 | 1. | 開発銀行法の改正案の策定・承認。 | 2017 年前半 | 大蔵省、開発銀行 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 2.3.6. モンゴル国の金融市場の 2025 年までの発展のための国家プログラムを策定し、承認する。 | 1. | " モンゴル国の金融市場の 2025 年までの発展のための国家プログラムに市場の参加者や関連機関などの意見・コメントを反映させ、国家プログラム案を仕上げ、国家大府に提出する。 | 2017 年後半 | 大蔵省、モンゴル銀行、金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | 2. | 国家プログラムに含まれるプロジェクト・施策の詳細計画の策定・承認 | 2017 年後半 | 大蔵省、モンゴル銀行、金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| 2.3.7. 事業者に対して発給されるライセンスの数を 3 倍も減らし、専門監査当局、税・社会保険・法務当局の検査の重複や官僚主義を排除す | 1. | 建築分野でライセンスを保有し、活動をしている企業の調査を行う。 | 2017 年前半 | 建設都市開発省 | 調査の進捗状況、% | 100 | - |
| | 2. | 建築分野でライセンスを保有し、活動をしている企業の情報を電子化し、ライセンスの申請を電子で行い、許可を電子で発 | 2018 年前半 | 建設都市開発省 | 情報の電子化作業の進捗状況、% | 100 | - |

| | | | | | | | | |
|---|----|---|--|--------------------------|-----------|-----------|-----|---|
| | る。 | | 行する作業を開始する。 | | | | | |
| | | 3. | 金融監督委員会により発行されるライセンス数を減らし、ライセンス発行プロセスの透明性を確保し、電子化し、市民に迅速にサービスを提供する環境を作る。 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - |
| | | 4. | 投資家や顧客が遵守すべきルール・規則の要件を柔軟にすることを通じ、適切な規制を行なう体制を作る。 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 活動の実施状況、% | 100 | - |
| | | 5. | 金融分野の専門参加者の統合を通じ、その能力向上を支援する。 | 2017 年後半 | 金融監督委員会 | 活動の実施状況、% | 100 | - |
| 2.3.8. 行政業務の改革の一環として、行政機関の構造や構成員の専門性、責任性、持続性、簡潔性を確保する法的環境を整備する。 | 1. | 公的機関の機能（義務）を分析し機能の再編成の手法を策定し・承認する。 | 2017 年後半 | 大蔵省、国家業務評議会 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | 2. | 機能（義務）の分析に基づき、組織体制の更新を行い、関連法規を改正する。 | 2018 年前半 | 大蔵省、国家業務評議会やその他省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| | 3. | 公務員の現行の賃金体制の更新案を策定する。 | 2018 年前半 | 労働社会保障省、大蔵省、国家業務評議会やその他省 | 作業の進捗状況、% | 100 | - | |
| 2.3.9. 特定の職のない市民の短時間労働への仲介（短時間労働のための採用）及び給料の適時の支払のための環境作りを図る。 | 1. | 登録失業者に対し仮雇用を提供し、収入の取得を促進することを目指し、パブリックキャンペーンなどに参加させる対策を常時に実施する。 | 2018 年前半 | 労働社会保障省 | 対象人数 | 23 000 | 2.0 | |

| | | | | | | | |
|--|----|-----------------------------------|----------|---------|-------------|-------|-----|
| 2.3.10. 雇用（職場）の需要に応じ、短期専門研修を実施し、労働人材を要請する。 | 1. | 雇用研修や現場での研修を実施する。 | 2018 年前半 | 労働社会保障省 | 研修に参加する人数 | 5300 | 1.0 |
| | 2. | 労働市場調査に基づき、職業訓練センターなどで専門労働者を養成する。 | 2018 年前半 | 労働社会保障省 | 養成される専門労働者数 | 25000 | 7.0 |

-----ooOoo-----

2章添付資料-2

モンゴル事務所仮和訳

承認版

モンゴル国国家大呼拉尔の2016年の第71号決議のアネックスー1

経済回復プログラム

| No. | 目標・施策 | 実施方法 | 達成される成果 | 期間 | 担当者 |
|-------------------|---|---|---|----------------------|------------------------|
| 戦略1。マクロ経済安定化政策の実施 | | | | | |
| 1.1 | <p>国家予算の赤字の削減や財政安定化の確保に向けた予算政策の実施：</p> <p>1.1.1. 予算規律の改善、予算の収入基盤の拡大、業績に基づくファイナンスなどの実施、予算のノルマ・基準の遵守に基づく節約対策（節約レジーム）への移行。</p> <p>1.1.2. " ナショナル節約" プログラムの策定・実施</p> <p>1.1.3. 地方開発基金に対する効率性の分析の実施、基金の運用状況（使い方）の公開性・透明性の確保。</p> <p>1.1.4. 政府に受託し、実施した工事・グッズ・サービス費を賄っていない個人、企業、団体に対する支払いの実施。</p> <p>1.1.5. 国債の定期的な発行や証券取引所に於ける販売、証券ブ</p> | <p>モンゴル国の2017年度予算法、モンゴル国統合予算の2017年度予算フレーム、2018-2019年度推計予算法、閣議決定、大蔵大臣令</p> | <p>国内総生産に於ける統合予算の赤字の割合が削減し、2017年度に9.9%以下に抑えられている。</p> | <p>2017-2018年の前半</p> | <p>-</p> <p>政府、金融庁</p> |

| | | | | | |
|-----|--|------------------------------|-------------------|-------|------------|
| | <p>ローカー会社の参加の促進</p> <p>1.1.6.関税規制や非関税規制による国内市場の保護、国内調達 の政策的促進、法的環境の整備</p> <p>1.1.7.資本市場へのアクセスビリティの向上や市民の参加のため の法的環境の整備</p> <p>1.1.8.正規雇用や非正規雇用を維持する事業体の税・融資政策面 での支援</p> <p>1.1.9 コンセッション事業として実施された又は実施中のプロ ジェクト・プログラムの審査、今後実施されるプロジェクト・ 施策のリストの承認、実施方式（メカニズム）明確化</p> | | | | |
| 1.2 | <p>収支のプレッシャー（負担）の軽減やインフレ率の安定化の確保に向 けた金融政策の実施</p> <p>1.2.1.アクティブマネジメント制度（アセットマネジメント制度 (IAM)の法的環境の整備。</p> <p>1.2.2. 実体経済成長を助長し、マクロ経済の安定化を支える柔 軟な金利政策を実施し、銀行システムの基準指標を適切なレベ ルで維持する。</p> <p>1.2.3. 外貨のフォローが一時的に増加する際に TUGRUG のサプラ イを急激に増加させることを避け、中長期に於いて外貨の準備 高を安定的に維持し、保護する方針に従う。</p> <p>1.2.4.開発銀行、中小企業支援基金、“価格安定化”プログラム などにより提供された融資の利用状況を検査し、結論を出す。</p> | 閣議決定、大蔵大臣 令、モンゴル銀行総裁 令 | 外貨準備高が増加 している。 | 2017年 | 政府、金 融庁 |

| | | | | | |
|-----|---|-----------------------------|--|----------------------|---------------------------|
| | <p>1.2.5. 8%の住宅ローンプログラムを引き続き実施し、住宅融資保険を長期保険製品として形を変更する。</p> <p>1.2.6. 経済成長を支える大規模プロジェクトの実施のための長期資金の確保を目指し、投資基金（インベストメントファンド）を設立する。</p> <p>1.2.7. 輸出促進ナショナルプログラムを実施し、輸出保険製品の開発を通じ、ナショナルの輸出企業（メーカー）を支援する。</p> | | | | |
| 1.3 | <p>外貨の国内への流れの増加や近い将来に返済する対外債務のファイナンスのための財源の確保</p> <p>1.3.1. 金プログラムを更新し、引き続き実施する。</p> <p>1.3.2. 国債や開発銀行の社債の返済及びリファイナンスのためのスケジュールを策定・実施する。</p> <p>1.3.3. 政府、モンゴル銀行、開発銀行の債務状況を調査し、リスク予防対策を実施する。</p> <p>1.3.4. パートナー諸国、国際金融機関・銀行などとの協議会を開催し、低金利・長期資金を調達する。</p> <p>1.3.5. 外国直接投資の誘致のための法的環境の改善を図り、投資家が長期に渡り、安定的に事業を行なうための環境を作る。</p> <p>1.3.6. 外国投資家利益保護評議会を設置する。</p> <p>1.3.7. 銀行・金融システムの透明性や公開性の確保を図り、外</p> | <p>閣議決定、大蔵大臣令、モンゴル銀行総裁令</p> | <p>外国直接投資が増加し、投資家が長期に渡り安定的に事業を実施するための環境が整備されている。</p> | <p>2017-2018年の前半</p> | <p>-</p> <p>政府、モンゴル銀行</p> |

| | | | | | |
|---|---|-------------|--------------------------------|----------------------|-----------|
| | <p>国の銀行支店の開設ための法的環境の改善を行なう。</p> <p>1.3.8. FS（技術・経済的根拠の調査）が実施され、投資家が選定された実施可能なプロジェクトを全面的に支援し、実施を活発化させる。</p> <p>1.3.9.投資家の利益保護のための法的環境の改善を図る。</p> | | | | |
| <p>戦略 2. 中長期に於ける経済構造改革の実施、安定的な経済成長の確保、債務負担の軽減</p> | | | | | |
| <p>2.1</p> | <p>鉱山以外の分野の輸出収入の増加や経済の多様化のための基盤作り。</p> <p>2.1.1.民間航空サービスに於いて先端技術を導入し、上空を通過する便数を増やし、航空交通管制（エアナビゲーション）サービスの収入の増加を図る。</p> <p>2.1.2. 隣国との貿易の拡大を図り、国境周辺の公的機関同士の連携を確保し、国境通過点のキャパシティを向上させ、サービスの改善を図る。</p> <p>2.1.3. 主要な観光ルート沿いに休憩所やサービスコンプレックスを整備する。</p> <p>2.1.4. カジノ規制法制度の整備を行なう。</p> <p>2.1.5.競馬（ホースレース）を行なうための法的環境を整備する。</p> <p>2.1.6.輸入代替建材製造業の政策的支援</p> <p>2.1.7. 食料・農牧製品の製造の活発化や輸入代替品の消費の増加</p> <p>2.1.8.第3農業キャンペーンを引き続き実施し、穀物、ジャガイ</p> | <p>閣議決定</p> | <p>鉱山以外の分野の生産量や輸出量が増加している。</p> | <p>2017-2018年の前半</p> | <p>政府</p> |

| | | | | | |
|-----|--|---------------|---|--------------|----|
| | <p>モ、主要野菜類の需要を国産品で賄う。</p> <p>2.1.9. "家畜の健康改善"プログラムを更新し、法的環境を整備する。</p> <p>2.1.10."カシミヤ"プログラムの更新・実施</p> <p>2.1.11. 輸出可能なソフトウェアやハードウェアの開発を促進する。</p> <p>2.1.12. 市民が外国で一定の期間で労働が出来るための対策の実施。(政府による労働力輸出対策の実施)</p> <p>2.1.13. 市民に対して新鮮な野菜を供給することを目指し、国内での野菜栽培業を支援し、温室コンプレックス事業を展開する。</p> <p>2.1.14. 国際機関による信用格付け、ビジネス環境の指標、競争力の指標、投資誘致能力の指標などの改善を図る。</p> | | | | |
| 2.2 | <p>実体分野の成長に資する大規模プロジェクトの実施開始、インフラ整備事業の活発化。</p> <p>2.2.1.タバントルゴイ炭田の開発、出力 450MWのタバンドルゴイ火力発電所の建設、ガツールト金鉱床の開発、第3火力発電所の250MWの増設、チョイバルサン火力発電所の50MWの増設などのプロジェクトの実施。</p> <p>2.2.2. タバントルゴイ・ガションスハイト間、ナリーンスハイトーシベーフレン間、ズーンバヤンーハンギ間、エルデネトーオボート間、フォートービチグト間の鉄道建設事業の促進及びボグドハーン鉄道事業の工事の開始。</p> <p>2.2.3.エネルギー分野の安定的な機能を確保するために発電所、</p> | 国家大フラル決議、閣議決定 | インフラ事業や開発事業の活発化により2018年に5.1%、2019年に7.1%の実体経済成長率を達し、雇用 | 2017-2018年前半 | 政府 |

| | | | | | |
|-----|--|--|------------------------|--|--|
| | <p>送電線、変電所などの新規建設及び増設を行なう。</p> <p>2.2.4.大規模産業に伴う中小企業の発展を支援し、専用クラスターを整備することを通じ住民世帯の生活水準の向上を支える。</p> <p>2.2.5.Khushigt 谷で建設されている新国際空港周辺で開発される都市のマスタープランをレビューし、部分的マスタープランを策定し、新しい都市の開発を開始する。</p> | | <p>創出を通じ、失業率を削減する。</p> | | |
| 2.3 | <p>経済成長に資する責任のあるガバナンスの強化や安定した法的環境の充実。</p> <p>2.3.1.国家大フレールに於ける予算法案の審議過程に於いて、政府により提出された国家予算の歳出や歳入の境及び債務の上限などの引き上げを防止するための法的環境を整備する。</p> <p>2.3.2. 中央銀行のガバナンスの体制を国際基準に合わせて再構築し、モンゴル銀行の幹部の独立性を強化し、金融政策の実施の改善を図り、モンゴル銀行の活動をより明確にすることなどを目指し、中央銀行法を改正する。</p> <p>2.3.3. 外貨の流れの規制改善を目指し、外貨規制法の改正案を策定・承認する。</p> <p>2.3.4. 金融市場の構造の多極化、リスク評価、予防、政策の整合性の確保を目指し、金融規制委員会（FRC）のステータス法の改正を行なう。</p> <p>2.3.5. 開発銀行の国家予算との関係(整合性)の充実、リスクの削減、開発銀行のガバナンス、透明性、報告活動の改善、活動範囲の拡大、自立性の強化などを目指し、開発銀行法の改正を行な</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|--|---|-------------------------------------|---------------------------|--------------------------|
| | <p>い、組織再編成を行なう。</p> <p>2.3.6.モンゴル国の金融市場の 2025 年までの発展のための国家プログラムを策定し、承認する。</p> <p>2.3.7 事業家に対して発給されるライセンスの数を 3 倍も減らし、専門監査当局、税・社会保険・法務当局の検査の重複や官僚主義を排除する。</p> <p>2.3.8 行政業務の改革の一環として、行政機関の構造や構成員の専門性、責任性、持続性、簡潔性を確保する法的環境を整備する。</p> <p>2.3.9 特定の職のない市民の短時間労働への仲介（短時間労働のための採用）及び給料の適時の支払のための環境作りを図る。</p> <p>2.3.10 雇用（職場）の需要に応じ、短期専門研修を実施し、労働人材を要請する。</p> | <p>モンゴル国の法律、国家大フレール決議、閣議決定、大蔵大臣令、労働・社会保障大臣令</p> | <p>”世界ガバナンス指標”に占めるモンゴル国の位置を上げる。</p> | <p>2017 -2018 年前半</p> | <p>政府、モンゴル銀行、金融規制委員会</p> |
|--|--|---|-------------------------------------|---------------------------|--------------------------|

List of project in related area by international donors

| | |
|-------------------|--|
| Donor Name | GIZ |
| Project Name | Integrated Mineral Resource Initiative II |
| Type | |
| C/P | Ministry of Industry, NDA |
| Total Cost | € 5,150,000.00 |
| Duration | 2014 - 2020 |
| Implementing Org. | |
| In-charge person | Dr.Dr.h.c. Stefan Hanselmann (Program Director) |
| Project Goal | The ability of national and local partner institutions to promote inclusive and sustainable growth based on mineral resource wealth is improved. |
| Project activity | <p>The initiative comprises three fields of activity:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.Sustainable location development in mining regions 2.Macroeconomic management of a resource-based market economy 3.Supporting the agreement between Germany and Mongolia on cooperation in the field of mineral resources <p>The project pursues a multi-stakeholder and multi-level approach. It strengthens the partner ministries' capacity for macroeconomic management of a resource-based economy. Assistance is provided to media representatives, universities, and the private sector to enable them to promote the economic discourse. The project adopts an integrated approach to location development in the region: dialogue platforms and capacity development measures are implemented and the stakeholders are enabled to improve their participation in economic, social, and political discourse and development.</p> |
| Source | https://www.giz.de/projektdateien/projects.action?request_locale=en_EN&pn=201421304 |

3 添付資料：他ドナー案件の概要

| | |
|-------------------|--|
| Donor Name | Europe Aid |
| Project Name | Economic Governance for Equitable Growth (EG4EG) |
| Type | Services |
| C/P | MOF, MoPDSP |
| Total Cost | € 3,394,000.00 |
| Duration | Feb 15-Feb 18 |
| Implementing Org. | GIZ |
| In-charge person | Mr.Peter Potier |
| Project Goal | <p>The overall objective of the project is to strengthen the economic governance of revenues from Mongolia's mineral wealth towards sustainable development.</p> <p>The specific objective of the project is to strengthen institutional capacities of selected key Ministries within the Mongolian administration to enhance revenue generation and public service delivery, emphasising the efficient and effective management and utilization of revenues from the mining sector for equitable growth.</p> |
| Project activity | <p>The main expected results of the current project are:</p> <p>Component 1 – Technical Assistance (TA) to the MoED Result 1: Institutional strategic planning and coordination capacity of the MoED towards an efficient and effective management and utilisation of revenues from the mining sector for equitable growth, strengthened.</p> <p>Component 2 – Technical Assistance (TA) to the MoF Result 2: Institutional capacity of the MoF in terms of strategic planning, revenue forecasting, improved taxation and financial models, aiming at the extractive industries, strengthened.</p> <p>Component 3 - Technical Assistance (TA) to the MOPDSP Result 3: Institutional capacities of the MoPDSP to enhance service delivery, emphasising on the development and implementation of a sustainable, balanced, efficient and effective social protection framework, utilising revenues from the mining sector, strengthened.</p> |
| Source | http://ec.europa.eu/europeaid/projects/economic-governance-equitable-growth-eg4eg_en |

| | |
|-------------------|--|
| Donor Name | World Bank |
| Project Name | Third Sustainable Livelihoods Project |
| Type | |
| C/P | MOF |
| Total Cost | \$36,200,000.00 |
| Duration | 2014-2018 |
| Implementing Org. | |
| In-charge person | Helene Monika Carlsson Rex |
| Project Goal | The objectives of the Third Sustainable Livelihoods Project for Mongolia are to improve governance and community participation for the planning and delivery of priority investments in rural areas of Mongolia. |
| Project activity | <p>The project comprises 3 components.</p> <p>Component 1: Capacity building for local governance and livelihoods Aims to build the capacity at local and national levels for the implementation and further development of the Government's program and mechanisms for support rural development. At the local level, provide training and technical assistance in the areas of medium-term planning, community participation, budget preparation, procurement, supervision, reporting and monitoring and evaluation. At the national level, provide technical support to central public administrative organizations.</p> <p>Component 2: Good governance performance-based support program, includes budget preparation and adoption, budget execution, accounting, reporting, internal and external control and public scrutiny. Particular importance will be given to citizen participation. This will also carry out annual performance assessments.</p> <p>Component 3: Project management and monitoring and evaluation Supports the implementation structure, financing of staff costs, related expenditures, monitoring and evaluation, procurement, and financial management.</p> |
| Source | http://projects.worldbank.org/P125232/third-sustainable-livelihoods-project?lang=en&tab=overview |

3 添付資料：他ドナー案件の概要

| | |
|-------------------|--|
| Donor Name | World Bank |
| Project Name | Multi-Sectoral Technical Assistance Project |
| Type | TA |
| C/P | MOF |
| Total Cost | \$12,000,000.00 |
| Duration | 2010-2017 |
| Implementing Org. | |
| In-charge person | Taehyun Lee |
| Project Goal | The objectives of this TA loan are to: (i) improve budget preparation, public investment planning, and public financial management; (ii) strengthen social policy planning and implementation for the poor and vulnerable; and (iii) stabilize the financial sector. |
| Project activity | The Project comprises three major components in line with the focus of the government's development objectives as well as with DPC1 and DPC2. These include: (i) strengthening budget preparation, public investment planning, and public financial management; (ii) social protection reform; and (iii) stabilizing the financial sector. The Project will also include a project management component to effectively carry out the implementation and daily project administrative work. |
| Source | http://projects.worldbank.org/P119825/mongolia-multi-sectoral-technical-assistance-project?lang=en |

3 添付資料：他ドナー案件の概要

| | |
|-------------------|--|
| Donor Name | KOICA |
| Project Name | The Project for the Medium Term Fiscal Planning Capacity Building and Improvement of Fiscal Management E-system in Mongolia |
| Type | |
| C/P | MOF (Department of Budget Investment & Fiscal Planning) |
| Total Cost | |
| Duration | Dec 2015 - Jul 2018 |
| Implementing Org. | |
| In-charge person | |
| Project Goal | |
| Project activity | <p>Topic 1: Legal and Institutional Frameworks of MTEF</p> <p>Topic 2: Procedural Reform of MTEF for Better Fiscal Coordination</p> <p>Topic 3: Capacity Building for Macro-Economic Forecasting and Aggregate Fiscal Management</p> <p>Topic 4: Prioritization of Public Investments and Management of Fiscal Projects</p> <p>Topic 5: Rearrangement of the Organizational Structure for Better Fiscal Management</p> <p>Topic 6: Building Information Systems for Improving MTEF's Credibility</p> |
| Source | n.a. |

3 添付資料：他ドナー案件の概要

| | |
|-------------------|--|
| Donor Name | ADB |
| Project Name | Transparency and Efficiency in Public Financial Management |
| Type | TA |
| C/P | MOF (Budget Investment) |
| Total Cost | \$1,100,000.00 |
| Duration | Nov 2014-Nov 2016 |
| Implementing Org. | ADB |
| In-charge person | Ms.Uchimura, ADB |
| Project Goal | Completed preparation for (i) a public investment information management and monitoring platform including PMPPI and PIMIS, and (ii) an e-taxation system |
| Project activity | <p>Component 1: Improve Transparency and Efficiency in Public Investment</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Analysis of integrated system management for the functional and secured platform with policy recommendations and a system management manual 2. Capacity development for relevant officials and ICT personnel; and enhancement of public awareness and understanding of the PMPPI with development of a general users guideline 3. Pilot testing support with an assessment and an action plan for full implementation <p>Component 2: Electronic Taxation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Diagnostic assessment of the current ICT system for electronic tax administration with development of an investment and action plan for full implementation of an e-taxation system 2. Analysis of workflow management to control an entire e-taxation system, and manage data and information risks 3. Capacity building for relevant officials and ICT personnel with development training materials |
| Source | https://www.adb.org/projects/47200-001/main#project-overview |

RESOLUTION OF THE GOVERNMENT OF MONGOLIA

2017 January 04

No. 5

Ulaanbaatar

Re: Formulating General Plan for
Mongolia's Population Settlement

In order to ensure the implementation of the Sustainable development concept of Mongolia – 2030, Green development policy, and the Action plan of the Government of Mongolia 2016-2020, the followings are RESOLVED by the Government of Mongolia on the basis of the Provision 1 of Article 30 of Law on Government and the 6.1.3 and 15.1.1 of Urban Development Law:

1. To approve the members of the National committee which is responsible for organizing formulation and approval of the General Plan for Mongolia's Population Settlement by the Appendix;
2. To oblige G.Munkhbayar, Minister of construction and urban development, to organize the works to prepare the draft of the General Plan for Mongolia's Population Settlement and to submit to the National committee for discussion;
3. To oblige B.Choijilsuren, Minister of finance, and G.Munkhbayar, Minister of construction and urban development, to appropriate funds to formulate the plan specified in the 1 of this resolution in the state budget of 2018 and 2019, include in the projects and programs to be implemented by foreign and international organizations, and to fund the formulation of the plan by other resources;
4. With the approval of this resolution, the resolution "Formulating General Plan for Mongolia's Population Settlement" of the Government of Mongolia numbered 141 dated 2014 May 03 shall be invalid.

Prime Minister of Mongolia

J.ERDENEBAT

Minister of Construction and Urban Development

G.MUNKHBAYAR

MEMBERS OF THE NATIONAL COMMITTEE WHICH IS RESPONSIBLE FOR
ORGANIZING FORMULATION AND APPROVAL OF THE GENERAL PLAN FOR
MONGOLIA'S POPULATION SETTLEMENT

- | | |
|-----------------|---|
| Director | - Prime Minister of Mongolia |
| Deputy director | - Minister of Construction and Urban Development |
| | - Governor of the Capital city and Mayor of Ulaanbaatar city |
| Members: | - Deputy director in charge of local affairs of the Cabinet Secretariat of the Government of Mongolia |
| | - State secretary of the Ministry of Environment and Tourism |
| | - State secretary of the Ministry of Foreign Affairs |
| | - State secretary of the Ministry of Finance |
| | - State secretary of the Ministry of Justice and Internal Affairs |
| | - State secretary of the Ministry of Defense |
| | - State secretary of the Ministry of Education, Culture, Science and Sport |
| | - State secretary of the Ministry of Road and Transportation |
| | - State secretary of the Ministry of Mining and Heavy Industry |
| | - State secretary of the Ministry of Labor and Social Protection |
| | - State secretary of the Ministry of Food, Agriculture and Light Industry |
| | - State secretary of the Ministry of Energy |
| | - State secretary of the Ministry of Health |
| | - Head of National Development Agency |
| | - President of the Academy of Science |
| | - Head of the Communications, Information and Technology Agency |
| | - Head of the General Agency of State Registration and Intellectual Property |
| | - Head of the National Agency for Meteorology and Environment Monitoring |
| | - Head of the General Agency for Border Protection |
| | - Head of the Civil Aviation Authority |
| | - Head of the Immigration Agency |
| | - Head of the General Archival Agency |
| | - Head of the Mineral Resources and Petroleum Authority |
| | - Head of Agency of Land Management, Geodesy and Cartography |
| | - Head of National Emergency Management Agency |
| | - Director of Geo Ecological Society |
| Secretary | - State secretary of the Ministry of Construction and Urban Development |



МОНГОЛ УЛСЫН ЗАСГИЙН ГАЗРЫН ТОГТООЛ

2017 оны 1 дүгээр
сарын 4-ний өдөр

Дугаар 5

Улаанбаатар
хот

“Монгол Улсын хүн амын нутагшилт,
суурьшлын хөгжлийн ерөнхий
төсөл” боловсруулах тухай

Монгол Улсын тогтвортой хөгжлийн үзэл баримтлал-2030, Ногоон хөгжлийн бодлого, Засгийн газрын 2016-2020 оны үйл ажиллагааны хөтөлбөрийн зорилтыг хэрэгжүүлэх зорилгоор Засгийн газрын тухай хуулийн 30 дугаар зүйлийн 1 дэх хэсэг, Хот байгуулалтын тухай хуулийн 6.1.3, 15.1.1-д заасныг үндэслэн Монгол Улсын Засгийн газраас ТОГТООХ нь:

1. “Монгол Улсын хүн амын нутагшилт, суурьшлын хөгжлийн ерөнхий төсөл”-ийг боловсруулан батлуулах ажлыг удирдан зохион байгуулах үүрэг бүхий Үндэсний хорооны бүрэлдэхүүнийг хавсралт ёсоор баталсугай.

2. Монгол Улсын хүн амын нутагшилт, суурьшлын хөгжлийн ерөнхий төслийг боловсруулах ажлыг шуурхай зохион байгуулж, Үндэсний хороогоор хэлэлцүүлэхийг Барилга, хот байгуулалтын сайд Г.Мөнхбаярт даалгасугай.

3. Энэ тогтоолын 1 дүгээр зүйлд заасан төслийг боловсруулахад шаардагдах хөрөнгийг 2018, 2019 оны улсын төсөвт тусган гадаад орон, олон улсын байгууллагаас хэрэгжүүлэх төсөл, хөтөлбөрт хамруулж, холбогдох бусад эх үүсвэрээс санхүүжүүлэх арга хэмжээ авахыг Сангийн сайд Б.Чойжилсүрэн, Барилга, хот байгуулалтын сайд Г.Мөнхбаяр нарт даалгасугай.

4. Энэ тогтоол гарсантай холбогдуулан “Монгол Улсын хүн амын нутагшилт, суурьшлын хөгжлийн ерөнхий төсөл боловсруулах тухай” Засгийн газрын 2014 оны 5 дугаар сарын 3-ны өдрийн 141 дүгээр тогтоолыг хүчингүй болсонд тооцсугай.



Монгол Улсын Ерөнхий сайд

Ж.ЭРДЭНЭБАТ

Барилга, хот байгуулалтын сайд

Г.МӨНХБАЯР

"МОНГОЛ УЛСЫН ХҮН АМЫН НУТАГШИЛТ, СУУРЬШЛЫН ХӨГЖЛИЙН
ЕРӨНХИЙ ТӨСӨЛ"-ИЙГ БОЛОВСРУУЛАН БАТЛУУЛАХ АЖЛЫГ
УДИРДАН ЗОХИОН БАЙГУУЛАХ ҮҮРЭГ БҮХИЙ
ҮНДЭСНИЙ ХОРООНЫ БҮРЭЛДЭХҮҮН

| | |
|-----------|--|
| Дарга | -Монгол Улсын Ерөнхий сайд |
| Дэд дарга | -Барилга, хот байгуулалтын сайд; -Нийслэлийн Засаг дарга бөгөөд Улаанбаатар хотын захирагч. |
| Гишүүд: | -Засгийн газрын Хэрэг эрхлэх газрын орон нутгийн асуудал хариуцсан дэд дарга; -Байгаль орчин, аялал жуулчлалын яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Гадаад харилцааны яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Сангийн яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Хууль зүй, дотоод хэргийн яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Батлан хамгаалах яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Боловсрол, соёл, шинжлэх ухаан, спортын яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Зам, тээврийн хөгжлийн яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Уул уурхай, хүнд үйлдвэрийн яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Хөдөлмөр, нийгмийн хамгааллын яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Хүнс, хөдөө аж ахуй, хөнгөн үйлдвэрийн яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; -Эрчим хүчний яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга; |

- Эрүүл мэндийн яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга;
- Үндэсний хөгжлийн газрын дарга;
- Шинжлэх ухааны академийн ерөнхийлөгч;
- Харилцаа холбоо, мэдээллийн технологийн газрын дарга;
- Улсын бүртгэл, оюуны өмчийн ерөнхий газрын дарга;
- Цаг уур, орчны шинжилгээний газрын дарга;
- Хил хамгаалах ерөнхий газрын дарга;
- Иргэний нисэхийн ерөнхий газрын дарга;
- Иргэний харьяалал, шилжилт хөдөлгөөний ерөнхий газрын дарга;
- Архивын ерөнхий газрын дарга;
- Ашигт малтмал, газрын тосны газрын дарга;
- Газар зохион байгуулалт, геодези, зураг зүйн газрын дарга;
- Онцгой байдлын ерөнхий газрын дарга;
- Геоэкологийн хүрээлэнгийн захирал.
- Барилга, хот байгуулалтын яамны Төрийн нарийн бичгийн дарга.

Нарийн бичгийн
дарга